本施設の建物概要はこちらを参考にすること

: 本業務においても適用（仕様書も併せて参照すること）

720 × 500

1	特記仕様書(1)	——

工事概要書 (0060186C)

1)工事名称	京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事
2)発注者名	[redacted]
3)工事場所	京都市下京区中堂寺粟田町90,91,92
4)工事種目	⊙新築　・増築　・改築　・改修　・その他(　　)
5)法的規制	a.地域・地区： 商業地域・防火地域・準防火地域・駐車場附置適用地域・埋蔵文化財包蔵地域 31m高度地区・市街地型美観形成地区 b.容積率　394.62 %(基準 436.14 %) c.建ぺい率　61.40 %(基準　90 %) ※角地 d.建築基準法の建築物用途：事務所・研究所・商業 消防法の消火対象物　16　項　イ
6)面積	a.敷地面積：　5,629.03㎡　KRP西地区既存　38,417.86㎡ b.建築面積：　新築 3,456.15㎡　KRP西地区既存　13,112.43㎡ c.延べ面積：　新築24,011.00㎡　KRP西地区既存　74,143.63㎡ d.建築基準法上の駐車場面積：新築 1,797.95㎡　5,033.10㎡ e.容積対象床面積：　新築22,213.05㎡　KRP西地区既存　69,110.53㎡ f.各階床面積内訳

階	容積対象床面積 N棟	S棟	共用	容積対象外床面積 駐車場・駐輪場	合計
P1階		13.71			13.71
7階	1261.87	1406.54			2668.41
6階	1256.13	1406.54			2662.67
5階	1557.82	1406.54			2964.36
4階	1559.12	1406.54			2965.66
3階	1587.83	1406.54			2994.37
2階	1352.56	1264.45			2617.01
1階	1521.51	1343.44			2864.95
地下1階	374.85	672.50	455.64	1797.95	3340.96
地下2階		958.92			958.92
小計	*1 10471.69	*3 11285.72	*4 455.64	*2 1797.95	
合計		22213.05		1797.95	24011.00

N棟専用部： *1 + *2 = 10471.69 + 1797.95 = 12269.64㎡
S棟専用部： *3 = 11285.72㎡
共用部： *4 = 455.64㎡

7)建築物高さ	a.建物高さ　SGL＋ 30.3m
8)階数	a.地下 2 階・地上 7 階・塔屋 1 階 b. 1 棟
9)地業・構造	a.地業：　直接基礎 b.構造：　○・SRC造　○・RC造　○・S造
10)主要設備の概要	b.機械設備 (空気調和設備)： ・京都市産業技術研究所棟 熱源 …吸収式冷温水機（ガス式）+ヒートポンプエアコン（ガス式） 空調方式 … 空調機+ヒートポンプエアコン（ガス式） 配管 … 冷温水管、冷媒管、ドレン管 ダクト方式 … 低圧ダクト方式 換気 … 第1種換気、第3種換気 排煙方式 … 機械排煙方式、自然排煙方式 自動制御 … デジタル式

設備項目（1項目は○印の付いたものを適用する）

空調設備項目	S棟
⊙空気調和設備	一式
⊙換気設備	一式
⊙排煙設備	一式
⊙自動制御設備	一式
⊙中央監視制御設備	一式
・特殊設備	一式

特記仕様書の適用　追補

a. 特記事項は、❶印の付いたものを適用する。この場合※印があっても、それは適用しない。ただし、❶印のない場合は、※印の付いたものを適用する。また、○印と❷印の両方が付いた場合は、両方とも適用する。
b. 各章の章・節・項の番号は、公共建築協会編「民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款に適合した　電気設備工事共通仕様書　機械設備工事共通仕様書平成19年版」(以下、共仕という)及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編、機械設備工事編)平成19年版」(以下、標仕という)の当該番号に対応する。
c. 章・節・項のタイトル部分に示される注記の意味は、次による。なお、[　　]はその章・節または項の全体に対する注記を示し、[　　]は、それを付された項目(号)のみに対する注記を示す。次に例示する。なお、[付加M]などのように、Mまたはpなどの文字を付された注記も、その意味は変わらない。
　1)　[置換]：共仕・標仕の当該章・節・項の規定全体を、特記仕様書(以下、特仕という)の当該規定と置換する。
　2)[(b)(2)置換]：共仕・標仕の当該項のうち(b)(2)号の規定を特仕の当該規定と置換する。
　3)[付加]：共仕・標仕の当該項の規定に特仕の当該規定を追加する。
　4)[(c)付加]：共仕・標仕の当該項のうち(c)号の規定に特仕の当該規定を追加する。
　5)　[追補]：共仕・標仕にない項目を新規追加する(新設の章・節・項)。
d. 特仕において、共仕または標仕などの項番号を引用する場合は、“共仕[○.○.○]”、“標仕[○.○.○]”などと表記する。
e. 共仕、標仕及び特仕において、共仕または標仕の項番号などを引用している場合で、引用された共仕または標仕の規定に対して特仕で追加、読替えなどを行っている場合は、それらも併せて適用する。
f. 特記事項に示す(表・・)(図・・)の番号は、共仕または標仕の当該表または図の番号を表す。

着工	2009_06_01	. .	
竣工	2010_08_18	. .	
監理		. .	
施工		. .	[redacted]

第1編　第1章　一般事項

1節　総則

1.1.1 置換 適用範囲
a. 共仕及び標仕は、建築物などの新築及び増築にかかわる建築工事に適用する。
b. 設計図書に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、請負者の責任において履行すべきものとする。
c. 標仕の[2章]以降の各章は、共仕[1章]と併せて適用する。
d. 標仕の[2章]以降の各章において、一般事項が[1節]に規定されている場合は、[2節]以降の規定と併せて適用する。
e. 契約図書は、次のとおりとし、相互に補完するものとする。ただし、契約図書間に相違がある場合の優先順位は、次の(1)から(11)の順番のとおりとし、これによりがたい場合は、共仕[1.1.7]による。
　(1)工事請負契約書
　(2)民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款　平成19年版(以下、工事約款という)
　(3)質問回答書((4)から(10)に対するもの)・追加変更指示書
　(4)見積要項書・現場説明書
　(5)特仕
　(6)建築物解体工事特記仕様書(以下、解体特仕といい、解体工事が伴う場合に適用する)
　(7)設計図
　(8)日建設計　提出書類作成要領・請負者検査要領08
　(9)共仕(1章のみを適用する)
　(10)標仕(1章は適用しない)
　(11)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　建築物解体工事共通仕様書　平成18年版(以下、解体共仕といい、解体工事が伴う場合に適用し、1章は適用しない)

1.1.2 付加 用語の定義
a. 特仕、共仕及び標仕において用いる用語の意義は、共仕[1.1.2]に定める用語の意義のほか、次による。
　1)「提出」とは、請負者等が書類・図面・見本などを、日付を明記し請負者等押印のうえ、監理者に提出することをいう。
　2)「報告」とは、請負者がその責任において調査、計画、立案、選択または実施した内容を、監理者に書面をもって通知することをいう。
　3)「材料」とは、工事に使用する機器・材料・製品を総称していう。
　4)「自主検査」とは、工事の各段階で、材料または施工などについて、請負者等自らが設計図書等との適否を判断することをいう。
　5)「請求・支払に伴う検査」は、現場監理組織の監理者による「竣工検査」と監理者の本社などの検査要員による「完成検査」からなる。
　6)「設計図書」とは、1.1.1eに示す(3)から(11)のいずれか、またはその総称をいう。
　7)「製造者」「製作者」とは、工事に組み込まれる機器・材料・製品などを製造・製作している会社などをいい、共仕及び標仕における「製造所」「製作所」はそれぞれ「製造者」「製作者」に読み替えるものとする。
　8)「施工図等」については、共仕[1.1.2(15)]に定める意義によらず、次による。
　「施工図等」とは、請負者等が作成する施工図、現寸図、工作図、製作図その他これらに類するものをいう。
b. 発注者は、工事請負契約書に記名押印した監理者の委任を受けて監理者の業務を代理して行う者を請負者に通知する。

1.1.3 付加 官公署への届出手続等
a. 工事の各段階に必要な官公署その他への各種申請または届出の種別・手続・時期などを、あらかじめ調査し、一覧表を作成して監理者に提出する。
b. 施工に直接必要な官公署その他への手続は遅滞なく行うほか、発注者などが行う手続に協力し、必要により監理者が指示する場合は、これを代行する。
c. 工事の各段階に必要な官公署その他関係機関の立会検査や審査のうち、発注者が申請者となるもの(以下、法定検査という)について、その種別・手続・時期・実施内容などをあらかじめ調査し、一覧表を作成して監理者に提出する。法定検査には、次を含む。
　建築基準法に基づく中間検査及び完了検査
　消防署長の検査
　(　　)
d. 建築基準法87条の2による昇降機設備の確認申請は、次による。
　・日建設計が建築主の代理者として行う。ただし、これにかかわる検査に要する費用は、請負者の負担とする。
　※昇降機設備工事専門工事業者が建築主の代理者として行う。ただし、確認申請書において「代表となる設計者」及び「その他の設計者」は次による。申請及びこれに係る検査に要する費用は、請負者の負担とする。
　代表となる設計者　設備工事専門工事業者(「作成した設計図書」は、昇降機設備に係る設計図書)
　その他の設計者　株式会社日建設計(「作成した設計図書」は、建築物に係る設計図書)

1.1.5 付加 設計図書類の取扱い
a. 設計図書は、主要な部位・事項についての設計意図を示すものであり、必ずしも工事の完成に必要なすべての情報を網羅するものではない。
b. 請負者は、設計図書に示された情報をもとに、製造者などの特定を経て、工程や下地などを考慮のうえ、責任を持って生産設計、製作、施工を行い、工事の適切な遂行と完成に必要なすべてのものを供給する。

1.1.6 付加 別契約の関連工事
a. 別に定めのない限り、関連工事の請負者に対し、次のものについて便宜を供与する。これらに要する費用の負担は、当該工事の請負者と協議する。
　1)関連工事を行う場所への出入り及び安全管理。
　2)足場・運搬設備・揚重設備・工事用電力・工事用給排水などの利用。
　3)障害となる仮設物の取除き、貫通孔などの設置、ボルト・インサートなどの取付け。
　4)関連工事用の機器・材料の取込みに必要な搬入口・通路などの設置・確保。
b. 施工図・施工計画書などの作成に際し、関連工事との取合い・納まりなどについて十分調整する。

1.1.7 付加 疑義に関する協議等
a. 設計図書の訂正または変更を行う場合の措置は、1.1.13による。
b. 設計図書における疑義は、工事請負契約締結前に質問回答書などをもって解決済みとみなす。工事請負契約締結後に共仕[1.1.7(a)]の疑義などが発見された場合、原則として請負代金額の増額及び工期の延長は、行わない。

1.1.13 追補 設計変更
a. 共仕[1.1.7(a)]ただし書きに該当しない設計変更にかかわる工事は、監理者の指示によって行う。
b. 前a号の場合において請負代金額の変更を伴う場合は、そのつど施工に着手する前に請負代金額の増減を明示した請負代金増減内訳書(以下、増減内訳書という)を提出し、監理者の承認を受ける。
c. 前b号の増減内訳書における工事単価は、見積要項書に別の定めのある場合を除き、工事請負契約時の単価とする。

1.1.14 追補 工事に付帯する作業・材料
a. 本工事を完成させるために本工事に付帯して当然必要な軽微な工事・作業・機器・材料などは、設計図書に記載がない場合でも本工事に含む。
b. 本工事を完成させるために必要な次の工事及び費用は、請負代金額に含まれる。
　1)施工・材料及び製品の検査・試験(支給材料、貸与品の場合の検査・試験を除く)、見本などの作成、検査に要する費用
　2)敷地周辺における本工事の障害となるものの移設と復旧
　3)工事期間中の官公署その他関係機関の手続及びその費用
　4)工事用機器、材料などの取入れに必要な搬入口及び通路の設置とそれに伴う補強、復旧・後片付け

1.1.15 追補 監理者の承認・検査・試験など
a. 機器・材料・施工・工事についての施工図等・見本などに対する監理者の承認は、次による。
　1)監理者の承認は、請負者による品質管理・確認の適正さを確認するために行うものである。
　2)監理者の承認は、請負者から提出された施工図等・見本などに示される範囲の内容に対してなされる。
　3)施工に用いられた、または工事目的の物に組み込まれた製品についての施工図等・見本などに対する監理者の承認は、その外観や請負者から提出される情報に基づいてなされる。
b. 機器・材料・施工・工事に対する監理者の検査または試験は、次による。
　1)監理者の検査または試験は、工事請負契約及び設計図書に基づいて、請負者等による品質管理・確認・自主検査の適正さを確認するために行うものである。
　2)監理者の検査は、立会により、または請負者等の自主検査記録・工事写真その他の審査などの合理的方法により行う。なお、監理者の立会検査は、原則として抽出により行う。
　3)施工に用いられた、または工事目的の物に組み込まれた製品に対する監理者の検査または試験は、その外観や請負者等から提出される情報・各種記録に基づいてなされる。
c. 前a・b号にかかわらず、機器・材料・施工・工事が工事請負契約・設計図書に適合しない場合は、その修補などの責は請負者にある。
d. 前a・b号にかかわらず、施工に用いられた、または工事目的物に組み込まれた製品の欠陥、もしくはこれに類する原因による品質上・性能上・安全上の不具合がある場合は、その修補などの責は請負者にある。

1.1.16 追補 書類の電子情報化など
a. 監理者に提出する書類(図面を除く)のうち、監理者の指示するものは、監理者と協議のうえ指定のコンピュータソフトにより作成し、CD-Rなどの電子的媒体による文書データを添えて提出する。
b. 施工図等や完成図を作成するために設計図のCADデータを利用する場合は、監理者に申し出て、株式会社日建設計と貸与についての契約を別途取り交わす。なお、貸与された設計図のCADデータの著作権は、株式会社日建設計に帰属し、これを目的外に利用してはならない。

1.1.17 追補 建物経年調査
a. 工事目的物を発注者へ引き渡したのち、工事請負契約書に定める瑕疵担保の期間内に、監理者の指示に基づき工事全般について瑕疵及び損耗に関する調査を行う。なお、調査の回数は、見積要項書による。
b. 前a号の調査の実施時期及び具体的な実施要領は、請負者等が立案し、発注者及び監理者と協議する。
c. 調査終了後速やかに調査の結果を記録し、監理者に提出する。
d. 前a号の調査の結果、工事目的物に瑕疵が認められた場合は、請負者等は監理者と協議のうえ、速やかに工事請負契約に基づいて適切な対応を行う。

2節　工事関係図書

1.2.1 [(a)置換] 実施工程表
a. 工事の着手に先立ち、または着手後速やかに実施工程表を作成し、監理者に提出する。監理者は、実施工程表に問題があると認められる場合は、発注者及び請負者等にその旨を報告・通知する。
　実施工程表は、着手から完成に至る工事全般の手順と日程の計画を表したもので、本工事の工程のほか、次の内容を記載する。
　1)主要な総合図、施工図、施工計画書などの作成・提出・承認の日程
　2)官公署その他の関係機関への届出など手続の日程
　3)建築主事・所轄消防署その他の関係機関による中間検査など関係法令に基づく官公署の諸検査の日程
　4)完成時の諸検査の日程
　5)部分使用・部分引渡の日程及び関係する諸検査の日程
　6)出来高予定
　7)関連工事の主要な工程
　8)その他、工事の進行に関係する重要事項(受電、実験、主要な材料の見本決定など)
b. 実施工程表に変更の必要が生じた場合は、関連工事の工程と調整のうえ、速やかに修正実施変更工程表を作成し、監理者に提出する。監理者は、修正実施変更工程表に重大な問題があると認められる場合は、発注者及び請負者等にその旨を報告・通知する。

1.2.2 付加 施工計画書
a. 総合施工計画書は、工事全体を通じて請負者等が行う工事組織の編成と運用、工事環境の整備と維持、工事請負契約に基づく監理者への対応などについて、本工事の固有の条件に適応した具体的な方策を定めたものとし、「提出書類作成要領」により作成する。また、監理者が監理方針書を提示した場合は、それに基づいたものとする。
b. 工種別の施工計画書は、「提出書類作成要領」により作成し、監理者に提出する。このうち設計図書に定めるもの、あるいは監理者の指示するものについては、監理者の承認を受ける。
c. 施工計画書について、設計図書に定められた品質が確保できないおそれがあると明らかに認められる場合には、監理者は、請負者等にその旨を助言し、発注者に報告する。
d. 施工要領書は、請負者等が機器・材料製造者、専門工事業者などと協議のうえ、施工計画書記載の各項目を実行するための詳細要領を定めたもので、監理者が指示した場合は、これを監理者に提出する。

1.2.3 付加 施工図等
a. 施工図等の作成に先立ち、「提出書類作成要領」により総合図を作図し、監理者に提出する。
b. 総合図の作成に先立ち、基本的納まり、特殊な納まり、関係工事などとの調整を必要とする事項、その他監理者の指示する事項について、基準施工図を作成し、監理者の承認を受ける。
c. 施工図の作成は、総合図及び基準施工図に基づき、また「提出書類作成要領」による。
d. 監理者の指示する現寸図・型板などは、施工に先立つ適切な時期に作成し、監理者の承認を受ける。
e. 模型・モックアップ・モデルルームの作成、見本施工・先行施工は、次による。これらは、施工に先立つ適切な時期に実施し、監理者の承認を受ける。
　1)模型の作成
　※しない　する(・設計図による　・　　)
　2)モックアップの作成
　※しない　する(・設計図による　・　　)
　モックアップとは、工事目的物のある部分の設計内容を確定するための実物大模型または縮尺模型のことをいう。使用材料は、本設と同じでなくてもよく、監理者との協議による。また、設置場所についても監理者との協議による。
　3)モデルルームの作成
　※しない　する(・設計図による　・　　)
　モデルルームとは、設計品質を確定するために工事目的物のある一室または室の一部を試作することをいい、原則として仕様は設計図書による。設置場所については、監理者との協議による。モデルルームは、本設として使用しない。
　4)見本施工
　※しない　する(・設計図による　・　　)
　見本施工とは、工事目的物のある部分を、その施工方法、取合い、出来ばえなどを確認するために、承認された施工図・施工計画書のとおりに施工することをいう。
　場所・仕様については、本設と同じとするが、見本施工は、原則として本設として使用しない。

[(b)、(c)置換]

1.2.4 付加 工事の記録
a. 検査、試験または設計図書に定められた確認などを行った場合は、終了後速やかに記録を作成し、監理者に提出する。
b. 立会による監理者の検査または施工、試験などへの監理者の立会を受けた場合は、終了後速やかに記録を作成して監理者に提出し、控えに監理者の押印を受ける。
c. 書類などの審査による監理者の検査を受けた場合は、その終了後速やかに当該書類などの控えに監理者の押印を受ける。

1.2.6 追補 工事着手時・工事期間中の提出書類
a. 工事の着手・進行に当たり、監理者に提出する書類の種別・内容・書式などは「提出書類作成要領」による。

2節　工事関係図書

1.3.1 付加 施工管理
a. 監理者が監理方針書を提示した場合は、それに基づいて工事監理及び施工管理を行う。

1.3.2 電気保安技術者 [付加]
a. 電気保安技術者
　※適用する　・適用しない
b. 電気主任技術者
　※選任しない(不必要または発注者が選任)
　・請負者が工事中の必要な時期に選任する

1.3.4 付加 施工条件
a. 施工時間などは、次による。
　1)設計図書または工事現場近隣の住民との間で交わされる工事に関する協定(以下、近隣協定という)に、作業内容、作業日・時間などについての定めがある場合は、それを遵守する。
　2)休日・祝日または夜間に施工を行う場合は、あらかじめ理由を付した書面によって監理者に通知する。
b. 前a号及び共仕[1.3.4(a)]以外の施工条件は、次による。
　※なし　・あり(　　)

1.3.6 付加 製造者及び専門工事業者の選定
a. 機器・材料製造者及び専門工事業者は、設計図書に記載されたものの中から選定し、選定届を監理者に提出する。
b. 特別の理由により設計図書に記載された機器・材料製造者や専門工事業者以外のものを選定する場合は、選定された機器・材料製造者や専門工事業者の能力・経歴などを証する資料を監理者に提出し、監理者の承認を受ける。
c. 設計図書に製造者名の記載がない機器・材料で、設計図書に製造者の条件が示される場合は、これに適合する製造者を選定して、条件に適合することを証明する資料を監理者に提出し、監理者の承認を受ける。
d. 設計図書に専門工事業者名の記載がない工種について、設計図書で「専門工事業者による」としている工種のものについては、選定について監理者と協議する。

1.3.8 建材の処理等
a. 引渡を要するもの　※なし　・あり(　　)
b. 特別管理産業廃棄物　※なし　・あり(　　)
c. 汚染土壌　・なし　・あり(　　)
　・請負者が土壌調査を行う(　　)
d. 再利用を図る発生材
　※建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律による特定建設資材廃棄物
　・
　[付加]
e. 再資源化を図る発生材
　※建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律による特定建設資材廃棄物

1.3.10 付加 災害時の安全確保
a. 災害、公害または事故のおそれがある場合は、速やかに適切な処置を講じ、直ちにその経緯を監理者に報告する。

1.3.12 付加 事
a. 既存施設部分、工事目的物の施工済み部分などが汚染・損傷を受けた場合は、速やかに監理者に報告し、復旧方法について監理者と協議のうえ、復旧する。

1.3.13 付加 後片付け
a. 工事の完成に際しては、請求・支払に伴う検査共仕[1.5.3](電気)、共仕[1.5.4](機械)までに次の損傷復旧などを行う。
　1)工事に伴い損傷を生じた既存の施設・工作物・樹木などは、原状に復旧する。
　2)工事目的物の施設または設備の一部を工事用に使用した場合は、設計図書の定める条件のとおりに復旧する。

1.3.14 追補 現場代理人・監理技術者など
a. 工事の着手に先立ち、建設業法に基づく現場代理人及び同法に基づく有資格者である監理技術者または主任技術者を選任する。
b. 現場代理人・監理技術者または主任技術者は、原則として本工事に専任とし常時現場に臨むものとする。
c. 現場代理人は、次の資格を有する者とする。

1.3.15 追補 指示・承認・協議の手続
a. 監理者の指示は、監理者の押印のある書面でこれを受け、控えに請負者等が押印のうえ監理者に提出する。監理者の指示が口頭による場合は、その内容を記録して監理者に提出し、控えに監理者の押印を受ける。
b. 監理者の承認を受ける必要のある書類・図面・見本などは、その旨を表示して監理者に提出し受領印を受ける。受領印を受けたのち1週間以内に訂正または保留に関する監理者の指示がない場合は、提出された書類・図面・見本などは監理者の承認を受けたものとする。
c. 監理者と協議した事項は、協議の経緯及び結果を記録して監理者に提出し、控えに監理者の押印を受ける。

1.3.16 追補 会議など
a. 監理者が指示する各種会議または打合せに出席する。出席者については、監理者と協議のうえ選任する。また、会議場所・会議用機材・会議用資料を提供するなど、その開催に協力する。
b. 監理者の指示により、特殊な技術を必要とする工事についての技術検討を行うため、各種の専門部会を設け、施工図等や施工計画に関する技術的な検討を行い、検討結果を工事に反映する。専門部会には、必要に応じて、請負者の本社などの技術部門に属する専門家や専門工事業者の技術者を加える。
c. 前a・b号の会議または打合せを行った場合は、終了後速やかに記録を作成し、監理者に提出する。
d. 定例会議などにおいて、予定されている作業内容・スケジュール及び予測される事故とその予防策などについて、発注者などの確認を受け、その内容を工事関係者に周知徹底する。

1.3.17 追補 識別
a. 機器・材料・製品などの誤用・混用を防止するための識別管理を行う。また、検査・試験の実施状況、不適合製品についても識別管理する。
b. 識別管理が必要な対象と管理の方法について、あらかじめ監理者に報告する。

1.3.18 追補 トレーサビリティ
a. 工事目的物に組み込まれた機器・材料・施工などについて、その履歴、使用または所在をたどるためにトレーサビリティ管理を行い、その記録を監理者に提出する。

5)先行施工
※しない　する(・設計図による　・　　)
先行施工とは、工事目的物のある部分を、その施工方法、取合い、出来ばえなどを確認するために、他の同様部分の着手に先立って、承認された施工図・施工計画書のとおりに施工することをいう。先行施工された部分は、原則として本設として使用する。
f. 総合図・施工図等・模型・モックアップ・見本などを監理者に提出するに当たっては、あらかじめ、それらの内容を設計図書と十分照合し、それらが設計図書に適合していることの確認を、請負者の責任において確実に行う。
g. 施工図調整係員を、次により置く。
※請負者の判断と責任により、適切な者を必要な人数置く。
・　　名以上。本工事に類似の工事での施工図調整経験が豊富な者で、原則として一級建築士の資格を有する者とし、本工事に専任とする。

着工	2009_06_01	. .	
竣工	2010_08_18	. .	
監理		. .	
施工		. .	[redacted]

完成図　空 - S01

[redacted]

. . .

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

特記仕様書(1)

空
41 － 1

NO. 0－060186－D

本業務においても適用（仕様書も併せて参照すること）

720×500

1	特記仕様書(2)	——

b. トレーサビリティ管理は、設計図書に定めのあるもののほか次の条件に同時に該当する機器・材料・施工などについて行う。その対象と管理方法については、あらかじめ監理者と協議のうえ定める。
1) 識別記録がなければ履歴や使用部位がたどれないもの
2) 不具合が発生した場合、工事目的物の品質に重大かつ広範囲の影響を及ぼすおそれのあるもので、手直し・取替えが困難なもの

1.3.19 追補 測定機器及びモニタリング機器の管理
a. 検査・測定・試験などの測定及びモニタリングに使用する機器のうち、管理が必要な対象機器とその管理の方法について、あらかじめ監理者に報告する。
b. 前 a 号に該当する機器は適正に維持・管理・校正し、その記録を監理者に提出する。
c. 監視及び測定に使用する機器が、公的試験所またはこれに準ずる試験所の管理の下にある場合は、前 a 号による管理方法の報告及び前 b 号による記録の提出を省略することができる。

4節 機器及び材料

1.4.1 付加 環境への配慮
a. トルエン・キシレンなど厚生労働省指針値の揮発性有機化合物含有量調査のため、監理者の指示する材料について、製品安全データシート(MSDS)、放散量測定報告書を事前に監理者に提出する。
b. 工事に使用する材料は、アスベストを含有しないもの(含有率＝0%)とする。　アスベスト無含有製品がない場合は、発注者・監理者と協議する。
c. 前 b 号に関連して、耐火材・板状製品・床材など及び監理者の指示する材料については、製品安全データシート(MSDS)を事前に監理者に提出する。

1.4.2 付加 機材の品質等
a. 設計図書が準拠した日本工業規格(以下、JISという)、日本農林規格(以下、JASという)、その他規格類、官公署及び電力・ガス・水道などの供給会社の各種規格などは、最新のものを適用する。
b. 設計図書において機器・材料の品質が明示されていない場合は、適切な品質の機器・材料とし、監理者と協議のうえ決定する。
c. 機器・材料に関する設計図書の記載に「同等」「程度」などとある場合は、選定された機器・材料が品質及び性能を有することの証明となる資料を監理者に提出し、監理者の承認を受ける。
d. 設計図書において指定された機器・材料が入手困難な場合は、前 c 号により監理者の承認を受けたうえで、それと同等以上の品質・性能を有する代替品を使用することができる。
e. 共仕[1.4.2(b)]及び前 c 号において、建築材料・設備機材など品質性能評価事業及び公共住宅用資機材品質性能評価事業の確認を受けた機器・材料については、当該評価書の写しを“品質及び性能を有することの証明となる資料”とみなす。
f. JIS Q 1000(2005)による自己適合宣言をつけられた機器・材料・製品は、JISのマーク表示のあるものとはみなさない。

1.4.4(電気) 1.4.5(機械) 機材の検査等 付加
a. 機器・材料は、現場に搬入した時点あるいは必要に応じて製作工場における製造または組立が完了した時点で、種別ごとに自主検査を行い、検査記録を監理者に提出する。
b. 量産品あるいは標準品で実測値などが整備されているものは、性能表または能力計算書など性能の証明となるものの確認をもって前 a 号の検査とすることができる。
c. 配線・配管・小型器具・雑材料その他の軽微なものは、こん包などの表示による材質・呼称寸法などの確認をもって前 a 号の検査とすることができる。
d. 監理者が指示する機器・材料の自主検査には、監理者の立会を受ける。
e. 設計図書に監理者の検査の定めがある場合、前 a 号の検査に合格後、検査記録を提出し、監理者の検査を受ける。なお、監理者の検査に必要な資機材・労務などを提供する。
f. 機器・材料・製品などに対する監理者の検査が海外において行われる場合、それに必要な発注者及び監理者の交通費・宿泊費などの実費は、請負者がこれを負担する。
g. 前 e 号の検査の結果に疑義が生じた場合は、監理者と協議する

1.4.5(電気) 1.4.6(機械) 機材の検査に伴う試験 [付加]
a. 機器・材料の試験及び施工検査に伴う試験は、次の場合に行う。
1) 設計図書に定められた場合
2) 試験によらなければ設計図書に定める品質または性能・機能に適合することが証明できない場合
[付加] b. 前a号の試験の結果に疑義が生じた場合は、監理者と協議する。
[付加] c. 供試体の製作要領は設計図書の定めによる。ただし、定めがない場合は、監理者の承認を受けた方法による。
[電気(d)置換] [機械[付加]] d. 試験を公的試験所またはこれに準ずる試験所で行う場合を除き、試験には監理者の立会を受ける。ただし、あらかじめ監理者の指示を受けた場合は、この限りではない。なお、監理者の立会に必要な資機材・労務などを提供する。

1.4.7(電気) 1.4.8(機械) 支給材料・貸与品 付加
a. 支給材料、貸与品
※なし　・あり(　　)
b. 支給材料、貸与品の請負者等による受入検査
※なし　・あり(次による)
支給材料、貸与品の引渡に際しては、請負者の責任において、その種別・数量・品質・性能を確認のうえ、受け入れる。
c. 支給材料、貸与品の請負者等による試験
※なし　・あり(　　)
d. 当該工事の施工後、支給材料の使用個所・数量・残量を監理者に報告し、残材の処置方法について監理者の指示を受ける。
e. 支給材料、貸与品の支給時期、品質または設計図書に示された条件への適合性に疑義がある場合は、速やかに監理者に報告し、処置方法について監理者の指示を受ける。

1.4.8(電気) 1.4.9(機械) 材料の検査に伴う不適合の管理・是正処置 追補
a. 検査・試験などにより不合格となった機器・材料などについては、その処置の手順をあらかじめ定め、それにより管理する。
b. 不適合製品の処置において、規定の品質に合致しないが、特定の逸脱範囲内にあるものを限られた部位・数量について使用する場合(特別採用という)は、監理者の承認を受ける。
c. 発生した不適合製品について、同一場所または同様の場所における再発を防止するため、不適合の原因を除去する是正処置を講ずる。品質に重大な影響を及ぼす可能性のあるもの、または監理者の指示するものの是正処置の方法については、あらかじめ監理者に報告する。

1.4.9(電気) 1.4.10(機械) 海外調達 追補
a. 海外製の機器・材料・製品などを使用する場合は、あらかじめ、それらが日本国の関係法令に適合し、設計図書に定められた品質・性能を有していることを証明する資料を監理者に提出し、監理者の承認を受ける。ただし、支給材料または貸与品の場合は、この限りでない。
b. 海外製の機器・材料・製品などを使用する場合は、それらの完成後の不具合は瑕疵として扱い、請負者の責任において対応する。この場合の瑕疵期間は、10年とする。ただし、支給材料または貸与品の場合は、この限りでない。
c. 設計図書に指定された海外製の機器・材料・製品などが所定の品質・性能に適合しないと認められる場合、または前 b 号の保証に耐えるものではないと認められる場合は、速やかにかに監理者と協議し、代替品などの処置につき監理者の指示に従う。

5節 施工

1.5.2(機械)(電気なし) 技能士 付加
a. 技能士の適用は次による。

1.5.2(電気) 1.5.3(機械) 一工程の施工の確認及び報告 付加
a. 自主検査における確認項目及び検査記録の書式については、あらかじめ監理者と協議のうえ決定する。
b. 工種ごとの施工が終了したときは、設計図書の定めまたは監理者の指示がある場合、その施工についての報告書を監理者に提出する。

1.5.3(電気) 1.5.4(機械) 施工の検査等 付加
a. 施工に対する監理者の検査は、共仕[1.5.2](電気)、共仕[1.5.3](機械)による施工の確認(自主検査)に合格後、検査記録を監理者に提出し、これを受ける。なお、監理者の検査に必要な資機材及び労務などを提供する。
b. 監理者の検査の結果、修正が必要であると指摘された個所がある場合は、監理者の指示により速やかに修正し、監理者の再検査を受ける。
c. 前 a 号の監理者の検査の結果に疑義が生じた場合は、監理者と協議する。
d. 自主中間検査
※請負者の判断・社内規定などにより、必要に応じて行う
・次により行う
契約内容の履行を確実なものにするために、監理者の指示する時期に、請負者の本社などの検査要員(現場関係者を除く)による自主中間検査を行い、関係法令または設計図書に適合しない個所などがある場合は、速やかに補正を行ったうえで、監理者に報告する。
e. 工事期間中における、関係法令などに基づく官公署その他関係機関の検査や審査については、工事の内容が関係法令や設計図書に適合していることを事前に確認し監理者に報告のうえ、適切な時期にこれを受ける。このうち、1.1.3 c による法定検査(発注者が申請者になるもの)については、手続を代行し、その検査・審査に必要な書類・資機材・労務その他を提供し、検査・審査に立ち会うなど、受検に協力する。検査・審査後は、記録を作成し、監理者に提出する。手続を代行する場合は、その経緯を適宜監理者に報告する。手数料など法定検査に要する費用は、請負代金額に含まれる。
f. 前 e 号の検査・審査の結果、不合格の個所または指摘を受けた個所がある場合は、監理者と協議のうえ、速やかに修補または改造し、関係機関に対して必要な手続を行い、その結果を監理者に報告する。この補修または改造に要する費用は、請負者の負担とする。

1.5.5(電気) 1.5.6(機械) 施工の立会等 付加
a. 監理者が指示した場合には、監理者の立会に代えて工事写真などの記録を整理して監理者に提出する。

1.5.7(電気) 1.5.8(機械) 化学物質の濃度測定 付加
a. 建築物の室内空気中に含まれる揮発性有機化学物質などの濃度測定、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室及び測定個所数は、意匠図特記仕様書第27章による。
b. 施工中における接着剤などの有機溶剤や使用材料相互の干渉による発生臭気について、臭気のおそれのある場合は、事前に臭気測定計画書を監理者に提出のうえ、施工中の必要な時期に監理者の立会のもとに測定を行い、その結果を発注者、建築物管理者及び監理者に報告する。測定方法は、携帯型臭いセンサーによる簡易測定程度とし、測定対象室、測定個所数及び判定基準は次による。
測定対象室(　　)
測定個所数　※各対象室の中央部1カ所
判定基準(6段階表示法による臭気強度)　・1.0以下　※2.0以下

1.5.8(電気) 1.5.9(機械) 工法などの選定 追補
a. 設計図書に記載のない施工の手段・手法については、請負者の責任においてこれを決定し、その内容を監理者に報告する。
b. 関係法令などにより特定の基準によって施工することが定められている場合は、これに従う。
c. 支給材料、貸与品の場合を除き、選定された機器・材料・工法などが第三者の特許権・実用新案権、意匠権、商標権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利(以下、特許権などという)に抵触する場合は、工事約款及び見積要項書の定めによるものとし、あらかじめこれらの権利に対して必要な手続を経たのちに採用する。万一、第三者の権利を侵害するようなことが生じた場合は、請負者の責任において解決する。

1.5.9(電気)追補 1.5.10(機械) プロセスの妥当性確認 追補
a. 事後の検査・試験では結果が十分に検証できない工程については、認定された者が認定された設備を使用して、定められた方法及び手順により作業を行い、その工程を監視・管理し、記録を監理者に報告する。
b. 前 a 号の対象となる工程は鉄筋の圧接、鉄骨の溶接のほか、建築物の性能に重大な影響を及ぼすおそれがあるものが該当し、対象となる工程を要員、設備、方法・手順及び管理の方法と併せて、あらかじめ監理者と協議のうえ定める。

1.5.10(電気) 1.5.11(機械) 施工の検査に伴う不適合の管理・是正処置 追補
a. 施工の検査に伴う不適合の管理・是正処置は、1.4.8(電気)、1.4.9(機械)に準じて行う。

6節 請求・支払に伴う検査

1.6.1 付加 請求・支払に伴う検査
a. 工事の完成に当たって、請負者等の自主検査を行ったうえで、請負者の本社などの検査要員(現場関係者を除く)による自主検査を行い、関係法令または設計図書に適合しない個所などがある場合は、速やかに補正を行ったうえで、監理者に報告する。なお、事前に自主検査計画書を監理者に提出する。
b. 前 a 号の報告ののち、監理者の竣工検査を受ける。
c. 関係法令などに基づく官公署その他関係機関の検査については、前 b 号の検査に合格したのち、下記 e 号の完成検査に先立つ適切な時期にこれを受ける。このうち、1.1.3 c による法定検査(発注者が申請者になるもの)については、手続を代行し、その検査に必要な書類・資機材・労務その他を提供し、検査・審査に立ち会うなど、受検に協力する。検査・審査後は、記録を作成し、監理者に提出する。手続を代行する場合は、その手続の経緯を適宜監理者に報告する。手数料など法定検査に要する費用は、請負代金額に含まれる。
d. 前 b・c 号の検査の結果、修正が必要であると指摘された個所がある場合は、監理者の指示により速やかに修正し、監理者の再検査を受けるとともに、官公署その他関係機関に対し必要な手続を行う。
e. 前 a・b・c・d 号の各検査の結果、すべての工事が完了していること、及び設計図書と契約条件並びに関係法令などの規定に適合していることが確認されたのち、監理者の本社などの検査要員(現場関係者を除く)による完成検査を受ける。
f. 前 e 号の検査の結果、修正が必要であると指摘された個所がある場合は、監理者の指示により速やかに修正し、監理者の再検査を受ける。
g. 完成時の諸検査の日程・方法については、関連工事との調整を行い、必要により関連工事の請負者同席のうえ、協同して検査を受ける。
h. 工事の完成に際し、すべての機器及び装置について、原則として試運転調整を完了した状態で、請負者等による次の検査・試験を行う。また、検査結果について報告書を監理者に提出し、監理者の承認を受けたうえで監理者の竣工検査を受ける。
1) 外観検査(出来形検査)：目視・聴音または手で触るなどにより、各機器・装置が設計図書に示す構造・材料・安全・耐久・保守・衛生などについての要求に合致することを確認する。
2) 個別性能機能検査：次により各機器及び各装置の個別の性能・機能を設計図書と照合し、その適合性を確認する。
イ. 機能検査：運転、作動状態での試験に先立ち、通水・通気・通電などの試験を行う。次に各機器・装置の単体の動作試験を行い、運転状態及び各種動作が正常であることを確認する。
ロ. 性能検査：各機器・装置の単体の性能が、設計図書に定められた流量・圧力・温度・電圧・電流などと合致することを確認する。
ハ. 水質検査：飲料水は、完成引渡までに公立の保健所または試験所に依頼し、水質基準に適合することを確認する。
3) 総合性能機能検査：複数の工種にまたがって性能・機能を発揮する機器・装置について関連工事の請負者と協同して総合的な性能機能検査を行い、その適合性を確認する。主な確認項目は、次による。なお、検査に先立ち検査計画書を作成し、監理者の承認を受ける。
イ. 全停電・復電総合検査
ロ. 防災総合検査
ハ. タンク・水槽関連総合検査(設備工事のみ)
ニ. 自動制御総合検査(設備工事のみ)
ホ. 中央監視盤総合検査
ヘ. 総合運転による騒音・振動が許容範囲内であることを確認
ト. 完成時の室内環境を測定し、設計図書に定めるとおりであることを確認
チ. セキュリティシステムが設計図書に定めるとおりに作動することを確認
リ. その他、監理者の指示する検査
4) 完成後の性能機能検査：建築物の完成時期などにより、工事完成までに確認できない機器能力及び室内環境などについては、完成引渡後1年以内の夏季及び冬季で気象条件などが設計条件に近い日を選び測定し、設計図書に定める性能・機能・室内環境との適合性を確認する。完成引渡後に確認が必要な機器能力、室内環境などの性能機能検査については、完成引継書　の一部として性能機能検査の項目と方法、検査スケジュール、検査体制を記載した完成後の性能機能検査計画書案を作成し提出する。実施に当たっては事前に発注者および監理者の承認を受ける。性能機能検査を実施後、速やかに監理者に報告し、監理者の検査を受ける。
5) BEMS(エネルギー管理システム)、FMS(ファシリティ管理システム)などの検査
6) 重要諸室機能検査：冷房・暖房機能について、関連機器及び各装置の性能・機能を設計図書と照合し、設計条件相当の負荷(模擬負荷)による測定を行い、その適合性を確認する。この適用は、次による。
冷房性能測定　※行わない　・行う(対象室：　　)
暖房性能測定　※行わない　・行う(対象室：　　)
i. 監理者の指示により、発注者の検収を受ける。

1.6.2 追補 部分使用
a. 工事期間中に発注者による工事目的物の部分使用がある場合は、当該部分について、共仕[1.5.3(電気)、1.5.4(機械)]に定める監理者による施工の検査及び共仕[1.6.1]に準じた諸検査を受ける。部分使用に関して必要な官公署その他への手続については、発注者に協力する。

7節 完成図等

1.7.1 完成時の提出図書
a. 工事完成時の提出図書
※完成図
※保全に関する資料
※竣工写真
※次に示す施工図
※電気、機械、昇降機、機械式駐車設備施工図の一式　・
※次に示す施工計画書など
※設備施工計画書一式　・
※その他「提出書類作成要領」に示す図書
[付加] b. 工事完成時に提出する図書類の種別・内容・書式・提出部数などは、「提出書類作成要領」による。
[付加] c. 工事関係図書を整理のうえ、次により発注者に提出するとともに、工事完成引渡後も自ら保管する。
1) 提出・保管する工事関係図書
※施工図等
※すべて　・監理者の指示する施工図等　・
※施工計画書、施工要領書、試験計画書
※すべて　・監理者の指示する施工計画書など　・
※検査記録
工事中のすべての請負者等・監理者・官公署による検査などの記録を含む
※施工報告書、試験報告書
※工事写真
2) 保管期限(工事完成引渡日から起算)
※15年　・
3) 提出・保管媒体
※デジタル画像データ(TIFFなど)　・原本(　　)
[付加] d. 前 a・c 号により発注者に提出された図書などの著作権にかかわる当該建築物に限定する使用権は、発注者に無償で委譲するものとする。

1.7.2 [付加]] 完成図
a. 完成図は、完成した工事目的物に関する情報を整理・記録し、完成時の状態を表現したものであり、工事目的物の維持保全管理及び将来の改修・増改築などのための基本情報として使用することを目的として作成する。
[付加] b. 完成図の種類については、意匠図特記仕様書1.7.2による。

1.7.3 保全に関する資料
a. 共仕[1.7.3(a)]電気(1)～(5)、機械(1)～(7)のほか、保全に関する資料として、次のものを監理者に提出する。
※保証書(原本)
※保守及び緊急連絡先
※機器類操作点検など等取扱引継書
※監理者の指示する機器完成図
※敷地境界立会記録
※地中仮設残存物記録
※設備関係測定報告書
⊙保全マニュアル
⊙長期修繕計画書
b. 保全に関する資料の部数などは、「提出書類作成要領」による。
[付加] c. 次に該当する建築物部位・設備・部品などについては、建築物の利用・維持管理・保全に関する説明書及び機器取扱い説明書を作成し、監理者に提出のうえ、発注者または発注者の指定する建築物管理者などに対して取扱い説明を行う。取扱い説明が完了した場合は、その記録を添えて監理者に報告する。
1) 特殊な操作を必要とするもの
2) 特殊な手入れを必要とするもの
3) 使用上・保全上特別な注意を必要とするもの
4) 専門業者への保全管理委託を必要とするもの
5) 定期的に状態や機能を点検する必要があるもの
6) 経年劣化などにより更新・取替えなどが必要なもの
7) その他事故、早期の損耗・劣化などを避けるために必要と思われるもの

着工	2009_06_01	. .	
竣工	2010_08_18	. .	
監理		. .	
施工		. .	[redacted]

完成図　空 - S02

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

. . .

特記仕様書(2)

空 41 － 2

NO. O－060186－D

ここに示す新築時の仕様と同等以上の仕様となるよう更新すること

添付図M-03

720×500

1	特記仕様書(3)	——

1.7.4(電気)
1.7.6(機械)
竣工写真 追補

a. 竣工写真の提出は、「提出書類作成要領」によるほか、次による。

種類	提出部数	提出カット数		備考
		外観	内部	
※カラープリント	提出書類作成要領による	10カ所	20カ所	サイズなどは提出書類作成要領による
・カラースライド	部	カ所	カ所	
※デジタル画像データ	カラープリントと同じとする	カラープリントと同じとする		データの解像度・ファイル形式などは下記 c 号による

b. フィルムカメラを使用した場合、カラープリントは、リバーサルフィルムダイレクトプリントとする。
c. デジタル画像データなどは、次による。
解像度　キャビネ判フルカラー400dpi(長辺方向2,600pixel)以上
ファイル形式　※TIFF(圧縮　LZW)　・JPG(圧縮　最高画質)
カラーモード　RGB
記録媒体　CD-R
フォルダ形式及びファイル名は、監理者の指示による
通し番号と標題を記した写真一覧表のExcelなどのデータを添付する
d. フィルムカメラを使用した場合、ネガフィルムの提出は、次による。
※提出しない　・提出する(監理者の指示する写真　枚)

1.7.5(電気)
1.7.7(機械)
鍵合せなど 追補

a. 鍵合せ・各種計量器確認などを行う。その日程・方法は監理者と協議のうえ決定する。監理者の立会については、監理者の指示による。
b. 鍵の提出に当たっては、鍵に整理札を付け、それに整合した建具配置図及び鍵明細書とともに、鍵箱に整理・収納して発注者に提出する。

1.7.6(電気)
1.7.8(機械)
引渡 追補

a. 共仕[1.6.1]に定める請求・支払に伴う検査終了後、設計図書に定める各種の図書類・物品またはこれに代わる目録を添えて、発注者に工事目的物を引き渡す。なお引渡は、監理者の立会のもとに行う。
b. 工事目的物の引渡に際して提出する予備材料・備品・工具などは、次による。
・空気調和機用フィルター、エアクリーナー用フィルター、ダンパーヒューズ
・制気口フィルター、薬注装置の薬剤

1.7.7(電気)
1.7.9(機械)
部分引渡 追補

a. 部分引渡を行う場合は、完成時に適用される諸規定を準用する。その手順の詳細については、監理者と協議のうえ決定する。

1.7.8(電気)
1.7.10(機械)
完成引渡後の検査・調査 追補

a. 完成引渡後でなければできない請負者の自主検査などで、必要により監理者の指示する事項については、瑕疵期間内の監理者の指示する時期に検査・測定・調査などを行い、その結果を発注者、建築物管理者及び監理者に報告する。
b. 工事目的物の完成引渡後、設備機器などについての1年間の運転実績を測定・調査し、その結果を整理・考察のうえ、発注者、建築物管理者及び監理者に報告する。本号の適用は、次による。
※行わない
⊙次の項目について行う
⊙年間1次エネルギー消費量
⊙年間電力消費量と内訳
⊙年間ガス消費量と内訳
・年間油消費量と内訳
⊙年間給水量と内訳
・新技術導入の効果(　)
・その他(　)

機械設備工事特記仕様書

基本要求品質

章・節・項	項目	特記内容

基本要求品質 付加

a. 空気調和設備工事は次の基本要求品質を満たしているものとする。
1) 使用状態において、安定した運転ができ、高効率を維持できること。
2) 規格などで効率の規定のあるものは、その規定値以上の効率を維持できるものであること。
3) 室内の温度、湿度を適正に維持でき、制御対象の効率の向上が図れる設備であること。
4) 使用材料、構造などは衛生上無害なものであること。
5) 構造、材質、部材厚などは十分な強度と耐食性があること。
6) 必要に応じ防振・防音処理がなされ居住者に不快感を与えない構造であること。
7) 装置は十分な防火性能を有し、かつ取り扱う爆発性または可燃性物質に対し安全であり、取り扱い上危険のない構造であること。
8) 通常の使用状態、予想される圧力の変動、膨張、異常高温、低温その他の変動に対し、安全な設備であること。
9) 地震力に対して破損や変形がなく、また安全のために必要な緊急停止機構を備えていること。
10) 地震・風力などの異常時の外力や振動、ウォーターハンマーなどの力に対し十分耐えるように据え付け、取付けられていること。
11) 適切な運転・保守が行われた場合、十分な耐久性を有すること。
12) 日常の保守・点検及び故障時の対処が危険を伴わず容易にでき、そのための保守スペースが確保されていること。
13) 見え掛り部分は、所要の仕上り状態であること。

b. 配管工事は次の基本要求品質を満たしているものとする。
1) 使用状態において十分な耐圧、機械的強度のある接合であること。
2) 流体の流れが円滑で、漏洩がなく水質汚染の起こらない構造であること。
3) 機器の高効率の運転ができるように配管抵抗が少なく、整然と配置された管路であること。
c. 保温工事は次の基本要求品質を満たしているものとする。
1) 周辺の環境並びに使用目的に応じ結露及び凍結防止ができること。
2) 経済的範囲内で、熱放散が防止できること。
3) 使用目的に応じ、高温部の危険防止ができること。
4) 環境上・衛生上無害であること。
d. 塗装、防錆工事は次の基本要求品質を満たしているものとする。
1) 周辺の環境並びに使用目的に応じた耐久性・防湿性・防火性を有する塗膜であること。
2) 環境条件に対して十分な防錆・防食・耐火性能のあること。
3) 保守及び緊急時に対処の便利なように識別・表示されていること。
4) 危険物などの法で定められた個所及び危険な個所は明瞭に表示されていること。

第2編　共通工事

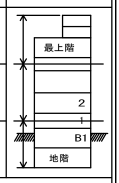
第1章　一般事項

章・節・項	項目	特記内容

1.1.3 追補
耐震の基準

a. 耐震クラス
※ 高さが60m以下の建築物に設置される各種の設備は、その設置階と耐震クラスに応じて表2.1.1に示す標準震度の地震力に対し重大な被害が生じない措置を行う。なお、耐震クラスの設定は表2.1.2による。
※ 高さが60mを超える建築物及び免震構造の場合は、地震時における建築物の振動特性に応じた力に対し重大な被害が生じない措置を行う。
※ 耐震の措置は、原則として日本建築センター「建築設備耐震設計施工指針」2005年版に準拠して行う。
※ 機器本体の耐震性能は、製造者により確認されているものとする。

表2.1.1　建築設備機器の設計用標準震度(Ks)と耐震クラス

機器の設置階	建築設備機器の耐震クラス			適用階の区分
	耐震クラスS	耐震クラスA	耐震クラスB	
6、7階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.0	
2～5階	1.5	1.0	0.6	
地階及び1階	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)	

(　)内の値は、地階及び1階(地表)に設置する水槽の場合に適用する。
設計用水平震度K_H=Z·Ksで求める(Z：地域係数、通常は1とする)。
設計用鉛直震度$K_V=1/2K_H$　とする。

●上層階の定義
・2～6階建ての建築物では、最上階を上層階とする。
・7～9階建ての建築物では、上層の2階を上層階とする。
・10～12階建ての建築物では、上層の3階を上層階とする。
・13階建て以上の建築物では、上層の4階を上層階とする。
●中間階の定義
・地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階を中間階とする。
●適用の原則
1. 通常の建築一般設備は、クラスB
ただし、防振装置付きの機器は、クラスA
2. 重要性が高い用途と指定された建築に設けられる設備は、クラスA
また、通常の建築でも特に指定した設備については、クラスA
この場合、防振装置を設けた機器類は、クラスS
3. 特に重要度が高いと指定した設備・機器は、クラスS

表2.1.2　耐震クラス

建築設備機器の耐震クラス		
耐震クラスS	耐震クラスA	耐震クラスB
	排煙ファン	一般設備

1.1.4 追補
許容騒音の基準

a. 室内許容騒音
建築物の使用用途に応じた防振・防音の措置を行う。室内の許容騒音は下記の数値以下とする。
対象は事務室・会議室等の一般居室とする

室名	NC値		
	低	中	高
事務室	35	40	50

b. 敷地境界での許容騒音
当該地区の基準値は以下とする。
昼間(8～20時)　65　dB(A)
朝・夕(6～8時・20～22時)　55　dB(A)
夜間(22～6時)　50　dB(A)

1.1.5 追補
機器・器具の配置

a. 配置
※ 機器・器具は、性能や機能を満足するように整然と配置し、操作・点検を要するものは操作の容易な位置に設け、保守のために必要なスペースを確保する。
※ 保守・点検の困難な場合は、架台やタラップを設けるなど保守の容易なように措置を講ずる。
※ 機器・器具は、建築意匠と調和をとるほか、石、タイルなどの仕上材の目地割りや他の機器・器具との関係を考慮し、かつ法規上の必要な寸法を確保する。
※ 室内器具の標準取付け位置は、標準図による。

1.1.6 追補
基本設計条件

a. 温湿度条件その他　設計外気、室内温湿度条件などは表2.1.4のとおりとする。

表2.1.4　温湿度条件等

	温湿度条件	空気清浄度
外気	(夏)　35.1℃DB　27.2℃WB (冬)　2.2℃DB　−0.7℃WB	
標準室内(実験室を除く)	(夏)　26±3℃ (冬)　22±3℃　40～60%RH	浮遊粉塵量0.15mg/㎥以下

第2節　電動機及び制御盤

1.2.1 付加
電動機
b. 誘導電動機の形式　※ 400V級電動機は絶縁強化型とする。

1.2.2 [付加]
制御及び操作盤
a. バイパス回路
※ インバーター故障時の直送バイパス回路を設ける。
※ インバーター本体に組み込まれた電解コンデンサー及び冷却ファンは単体で取替えが可能な形式とする。

第3節　総合調整

1.3.2
総合調整
a. 総合調整項目
⊙風量調整　⊙水量調整
⊙室内外空気の温湿度測定
⊙騒音測定　⊙振動測定

第4節　シックハウス対応　追補

1.4.1
室内空気質対応に関連する法令・基準の適用
a. 法令・基準の適用
※建築基準法
・住宅の品質確保の促進等に関する法律
・学校環境衛生の基準
・その他(　)
b. 室内濃度
※居室の室内空気質における揮発性有機化合物の室内濃度は厚生労働省の指針値をクリアする。
・その他(　)
c. 対応を行う範囲
※適用法令などによる範囲
・その他(　)

1.4.2
室内設備関連工事におけるシックハウス対応
a. 枯らし運転
※室内における配管類、盤、機器などの塗料及び接着剤は、露出隠ぺい部分ともにホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含まないものとする。また、接着剤に含まれる可塑剤は、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルなどを含有しない難揮発性のものとする。やむを得ずこれらを含むものを使用する場合は、その使用量が最小限に抑えられたものとし、十分に枯らし期間を設け、換気するなどの措置をとる。
・その他(　)

1.4.3
施工中の措置
a. VOC低減の措置
※施工中、通風・換気(機械換気などを含む)を行い、ホルムアルデヒド、VOCの放散を促進させる。また、必要によりVOC低減のため適切な改善措置を講ずる。
・その他(　)

1.4.4
測定濃度値と引渡条件
a. 引渡条件
・測定化学物質濃度がすべて指針値以下であることを、引渡条件とする。測定化学物質濃度のいずれかが指針値を超える場合、低減対策を施した後、再測定して、すべての濃度が指針値以下であることを確認し、引渡を行う。
※引渡条件としない

1.4.5
塗料
a. 塗料
※屋内に用いる塗料は、水性系でホルムアルデヒドの放散量等級がF☆☆☆☆のものとする。またトルエン、キシレン、エチルベンゼンは放散しないか、放散がきわめて少ないものとする。やむを得ず、これらの物質を含むものを使用する場合は、その使用量が最小限に抑えられたものとし、十分に枯らし期間を設けるなど、改善措置を講ずる。
・その他(　)

1.4.6
接着剤
a. 接着剤
※各所に用いる接着剤は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含まないものとする。また接着剤に含まれる可塑剤は，フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性のものとする。ただし、設計図または特仕の指定によりエポキシ樹脂系接着剤を使用する場合は、これらの物質の使用量が最小限に抑えられたものとし、十分に枯らし期間を設けるなど改善措置を講ずる。
・その他(　)

1.4.7
内装施工後の室内空気質測定
a. 測定の要否　※行う(建築工事)　・行わない
b. 実施時期
※完成引渡の1カ月前
・別途工事の家具備品などの搬入前
・別途工事の家具備品などの搬入後
c. 報告書部数　※3部　・　部
d. 測定対象物質　※ 測定対象物質と測定個所は次による

測定物質	測定個所　計　カ所
※ホルムアルデヒド	測定室名：
※トルエン	
※キシレン	
・エチルベンゼン	
・スチレン	
・パラジクロロベンゼン	
・	

e. 採取・測定方法
・拡散型(パッシブ)サンプラーを用いた測定方法による。測定方法の詳細は、設計図に添付する「揮発性有機化合物濃度測定要領」による。
※採取方法を含め厚生労働省「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」による。

1.4.8
改善措置
a. 改善措置
※ホルムアルデヒド、VOCなどの室内濃度測定の結果、建築物の要求品質をクリアできていない物質がある場合は、発注者及び監理者と協議のうえ、指針値クリアを達成するまで24時間換気運転をする。またホルムアルデヒド、VOCなどを吸着または除去する材料を用いるなどの方法により、適切な改善措置を講ずる。

第2章　配管工事

章・節・項	項目	特記内容

第1節　配管材料

2.1.2
管及び継手
a. 管材

(空調用)

用途		管材料	備考
冷温水		⊙配管用炭素鋼鋼管　(白管) ・圧力配管用炭素鋼鋼管　(白管) ・一般配管用ステンレス鋼管	 STPG 370 Sch40 SUS 304
冷却水		⊙配管用炭素鋼鋼管　(白管) ・圧力配管用炭素鋼鋼管　(白管) ・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・フランジ付き硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・一般配管用ステンレス鋼管	 STPG 370 Sch40 SGP−VA SGP−FVA SUS 304
冷媒		・銅及び銅合金継目無管 ⊙保温付き被覆銅管	 空調機製造者標準※注1
給水	一般部分	⊙水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・フランジ付き硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・一般配管用ステンレス鋼管 ・水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 ・フランジ付きポリエチレン粉体ライニング鋼管	SGP−VB SGP−FVA SUS 304 SGP−PA SGP−FPA
排水	蒸気加湿の排水	⊙配管用炭素鋼鋼管　(白管)	
	室外機ドレン管	⊙水道用耐熱性硬質塩化ビニル管	HTVP
	室内機ドレン管	⊙硬質塩化ビニル管	VP
高温水	太陽熱温水熱源水など	⊙一般配管用ステンレス鋼管	SUS 304

注1)　ガス管は保温被覆厚を20mmとし、液管を10mmとする。

第2節　配管付属品

2.2.1
一般用弁及び栓
a. 弁の使用区分

系統名	弁名称	寸法区分	規格	耐圧
冷温水 冷却水	仕切弁	50A以下	青銅ねじ込み型仕切弁(JIS B2011)	JIS10K
		65A以上	ねずみ鋳鉄弁(JISB2031)	JIS10K
	バタフライ弁	100A以上	ウェハー形ゴムシートバタフライ弁(JISB2032)	JIS10K
給水	仕切弁	50A以下	青銅ねじ込み型仕切弁 管端コア内蔵型	JIS10K
冷温水 冷却水	逆止弁(ポンプ逆止弁は衝撃吸収式)	50A以下	青銅ねじ込み形スイング逆止め弁(JIS B2011)	JIS10K
		65A以上	ウェハーチャッキ弁	JIS10K

[付加] b. バタフライ弁
※ バタフライ弁の弁体はステンレス鋼製とし、FC、FCD製への変更は不可とする。
※ 配管系が10Kを超える場合はバタフライ弁の採用を不可とする。
※ 季節切替えの開閉や流量調整などに用いるウェハー形ゴムシートバタフライ弁は、弁体ステンレス鋳鋼製、開度表示付き(冷温水用は保温代を見込んだもの)で、ウォームギア式とする。

2.2.6
伸縮管継手
a. 鋼管用伸縮管継手の種別
・スリーブ形　⊙ベローズ形
・単式　⊙複式

2.2.7
防振継手
a. 防振継手の種別
⊙ベローズ形(SUS製)　○合成ゴム製

2.2.8
フレキシブルジョイント
a. フレキシブルジョイントの種別
⊙ベローズ形(SUS製)　○合成ゴム製(水用)

着工	2009.06.01	
竣工	2010.08.18	
監理		
施工		[redacted]

完成図　空 - S03

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

空　41 － 3

特記仕様書(3)

NO. 0－060186－D

1	特記仕様書(4)	——

章・節・項	項目	特記内容
2.2.11.1 水及び蒸気用	a. Y形ストレーナー	※ 呼び径65mm以上のY形ストレーナーには、清掃時水抜き用の弁を設ける。
2.2.14 量水器	a. 方式	⊙パルス発信式
2.2.23	a. 材料・形式など	※標仕どおり ・次を適用
第4節 配管施工の一般事項		
2.4.1 一般事項	a. 建築物導入部配管	不同沈下対策を行う配管 ・対象配管
	b. 機器接続部の配管	※ 機器接続部の金属材料と配管材料のイオン化傾向が大きく異なる場合(鋼とステンレス、鋼と銅など)は、絶縁継手を使用し絶縁を行う。 機器と配管材との絶縁必要個所及び絶縁継手の仕様 ・対象機器 継手仕様
[付加]	c. そのほか一般事項	※ 立て管には偏心オフセットを避ける。やむを得ずオフセットを設ける場合は、継手部に応力が掛かり強度低下することのないように支持を行う。 ※ 床を貫通する場合、スリーブは床上100mmまで立ち上げる。 ※ 地下階外壁面には、支持用の埋込みボルトを取り付けてはならない。 ※ 配管終了後はピグを使用するか洗浄により管内の清掃を行い工事中の塵埃を除去する。ストレーナーの内部金網のメッシュ数を順次変えて行う。 ※ 弁及びフランジの多い配管はその重量を考慮して支持を追加する。 ※ 配管の水圧試験には、水道事業者の供給する水を使用する。やむを得ずそのほかの水を使用する場合は監理者の承認を受ける。 ※ 機器周りの配管は、その荷重・振動・伸縮などによる過大な応力が掛からないように組み立てる。
[付加]	d. 機器との接続	※ 膨張管は、温水管と同質の配管材料を使用し、管には弁を設けてはならない。
[付加]	f. ポンプ周りの配管	※ ポンプ廻りの配管ほかは次による。 1)ポンプ吐出側の仕切弁の高さは床上1.2～1.5mとし、ポンプが複数の場合は高さを統一する。取付け高さが1.5mを超える場合は操作のための架台を設ける。 2)ポンプ吸込み側が負圧となる場合は次に注意する。 イ. 吸込側の配管はポンプに向かって1/100以上の勾配とし、空気溜まりが生じないようにし、ポンプ吸込み口径より大きい場合は、接続する管と吸込み口の上辺をそろえる。 ロ. ポンプの吸込圧力が低下し、キャビテーションなどの支障を来すことのないように、ポンプの配置及び配管を行う。 ハ. 仕切弁は負圧とならない位置で弁棒が水平となるように設ける。 3)計器の取付け高さは床上1.5～1.8mとする。やむを得ずその高さに取り付けられない場合は、45度傾斜形または隔測形(導管のある形)などを使用して見やすいように取り付ける。
2.4.2 付加 冷温水及び冷却水配管	a. 支持	※ 冷水･冷温水管は超難燃性樹脂の支持受けを介し、標仕[表2.2.19]に表す位置のほか、曲がり部及び分岐部で支持を行う。
2.4.7 付加 給水配管	a. 枝管の取出し	※ 枝管の取出しは、上方向に給水する場合は上取出し、下方向に取り出す場合は下取出しとする。
2.4.8 付加 排水及び通気配管	a. 一般事項	※ 空調ドレン横走り配管は先下り勾配1/100以上を確保し、中だるみのないように支持する。通水テスト及び清掃が可能なように要所に掃除用プラグを設ける。 ※ ドレン配管用継手は及びTY形排水管継手を使用し､45度WY継手､90度WY継手を使用してはならない。 ※ 天吊形または壁掛形機器の場合は、室内ユニットのドレン出口と横走り管とは50mm以上差をつけて接続する。やむを得ずドレンアップによる場合は、ドレンアップ管をドレン横走り主管に接続する。 ※ 空調ドレン管の最終端末は、二重トラップとならないようにウォーターベストを設け、湧水ピットに放流する。
第5節 管の接合		
2.5.15 硬質塩化ビニル管	a. 接合方法	※接着接合 ・ゴム輪接合

第3章 保温、塗装及び防錆工事

章・節・項	項目	特記内容
第1節 保温工事		
3.1.1 一般事項	a. 保温の指定	特記仕様書(5)に記載
	b. 寒冷地の適用	⊙寒冷地の適用なし
[付加]	f. ダクトの保温範囲留意事項	※ ダクトなどの保温の範囲は次のとおりとする。 1)屋外開口部からチャンバーを含み2mの範囲は保温する。 2)外気取入れダクト(換気用給気ダクトを含む)及び付属品の保温の範囲は次のとおりとする。 イ. 屋外開口部からチャンバーを含み2mまでの外気取入れダクト ロ. 空調する室内・廊下及びその天井裏を通過する外気取入れダクト ハ. 受変電設備、発電機、操作盤などの上部を通過する外気取入れダクト ニ. 多湿個所室内及びその天井内を通過する外気取入れダクトなお、寒冷地仕様(適用は特記による)では、上記イを下記ホとし、ヘを追加する。 ホ. 屋外開口部から空気調和機・換気ユニット・換気ファンなどの機器までの外気取入れダクト ヘ. 換気のない倉庫・廊下・機械室・DSなどの非空調の室内及びその天井裏を通過する外気取入れダクト 3)全熱交換器及び顕熱交換器に接続されるダクトの保温の扱いは次による。 イ. 外気側の熱交換前のダクトは「外気取入れダクト」とし、熱交換後のダクトは「空調用ダクト」とする。 ロ. 排気側の熱交換前のダクトは「還気ダクト」とし、熱交換後のダクトは「排気用ダクト」とする。
	g. 多湿個所	・浴室 ・厨房 ・シャワー室 ⊙実験室内
	h. 機器の保温範囲	次の機器は保温を行う。 ・ポンプ( ) ・送風機( ) ⊙屋外設置のポンプ
[付加]	i. プレート形熱交換器の保温	※ 温水用プレート形熱交換器は保温を行う。
[付加]	j. 管などの保温範囲留意事項	冷却水配管の保温の範囲 ・年間運転冷凍機冷却水配管の屋外 ・井水利用の屋内外 ・フリークーリング運転を行う屋内 ※ 下記の配管・弁・フランジは、保温を行う。 1)温水管で、屋内及び暗渠内の各種装置廻りの配管、伸縮管継手、フレキシブルジョイント等は保温を行う。 2)各種タンク類のドレン管の屋外充水部は保温する。
[付加]	l. 屋外露出部分の保温材	※ 冷水管・冷温水管・冷媒管の屋外露出部分の保温材は、ポリスチレンフォームとする。
	m. 機器の保温外装	⊙ステンレス鋼板 ・カラー亜鉛鉄板
[付加]	n. 機器の保温外装	※ 貯湯タンク、ストレーナーなど定期的に内部検査及び清掃を行う機器のラッキングは、取外しが容易な構造とする。 ※ 屋上の冷媒管は、保温化粧ケース(高耐蝕鋼板製化粧ケース)とする。
3.1.6 保温材の厚さ	a. 寒冷地仕様など	・
[付加]	b. 保温材の厚さ	※ 結露防止のための保温材は、表2.3.1の条件により、表面に結露を生じさせない厚さのものとする。
	c. 冷媒管	ガス管は保温被覆厚を20mmとし、液管を10mmとする。 冷媒保温外装は断熱材被覆銅管を使用し、外装はポリエチレン強化アルミ箔(バロン 裏貼)とする。

表2.3.1 結露防止の条件

	一般の場合	多湿個所の場合
周囲温度	30℃	30℃
関係湿度	85%RH	90%RH
表面の熱伝達率	8.1W/㎡・K	8.1W/㎡・K

※ 凍結防止のための保温材の厚みは、周囲温度-5℃、最初の管内水温5℃で管内の水が5時間静止の場合に、管内水温を0℃まで低下させないものとする。
※ 防凍保温材の厚みは、配管呼び径15で保温材厚み90mm、径20で厚み75mm、径25で厚み60mm、径32以上では厚み50mmとする。
※ 高温部の危険を防止するための保温材の厚みは、保温材の表面温度を40℃以下にするものとする。

章・節・項	項目	特記内容
第2節 塗装及び防錆工事		
3.2.1 塗装	b. 指定色塗装	・ファンコイルユニット ・コンベクター ・タンク、ヘッダー類 ⊙吹出口、吸込口
	c. 塩害地域	⊙塩害地域の指定なし
	f. 塗装の範囲	屋外露出部とは、3.1.1lに準じる。 保温を施さない亜鉛めっきされた露出ダクトや露出配管で、塗装を行う範囲 ・B2～P1F設備バルコニー ・P1F ドレン配管
3.2.2 防錆	a. エポキシ樹脂コーティングなどの乾燥方法	・加熱乾燥 ⊙常温乾燥
[付加]	b. 配管類の防錆・防食	※ 配管類の防錆・防食の基準は、表2.3.3による。

表2.3.3 防錆・防食処理基準(配管類)

個所	管種	防錆・防食基準	摘要
コンクリート中 軽量コンクリート中 床下 暗きょ(トレンチピットを含む)内 二重スラブ内 多湿個所	鋼管(白、黒管) 樹脂ライニング鋼管 鉛管	防食用テープ巻き	外面樹脂ライニング管は接合部を除き不要
地中	鋼管(白、黒管) 樹脂ライニング鋼管	ペトロラタム系防食テープ巻き	外面樹脂ライニング管は接合部を除き不要

注 1)配管類の保温の要否については3.1.4及び3.1.5による。
2)多湿個所は、厨房、浴室、屋内プールなど(天井内を含む)とする。

第4章 関連工事

章・節・項	項目	特記内容
第4節 コンクリート工事		
4.4.1 一般事項	a. 設計基準強度	・
[付加]	b. 基礎の形式及び高さ	※ 基礎の形式及び高さは、表2.4.1による。

表2.4.1 コンクリート基礎の標準高さ(単位mm)

機器名称	基礎標準高さ	基礎標準形式
ポンプ類(給水ポンプユニット含む)	300または150(防振架台の場合)	ベタ基礎
タンク類(受水タンク、高置タンクなど)	600	はり形基礎
貯湯タンク、熱交換器、膨張タンク類	150(ベタ)、300(はり形)	ベタまたははり形基礎
ボイラー類(鋳鋼製、鋼製、電気)	製造者の標準高さまたは200	ベタ基礎
冷凍機(圧縮式、吸収式)	150	ベタ基礎
空気熱源ヒートポンプユニット、パッケージ形空気調和機の屋外ユニット	150(ベタ)、500(はり形) 注1)	ベタまたははり形基礎
冷却塔	500 注1)	はり形または独立基礎
送風機、全熱交換器	150	ベタ基礎
空気調和機(ユニット形、大形パッケージ)	150	ベタ基礎
空気調和機(小形パッケージ、コンパクト形)	100	ベタ基礎
ヘッダー類	300	はり形または独立基礎
制御盤類	100	ベタ基礎

注 1)屋上または防水のある場所での防水層立上り式の場合(空気熱源ヒートポンプユニット、パッケージ形空気調和機の屋外ユニット、冷却塔のはり形基礎)
2)トラップを必要とする機器の基礎高さは、トラップの封水高さを考慮して決定する。

章・節・項	項目	特記内容
第6節 鋼材工事		
4.6.2 置換 材料	a. 屋外などに用いる鋼材	※ 屋外、床下、暗きょ、トレンチなど湿気の多い場所に用いる鋼材は溶融亜鉛めっき(2種35または2種50とし、特記がなければ、2種35とする。)またはステンレス鋼製(SUS304)とする。
	b. 溶融亜鉛めっきの種別	屋外部に用いる溶融亜鉛めっきの種別 ※2種35 ・2種50

第3編 空気調和設備工事

第1章 機材(個々の機材に関する特記は機器リストに記載する)

章・節・項	項目	特記内容
第3節 冷凍機		
1.3.6 直だき吸収冷温水	a. 適用	⊙ヘビーロード仕様
第6節 冷却塔		
1.6.2 冷却塔	b. 騒音値	日本冷却塔工業会低騒音基準値以下と ⊙する ・しない
	e. 水槽	⊙FRP製 ・硬質塩化ビニル板製 ・ステンレス鋼板製 ・鋼板製
	f. 塗装	⊙製造者標準色 ・指定色
	g. 付属品	⊙安全点検歩廊 ・排気ダクト(H=) ・防雪フード ・凍結防止ヒーター ⊙薬注装置 ⊙空気取入れ口防虫網付き ⊙ファンカバー ⊙散水槽用カバー ⊙ベルトカバー ・コイル自動エア抜き弁及び排出弁(密閉式冷却塔の場合) ⊙タラップ背かご
	h. 防振装置	⊙防振スプリング ・防振ゴム ・防振パッド
第7節 空気調和機		
1.7.1 ユニット形空気調和機		
1.7.1.1 構成	a. 構成	⊙全熱交換器付き
1.7.1.5 [付加] エリミネーター	a. 材質	※ エリミネーターの防水板及び取付枠はSUS304とする。
1.7.1.7 [付加] 送風機	a. 電動機	※ 送風機が2台以上並列設置される場合は、共通軸(カップリング接続を含む)とし、電動機は1台を原則とする。
1.7.1.9 [付加] 断熱材	a. 断熱材の押さえ	※ 送風機の全静圧が1,500Paを超える送風機セクションはさらにアルミ製有孔板(開口率25%以上)で押さえる。
1.7.1.10 塗装	a. 塗装	※製造者標準 ・指定色
1.7.1.12 付属品	a. 防水電灯	※送風機6,000 ㎥/h以上の空気調和機のケーシング内部天井には防水電灯(110V、60W白熱灯、ガラスグローブ、ステンレスガード付き、防水形)を取り付け、外部にはパイロット付き点滅スイッチを設ける。
	b. 防振装置	・防振パッド ・防振ゴム ⊙防振スプリング
[付加]	c. エアフィルター差圧計	※ 差圧計を設ける。
1.7.2.2 構成	a. 構成	・全熱交換器付き
1.7.2.3 ケーシング	a. ケーシング	・鋼板 ・亜鉛鉄板 ・電気亜鉛鉄板 ⊙溶融アルミニウム－亜鉛鉄板 ※同上のサンドイッチパネル
1.7.2.8 送風機	a. 風量調整機構	※製造者標準 ・指定色
1.7.2.11 断熱材	a. 配管の保温	※ 空調機内の冷水配管、冷温水配管はポリスチレンフォームによって保温を行う。
1.7.2.12 塗装	a. 塗装	※製造者標準 ・指定色
1.7.2.14 付属品	a. 防振装置	⊙防振スプリング ・防振ゴム ・防振パッド
[付加]	b. 付属品	※ 1.7.1.12に準ずるほか、次による。 電動二方弁を本体ユニットに組み込む場合は、電動弁の故障時に手動操作を可能とし、ストレーナー1個を取り付ける。
1.7.6 ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機	a. 能力条件	※冷房能力、暖房能力はJIS B 8616による。 上記条件でない場合は次のように特記する。
1.7.6.19 冷媒	a. 冷媒	⊙ R-410A ・R-407C
1.7.6.23 付属品	a. 防振装置	⊙防振スプリング ・防振ゴム ・防振パッド ・防振スプリングハンガー
第8節 空気清浄装置		
(共通事項)	a. 鋼材防錆仕様	※製造者標準 ・耐塩害仕様 ・耐薬品( )仕様
[付加]	d. 付属品	※ フィルター交換時期の出力(中央監視盤へ) 予備品は以下の通りとする. 脱臭フィルター、プレフィルター、活性炭フィルター、集塵セル
第11節 送風機		
1.11.1 遠心送風機	c. 塗装	※製造者標準色 ・指定色
	e. 留意事項	※ 片吸込形No.3以上の電動機の極数は、送風機の回転数に応じて6極または4極を選択するものとし、原則として回転比は2:1以下とする。 ※ 注油式の場合は、外部より容易に注油できる措置を講ずる。 ※ 遠心送風機には、清掃用に点検口(No.3以上)や水抜き口を設ける。
第12節 ポンプ		
(共通事項)	a. 防振装置	・防振パッド ・防振ゴム ⊙防振スプリング ・空気ばね
	b. 塗装	※製造者標準色 ・指定色
	c. 電動機	・2極 ※4極
第13節 タンク及びヘッダー		
1.13.1 [付加] 一般事項	a. 取付座長さ	※ 各種タンク、熱交換器、ヘッダーの配管接続口及び温度計などの取付座は、断熱厚さを見込んだ長さとする。
1.13.5 開放形膨張タンク	a. タンク材質	・鋼板製溶接加工 ⊙ステンレス鋼板製(SUS444)
	b. 鉄はしご	⊙付属する。
[付加]	c. 付属品	※ 付属品として液面計1組を備える。
第14節 ダクト及びダクト付属品		
1.14.2 ダクト用材料		
1.14.2.7 追補 ガスケット	a. ガスケットの仕様	※ フランジ用ガスケットは、十分な機能を有するもので厚さ3mm以上(コーナーボルト工法の場合は5mm以上)とし国土交通大臣認定品とする。
1.14.2.8 追補 塩化ビニル鋼板	a. 材質	※ JIS K 6744のB種SGまたはC種SG(両面被覆)とする。
1.14.4 [付加] フレキシブルダクト	a. アルミ製フレキシブルダクト	※ アルミ製は、軟質アルミニウム箔を2枚重ねしたものとする。
1.14.5 [付加] チャンバー	a. 点検口	※ 送風機(No.3または羽根径500mm以上)の吸込みチャンバー、並びに外壁ガラリ接続チャンバーには必要に応じて断熱を施した点検口(原則として300mm×500mm以上)を設ける。
1.14.6 [付加] 吹出口・吸込口ボックス	a. 材質	※亜鉛鉄板製 ・グラスウール製
	b. 風景調整機能	※ 線状吹出口ボックスには風量調整機能を設ける。

着工	2009.06.01	
竣工	2010.03.18	
監理		
施工	[redacted]	

完成図 空－304

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

空 41－4

特記仕様書(4)

NO. 0－060186－D

720 × 500

1	特記仕様書(5)	——

1.14.13 追補 消音フレキ	a.仕様	※ 不燃材料のものとし、呼び径300mm以下、長さ1.5m以下で使用する。

第15節 制気口及びダンパー

1.15.3 吹出口	a.材質	⊙鋼板製 ⊙アルミニウム製
	b.塗装	⊙指定色樹脂焼付け
1.15.3.3 線状吹出口	a.背部シャッター	⊙有 ・無
1.15.4 吸込口	a.材質	⊙鋼板製 ・アルミニウム製
	b.塗装	⊙指定色樹脂焼付け
1.15.5 排煙口	a.連動装置	⊙手動開放形 ・遠方開放形
	b.復帰方式	・手動復帰 ・遠方復帰 ⊙手動及び遠方復帰
	c.表面仕上げ	・製造者標準 ⊙周囲天井材と同一
1.15.6 風量調整ダンパー	b.防食形の使用個所	⊙屋外露出部
1.15.8 防煙ダンパー	a.復帰装置	⊙遠隔復帰(電気式) ・手動復帰
1.15.15 追補 消音装置	a.消音装置の範囲(内貼り)	⊙吹出口 ⊙空調機付属サプライチャンバーの内貼り ⊙空調機周りサプライ ・
	b.材料等	※ 消音材料の使用区分、厚さ及び施工順序は表3.1.19による。 ※ 消音内張用に使用するガラスクロスは、JIS R 3414によるEP18、アルミパンチング板はJIS H 4000、厚さ0.6 ㎜以上とし開口率は30%以上60%以下とする。 ※ 消音材料はガラスクロス巻きとし、小口はクロスを十分折り込み、びょう、平鋼及び接着剤にてはく離のないよう取り付ける。

表3.1.19 消音材料の使用区分、厚さ及び施工順序

消音装置の種類		許容風速m/s	厚さmm	材料、施工順序
タイプA	ダクトライニング エルボ形 セル形 プレート形	7未満	25	1)びょう 2)グラスウール保温板(40k) 3)接着剤 4)ガラスクロス 5)座金(30φ以上)
タイプB	ダクトライニング エルボ形 セル形 プレート形	7以上	25	1)スタッド 2)グラスウール保温板(40k) 3)接着剤 4)ガラスクロス
	チャンバー形 (サプライ・レタン)		25	5)アルミパンチング板 6)座金(30φ以上)及びナット
タイプC	吹出口・吸込口取付け ボックス		20	1)グラスウール保温板(40k) 2)接着剤 3)ガラスクロス

1.15.16 追補 ベントキャップ	a.形状	⊙丸型 ・深型 ・平型
	b.材質	⊙アルミ ・SUS
	c.塗装	⊙指定色
	d.付属品	⊙防鳥網

第2章 施工

章・節・項	項目	特記内容
第1節 機器の据付け及び取付け		
2.1.1 一般事項	a.基礎	
	b.防振装置	※ 運転により振動を発生する機器は、防振装置を介して据え付ける。防振装置の種別については表3.2.1による。 ※ 振動する機器の据付けには二重ナットを用いる。

表3.2.1 防振装置の種別

種別 ＼ 構造		RC、SRC造			S造(S梁を含む)	
		土間	中間階 地下階	屋上	中間階	屋上
冷凍機	吸収式冷温水機	防振なし	A	A	B	B
冷却塔	～1200kW未満	—	—	A	—	B
	1200～3500kW	—	—	B	—	B
ポンプ	～5.5kW	A	B	B	B	B
	7.5～37kW	A	C	C	C	C
送風機 空調機	～No.3 ～5.5kW	防振なし	B	B	C	B
	No.31/2～No.6 7.5～18.5kW	B	C	C	C	C

注1)A：ゴムパッド B：防振ゴムまたはスプリングパッド C：防振スプリング
2)振動源の接する(上下横)室の用途が、ホテル客室・病室・役員室・住戸などの場合は、(防振なし)→(A)、(A)→(B)、(B)→(C)、(C)→(高性能スプリング固有振動数fn=3Hz以下)にそれぞれ読み替える。
3)地下階とは床下ピット(二重スラブ)がある場合を示す。
4)－は設置がないことを示す。
5)ユニット形空調機は送風機セクションに防振装置を設ける。

2.1.16 送風機 [付加]	b.排煙機の熱遮へい	※ 排煙機が他の機器と混在し、他に危険を与えるおそれのある場合は、排煙機を断熱材で囲むなど有効な熱遮へいを施す。
2.1.17 ポンプ	a.振動絶縁効率	※80%以上

第2節 ダクトの製作及び取付け

2.2.1 一般事項	a.空気調和及び換気用ダクト圧力仕様	⊙低圧ダクト
	b.長方形ダクトの工法の適用	・アングルフランジ工法 ⊙コーナーボルト工法
	c.亜鉛鉄板以外のダクト材料の使用範囲	⊙ステンレス鋼板の範囲(S棟の屋外露出ダクト) B1F 特別管理産業廃棄物保管庫系統のダクト(屋上まで) 4F 色染基礎実験室(南)、6F 色染実用化実験室 ⊙塩ビライニングダクトの範囲 B2F 排水処理室、6F 表面処理実験室・耐食性試験室のRAダクト ⊙フレキシブルダクトの使用個所(各1.5m以内) (⊙吹出口周り ⊙吸込口周り)
	[付加] d.ダクト点検口の取付場所	※ 次の個所に点検口(300 ㎜×500 ㎜)を取り付ける。保温のあるダクトは保温効果を減じないよう配慮する。 1)空気調和機、送風機の吐出側及び吸込側に取り付けた内貼りのあるチャンバー 2)送風機の吸込側に取り付けたチャンバー
	[付加] e.施工上の注意	※ 同一シャフト内(各機械室を含む)にダクトと水配管が床を貫通する場合は、立上り付きの鋼製スリーブまたはコンクリートによる立上りを設ける。 ※ 地下階外壁面には支持用の埋込みボルトなどを取り付けてはならない。 ※ 屋外ダクトの場合は、上部に1/50以上の勾配を設ける。
	[付加] f.分岐ダクトの支持	※ 分岐ダクトは、分岐個所から1m以内に1カ所支持する。また、各ダクトの末端部は、1カ所以上支持する。
	[付加] g.ダクトの接続	※ 分岐風量比が30%以上であり、かつ分岐前ダクト長辺が500mm以上の場合は、割込み分岐とする。
2.2.7.3 風量測定口	a.風量測定口などの取付け位置	⊙空気調和機の出入口ダクト直管部 ・給排気ファンの出入口ダクト直管部 ・全熱交換器接続ダクト(天吊り形を除く) ⊙各階への分岐ダクト

第4編 自動制御設備工事

第1章 一般事項

章・節・項	項目	特記内容
第1節 一般事項		
1.1.2 制御方式	a.制御方式	⊙デジタル式

第3章 施工

章・節・項	項目	特記内容
第3節 試験調整等		
3.3.2 総合調整[付加]	a.温湿度測定	※ 気象条件が設計条件に近い日を選び、制御機能が正常に作動し、完成時の室内環境が設計図書と合致するかを確認する。 1)温湿度測定は、夏季及び冬季の2回とし、負荷条件の整った段階で竣工後1年以内に実施する。標準以外の措置を行う場合は記載する。

空調設備概要

2.1 熱源設備
＜冷水・温水系統＞
・外調機の熱源として排熱回収型三重効用ガス吸収式冷温水機を屋上に設ける。
・太陽集熱真空管パネルを設ける。
・各階の機械室に空気調和機を設ける。
・配管方式は冷温水の2管式とする。
2.2 空調設備
＜事務室系統の空調設備＞
・室内負荷はガスヒートポンプエアコンで処理する。
・室外機は屋上の屋外機スペースに設置する。

＜実験室系統の空調設備＞
・ガスヒートポンプエアコンは冷暖切替型とし、一部発電機搭載型とする。
・原則として室内機は天井カセット形とする。
・以下の室の室内機は天井隠蔽ダクト型及び床置ダクト型とする。
1F ナノ構造観察室
1F ナノ表面計測室
1F ナノ表面分析室
・製織実験室の室内機は天井吊型及び天井隠蔽型とする。
・1F企画情報グループ室に集中リモコンを2台設置し、室内機グループごとに発停・温度設定ができるようにする。
2.3 換気設備
・各階機械室に設置した空気調和機で行う。
・便所や湯沸しは、臭気が拡散しないよう、第3種換気とする。
・特殊排気(臭気が強い排気や有害な排気)は屋上まで導き、適切な処理をした上で排気する。
(スクラバーは別途工事とする。)
・特殊排気やドラフトチャンバーの稼動時には、外気をバスダクトにて供給する。
1.3 加湿設備
・蒸気発生器を空気調和機ごとに設置する。
2.4 排煙設備
・機械排煙設備を設ける。
2.5 自動制御
・空調リモコンを各室に設置する。

各用途別保温仕様

用途	場所	保温仕様	保温厚 呼び径 20～25A	32～125A	使用区分
冷温水	屋外露出	1) PF保温筒			
		2) 粘着テープ	20mm	40mm	グラスウール
		3) ポリエチレンフィルム	30mm	40mm	ロックウール
		4) ステンレス鋼鈑	30mm	40mm	ポリスチレンフォーム
	屋内露出 居室 屋内露出 機械室	1) GW保温筒			
		2) 鉄線			
		3) ポリエチレンフィルム			
		4) ポリエチレン強化アルミ箔(バロン、裏貼)			
		5) ビニル亀甲金網(白)			
	屋内隠蔽 PS	1) GW保温筒			
		2) 鉄線			
		3) ポリエチレンフィルム			
		4) ポリエチレン強化アルミ箔(バロン、裏貼)			
		5) 塩ビ亀甲金網(緑色)			
温水 熱源水 温水	屋外露出	1) GW保温筒	呼び径 20～50A		使用区分
		2) 鉄線			
		3) ポリエチレンフィルム	20mm		グラスウール
		4) ステンレス鋼鈑	20mm		ロックウール
空調ドレン	屋内露出 居室 屋内露出 機械室	1) GW保温筒	呼び径 20～65A		使用区分
		2) 鉄線			
		3) ポリエチレン強化アルミ箔(バロン、裏貼)	20mm		グラスウール
		4) ビニル亀甲金網(白)	20mm		ロックウール
	屋内隠蔽 PS	1) GW保温筒			
		2) アルミホイルペーパー			
		3) 塩ビ亀甲金網(黄色)			
	屋内多湿箇所	1) GW保温筒			
		2) 鉄線			
		3) ポリエチレンフィルム			
		4) ステンレス鋼板			
冷媒管	屋内多湿箇所	1) 断熱材被覆銅管	ガス管20mm・液管10mm		
		2) ポリエチレンフィルム			
		3) ステンレス鋼板			
	屋内露出 居室	1) 断熱材被覆銅管			
	屋内露出 機械室	2) ポリエチレン強化アルミ箔(バロン、裏貼)			
		1) 断熱材被覆銅管			
スパイラルダクト	屋内隠蔽	1) GW保温帯(24K)	25mm		
		2) アルミホイルペーパー			
		3) 亀甲金網			
	屋内多湿箇所	1) GW保温帯(24K)	50mm		
		2) 鉄線			
		3) ポリエチレンフィルム			
		4) 鉄線			
		5) ステンレス鋼板			
	屋内露出 居室 屋内露出 機械室	1) GW保温帯(24K)	25mm		
		2) ポリエチレン強化アルミ箔(バロン、裏貼)			
		3) ビニル亀甲金網(白)			
角ダクト	屋内隠蔽	1) 鋲	25mm		
		2) GW保温帯(24K)			
		3) アルミホイルペーパー			
		4) 亀甲金網			
	屋内多湿箇所	1) 鋲	50mm		
		2) GW保温帯(24K)			
		3) アルミホイルフィルム			
		4) 鉄線			
		5) ステンレス鋼板			
	屋内露出 居室 屋内露出 機械室	1) 鋲	25mm		
		2) GW保温帯(24K)			
		3) ポリエチレン強化アルミ箔(バロン、裏貼)			
		4) ビニル亀甲金網(白)			
排煙ダクト 角ダクト	屋内隠蔽	1) アルミガラスクロス化粧 ロックウールフェルト	25mm		
		2) 亀甲金網			
		3) スポット鋲			

※屋内多湿箇所の部屋(4F 色染基礎実験室(南)、6F 色染実用化実験室)

凡例

記号	名称	記号	名称
配管		衛生器具類	
S	低圧蒸気送り管	F	定水位弁
SR	低圧蒸気返り管		ボールタップ
SS	中圧蒸気送り管		散水栓，水栓柱
SSR	中圧蒸気返り管		水栓(水，混合，湯)
CH	冷温水送り管		洗浄弁
CHR	冷温水返り管		シャワー
CD	冷却水送り管	CO	掃除口(床上，床下)
CDR	冷却水返り管	GT	グリーストラップ
H	温水送り管		雑排水ます
HR	温水返り管		汚水ます
R	冷媒管		雨水ます
E	膨張管	T	トラップます
CW	給水管(上水)(CW)		大便器(和風，洋風)
H	給湯送り管(H)		小便器
HR	給湯返り管(HR)		洗面器
	排水管(D)		
	通気管(V)		
X	消火栓管	消火器具類	
XS	連結送水管		
SP	スプリンクラー管		屋内消火栓(放水口付き)
F	泡消火管		屋外消火栓
G	都市ガス管		送水口(双口，単口)
SHS	太陽熱温水送り管		アラーム弁
SHR	太陽熱温水返り管		
HHS	熱源水送り管		
HHR	熱源水返り管		
継手類			
	立上り管，立ち下り管，立管	ガス器具	
	エルボ，ティー		ガス栓(一口，二口，埋込)
	ブラグ	GM	ガスメーター
	フランジふた		
	曲り管，Y管		
弁類			
	弁		
	逆止弁		
	埋設弁		
M	流量計，量水器		
	自動空気抜き弁		
ダクト類			
	ダクト		
SA	給気ダクト		
RA	還気ダクト		
OA	外気ダクト		
EA	排気ダクト		
SM	排煙ダクト		
	給気，外気ダクト断面		
	還気，排気ダクト断面		
	排煙ダクト断面		
	吹出口		
	吸込口		
	排煙口，排煙用手動開放装置		
VD	風量調整ダンパ		
CD	逆流防止ダンパ		
MD	モータダンパ		
FD	防火ダンパ		
SD	防煙ダンパ		
SMD	排煙ダンパ		
	フレキシブルダクト		
	CAV，VAV		
自動制御機器			
T	温度調節器，温度検出器		
H	湿度調節器，湿度検出器		

竣工	2009_06_01	. .	
竣工	2010_08_18	. .	
監理		. .	
施工		. .	[redacted]

平面図 → 平面図　詳細図 → 平面図
8/2 図面番号/整理番号
4/B1F 図面番号/階数表示
符号又は位置 / RG 建 / 他工事区分　(例)リターングリル 別途建築工事
VF 電 / 以後 衛　(例)換気扇 別途電気工事 / (例)以後 別途衛生工事
符号又は位置 / 以後 別 / R 別　以後別途工事 / 冷凍機別途工事

完成図　空 - S05

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

空 41 － 5

特記仕様書(5)・空調設備概要

NO. 0－060186－D

（雲形）本件の更新対象を示す

720×500

1	機器リスト(1)	-

機器番号	機器名称	機器仕様		付属電動機 電源	付属電動機 容量kW	台数	据付位置	備考
RA-S1	吸収式冷温水機	形式	排熱回収型三重効用高効率ガス吸収冷温水機　ヘビーロード仕様（4,000h/年）	3φ-200V	11.7kVA	1	S棟屋上	TTJ-150H
		冷房能力	527 kW （150USRT）					川重冷熱工業㈱
		冷水	15 ℃→ 7 ℃ 流量 945 L/min 圧力損失 100 kPa 以下					
		冷却水						
		排熱回収あり	32 ℃→ 37.2 ℃ 流量 2,500 L/min 圧力損失 76 kPa 以下					
		排熱回収なし	32 ℃→ 36.7 ℃ 流量 2,500 L/min 圧力損失 76 kPa 以下					
		暖房能力	290 kW					
			55.6 ℃→ 60 ℃ 流量 945 L/min 圧力損失 100 kPa 以下					
		燃料	都市ガス 13A （低圧）					
		燃料消費量 排熱回収あり	冷房時 23.5 m3 /h 暖房時 26.4 m3 (N)/h					
		排熱回収なし	冷房時 26.4 m3 /h					
		バーナー形式	低NOXバーナー（02 0% 60ppm以下）					
		容量制御範囲	50 ～ 100 % （比例）					
		設計圧力	冷温水、冷却水 8 kg/cm2					
		耐圧	冷温水 0.8 MPa 冷却水 0.8 MPa					
		付属品	全自動制御盤（遠方発停・運転故障表示端子付）					
			屋外型標準型排気筒（SUS製）、底板、補機インバータ制御、冷温水用高度差圧スイッチ、					
			冷却水用高度差圧スイッチ、全自動抽気（ドライ型）防振装置（防振パッド）、器具ガバナー					
			感震器付ガス遮断弁、煙道ダンパー、その他付属品含む					
CT-S1	冷却塔（RA-S1系統）	形式	開放式冷却塔（超低騒音型）　ファン	3φ-200V	5.5	1	S棟屋上	HT-140MQA-RA
		冷却能力	907 kW 外気 27 ℃WB					三菱樹脂㈱
		冷却水	37.2 ℃→ 32 ℃ 流量 2,500 L/min					
		騒音値	63dB (A)以下 （本体よりルーバー面2mの位置）					
		付属品	薬注装置、薬剤1年分、自動ブロー装置、防振装置（スプリング防振架台）、					
			鋼製架台(溶融亜鉛めっき)、その他付属品含む					
HE-S1	熱源水用熱交換器	形式	プレート式 SUS316製 水-水熱交換器	－	－	1	S棟屋上	TL3-BFG
		交換熱量	16.2 kW					アルファ・ラバル㈱
		一次側	95 ℃→ 87.3 ℃ 流量 40 L/min 圧力損失 98 kPa 以下					
		二次側	86.3 ℃→ 88.7 ℃ 流量 100 L/min 圧力損失 98 kPa 以下					
		設計圧力	5 kg/cm2G					
		耐熱	100 ℃					
HE-S2	温水用熱交換器	形式	プレート式 SUS304製 水-水熱交換器	－	－	1	S棟屋上	T2-BFG
		交換熱量	16.2 kW					アルファ・ラバル㈱
		一次側	95 ℃→ 87.3 ℃ 流量 40 L/min 圧力損失 98 kPa 以下					
		二次側	58.3 ℃→ 60 ℃ 流量 140 L/min 圧力損失 98 kPa 以下					
		設計圧力	5 kg/cm2G					
		耐熱	100 ℃					
EXT-S1	膨張タンク	形式	開放式	－	－	1	S棟屋上	㈱ベルテクノ
	(熱源水系統)	容量	150 L 有効 100 L					
		タンク材質	SUS444製					
		外形寸法	500 × 500 × 600 H					
		鋼製架台	溶融亜鉛メッキ					
		耐震	1 G					
		付属品	電極棒5P、タラップ、その他付属品含む					
EXT-S2	膨張タンク	形式	開放式	－	－	1	S棟屋上	㈱ベルテクノ
	(冷温水系統)	容量	150 L 有効 100 L					
		タンク材質	SUS444製					
		外形寸法	500 × 500 × 600 H					
		鋼製架台	溶融亜鉛メッキ					
		耐震	1 G					
		付属品	電極棒5P、タラップ、その他付属品含む					
PCD-S1	冷却水ポンプ	形式	片吸込渦巻ポンプ					80×65FS4K611
			125φ × 2,500 L/min × 200 kPa	3φ-200V	15	1	S棟屋上	荏原テクノサーブ㈱
		付属品	防振装置（スプリング防振架台）、その他付属品含む					
PCH-S1	冷温水二次ポンプ	形式	片吸込渦巻ポンプ					125×100FS4JC615
			80φ × 945 L/min × 350 kPa	3φ-200V	11	1	S棟屋上	荏原テクノサーブ㈱
		付属品	防振装置（スプリング防振架台）、その他付属品含む					
HCHS-S1	冷温水サプライヘッダー	材質	鋼管製 亜鉛メッキ仕上げ	－	－	1	S棟屋上	SHD-D250×1700
		寸法	250φ × 1500L					㈱ベルテクノ
		最高使用圧力	1 MPa					
		タッピング	上部 80A、50A、20A×2					
			下部 125A×2、50A×2					
		付属品	温圧計、鋼製架台（溶融亜鉛メッキ）					
HCHR-S1	冷温水レタンヘッダー	材質	鋼管製 亜鉛メッキ仕上げ	－	－	1	S棟屋上	SHD-D250×1700
		寸法	250φ × 1500L(上)					㈱ベルテクノ
		最高使用圧力	1 MPa					
		タッピング	上部 80A、50A、20A×2					
			下部 125A×2、50A×2、40A					
		付属品	圧力計、鋼製架台（溶融亜鉛メッキ）					
PH-S1	温水ポンプ	形式	SUS製ラインポンプ（屋外設置型）					32LPS6.75A
			32φ × 40 L/min × 200 kPa	3φ-200V	0.75	1	S棟屋上	荏原テクノサーブ㈱
PH-S3	温水ポンプ	形式	SUS製ラインポンプ（屋外設置型）					40LPS61.5A
			40φ × 100 L/min × 200 kPa	3φ-200V	1.5	1	S棟屋上	荏原テクノサーブ㈱
PH-S4	温水ポンプ	形式	SUS製ラインポンプ（屋外設置型）					40LPS62.2A
			40φ × 140 L/min × 300 kPa	3φ-200V	2.2	1	S棟屋上	荏原テクノサーブ㈱
HWT-S1	貯湯タンク	形式	開放式	－	－	1	S棟屋上	㈱ベルテクノ
		容量	150 L 有効 100 L					
		タンク材質	SUS444製					
		外形寸法	500 × 500 × 600 H					
		鋼製架台	溶融亜鉛メッキ					
		耐震	1 G					
		付属品	電極棒5P、タラップ、その他付属品含む					

機器番号	機器名称	機器仕様		付属電動機 電源	付属電動機 容量kW	台数	据付位置	備考
SP-S1	太陽熱集熱パネル	形式	： 真空管循環型	－	－	8	S棟屋上	FSP-2100
		集熱面積	： 2.7 ㎡					富士エネルギー㈱
		集熱効率	： 70 %					
		保有水量	： 0.5 L					
		寸法	： $2,240^{L}\times1,290^{W}\times160^{H}$					
		重量	： 55 kg （運転重量：55.5kg）					
		その他	： 鋼製架台 （溶融亜鉛メッキ）					
AC-	空気調和機	1.	外気条件：冷房時：外気温 35.1℃,絶対湿度 19.5g/kg',エンタルピー 85.8kJ/kg'					
			暖房時：外気温 2.2℃,絶対湿度 2.3g/kg',エンタルピー 8.2kJ/kg'					
			コイル出口空気条件は特記なき限り冷房時 14.3℃, 暖房時 30℃とする					
		2.	コイル・フィルタ面風速は、特記なき限り コンパクト型・ユニット形 3.0m/s以下とする。					
			冷水条件 7 ℃→ 15 ℃ （Δt=8℃）					
			温水条件 55.6 ℃→ 60 ℃ （Δt=4.4℃）					
		3.	フィルタ					
			A： 粗塵フィルタ 重量法80%以上					
			B： 中性能フィルタ 比色法90%以上					
			C： 中性能フィルタ 比色法65%以上					
			直読式差圧計を設けること					
		4.	全熱交換器にはプレフィルターを設ける。					
		5.	加湿方式は蒸気加湿とする。					
		6.	防振架台 機器全体を防振ゴムパッド（リブつき）にて防振、ファンは防振スプリングとする					
AC-SB1	空気調和機	形式	コンパクト型（全熱交換器組込式、還気ファン付）			1	B1F	E1 160 RH-N
	(S棟B1、2F系統)	送風機（給気）	7,800 m3/h × 400 Pa　SAファン	3φ-200V	3.7	1	空調機械室	㈱クボタ
		送風機（還気）	5,400 m3/h × 400 Pa　RAファン	3φ-200V	1.5	1		
		冷房能力	63.56 kW 暖房能力 39.21 kW					
		冷却加熱兼用コイル列数	7 列					
		冷温水量	114 L/min（冷却） 128 L/min（加熱）					
		外気量	7,800 m3/h					
		全熱交換器	給気 7,800 m3/h × 189 Pa 効率 53.9%　モータ	3φ-200V	0.1	1		PABA-130
			還気 5,400 m3/h × 130 Pa					日本フローダ㈱
		フィルター	A+C ＋全熱交換器用プレフィルター					
		加湿量	28.1 kg/h					
		コイル入口空気	冷房時 30.5 ℃DB 24.0 ℃WB					
			暖房時 12.1 ℃DB 7.3 ℃WB					
AC-S1	空気調和機	形式	ユニット型（全熱交換器組込式、還気ファン付）			1	1F	MPV 8 RH
	(S棟1F系統)	送風機（給気）	6,600 m3/h × 300 Pa　SAファン	3φ-200V	3.7		空調機械室	㈱クボタ
		送風機（還気）	4,100 m3/h × 300 Pa　RAファン	3φ-200V	1.5			
		冷房能力	53.78 kW 暖房能力 43.8 kW					
		冷却加熱兼用コイル列数	4 列					
		冷温水量	96 L/min（冷却） 108 L/min（加熱）					
		外気量	6,600 m3/h					
		全熱交換器	給気 6,600 m3/h × 240 Pa 効率 48.1%　モータ	3φ-200V	0.1	1		PABA-105
			還気 4,100 m3/h × 147 Pa					日本フローダ㈱
		フィルター	A+C ＋全熱交換器用プレフィルター					
		加湿量	23.8 kg/h					
		コイル入口空気	冷房時 30.5 ℃DB 24.0 ℃WB					
			暖房時 12.1 ℃DB 7.3 ℃WB					
AC-S2	空気調和機	形式	ユニット型（全熱交換器組込式、還気ファン付）			1	2F	MPV 10 RH
	(S棟2F実験室系統)	送風機（給気）	7,900 m3/h × 300 Pa　SAファン	3φ-200V	3.7		空調機械室	㈱クボタ
		送風機（還気）	6,650 m3/h × 300 Pa　RAファン	3φ-200V	2.2			
		冷房能力	64.35 kW 暖房能力 39.71 kW					
		冷却加熱兼用コイル列数	4 列					
		冷温水量	115 L/min（冷却） 129 L/min（加熱）					
		外気量	7,900 m3/h					
		全熱交換器	給気 7,900 m3/h × 192 Pa 効率 59.8%　モータ	3φ-200V	0.1	1		PABA-130
			還気 6,650 m3/h × 161 Pa					日本フローダ㈱
		フィルター	A+C ＋全熱交換器用プレフィルター					
		加湿量	28.4 kg/h					
		コイル入口空気	冷房時 30.5 ℃DB 24.0 ℃WB					
			暖房時 12.1 ℃DB 7.3 ℃WB					
AC-S3	空気調和機	形式	ユニット型（全熱交換器組込式、還気ファン付）			1	3F	MPV 8 RH
	(S棟3F系統)	送風機（給気）	6,450 m3/h × 300 Pa　SAファン	3φ-200V	3.7		空調機械室	㈱クボタ
		送風機（還気）	5,950 m3/h × 300 Pa　RAファン	3φ-200V	2.2			
		冷房能力	52.62 kW 暖房能力 32.45 kW					
		冷却加熱兼用コイル列数	7 列					
		冷温水量	94 L/min（冷却） 124 L/min（加熱）					
		外気量	6,450 m3/h					
		全熱交換器	給気 6,450 m3/h × 234 Pa 効率 58.5%　モータ	3φ-200V	0.1	1		PABA-105
			還気 5,950 m3/h × 216 Pa					日本フローダ㈱
		フィルター	A+C ＋全熱交換器用プレフィルター					
		有効加湿量	23.2 kg/h					
		コイル入口空気	冷房時 30.5 ℃DB 24.0 ℃WB					
			暖房時 12.1 ℃DB 7.3 ℃WB					
AC-S4	空気調和機	形式	ユニット型（全熱交換器組込式、還気ファン付）			1	4F	MPV 8 RH
	(S棟4F系統)	送風機（給気）	7,250 m3/h × 300 Pa　SAファン	3φ-200V	3.7		空調機械室	㈱クボタ
		送風機（還気）	6,350 m3/h × 300 Pa　RAファン	3φ-200V	2.2			
		冷房能力	59.07 kW 暖房能力 36.46 kW					
		冷却加熱兼用コイル列数	7 列					
		冷温水量	106 L/min（冷却） 119 L/min（加熱）					
		外気量	7,250 m3/h					
		全熱交換器	給気 7,250 m3/h × 230 Pa 効率 57.7%　モータ	3φ-200V	0.1	1		PABA-115
			還気 6,350 m3/h × 201 Pa					日本フローダ㈱
		フィルター	A+C ＋全熱交換器用プレフィルター					
		有効加湿量	26.5 kg/h					
		コイル入口空気	冷房時 30.5 ℃DB 24.0 ℃WB					
			暖房時 12.1 ℃DB 7.3 ℃WB					

着工	2009.06.01
竣工	2010.08.18
監理	
施工	[redacted]

完成図　空 - S06

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

（空） 41 － 6

機器リスト(1)

NO. 0－ 060186 －D

本件の更新対象を示す

720 × 500

1 | 機器リスト(2) | -

機器番号	機器名称	機器仕様	付属電動機 電源	付属電動機 容量 kW	台数	据付位置	備考
AC-S5	空気調和機	形式 ユニット型（全熱交換器組込式、還気ファン付）			1	5F	MPV 8 RH
	(S棟5F系統)	送風機（給気） 7,250 m3/h × 300 Pa SAファン	3φ-200V	3.7		空調機械室	㈱クボタ
		送風機（還気） 6,350 m3/h × 300 Pa RAファン	3φ-200V	2.2			
		冷房能力 59.07 kW 暖房能力 36.46 kW					
		冷却加熱兼用コイル列数 4 列					
		冷温水量 106 L/min（冷却） 119 L/min（加熱）					
		外気量 7,250 m3/h					
		全熱交換器 給気 7,250 m3/h × 230 Pa 効率 57.7% モータ	3φ-200V	0.1	1	PABA-115	
		還気 6,350 m3/h × 201 Pa				日本フローダ㈱	
		フィルター A+C +全熱交換器用プレフィルター					
		有効加湿量 25.8 kg/h					
		コイル入口空気 冷房時 30.5 ℃DB 24.0 ℃WB					
		暖房時 12.1 ℃DB 7.3 ℃WB					
AC-S6	空気調和機	形式 ユニット型（全熱交換器組込式、還気ファン付）			1	6F	MPV 8 RH
	(S棟6F系統)	送風機（給気） 7,350 m3/h × 300 Pa SAファン	3φ-200V	3.7		空調機械室	㈱クボタ
		送風機（還気） 5,800 m3/h × 300 Pa RAファン	3φ-200V	2.2			
		冷房能力 59.87 kW 暖房能力 36.97 kW					
		冷却加熱兼用コイル列数 4 列					
		冷温水量 107 L/min（冷却） 120 L/min（加熱）					
		外気量 7,350 m3/h					
		全熱交換器 給気 7,350 m3/h × 234 Pa 効率 55.0% モータ	3φ-200V	0.1	1	PABA-115	
		還気 5,800 m3/h × 183 Pa				日本フローダ㈱	
		フィルター A+C +全熱交換器用プレフィルター					
		有効加湿量 25.8 kg/h					
		コイル入口空気 冷房時 30.5 ℃DB 24.0 ℃WB					
		暖房時 12.1 ℃DB 7.3 ℃WB					
AC-S7	空気調和機	形式 ユニット型（全熱交換器組込式、還気ファン付）			1	7F	MPV 8 RH
	(S棟7F系統)	送風機（給気） 7,350 m3/h × 300 Pa SAファン	3φ-200V	3.7		空調機械室	㈱クボタ
		送風機（還気） 6,550 m3/h × 300 Pa RAファン	3φ-200V	2.2			
		冷房能力 59.87 kW 暖房能力 36.97 kW					
		冷却加熱兼用コイル列数 4 列					
		冷温水量 107 L/min（冷却） 120 L/min（加熱）					
		外気量 7,350 m3/h					
		全熱交換器 給気 7,350 m3/h × 234 Pa 効率 57.8% モータ	3φ-200V	0.1	1	PABA-115	
		還気 6,550 m3/h × 208 Pa				日本フローダ㈱	
		フィルター A+C +全熱交換器用プレフィルター					
		有効加湿量 25.8 kg/h					
		コイル入口空気 冷房時 30.5 ℃DB 24.0 ℃WB					
		暖房時 12.1 ℃DB 7.3 ℃WB					

機器番号	機器名称	機器仕様	付属電動機 電源	付属電動機 容量 kW	台数	据付位置	備考
S棟GHP							
B2F							
GHP-S0201	S棟B2F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型		消費電力			
		冷房能力 35.5 kW ガス消費量 28.4 kW	3φ-200V	0.70	1	S棟屋上	SGP-H355M3G
		暖房能力 40.0 kW ガス消費量 29.7 kW					三洋電機販売㈱
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	陶磁器焼成実験室	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.080	2	S棟B2F	SGP-SH112K1
b	陶磁器焼成実験室２	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.080	1	S棟B2F	SGP-SH112K1
GHP-S0202	S棟B2F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型					
		冷房能力 85.0 kW ガス消費量 65.0 kW	3φ-200V	1.91	1	S棟屋上	SGP-H850M2GZ
		暖房能力 95.0 kW ガス消費量 67.0 kW					三洋電機販売㈱
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 風量 / 備考					
a	製織実験室	天井吊形(露出タイプ) 9.0 10.0	1φ-200V	0.047	6	S棟B2F	SGP-TH90K1
b	製織実験室	天井埋込ダクト形 22.4 25.0 3360	1φ-200V	0.98	1	S棟B2F	SGP-UH224K1
GHP-S0203	S棟B2F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖自在型		消費電力			
		冷房能力 56.0 kW ガス消費量 38.3 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-HZ560M3G
		暖房能力 63.0 kW ガス消費量 43.0 kW					三洋電機販売㈱
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	原糸実験室	天井埋込カセット4方向形 9.0 10.0	1φ-200V	0.055	1	S棟B2F	SGP-SH90K1
b	原糸実験室	天井埋込カセット4方向形 9.0 10.0	1φ-200V	0.055	1	S棟B2F	SGP-SH90K1
c	工作室	天井埋込カセット2方向形 5.6 6.3	1φ-200V	0.098	1	S棟B2F	SGP-SSH56K1
d	ガス腐食試験室	天井吊形(露出タイプ) 4.5 5.0	1φ-200V	0.028	1	S棟B2F	SGP-TH45K1
e	振動試験室	天井埋込カセット4方向形 4.5 5.0	1φ-200V	0.038	1	S棟B2F	SGP-SH45K1
B1F							
GHP-S0101	S棟B1F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖自在型		消費電力			
		冷房能力 56.0 kW ガス消費量 38.3 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-HZ560M3G
		暖房能力 63.0 kW ガス消費量 43.0 kW					三洋電機販売㈱
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	陶磁器原料室	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.080	1	S棟B1F	SGP-SH112K1
b	金属材料試験室	天井埋込カセット4方向形 9.0 10.0 ＊	1φ-200V	0.055	1	S棟B1F	SGP-SH90K1
c	金属材料試験室	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5 ＊	1φ-200V	0.080	1	S棟B1F	SGP-SH112K1
d	陶磁器原料粉砕調整室	天井埋込カセット4方向形 9.0 10.0 高性能フィルター	1φ-200V	0.055	1	S棟B1F	SGP-SH90K1
GHP-S0102	S棟B1F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖自在型		消費電力			
		冷房能力 56.0 kW ガス消費量 38.3 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-HZ560M3G
		暖房能力 63.0 kW ガス消費量 43.0 kW					三洋電機販売㈱
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	セラミックス素材実験室	天井埋込カセット4方向形 14.0 16.0	1φ-200V	0.109	2	S棟B1F	SGP-SH112K1
b	セラミックス成形・焼成実験室	天井埋込カセット4方向形 14.0 16.0	1φ-200V	0.109	1	S棟B1F	SGP-SH90K1
c	物入	天井吊形(露出タイプ) 14.0 16.0	1φ-200V	0.109	1	S棟B1F	SGP-SH112K1
GHP-S101	S棟1F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型		消費電力			
		冷房能力 28.0 kW ガス消費量 21.9 kW	3φ-200V	0.70	1	S棟屋上	SGP-H280M3G
		暖房能力 31.5 kW ガス消費量 24.0 kW					三洋電機販売㈱
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 風量 [m3/h] / 備考					
a	ナノ表面計測室	天井埋込ダクト形（高静圧タイプ） 14.0 16.0 2160 高性能フィルター	1φ-200V	0.67	1	S棟1F	SGP-UH140K1
b	ナノ表面評価室	天井埋込ダクト形（高静圧タイプ） 14.0 16.0 2160 高性能フィルター	1φ-200V	0.67	1	S棟1F	SGP-UH140K1
GHP-S102	S棟1F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ） [kW] [kW] [m3/h]					
		(室外機) 冷暖切替型 発電機搭載		消費電力			
		冷房能力 45.0 kW ガス消費量 36.7 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-GX450M1G2
		暖房能力 50.0 kW ガス消費量 39.2 kW					三洋電機販売㈱
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 風量 [m3/h] / 備考					
a	ナノ表面分析室	床置ダクト形 45.0 50.0 7800 高性能フィルター	1φ-200V	1.71	1	S棟1F	SGP-DH450K1

GHP- ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ） 共通事項

1. 冷房能力・暖房能力はＪＩＳ条件によるものとする。冷媒はR-410Aとする。
2. 室内機と室外機間の冷媒配管および二次側電気と制御用配管配線は本工事とする。
   (1)集中リモコンを２台設け、各実験室ごとに下記の制御・監視を行う。集中リモコンは一台につき制御可能な室内機台数が64台以上のものとする。
   ・室内機の発停
   ・室内機の設定（冷/暖/送風・温度）
   ・室内機の運転/停止状態表示
   ・異常警報
   その他付属品一式を含む。
3. 冷房限界外気条件は-5℃以下とする。
4. 冷媒管実長は、原則として100mまで対応できるタイプとすること。
5. サーモ・付属品一式を含む。
6. 室内機
   1)リモコンスイッチを付属とする。（JIS１連埋め込みボックスに納まる標準仕様ワイヤードリモコン）
   2)天井カセット形は化粧パネル共。
   3)ドレンアップメカ付属とする。 ただし、床置き型には適用しない。
   4)天井埋込ダクト形については、下記の寸法の吹出し・吸込みボックスをそれぞれ設け、消音チャンバーの基準に従い内貼りすること。

型番	寸法 幅	高さ	奥行
4.5 5.6 7.1	800	400	500
9.0 11.2 14.0	1200	400	500
22.4 28.0	1400	500	500

   5)天井埋込ダクト形の室内機は、高静圧タイプとする。
   6)冷暖自在型系統には室内機１台ずつそれぞれに冷暖切替ユニットを付属する。
   7)暖房サーモオフ時の暖房能力を小さくするため、暖房能力4kW以下のマルチエアコン室内機には、ファン間欠運転回路を設けること。(最小風量運転可能)
   8)床置き形室内機には、ガス管弁キットを含む。
7. 室外機
   1)鋼製架台（溶融亜鉛めっき仕上げ）、防振装置（スプリング）を含む。
   2)使用ガスは都市ガス13Aとする。
   3)ガスヒートポンプ屋外機は、高静圧タイプとする。
8. 発電機搭載形には系統連携盤、その他付属品を含む。
9. 低圧逆潮検知（CT）は電気工事とする。
10. ＧＨＰ機器表の備考欄にある ※ 印は、室内機の四方向吹出口のうち1方向吹出口にフレキシブルダクト150φを接続示す

着工	2009_06_01	. .	
竣工	2010_08_18	. .	
監理		. .	
施工		. .	[redacted]

完成図 空 - S07

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

機器リスト(2)

(空) 41 - 7

NO. 0 - 060186 - D

090623 HO

本件の更新対象を示す

720 × 500

1 | 機器リスト(3) | -

機器番号	機器名称	機器仕様	電源	容量 kW	台数	設置位置	備考
GHP-S103	S棟1F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖自在型		消費電力			
		冷房能力 56.0 kW ガス消費量 38.3 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-HZ560M3G
		暖房能力 63.0 kW ガス消費量 43.0 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力[kW] / 暖房能力[kW] / 備考					
a	実験室	天井埋込カセット4方向形 14.0 16.0	1φ-200V	0.109	2	S棟1F	SGP-SH140K1
b	ミーティングルームD	天井埋込カセット2方向形 4.5 5.0	1φ-200V	0.098	1	S棟1F	SGP-SSH45K1
c	知恵産業融合センター	天井埋込カセット2方向形 4.5 5.0	1φ-200V	0.098	1	S棟1F	SGP-SSH45K1
d	ミーティングルームC	天井埋込カセット2方向形 4.5 5.0	1φ-200V	0.098	1	S棟1F	SGP-SSH45K1
e	ミーティングルームB	天井埋込カセット2方向形 4.5 5.0	1φ-200V	0.098	1	S棟1F	SGP-SSH45K1
f	ミーティングルームA	天井埋込カセット2方向形 4.5 5.0	1φ-200V	0.098	1	S棟1F	SGP-SSH45K1
g	事務室	天井埋込カセット2方向形 5.6 6.3	1φ-200V	0.098	1	S棟1F	SGP-SSH56K1
GHP-S104	S棟1F一般系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖自在型		消費電力			
		冷房能力 71.0 kW ガス消費量 60.4 kW	3φ-200V	1.58	1	S棟屋上	SGP-HZ710M3G
		暖房能力 80.0 kW ガス消費量 54.3 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力[kW] / 暖房能力[kW] / 備考					
a	企画情報グループ室	天井埋込カセット4方向形 7.1 8.0	1φ-200V	0.051	6	S棟1F	SGP-SH71K1
f	応接室	天井埋込カセット2方向形 3.6 4.0	1φ-200V	0.086	1		SGP-SSH36K1
g	副所長室	天井埋込カセット2方向形 3.6 4.0	1φ-200V	0.086	1		SGP-SSH36K1
h	所長室	天井埋込カセット2方向形 3.6 4.0	1φ-200V	0.086	1		SGP-SSH36K1
i	喫煙コーナー	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.080	1	AFE-S01組込み	SGP-SH112K1
j	会議室	天井埋込カセット2方向形 3.6 4.0	1φ-200V	0.080	1		SGP-SSH36K1
GHP-S105	S棟1F一般系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型		消費電力			
		冷房能力 35.5 kW ガス消費量 28.4 kW	3φ-200V	0.70	1	S棟屋上	SGP-H355M3G
		暖房能力 40.0 kW ガス消費量 29.7 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力[kW] / 暖房能力[kW] / 風量[m3/h] / 備考					
a	資料展示コーナー	ビルトインオールダクト形 11.2 12.5 1800	1φ-200V	0.325	3	S棟1F	SGP-BUH112K1
GHP-S201	S棟2F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型 発電機搭載		消費電力			
		冷房能力 56.0 kW ガス消費量 44.0 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-HZ560M1G2
		暖房能力 63.0 kW ガス消費量 48.7 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力[kW] / 暖房能力[kW] / 備考					
a	光学系機器分析室	天井埋込カセット4方向形 9.0 10.0 *	1φ-200V	0.055	2	S棟2F	SGP-SH90K1
b	化学・物理系機器分析室	天井埋込カセット4方向形 9.0 10.0 *	1φ-200V	0.055	4	S棟2F	SGP-SH90K1
GHP-S202	S棟2F一般系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型 発電機搭載		消費電力			
		冷房能力 56.0 kW ガス消費量 44.0 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-HZ560M1G2
		暖房能力 63.0 kW ガス消費量 48.7 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力[kW] / 暖房能力[kW] / 備考					
a	図書館	天井埋込カセット4方向形 4.5 5.0	1φ-200V	0.038	4	S棟2F	SGP-SH45K1
b	ホールA・B・C	天井埋込カセット4方向形 5.6 6.3	1φ-200V	0.041	6	S棟2F	SGP-SH56K1
GHP-S204	S棟2F一般系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖自在型		消費電力			
		冷房能力 56.0 kW ガス消費量 38.3 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-HZ560M3G
		暖房能力 63.0 kW ガス消費量 43.0 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力[kW] / 暖房能力[kW] / 備考					
a	講師控室	天井埋込カセット2方向形 3.6 4.0	1φ-200V	0.086	1	S棟2F	SGP-SSH36K1
b	喫煙コーナー	天井埋込カセット4方向形（AFE-S01組込み） 11.2 12.5	1φ-200V	0.080	1	S棟2F	SGP-SH112K1
c	展示コーナー	ビルトインオールダクト形 7.1 9.0	1φ-200V	0.051	2	S棟2F	SGP-BUH71K1
d	ホールD	天井埋込カセット4方向形 7.1 9.0	1φ-200V	0.051	2	S棟2F	SGP-SH71K1
e	廊下－2（EVホール前）	ビルトインオールダクト形 7.1 9.0	1φ-200V	0.207	1	S棟2F	SGP-BUH71K1
GHP-S205	S棟2F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型		消費電力			
		冷房能力 35.5 kW ガス消費量 28.4 kW	3φ-200V	0.70	1	S棟屋上	SGP-H355M3G
		暖房能力 40.0 kW ガス消費量 29.7 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力[kW] / 暖房能力[kW] / 備考					
a	X線機器分析室	天井埋込カセット4方向形 14.0 16.0 *	1φ-200V	0.109	2	S棟2F	SGP-SH140K1
b	粉末試料調整室	天井埋込カセット4方向形 4.5 5.0 *	1φ-200V	0.038	1	S棟2F	SGP-SH45K1
GHP-S301	S棟3F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型		消費電力			
		冷房能力 71.0 kW ガス消費量 60.4 kW	3φ-200V	1.58	1	S棟屋上	SGP-H710M3GZ
		暖房能力 80.0 kW ガス消費量 54.3 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力[kW] / 暖房能力[kW] / 備考					
a	有機材料実験室	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.080	4	S棟3F	SGP-SH112K1
b	有機材料分析室	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.080	2	S棟3F	SGP-SH112K1
GHP-S302	S棟3F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖自在型		消費電力			
		冷房能力 56.0 kW ガス消費量 38.3 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-HZ560M3G
		暖房能力 63.0 kW ガス消費量 43.0 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力[kW] / 暖房能力[kW] / 備考					
a	試料準備室	天井埋込カセット4方向形 14.0 16.0	1φ-200V	0.109	1	S棟3F	SGP-SH140K1
b	精密加工実験室	天井埋込カセット4方向形 14.0 16.0 *	1φ-200V	0.109	1	S棟3F	SGP-SH140K1
c	金属材料評価室	天井埋込カセット4方向形 14.0 16.0	1φ-200V	0.109	1	S棟3F	SGP-SH140K1
d	金属加工実験室	天井埋込カセット4方向形 14.0 16.0 *	1φ-200V	0.109	1	S棟3F	SGP-SH140K1
GHP-S303	S棟3F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖自在型		消費電力			
		冷房能力 71.0 kW ガス消費量 60.4 kW	3φ-200V	1.58	1	S棟屋上	SGP-HZ710M3G
		暖房能力 80.0 kW ガス消費量 54.3 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力[kW] / 暖房能力[kW] / 備考					
a	材料物性実験室	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.080	1	S棟3F	SGP-SH112K1
b	材料化学実験室	天井埋込カセット4方向形 9.0 10.0 *	1φ-200V	0.055	2	S棟3F	SGP-SH90K1
c	境適合材料実験室	天井埋込カセット4方向形 14.0 16.0 *	1φ-200V	0.109	1	S棟3F	SGP-SH140K1
d	染色化学実験室	天井埋込カセット4方向形 9.0 10.0 *	1φ-200V	0.055	2	S棟3F	SGP-SH90K1
e	超臨界流体実験室	天井埋込カセット4方向形 14.0 16.0 *	1φ-200V	0.109	1	S棟3F	SGP-SH140K1
GHP-S304	S棟3F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型		消費電力			
		冷房能力 28.0 kW ガス消費量 21.9 kW	3φ-200V	0.70	1	S棟屋上	SGP-H280M3G
		暖房能力 31.5 kW ガス消費量 24.0 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力[kW] / 暖房能力[kW] / 備考					
a	金属材料実験室	天井埋込カセット4方向形 14.0 16.0 *	1φ-200V	0.109	1	S棟3F	SGP-SH140K1
b	生体機能物質実験室	天井埋込カセット4方向形 14.0 16.0 *	1φ-200V	0.109	1	S棟3F	SGP-SH140K1
GHP-S401	S棟4F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型		消費電力			
		冷房能力 35.5 kW ガス消費量 28.4 kW	3φ-200V	0.70	1	S棟屋上	SGP-H355M3G
		暖房能力 40.0 kW ガス消費量 29.7 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力[kW] / 暖房能力[kW] / 備考					
a	工芸材料測定室	天井埋込カセット4方向形 4.5 5.0	1φ-200V	0.038	2	S棟4F	SGP-SH45K1
b	工芸材料実験室	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.080	2	S棟4F	SGP-SH112K1
GHP-S402	S棟4F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖自在型		消費電力			
		冷房能力 56.0 kW ガス消費量 38.3 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-HZ560M3G
		暖房能力 63.0 kW ガス消費量 43.0 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力[kW] / 暖房能力[kW] / 備考					
a	セラミックス実験室	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.080	2	S棟4F	SGP-SH112K1
b	陶磁器釉薬製品化実験室	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5 *	1φ-200V	0.080	1	S棟4F	SGP-SH112K1
c	陶磁器釉薬製品化実験室	天井埋込カセット2方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.217	1	S棟4F	SGP-SSH112K1
d	窯業化学実験室	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.080	1	S棟4F	SGP-SH112K1
GHP-S403	S棟4F一般系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖自在型		消費電力			
		冷房能力 71.0 kW ガス消費量 60.4 kW	3φ-200V	1.58	1	S棟屋上	SGP-HZ710M3G
		暖房能力 80.0 kW ガス消費量 54.3 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力[kW] / 暖房能力[kW] / 備考					
a	休養室1	天井埋込カセット2方向形 4.5 5.0	1φ-200V	0.098	1	S棟3F	SGP-SSH45K1
b	材料グループ室	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.080	4	S棟4F	SGP-SH112K1
c	材料グループ室（相談室）	天井埋込カセット２方向形 2.2 3.2	1φ-200V	0.080	1	S棟4F	SGP-SSH22K1
e	ミーティングルームD	天井埋込カセット2方向形 4.5 12.5	1φ-200V	0.098	1	S棟4F	SGP-SSH45K1
f	講義室A	天井埋込カセット4方向形 5.6 5.0	1φ-200V	0.041	2	S棟4F	SGP-SH56K1
g	3F 廊下（EVホール）	天井埋込カセット4方向形 7.1 12.5	1φ-200V	0.051	1	S棟3F	SGP-SH71K1
h	4F 廊下（EVホール）	天井埋込カセット4方向形 7.1 16.0	1φ-200V	0.051	1	S棟4F	SGP-SH71K1
i	倉庫	天井埋込カセット4方向形 7.1 16.0	1φ-200V	0.051	1	S棟4F	SGP-SH71K1

着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工	[redacted]		

完成図 空 - S08

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

機器リスト(3)

空 41 － 8

NO. 0－ 060186 - D

本件の更新対象を示す

720 × 500

1 | 機器リスト(4) | －

機器番号	機器名称	機器仕様	付属電動機 電源	付属電動機 容量 kW	台数	設置位置	備考
GHP-S404	S棟4F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型		消費電力			
		冷房能力 71.0 kW ガス消費量 60.4 kW	3φ-200V	1.58	1	S棟屋上	SGP-H710M3GZ
		暖房能力 80.0 kW ガス消費量 54.3 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	色染基礎実験室(南)	天井埋込カセット4方向形 / 11.2 / 12.5 / *	1φ-200V	0.080	6	S棟4F	SGP-SH112K1
GHP-S405	S棟4F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型 発電機搭載		消費電力			
		冷房能力 56.0 kW ガス消費量 44.0 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-GX560M1G2
		暖房能力 63.0 kW ガス消費量 48.7 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	色染基礎実験室(北)	天井埋込カセット4方向形 / 14.0 / 16.0 / *	1φ-200V	0.109	2	S棟4F	SGP-SH140K1
b	窯業焼成実験室	天井埋込カセット4方向形 / 11.2 / 12.5 / *	1φ-200V	0.080	1	S棟4F	SGP-SH112K1
c	窯業機器分析室	天井埋込カセット4方向形 / 14.0 / 16.0	1φ-200V	0.109	1	S棟4F	SGP-SH140K1
d	暗室	天井埋込カセット1方向形 / 2.2 / 2.5	1φ-200V	0.037	1	S棟4F	SGP-SAH22K1N
GHP-S501	S棟5F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型		消費電力			
		冷房能力 71.0 kW ガス消費量 60.4 kW	3φ-200V	1.58	1	S棟屋上	SGP-H710M3GZ
		暖房能力 80.0 kW ガス消費量 54.3 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	陶磁器成形実習室	天井埋込カセット4方向形 / 11.2 / 12.5	1φ-200V	0.080	3	S棟5F	SGP-SH112K1
b	陶磁器応用コース実習室	天井埋込カセット4方向形 / 11.2 / 12.5	1φ-200V	0.080	1	S棟5F	SGP-SH112K1
d	陶磁器釉薬実習室	天井埋込カセット4方向形 / 11.2 / 12.5	1φ-200V	0.080	2	S棟5F	SGP-SH112K1
GHP-S502	S棟5F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型 発電機搭載		消費電力			
		冷房能力 56.0 kW ガス消費量 44.0 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-GX560M1G2
		暖房能力 63.0 kW ガス消費量 48.7 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	陶磁器釉薬実習室	天井埋込カセット2方向形 / 7.1 / 8.0	1φ-200V	0.135	2	S棟5F	SGP-SSH71K1
b	陶磁器釉薬技術資料室－1	天井埋込カセット4方向形 / 4.5 / 5.0	1φ-200V	0.038	2	S棟5F	SGP-SH45K1
c	陶磁器釉薬技術資料室－2	天井埋込カセット1方向形 / 2.2 / 2.5	1φ-200V	0.037	1	S棟5F	SGP-SAH22K1N
e	陶磁器工作室	天井埋込カセット4方向形 / 14.0 / 16.0 / *	1φ-200V	0.109	1	S棟5F	SGP-SH140K1
f	陶磁器技術品保管室	天井埋込カセット2方向形 / 4.5 / 5.0	1φ-200V	0.098	1	S棟5F	SGP-SSH45K1
g	セーデル盤保管室	天井埋込カセット2方向形 / 4.5 / 5.0	1φ-200V	0.098	1	S棟5F	SGP-SSH45K1
h	廊下	天井埋込カセット4方向形 / 7.1 / 8.0	1φ-200V	0.051	1	S棟5F	SGP-SH71K1
GHP-S504	S棟5F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖自在型		消費電力			
		冷房能力 56.0 kW ガス消費量 38.3 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-HZ560M3G
		暖房能力 63.0 kW ガス消費量 43.0 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	工芸染色実習室	天井埋込カセット4方向形 / 9.0 / 10.0	1φ-200V	0.055	1	S棟5F	SGP-SH90K1
b	工芸染色実習室	天井埋込カセット4方向形 / 11.2 / 12.5	1φ-200V	0.080	1	S棟5F	SGP-SH112K1
d	漆工研修室	天井埋込カセット4方向形 / 9.0 / 10.0	1φ-200V	0.055	1	S棟5F	SGP-SH90K1
e	漆工実習室	天井埋込カセット4方向形 / 5.6 / 6.3	1φ-200V	0.041	1	S棟5F	SGP-SH56K1
f	塗漆室	天井埋込カセット1方向形 / 2.8 / 3.2	1φ-200V	0.037	1	S棟5F	SGP-SAH28K1N
g	RP実験室	天井埋込カセット2方向形 / 7.1 / 8.0	1φ-200V	0.135	1	S棟5F	SGP-SSH71K1
h	講義室B	天井埋込カセット4方向形 / 5.6 / 6.3	1φ-200V	0.041	1	S棟5F	SGP-SH56K1
i	講義室B	天井埋込カセット4方向形 / 9.0 / 10.0	1φ-200V	0.055	1	S棟5F	SGP-SH90K1
GHP-S505	S棟5F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型 発電機搭載		消費電力			
		冷房能力 56.0 kW ガス消費量 44.0 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-GX560M1G2
		暖房能力 63.0 kW ガス消費量 48.7 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	デザイン資料室	天井埋込カセット4方向形 / 3.6 / 4.0	1φ-200V	0.034	1	S棟5F	SGP-SH36K1
b	デザイン資料室	天井埋込カセット4方向形 / 4.5 / 5.0	1φ-200V	0.038	1	S棟5F	SGP-SH45K1
c	デザイン・IT研修室	天井埋込カセット4方向形 / 5.6 / 6.3	1φ-200V	0.041	1	S棟5F	SGP-SH56K1
d	デザイン・IT研修室	天井埋込カセット4方向形 / 5.6 / 6.3	1φ-200V	0.041	1	S棟5F	SGP-SH56K1
e	デザイン収蔵庫	天井埋込カセット2方向形 / 3.6 / 4.0	1φ-200V	0.086	1	S棟5F	SGP-SSH36K1
f	デザイン実験室	天井埋込カセット4方向形 / 11.2 / 12.5	1φ-200V	0.080	2	S棟5F	SGP-SH112K1
g	工芸染色準備室	天井埋込カセット2方向形 / 3.6 / 4.0	1φ-200V	0.086	1	S棟5F	SGP-SSH36K1
h	工芸染色試作室	天井埋込カセット4方向形 / 9.0 / 10.0 / *	1φ-200V	0.055	1	S棟5F	SGP-SH90K1

機器番号	機器名称	機器仕様	付属電動機 電源	付属電動機 容量 kW	台数	設置位置	備考
GHP-S506	S棟5F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型		消費電力			
		冷房能力 22.4 kW ガス消費量 17.1 kW	3φ-200V	0.70	2	S棟屋上	SGP-H224M3G
		暖房能力 25.0 kW ガス消費量 18.0 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 風量 [m3/h] / 備考					
a	サーバー室	床置プレナム形 / 22.4 / 25.0 / 3840	3φ-200V	0.59	2	S棟5F	SGP-EH224K1
GHP-S508	S棟5F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型		消費電力			
		冷房能力 28.0 kW ガス消費量 21.9 kW	3φ-200V	0.70	1	S棟屋上	SGP-H224M3G
		暖房能力 31.5 kW ガス消費量 24.0 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	工芸染色実習室	天井埋込カセット4方向形 / 14.0 / 16.0	1φ-200V	0.109	2	S棟5F	SGP-EH224K1
GHP-S601	S棟6F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖自在型		消費電力			
		冷房能力 56.0 kW ガス消費量 38.3 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-H280M3G
		暖房能力 63.0 kW ガス消費量 43.0 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	表面処理実験室	天井埋込カセット4方向形 / 11.2 / 12.5 / *	1φ-200V	0.080	3	S棟6F	SGP-SH112K1
b	断面試料加工室	天井埋込カセット2方向形 / 4.5 / 5.0	1φ-200V	0.098	1	S棟6F	SGP-SSH45K1
c	表面物性測定室	天井埋込カセット4方向形 / 11.2 / 12.5 / *	1φ-200V	0.080	1	S棟6F	SGP-SH112K1
d	耐食性試験室	天井吊形(露出タイプ) / 4.5 / 5.0	1φ-200V	0.028	1	S棟6F	SGP-TH45K1
GHP-S602	S棟6F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型 発電機搭載		消費電力			
		冷房能力 45.0 kW ガス消費量 36.7 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-HZ560M3G
		暖房能力 50.0 kW ガス消費量 39.2 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	金属化学実験室	天井埋込カセット4方向形 / 11.2 / 12.5 / *	1φ-200V	0.080	3	S棟6F	SGP-SH112K1
b	金属分析実験室	天井埋込カセット4方向形 / 11.2 / 12.5 / *	1φ-200V	0.080	1		SGP-SH112K1
GHP-S603	S棟6F一般系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型 発電機搭載		消費電力			
		冷房能力 56.0 kW ガス消費量 44.0 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-GX450M1G2
		暖房能力 63.0 kW ガス消費量 48.7 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	製品化支援グループ室	天井埋込カセット4方向形 / 9.0 / 10.0	1φ-200V	0.055	2	S棟4F	SGP-SH90K1
b	製品化支援グループ室	天井埋込カセット4方向形 / 9.0 / 10.0	1φ-200V	0.055	2	S棟6F	SGP-SH90K1
c	製品化支援グループ室（相談室）	天井埋込カセット2方向形 / 2.2 / 2.5	1φ-200V	0.080	1	S棟6F	SGP-SSH22K1
GHP-S604	S棟6F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型 発電機搭載		消費電力			
		冷房能力 45.0 kW ガス消費量 36.7 kW	1φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-GX560M1G2
		暖房能力 50.0 kW ガス消費量 39.2 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
b	金金作成実験室	天井埋込カセット4方向形 / 14.0 / 16.0 / *	1φ-200V	0.109	1	S棟6F	SGP-SH140K1
c	金属中ガス分析実験室	天井埋込カセット4方向形 / 11.2 / 12.5 / *	1φ-200V	0.080	2	S棟6F	SGP-SH112K1
GHP-S605	S棟6F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型		消費電力			
		冷房能力 85.0 kW ガス消費量 65.0 kW	1φ-200V	1.91	1	S棟屋上	SGP-H850M2GZ
		暖房能力 95.0 kW ガス消費量 67.0 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	色染実用化実験室	天井埋込カセット4方向形 / 14.0 / 16.0	1φ-200V	0.109	5	S棟6F	SGP-SH140K1
b	繊維化実験室	天井埋込カセット4方向形 / 14.0 / 16.0	1φ-200V	0.109	1	S棟6F	SGP-SH140K1
GHP-S607	S棟6F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型 発電機搭載		消費電力			
		冷房能力 56.0 kW ガス消費量 44.0 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-GX560M1G2
		暖房能力 6.0 kW ガス消費量 48.7 kW					三洋電機販売棟
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	ミーティングルームF	天井埋込カセット2方向形 / 5.6 / 6.3	1φ-200V	0.098	1	S棟6F	SGP-SSH56K1
b	染織技術相談室	天井埋込カセット4方向形 / 14.0 / 16.0	1φ-200V	0.109	2	S棟6F	SGP-SH140K1
c	特別室(小)・暗室	天井埋込カセット1方向形 / 2.2 / 2.5	1φ-200V	0.037	2	S棟6F	SGP-SAH22K1N
d	喫煙コーナー	天井埋込カセット4方向形（AFE-S01組込み） / 14.0 / 16.0	1φ-200V	0.109	1	S棟6F	SGP-SH140K1
e	廊下	天井埋込カセット4方向形 / 7.1 / 8.0	1φ-200V	0.051	1	S棟6F	SGP-SH71K1

着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図 空 - S09

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

機器リスト(4)

空 41 － 9

NO. 0－ 060186 - D

本件の更新対象を示す

720×500

1 | 機器リスト(5) | -

機器番号	機器名称	機器仕様	付属電動機 電源	付属電動機 容量	台数	据付位置	備考
GHP-S701	S棟7F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型 発電機搭載		消費電力			
		冷房能力 56.0 kW ガス消費量 44.0 kW	3φ-200V	1.36	1	S棟屋上	SGP-GX560M1G2
		暖房能力 63.0 kW ガス消費量 48.7 kW					三洋電機販売搬
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	有機加工総合実験室	天井埋込カセット4方向形 14.0 16.0	1φ-200V	0.109	4	S棟7F	SGP-SH140K1
GHP-S702	S棟7F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖切替型		消費電力			
		冷房能力 71.0 kW ガス消費量 60.4 kW	3φ-200V	1.58	1	S棟屋上	SGP-H710M3GZ
		暖房能力 80.0 kW ガス消費量 54.3 kW					三洋電機販売搬
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	電気特性試験室	天井埋込カセット4方向形 9.0 10.0	1φ-200V	0.055	1	S棟7F	SGP-SH90K1
b	コンピューター応用実験室	天井埋込カセット4方向形 9.0 10.0	1φ-200V	0.055	1	S棟7F	SGP-SH90K1
c	情報技術実験室	天井埋込カセット4方向形 9.0 10.0	1φ-200V	0.055	1	S棟7F	SGP-SH90K1
d	染色堅ろう度試験室	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.080	1	S棟7F	SGP-SH112K1
e	染織デジタル化実験室	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.080	1	S棟7F	SGP-SH112K1
f	染織デジタル化実験室	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.080	2	S棟7F	SGP-SH112K1
GHP-S703	S棟7F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖自在型					
		冷房能力 71.0 kW ガス消費量 60.4 kW	3φ-200V	1.58	1	S棟屋上	SGP-HZ710M3G
		暖房能力 80.0 kW ガス消費量 54.3 kW					三洋電機販売搬
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	加工技術グループ室	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.080	4	S棟7F	SGP-SH112K1
b	加工技術グループ室（相談室）	天井埋込カセット2方向形 2.8 3.2	1φ-200V	0.086	1	S棟7F	SGP-SSH28K1
d	ミーティングルームG	天井埋込カセット2方向形 5.6 6.3	1φ-200V	0.098	1	S棟7F	SGP-SSH56K1
e	共同実験室2	天井埋込カセット4方向形 5.6 6.3	1φ-200V	0.041	2	S棟7F	SGP-SH56K1
f	休養室2	天井埋込カセット4方向形 5.6 6.3	1φ-200V	0.041	1	S棟7F	SGP-SH56K1
g	廊下	天井埋込カセット4方向形 7.1 8.0	1φ-200V	0.051	1	S棟7F	SGP-SH71K1
GHP-S704	S棟7F実験室系統	形式 ビル用マルチエアコン（ガスヒートポンプ）					
		(室外機) 冷暖自在型		消費電力			
		冷房能力 71.0 kW ガス消費量 60.4 kW	3φ-200V	1.58	1	S棟屋上	SGP-HZ710M3G
		暖房能力 80.0 kW ガス消費量 54.3 kW					三洋電機販売搬
		(室内機)					
		形式 / 冷房能力 [kW] / 暖房能力 [kW] / 備考					
a	醸造・食品試験室	天井埋込カセット2方向形 5.6 6.3	1φ-200V	0.098	1	S棟7F	SGP-SSH56K1
b	食品分析室・微生物実験室	天井埋込カセット4方向形 14.0 16.0	1φ-200V	0.109	1	S棟7F	SGP-SH140K1
c	高次生体機能解析室	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.080	2	S棟7F	SGP-SH112K1
d	細菌室	天井埋込カセット1方向形 2.8 3.2	1φ-200V	0.037	1	S棟7F	SGP-SAH28K1N
f	洗浄室・培養室	天井埋込カセット2方向形 5.6 6.3	1φ-200V	0.098	2	S棟7F	SGP-SSH56K1
g	食品分析室・微生物実験室	天井埋込カセット4方向形 11.2 12.5	1φ-200V	0.80	1	S棟7F	SGP-SH112K1

ファン類

機器番号	機器名称	機器仕様	風量 [m3/h]	静圧 [Pa]	備考	付属電動機 電源	付属電動機 容量 kW	台数	据付位置	備考
FS-	給気ファン	共通事項								
		1. すべて防振吊り（ゴム）とする。								
	系統名	形 式								
FS-S0203	排水処理室	樹脂製片吸い込みシロッコファン No.1 1/2	2,400	200		3φ-200V	0.75	1	S棟B2F	11/2SRMC3
										FE-S0203と連動
										荏原テクノサーブ㈱
FE-	排気ファン	共通事項								
		1. 天井扉は低騒音タイプとし、リモコン・逆流防止シャッター・ルーバー付属とする。								
		2. 特記なき限りすべて防振吊り（ゴム）とする。ただし、床置きのファンには特記なき限り防振架台（ゴム）を設ける。								
	系統名	形 式								
			[m3/h]	[Pa]						
S棟										
FE-S0201	B2FMWC・WWC	消音Box付きシロッコファン No.1 3/4	500	400		1φ-100V	0.5	1	S棟B2F	13/4SUM26.5S 荏原テクノサーブ㈱
FE-S0202	B2F染料倉庫	消音Box付きシロッコファン No.1 1/2	300	400		1φ-100V	0.28	1	S棟B2F	11/2SUM26.2S 荏原テクノサーブ㈱
FE-S0203	排水処理室	**樹脂製片吸い込みシロッコファン** No.2 1/2	2,400	200		3φ-200V	0.75	1	S棟B2F	11/2SRMC3 荏原テクノサーブ㈱
FE-S0101	産業廃棄物処理室	消音Box付きシロッコファン No.1 1/2	700	400		1φ-100V	0.28	1	S棟B1F	11/2SUM26.2S 荏原テクノサーブ㈱
FE-S0102	特別産業廃棄物保管庫	樹脂製片吸い込みシロッコファン No.1	900	400		3φ-200V	0.4	1	S棟屋上	1SRMC3 荏原テクノサーブ㈱
FE-S1001	1FMWC・WWC・HWC	消音Box付きシロッコファン No.1 1/2	600	200		1φ-100V	0.12	1	S棟1F	11/2SUM26.1S 荏原テクノサーブ㈱
FE-S1007	1F倉庫	消音Box付きシロッコファン No.1 1/4	200	200		1φ-100V	0.03	1	S棟1F	11/4SUM26.0S 荏原テクノサーブ㈱
FE-S1008	1F喫煙ｺｰﾅｰ	消音Box付きシロッコファン No.1 1/2	1,200	200		1φ-100V	0.28	1	S棟1F	11/2SUM26.2S 荏原テクノサーブ㈱
FE-S1009	1F EPS	天井換気扇 No.18	300	40	サーモスイッチ付	**1φ-100V**	**0.04**	1	S棟1F	VD-18ZPB 三菱電機㈱
FE-S2001	2FMWC・WWC・HWC	消音Box付きシロッコファン No.1 1/2	600	200		1φ-100V	0.12	1	S棟2F	11/2SUM26.1S 荏原テクノサーブ㈱
FE-S2003	2F喫煙ｺｰﾅｰ	消音Box付きシロッコファン No.1 1/2	1,200	300		1φ-100V	0.28	1	S棟2F	11/2SUM26.2S 荏原テクノサーブ㈱
FE-S2004	2F EPS	天井換気扇 No.18	300	40	サーモスイッチ付	1φ-100V	0.04	1	S棟2F	VD-18ZPB 三菱電機㈱
FE-S3001	3FMWC	消音Box付きシロッコファン No.1 1/4	400	200		1φ-100V	0.06	1	S棟3F	11/4SUM26.0GS 荏原テクノサーブ㈱
FE-S3002	3F倉庫	消音Box付きシロッコファン No.1 1/4	200	200		1φ-100V	0.03	1	S棟3F	11/4SUM26.0JS 荏原テクノサーブ㈱
FE-S3005	3F少量危険物取扱所	直動型シロッコファン No.1	200	200		1φ-100V	0.2	1	S棟3F	MF#1-7 ㈱ミツヤ送風機製作所
FE-S3006	3F EPS	天井換気扇 No.18	300	40	サーモスイッチ付	1φ-100V	0.04	1	S棟3F	VD-18ZPB 三菱電機㈱
FE-S3007	3F 環境調整室	天井換気扇 No.15	100	70	(環境調整室 空調機連動)	1φ-100V	0.015	1	S棟3F	VD-15ZC7 三菱電機㈱
FE-S4002	4FFWWC	消音Box付きシロッコファン No.1 1/4	200	200		1φ-100V	0.03	1	S棟4F	11/4SUM26.0JS 荏原テクノサーブ㈱
FE-S4003	4F温湯室（材料グループ室内）	消音Box付きシロッコファン No.1 1/4	200	200		1φ-100V	0.06	1	S棟4F	11/4SUM26.0GS 荏原テクノサーブ㈱
FE-S4004	4F倉庫（色染基礎実験室（南）内）	消音Box付きシロッコファン No.1 1/4	300	200		1φ-100V	0.06	1	S棟4F	11/4SUM26.0GS 荏原テクノサーブ㈱
FE-S4005	4F少量危険物取扱所	直動型シロッコファン No.1	200	200		1φ-100V	0.2	1	S棟4F	MF#1-7 ㈱ミツヤ送風機製作所
FE-S4006	4F暗室	消音Box付きシロッコファン No.1 1/4	200	200		1φ-100V	0.03	1	S棟4F	11/4SUM26.0JS 荏原テクノサーブ㈱
FE-S4007	4F倉庫	消音Box付きシロッコファン No.1 1/2	200	200		1φ-100V	0.03	1	S棟4F	11/4SUM26.0GS 荏原テクノサーブ㈱
FE-S4008	4F EPS	天井換気扇 No.18	300	40	サーモスイッチ付	1φ-100V	0.04	1	S棟4F	VD-18ZPB 三菱電機㈱
FE-S5001	5FMWC	消音Box付きシロッコファン No.1 1/4	400	200		1φ-100V	0.06	1	S棟5F	11/4SUM26.0GS 荏原テクノサーブ㈱
FE-S5002	5FWWC	消音Box付きシロッコファン No.1 1/4	200	200		1φ-100V	0.03	1	S棟5F	11/4SUM26.0JS 荏原テクノサーブ㈱
FE-S5003	5F EPS	天井換気扇 No.18	300	40	サーモスイッチ付	1φ-100V	0.04	1	S棟5F	VD-18ZPB 三菱電機㈱
FE-S6002	6FWWC	消音Box付きシロッコファン No.1 1/4	200	200		1φ-100V	0.03	1	S棟6F	11/4SUM26.0JS 荏原テクノサーブ㈱
FE-S6003	6F温湯(製品化支援グループ室内)	消音Box付きシロッコファン No.1 1/4	200	200		1φ-100V	0.06	1	S棟6F	11/4SUM26.0GS 荏原テクノサーブ㈱
FE-S6004	6F暗室	消音Box付きシロッコファン No.1 1/4	200	200		1φ-100V	0.03	1	S棟6F	11/4SUM26.0JS 荏原テクノサーブ㈱
FE-S6005	6F喫煙コーナー	消音Box付きラインファン No.3	2000	300		1φ-100V	0.45	1	S棟6F	3LFU36.45S 荏原テクノサーブ㈱
FE-S6006	6F EPS	天井換気扇 No.18	300	40	サーモスイッチ付	1φ-100V	0.04	1	S棟6F	VD-18ZPB 三菱電機㈱
FE-S7001	7FMWC	消音Box付きシロッコファン No.1 1/4	400	200		1φ-100V	0.06	1	S棟7F	11/4SUM26.0GS 荏原テクノサーブ㈱
FE-S7002	7F倉庫	消音Box付きシロッコファン No.1 1/4	200	200		1φ-100V	0.03	1	S棟7F	11/4SUM26.0JS 荏原テクノサーブ㈱
FE-S7003	汗湯湯(加工技術グループ室内)	消音Box付きシロッコファン No.1 1/4	200	200		1φ-100V	0.06	1	S棟7F	11/4SUM26.0GS 荏原テクノサーブ㈱
FE-S7004	7F EPS	天井換気扇 No.18	300	40	サーモスイッチ付	1φ-100V	0.04	1	S棟7F	VD-18ZPB 三菱電機㈱

機器番号	機器名称	機器仕様	風量 [m3/h]	静圧 [Pa]	備考	付属電動機 電源	付属電動機 容量 kW	台数	据付位置	備考
FSM-	排煙ファン									
	系統名									
FSM-S02	5棟地階議室と廊下	遠心式排煙機 No.6	36,000	800	屋外設置型	3φ-200V	15	1	S棟屋上	6SRP3H
										発電機回路
										荏原テクノサーブ㈱

機器番号	機器名称	機器仕様	付属電動機 電源	付属電動機 容量 kW	台数	据付位置	備考
AFE-S01	エアクリーナー	形式 4方向吹き出しパッケージエアコン組込み型（電気式空気清浄機）	1φ-200V	0.031	3	S棟各階喫煙コーナー	FKJC21W0T401F
		集塵方式 二段式電気集塵方式					㈱J.G.コーポレーション
		集塵効率 80% 以上（比色法）					
		処理風量 1980 CMH （室内機SHP取り付け時）					
		付属品 脱臭フィルタ、その他標準付属品					
AFE-S02	エアクリーナー	形式 天井埋込型（電気式空気清浄機）	1φ-200V	0.152	5	S棟各階喫煙コーナー	FK330E130W
		集塵方式 二段式電気集塵方式					㈱J.G.コーポレーション
		集塵効率 80% 以上（比色法）					1F×2台
		処理風量 1800 CMH					2F×1台
		付属品 脱臭フィルタ、その他標準付属品					6F×2台
		機器本体は防振吊り（防振ゴム）とする					
HM-S1	電熱式蒸気加湿器	形式 蒸気式空調機組込み用 床置き形	3φ-200V	21.6	8	S棟B1～7F	SJA34C
		有効加湿量 31.4 kg/h					ウエットマスター㈱
		加湿用チャンバー（SUS製）、比例制御ユニット、ヒューミ等付属品一式を含む。					
		遠方発停及び故障表示用端子を設けること。					
HEA-S1	薄型ヒーター	形式 床埋込型ヒーター	1φ-200V	1	7	S棟1F	FM-1000
		サイズ 1250x180x240(H)					㈱インターセントラル
		最大発熱量 3,600 kJ/h					
		付属品 サーモスタット付					

着工	2009_06_01	
竣工	2010_08_18	
監理		
施工	[redacted]	

完成図 空 - S10

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

機器リスト(5)

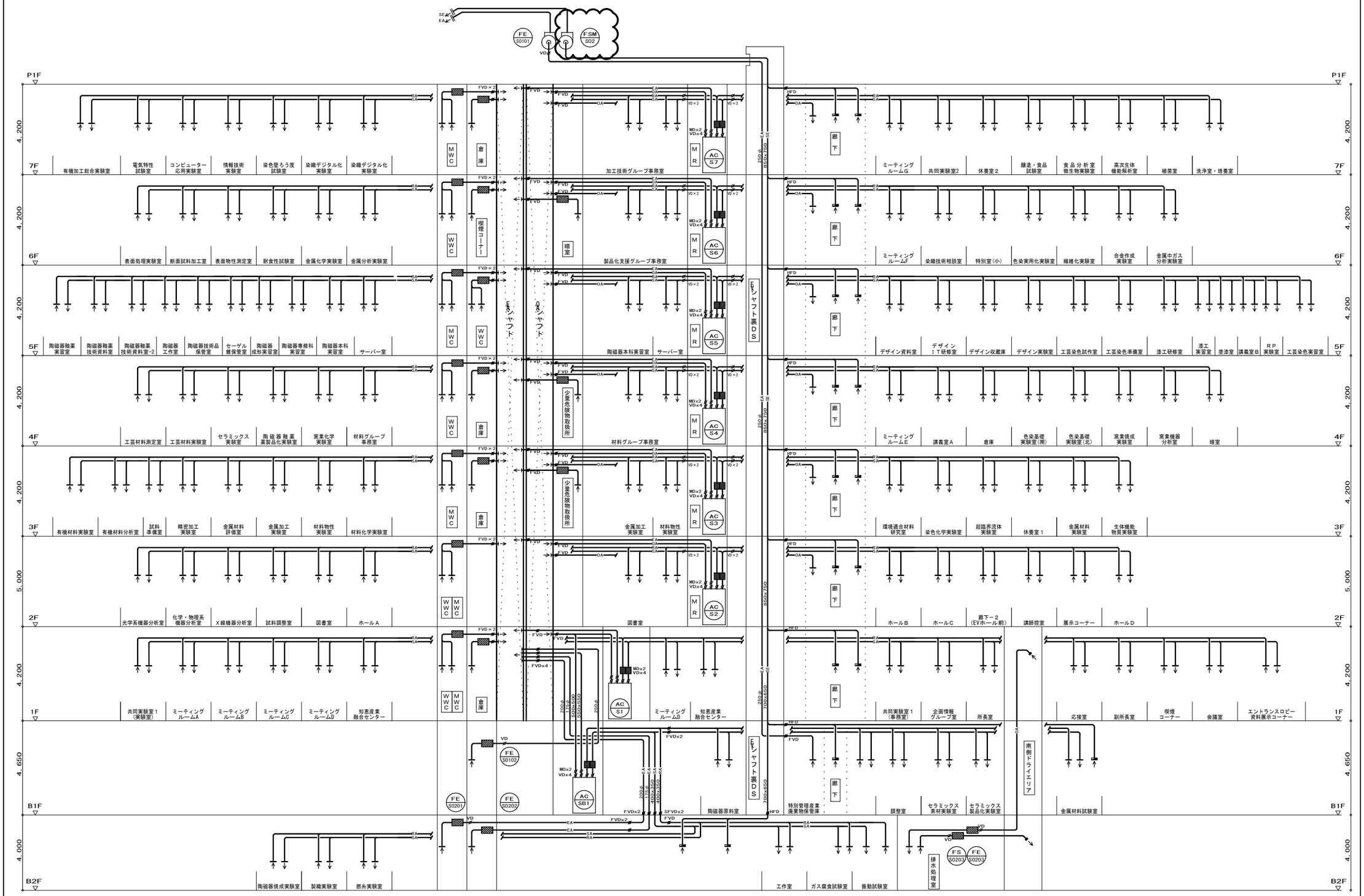
空 42 — 10

NO. 0— 060186 - D

本件の更新対象を示す

720×500

1	系統図（ダクト）	——



着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図　空 - S11

[redacted]

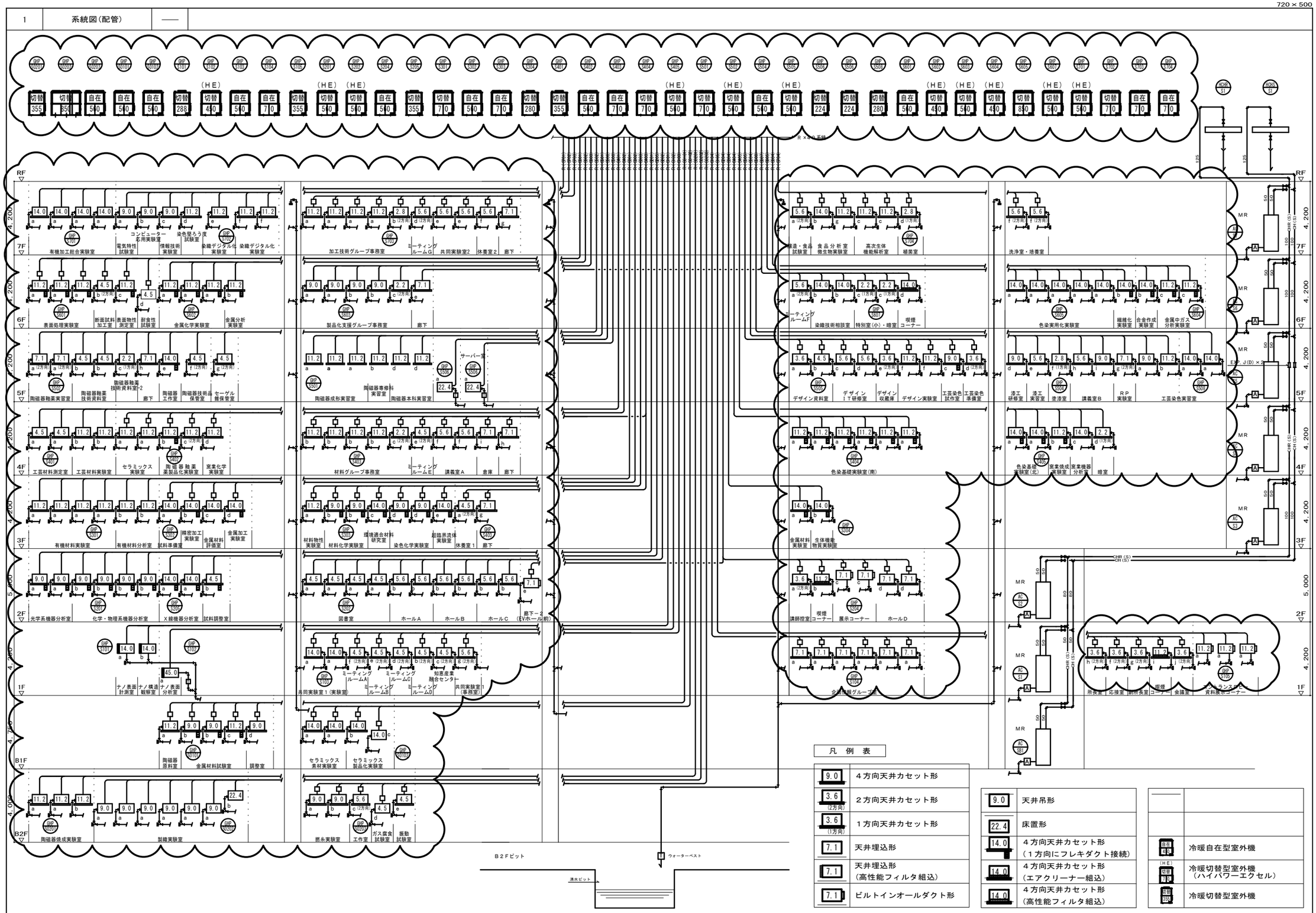
京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

系統図（ダクト）

空
41 － 14

NO. O－060186－D

本件の更新対象を示す



着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図　空 - S12

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

系統図(配管)

空 41 － 15

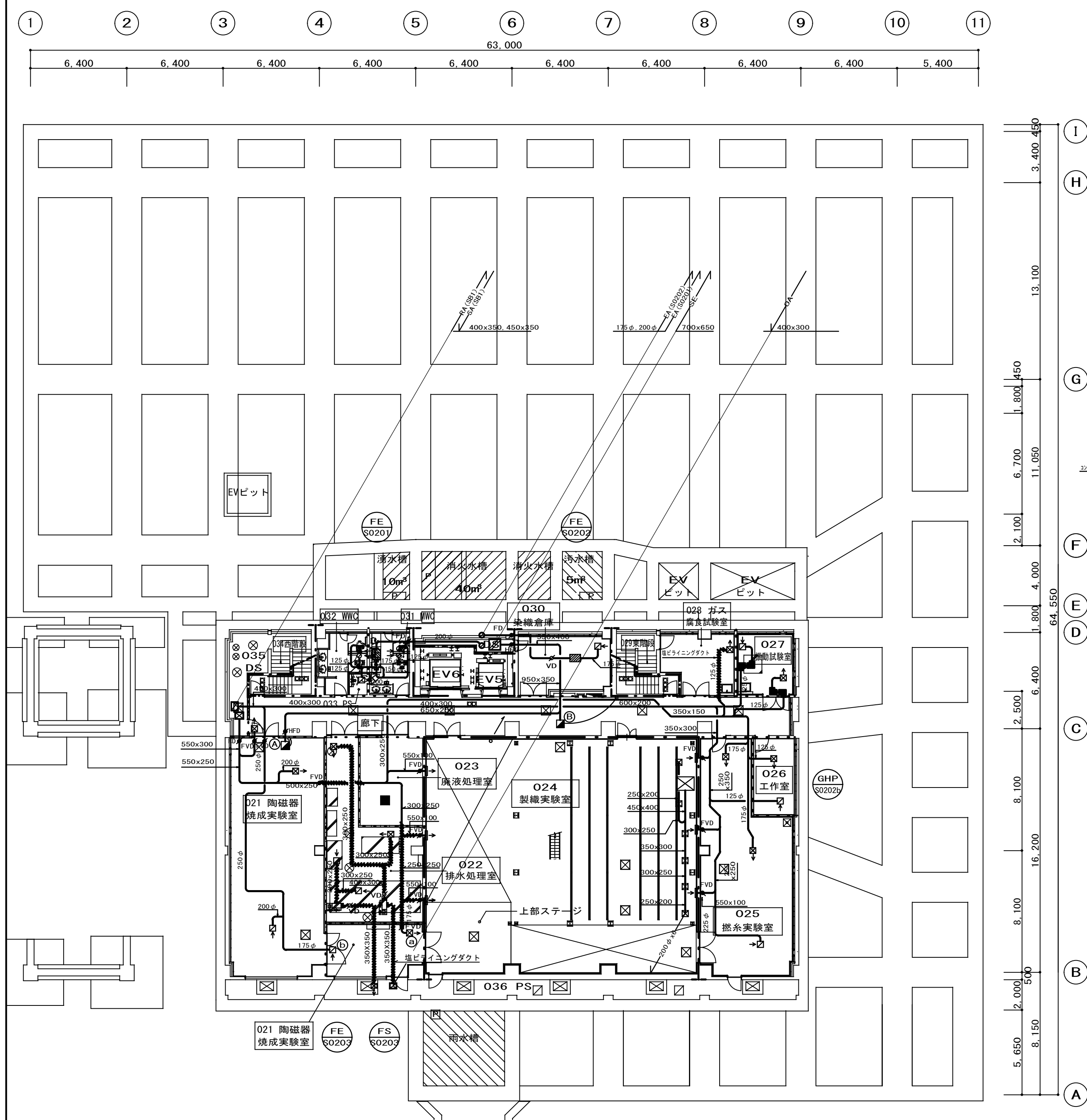
NO. 0－060186－D

添付図M-13

更新対象は機器リスト及び系統図を参照

720 × 500

01 地下2階平面図 1/200



陶磁器焼成実験室

VHS-250x250	SA- 400m³/h	1
HS- 250x250	RA- 400m³/h	1
ⓐ VHS-250x250	SA- 300m³/h	1
ⓑ HS- 250x250	RA- 300m³/h	1

排水処理室

VHS-500x300	OA- 1200m³/h	2
HS- 500x300	EA- 1200m³/h	2

製織実験室

VHS-550x160	SA- 567m³/h	3
HS- 550x160	RA- 567m³/h	3

撚糸実験室

VHS-250x250	SA- 275m³/h	2
HS- 250x250	RA- 550m³/h	1

工作室

VHS-150x150	SA- 100m³/h	1
HS- 150x150	RA- 100m³/h	1

振動実験室

VHS-150x150	SA- 100m³/h	1
HS- 150x150	RA- 100m³/h	1

ガス腐食試験室

VHS-150x150	SA- 100m³/h	1

廊下

VHS-400x400	SA- 800m³/h	1

染織倉庫

HS- 250x250	EA- 300m³/h	1

WWC

NZ#5	EA- 112m³/h	2

MWC

NZ#5	EA- 112m³/h	2

SK

HS-150×150	EA- 50m³/h	1

Ⓐ 陶磁器焼成実験室

金網止め 550x550	SE- 6600m³/h	1

Ⓑ 廊下

パネル型排煙口 500x500	SE- 6100m³/h	1

02 地下1階平面図 1/200

MDF室

VHS(FDS付)- 650x300	OA- 1100m³/h	1
HS- 600x350	EA- 1100m³/h	1

電気室

VHS(FDS付)- 1500x800	OA- 6000m³/h	1
HS(FDS付)- 1350x800	EA- 6000m³/h	1
金網- 275φ	PASS- 900m³/h	1

直流電源盤室

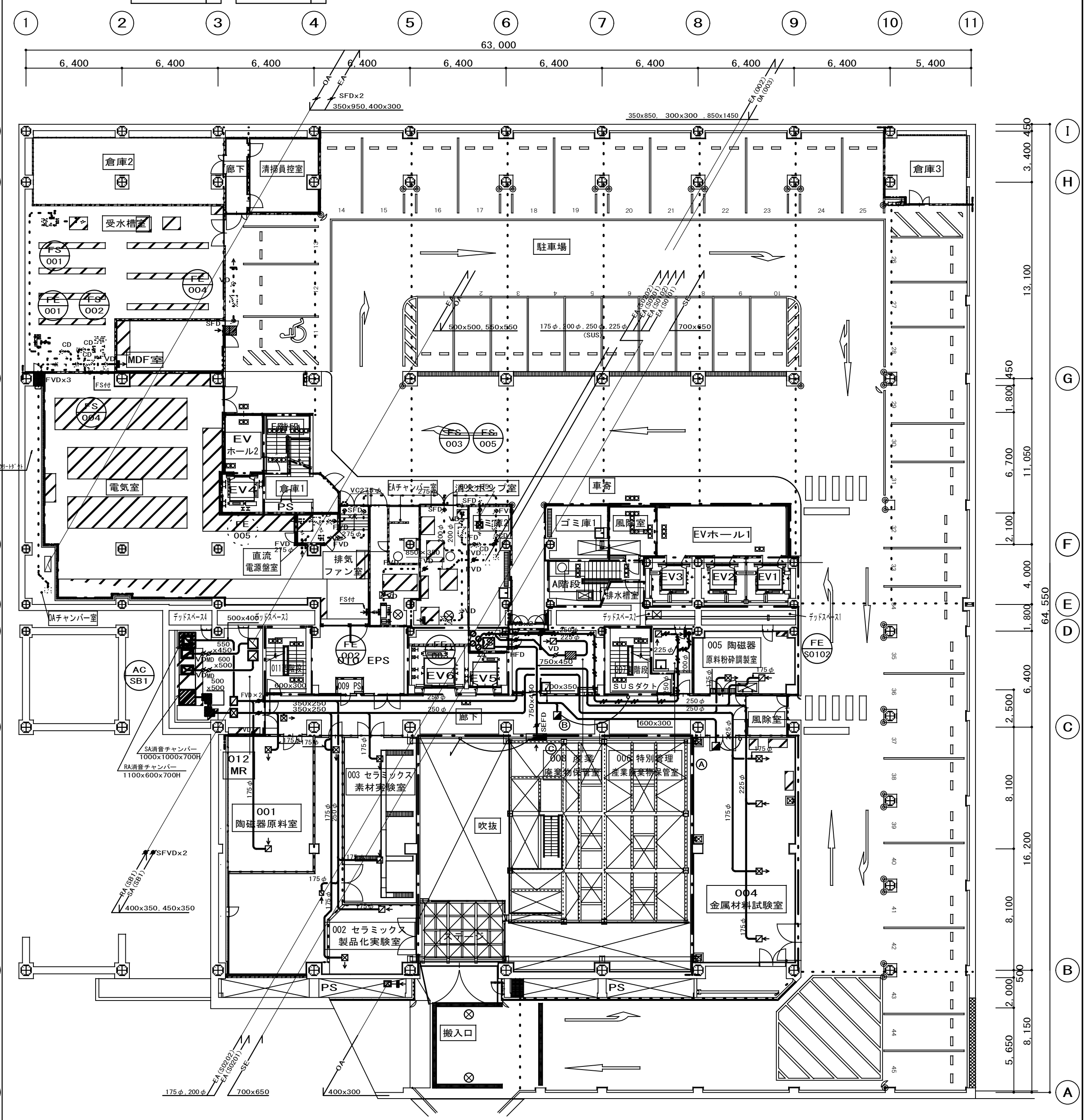
VHS-400x400	OA- 900m³/h	1
HS- 400x400	EA- 900m³/h	1
金網- 275φ	PASS- 900m³/h	1

受水槽室

VHS-600x600	OA- 1900m³/h	1
金網- 550x550	EA- 1900m³/h	1

ゴミ庫2

VHS-450x450	OA- 1000m³/h	1
HS- 450x450	EA- 1000m³/h	1



陶磁器原料室

VHS-250x250	SA- 350m³/h	1
HS- 250x250	RA- 350m³/h	1

セラミックス製品化実験室

VHS-250x250	SA- 300m³/h	2
HS- 250x250	RA- 300m³/h	2

セラミックス素材実験室

VHS-250x250	SA- 350m³/h	1
HS- 250x250	RA- 350m³/h	1

金属材料試験室

VHS-250x250	SA- 300m³/h	2
HS- 250x250	RA- 300m³/h	2

陶磁器原料粉砕調整室

VHS-250x250	SA- 250m³/h	1
HS- 250x250	RA- 250m³/h	1

産業廃棄物保管室

HS- 400x400	EA- 700m³/h	1

廊下-1

VHS-550x550	SA- 1600m³/h	1

特別管理産業廃棄物保管室

HS- 300x300	EA- 450m³/h	2

Ⓐ 金属材料試験室

金網止め 500x500	SE- 6600m³/h	1

Ⓑ 廊下-1

パネル型排煙口450x450	SE- 5400m³/h	1

Ⓒ 製織実験室

スリット 1300x500	SE- 17500m³/h	1

—— 共用部分を示す。

着工	2009.06.01
竣工	2010.08.18
監理	
施工	[redacted]

完成図 空 - S13

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

地下2階・地下1階平面図(ダクト)

(空) 41 - 16

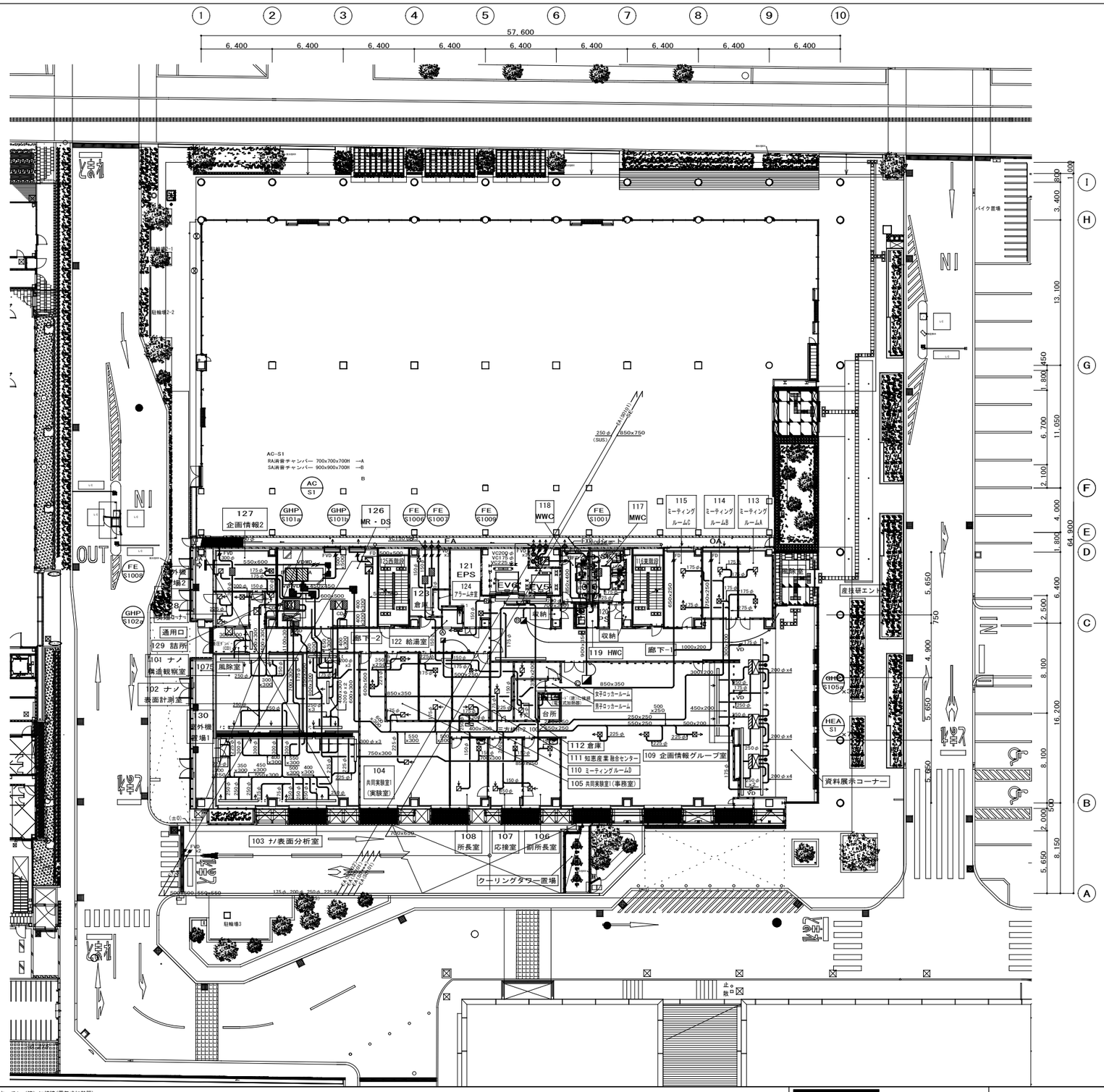
NO. 0-060186-D

(建-081225)
090110 コ 090121 HO 090126 HO

更新対象は機器リスト及び系統図を参照

720×500

01	1階平面図	1/200



S棟リスト

喫煙コーナー		
HS− 350×350	2	
EA− 600㎥/h		
VHS−500×500	1	
PASS−1200㎥/h		
会議室		
VHS−250×250	1	
SA− 250㎥/h		
HS− 250×250	1	
RA− 250㎥/h		
廊下−2		
CL#6 1500L	1	
PASS−1050㎥/h		
VHS−350×850	1	
PASS−1200㎥/h		
詰所		
HS− 150×150	1	
RA− 100㎥/h		
ナノ表面計測室		
BLK 7000L	1	
RA(GHP)− 2160㎥/h		
SA− 350㎥/h		
PASS−1350㎥/h		
CL#4− 7000L	1	
RA(GHP)− 2160㎥/h		
EA(B工事) 400㎥/h		
ナノ表面評価室		
BLK 3000L		
SA(GHP)− 1160㎥/h	1	
SA− 250㎥/h		
BLK 2000L	1	
SA− 1000㎥/h		
CL#9− 3000L	1	
RA− 2160㎥/h		
EA(B工事) 200㎥/h		
ナノ表面分析室		
BLK 4150L		
SA(GHP)− 2200㎥/h	1	
SA− 225㎥/h		
BLK 2000L	2	
SA(GHP)− 1400㎥/h		
BLK 5050L	1	
SA(GHP)− 2800㎥/h		
SA− 225㎥/h		
CL#9 8250L	1	
RA− 5500㎥/h		
(B工事) 550㎥/h		
CL#9 3500L	1	
RA− 2300㎥/h		
(B工事) 550㎥/h		
ミーティングルームD		
VHS−250×250	1	
SA− 300㎥/h		
HS− 250×250	1	
RA− 300㎥/h		
知恵産業融合センター		
VHS−250×250	1	
SA− 250㎥/h		
HS− 250×250	1	
RA− 250㎥/h		
事務室		
VHS−250×250	1	
SA− 250㎥/h		
HS− 250×250	1	
RA− 250㎥/h		

実験室		
VHS−300×300	1	
SA− 450㎥/h		
HS− 300×300	1	
RA− 450㎥/h		
倉庫		
HS− 250×250	1	
RA− 300㎥/h		
男子ロッカールーム		
HS− 250×250	1	
RA− 300㎥/h		
女子ロッカールーム		
HS− 250×250	1	
RA− 200㎥/h		
台所		
レンジフード接続	1	
EA− 200㎥/h		
所長室		
VHS−200×200	1	
SA− 200㎥/h		
HS− 200×200	1	
RA− 200㎥/h		
応接室		
VHS−200×200	1	
SA− 200㎥/h		
HS− 200×200	1	
RA− 200㎥/h		
副所長室		
VHS−200×200	1	
SA− 200㎥/h		
HS− 200×200	1	
RA− 200㎥/h		
企画情報グループ室		
E#20−	3	
SA− 466㎥/h		
ミーティングルームA		
VHS−250×250	1	
SA− 300㎥/h		
HS− 250×250	1	
RA− 300㎥/h		
ミーティングルームB		
VHS−250×250	1	
SA− 300㎥/h		
HS− 250×250	1	
RA− 300㎥/h		
ミーティングルームC		
VHS−250×250	1	
SA− 300㎥/h		
HS− 250×250	1	
RA− 300㎥/h		

エントランスロビー 資料展示コーナー		
BL−T− 14000L		
SA− 5400㎥/h	1	
SA− 780㎥/h		
結露防止タイプ		
CL#4− 6000L	2	
SA− 2700㎥/h		
WWC		
NZ#5−	2	
EA− 110㎥/h		
MWC		
NZ#5−	3	
EA− 70㎥/h		
SK		
NZ#4−	1	
EA− 50㎥/h		
HWC		
NZ#5−	1	
EA− 120㎥/h		
EPS		
VHS−250×250	1	
SA− 300㎥/h		
天井扇	1	
PASS− 300㎥/h		
倉庫(C通)		
HS− 200×200	1	
EA− 200㎥/h		
廊下−1		
BL−D− 4500L	1	
SA− 1050㎥/h		
CL#6 4500L	1	
RA− 1050㎥/h		
PASS− 300㎥/h		
廊下−2・湯沸		
Ⓐ パネル型排気口 400x400	1	
SE− 5000㎥/h		
湯沸・企画・情報事務室 総務事務室		
Ⓒ パネル型排気口 800x800	1	
SE− 13700㎥/h		
廊下−1		
Ⓑ パネル型排気口 500x500	1	
SE− 7600㎥/h		

※2Ⓐ Ⓒ と同時開放

※1 ミニキッチン（建）に接続(電気式加熱器)

着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図 空 - S14

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

1階平面図(ダクト)

空 41 − 17

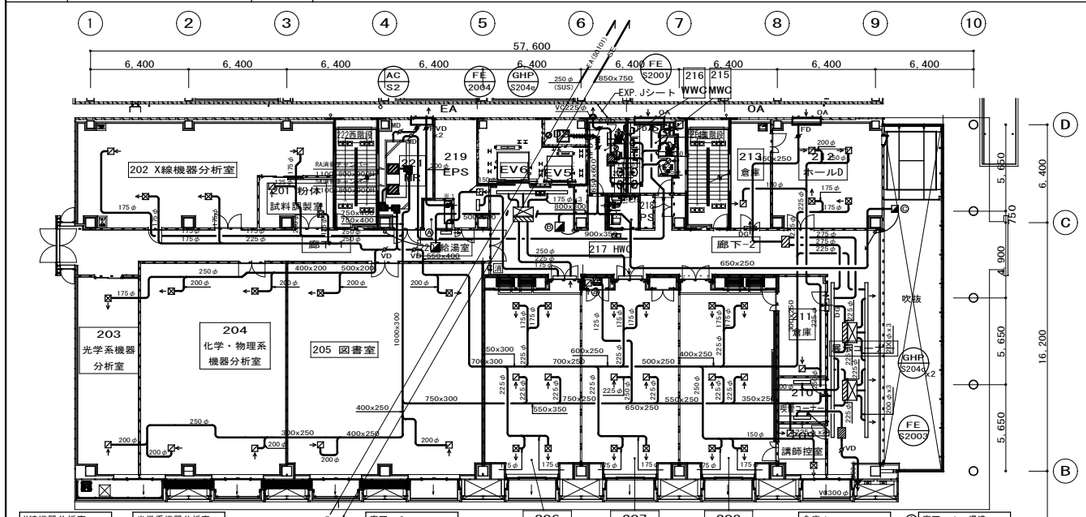
NO. O − 060186 - D

(建−081225)
090110 コ 090111 HO

更新対象は機器リスト及び系統図を参照

720 × 500

01 2階平面図 1/200



X線機器分析室			
VHS−250x250	2	SA− 300m³/h	1
RA− 250x250	2	HS− 250x250	1
		RA− 300m³/h	1

光学系機器分析室			
VHS−250x250	1	SA− 350m³/h	1
HS− 250x250	1	RA− 350m³/h	1

粉末試料調整室			
VHS−150x150	1	SA− 100m³/h	1
HS− 150x150	1	RA− 100m³/h	1

化学・物理系機器分析室			
VHS−300x300	2	SA− 400m³/h	1
HS− 300x300	2	RA− 400m³/h	1

図書室			
VHS−300x300	2	SA− 425m³/h	1
HS− 300x300	2	RA− 425m³/h	1

HWC			
NZ#4−		EA− 120m³/h	1

廊下−2			
BLD− 4500L	1	SA− 1140m³/h	1
CL#6− 1500L	1	PASS− 300m³/h	1
RA− 500m³/h	1	CL#6− 1500L	1
		RA− 640m³/h	1
		CL#6− 1500L	1
		ダミー − m³/h	

WWC			
NZ#4−		EA− 110m³/h	2

EPS			
CL#6− 600L	1	PASS− 300m³/h	1
天井扇		EA− 300m³/h	1

講師控室			
VHS−200x200	1	SA− 150m³/h	1
HS− 200x200	1	RA− 150m³/h	1

ホールA・B・C			
VHS−250x250	12	SA− 283m³/h	
HS− 350x350	6	RA− 566m³/h	
HS− 150x150	1	RA− 100m³/h	

ホールD			
VHS−250x250	2	SA− 300m³/h	
HS− 200x200	2	RA− 200m³/h	

MWC			
NZ#4−	3	EA− 70m³/h	
SK		NZ#4−	1
		EA− 50m³/h	

喫煙コーナー			
HS− 1100x200	1	EA− 1200m³/h	1
HS− 1100x200	1	PASS− 1200m³/h	1

倉庫1			
HS− 200x200	1	EA− 200m³/h	1

倉庫2			
HS− 200x200	1	EA− 200m³/h	1

廊下−2			
BLD− 10000L	1	SA− 2760m³/h	1
SA− 450m³/h		CL#4− 10000L	1
RA− 2760m³/h	1	OA− 2100m³/h	1

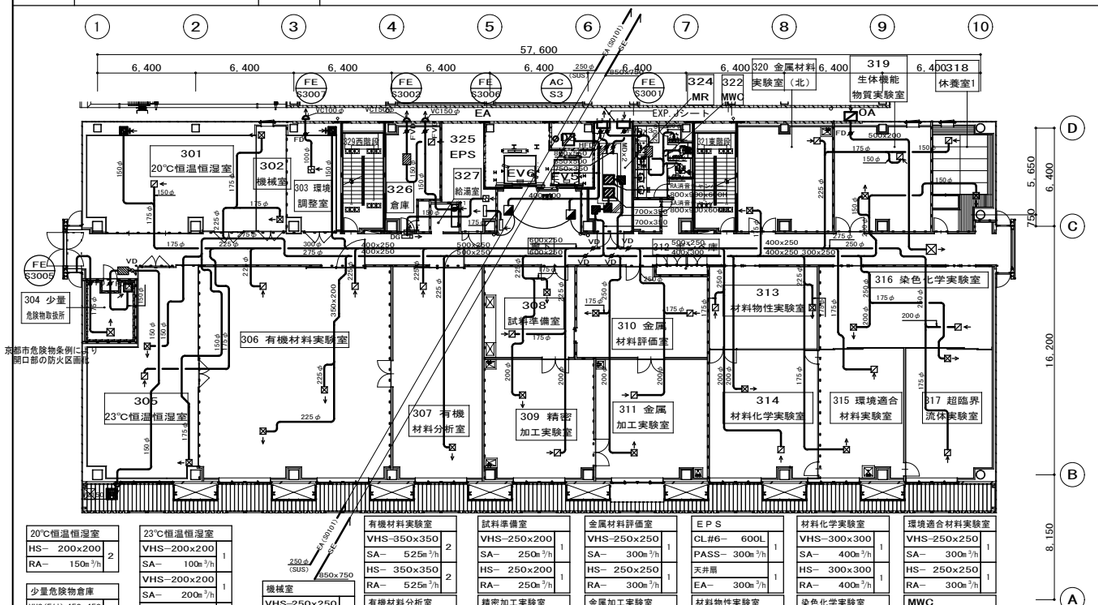
Ⓐ 廊下−1・湯沸			
パネル型排気口 400x400	1	SE− 4300m³/h	1

Ⓑ 廊下−2			
パネル型排気口 600x600	1	SE− 9600m³/h	1

Ⓒ 資料展示コーナー（吹抜）			
パネル型排気口450x450	1	SE− 5900m³/h	1

※1F Ⓑ と同時開放

02 3階平面図 1/200



20℃恒温恒湿室			
HS− 200x200	2	SA− 150m³/h	1
RA− 150m³/h			

23℃恒温恒湿室			
VHS−200x200	1	SA− 100m³/h	1
VHS−200x200	1	SA− 200m³/h	1
HS− 300x300	1	RA− 250m³/h	1

少量危険物倉庫			
VHS(F付) 450x450	1	OA− 200m³/h	1
フード− 500口	1	EA− 200m³/h	1

倉庫			
HS− 200x200	1	EA− 200m³/h	1

環境調整室			
HS− 200x200	1	SA− 150m³/h	1
天井扇		EA− 100m³/h	1

有機材料実験室			
VHS−350x350	2	SA− 525m³/h	2
HS− 350x350	2	RA− 525m³/h	2

機械室			
VHS−250x250	1	SA− 300m³/h	1
HS− 250x250	1	RA− 300m³/h	1

有機材分析室			
VHS−300x300	1	SA− 500m³/h	1
HS− 300x300	1	RA− 500m³/h	1

廊下・湯沸			
パネル型排気口 450x450	2	SE− 5300m³/h	2

休養室1			
VHS−200x200	1	SA− 150m³/h	1
HS− 200x200	1	RA− 150m³/h	1

試料準備室			
VHS−250x200	1	SA− 250m³/h	1
HS− 250x200	1	RA− 250m³/h	1

精密加工実験室			
VHS−250x250	1	SA− 350m³/h	1
HS− 250x250	1	RA− 350m³/h	1

生体機能物質実験室			
VHS−200x200	1	SA− 200m³/h	1
HS− 200x200	1	RA− 200m³/h	1

金属材料評価室			
VHS−250x250	1	SA− 300m³/h	1
HS− 250x250	1	RA− 300m³/h	1

金属加工実験室			
VHS−250x250	1	SA− 350m³/h	1
HS− 250x250	1	RA− 350m³/h	1

金属材料実験室（北）			
VHS−250x250	1	SA− 250m³/h	1
HS− 250x250	1	RA− 250m³/h	1

EPS			
CL#6− 600L	1	PASS− 300m³/h	1
天井扇		EA− 300m³/h	1

廊下			
CL#6− 600L	2	PASS− 300m³/h	1
VHS(F付) 650x650	1	OA− 1680m³/h	1

材料化学実験室			
VHS−300x300	1	SA− 400m³/h	1
HS− 300x300	1	RA− 400m³/h	1

材料物性実験室			
VHS−250x250	1	SA− 250m³/h	1
HS− 250x250	1	RA− 250m³/h	1

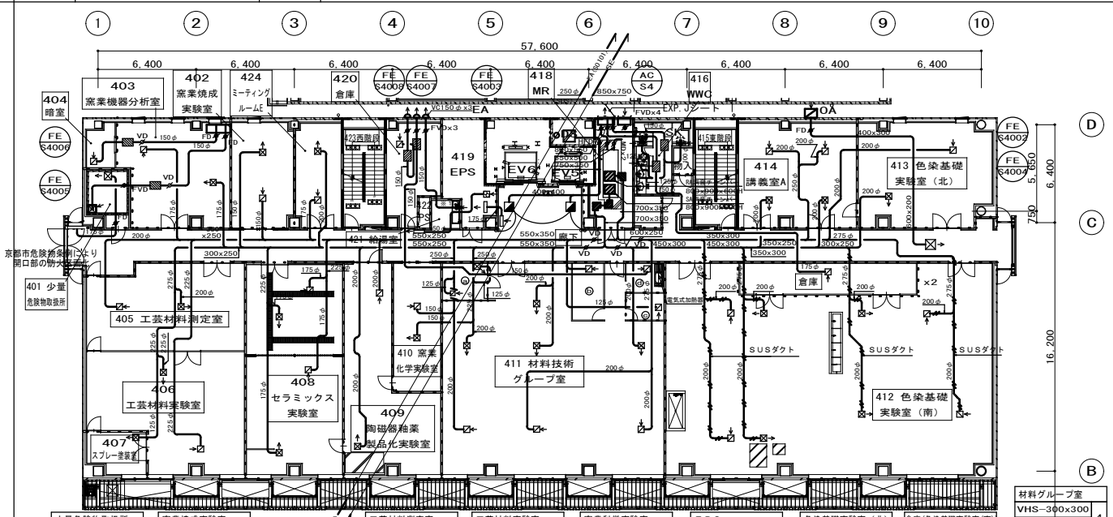
染色化学実験室			
VHS−300x300	1	SA− 400m³/h	1
HS− 300x300	1	RA− 400m³/h	1

超臨界流体実験室			
VHS−250x250	1	SA− 300m³/h	1
HS− 250x250	1	RA− 300m³/h	1

環境適合材料実験室			
VHS−250x250	1	SA− 300m³/h	1
HS− 250x250	1	RA− 300m³/h	1

MWC			
CL#4− 500L	3	EA− 117m³/h	
		SK	
CL#4− 500L	1	EA− 50m³/h	

03 4階平面図 1/200



少量危険物取扱所			
VHS(F付)−450x450	1	OA− 200m³/h	1
フード− 500口	1	EA− 200m³/h	1

窯業機器分析室			
VHS−250x250	1	SA− 350m³/h	1
HS− 250x250	1	RA− 350m³/h	1

暗室			
HS− 200x200	1	EA− 200m³/h	1

窯業焼成実験室			
VHS−200x200	1	SA− 200m³/h	1
HS− 200x200	1	RA− 200m³/h	1

ミーティングルームD			
VHS−250x250	1	SA− 300m³/h	1
HS− 250x250	1	RA− 300m³/h	1

スプレー塗装室			
VHS−150x150	1	SA− 100m³/h	1

工芸材料測定室			
VHS−250x250	1	SA− 350m³/h	1
HS− 250x250	1	RA− 350m³/h	1

陶磁器釉薬製品化実験室			
VHS−300x300	1	SA− 400m³/h	1
HS− 300x300	1	RA− 400m³/h	1

工芸材料実験室			
VHS−300x300	1	SA− 500m³/h	1
HS− 300x300	1	RA− 500m³/h	1

セラミックス実験室			
VHS−250x250	2	SA− 275m³/h	2
HS− 250x250	2	RA− 275m³/h	2

倉庫			
HS− 200x200	1	EA− 300m³/h	1

窯業科学実験室			
VHS−200x200	1	SA− 200m³/h	1
HS− 200x200	1	RA− 200m³/h	1

廊下			
CL#6− 600L	2	PASS− 300m³/h	1
VHS (F付) 650x650	1	OA− 2100m³/h	1

廊下・湯沸			
パネル型排気口 450x450	2	SE− 5150m³/h	2

EPS			
CL#6− 600L	1	PASS− 300m³/h	1
天井扇		EA− 300m³/h	1

講義室A			
VHS−250x250	2	SA− 325m³/h	2
HS− 250x250	2	RA− 325m³/h	2

色染基礎実験室（北）			
VHS−300x300	1	SA− 400m³/h	1
HS− 300x300	1	RA− 400m³/h	1

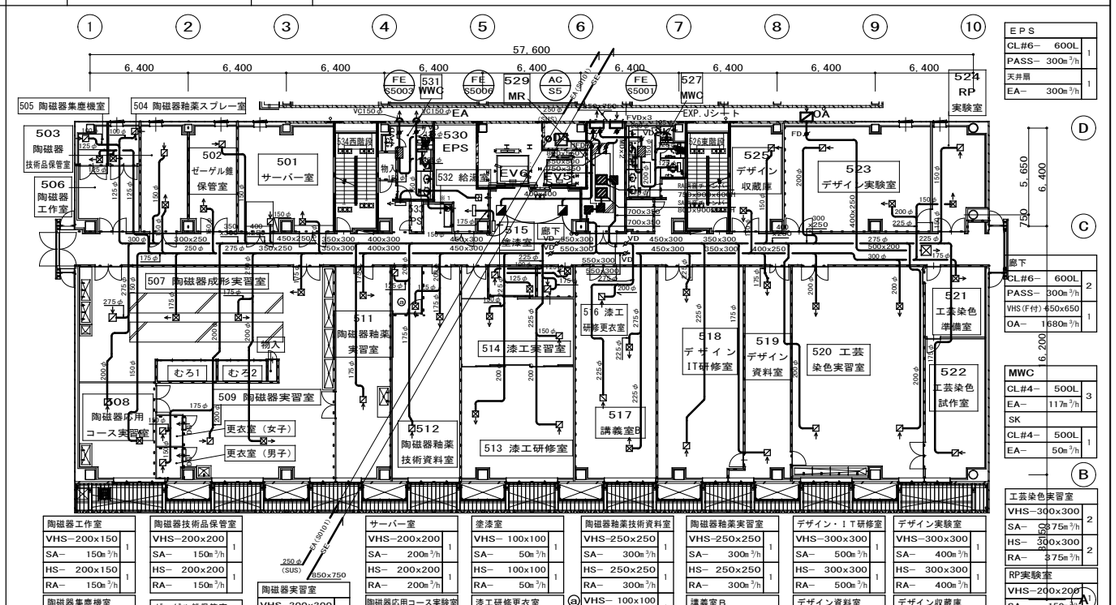
色染基礎実験室（南）			
VHS−300x300	4	SA− 400m³/h	4
HS− 300x300	4	RA− 400m³/h	4

倉庫(色染基礎実験室(南))			
HS− 250x250	1	EA− 300m³/h	1

WWC			
CL#4− 500L	3	EA− 75m³/h	
SK			
CL#4− 500L	1	EA− 50m³/h	

材料グループ室			
VHS−300x300	4	SA− 400m³/h	4
HS− 300x300	3	RA− 400m³/h	3
ⓐ VHS−150x150	1	SA− 100m³/h	1
HS− 150x150	1	RA− 100m³/h	1
ⓑ HS− 150x150	1	RA− 100m³/h	1
ⓒ HS− 150x150	1	RA− 100m³/h	1
ⓓ HS− 200x200	1	EA− 200m³/h	1

04 5階平面図 1/200



陶磁器工作室			
VHS−200x150	1	SA− 150m³/h	1
HS− 200x150	1	RA− 150m³/h	1

陶磁器集塵機室			
VHS− 100x100	1	SA− 50m³/h	1
HS− 100x100	1	RA− 50m³/h	1

陶磁器釉薬スプレー室			
VHS− 100x100	1	SA− 50m³/h	1
HS− 100x100	1	RA− 50m³/h	1

陶磁器技術品保管室			
VHS−200x200	1	SA− 150m³/h	1
HS− 200x200	1	RA− 150m³/h	1

ゼーゲル錐保管室			
VHS−200x200	1	SA− 150m³/h	1
RA− 150m³/h			

更衣室（女子）			
HS− 200x200	1	RA− 150m³/h	1

陶磁器実習室			
VHS−300x300	1	SA− 400m³/h	1
HS− 300x300	1	RA− 400m³/h	1

陶磁器成形実習室			
VHS−250x250	3	SA− 267m³/h	
HS(F付)− 400x400	1	RA− 800m³/h	

サーバー室			
VHS−200x200	1	SA− 200m³/h	1
HS− 200x200	1	RA− 200m³/h	1

陶磁器応用コース実習室			
VHS−200x200	1	SA− 200m³/h	1
HS− 200x200	1	RA− 200m³/h	1

工芸染色準備室			
VHS−250x250	1	SA− 300m³/h	1

塗漆室			
VHS− 100x100	1	SA− 50m³/h	1
HS− 100x100	1	RA− 50m³/h	1

漆工研修更衣室			
VHS− 150x150	1	SA− 100m³/h	1
HS− 250x250	1	EA− 300m³/h	1

WWC			
CL#4− 500L	2	EA− 100m³/h	2

陶磁器釉薬技術資料室			
VHS−250x250	1	SA− 300m³/h	1
HS− 250x250	1	RA− 300m³/h	1
ⓐ VHS− 100x100	1	SA− 50m³/h	1
HS− 100x100	1	RA− 50m³/h	1

漆工研修室			
VHS−250x250	1	SA− 350m³/h	1
HS− 250x250	1	RA− 350m³/h	1

陶磁器釉薬実習室			
VHS−250x250	1	SA− 300m³/h	1
HS− 250x250	1	RA− 300m³/h	1

講義室B			
VHS−300x300	2	SA− 450m³/h	2
HS− 300x300	2	RA− 450m³/h	2

工芸染色試作室			
HS− 250x250	1	RA− 300m³/h	1

デザイン・ＩＴ研修室			
VHS−300x300	1	SA− 500m³/h	1
HS− 300x300	1	RA− 500m³/h	1

デザイン資料室			
VHS−250x250	1	SA− 250m³/h	1
HS− 250x250	1	RA− 250m³/h	1

更衣室(男子)			
HS− 200x200	1	RA− 150m³/h	1

デザイン実験室			
VHS−300x300	1	SA− 400m³/h	1
HS− 300x300	1	RA− 400m³/h	1

デザイン収蔵庫			
VHS−200x200	1	SA− 150m³/h	1
HS− 200x200	1	RA− 150m³/h	1

廊下・湯沸			
パネル型排気口 450x450	2	SE− 5150m³/h	1

EPS			
CL#6− 600L	1	PASS− 300m³/h	1
天井扇		EA− 300m³/h	1

廊下			
CL#6− 600L	2	PASS− 300m³/h	1
VHS(F付) 650x650	1	OA− 1680m³/h	1

MWC			
CL#4− 500L	3	EA− 117m³/h	
SK			
CL#4− 500L	1	EA− 50m³/h	

工芸染色実習室			
VHS−300x300	2	SA− 375m³/h	2
HS− 300x300	2	RA− 375m³/h	2

RP実験室			
VHS−200x200	1	SA− 150m³/h	1
HS− 200x200	1	RA− 150m³/h	1

漆工実習室			
VHS−200x200	1	SA− 200m³/h	1
HS− 200x200	1	RA− 200m³/h	1

着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工	[redacted]		

完成図 空 − S15

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

空

41 − 18

2・3・4・5階平面図（ダクト）

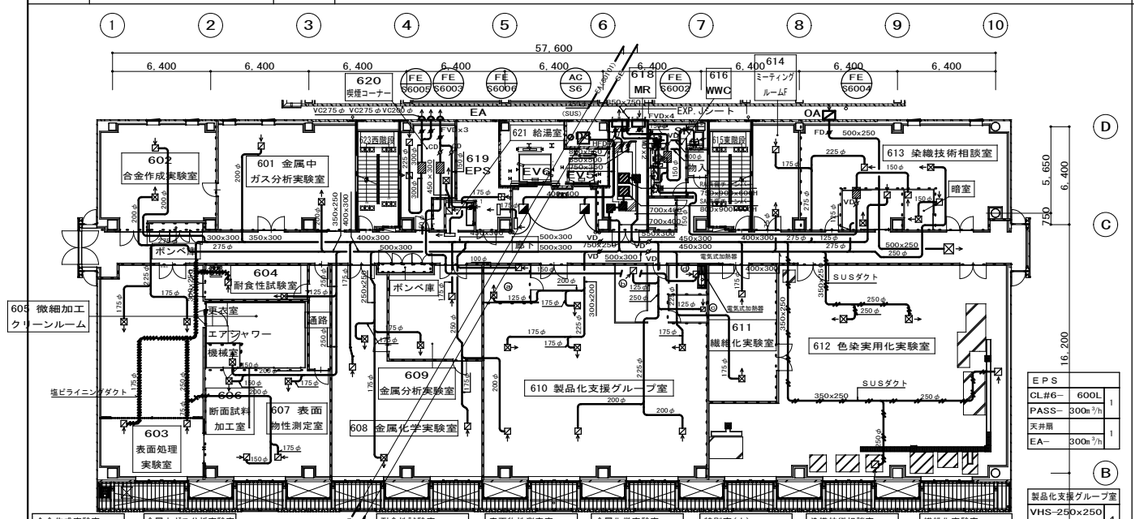
NO. 0 − 060186 − D

（建−081225）
090110 コ

本件の更新対象を示す

720×500

01 6階平面図 1/200



合金作成実験室		
VHS-250×250		
SA— 350㎥/h	1	
HS— 250×250		
RA— 350㎥/h	1	

金属中ガス分析実験室		
VHS—300×300		
SA— 400㎥/h	1	
HS— 300×300		
RA— 400㎥/h	1	

耐食性試験室		
VHS— 150×150		
SA— 100㎥/h	1	
HS— 150×150		
RA— 100㎥/h	1	

表面物性測定室		
VHS-250×250		
SA— 250㎥/h	1	
HS— 250×250		
RA— 250㎥/h	1	

金属化学実験室		
VHS-250×250		
SA— 300㎥/h	2	
HS— 250×250		
RA— 300㎥/h	2	

特別室(小)		
VHS— 150×150		
SA— 100㎥/h	1	
HS— 150×150		
RA— 100㎥/h	1	

染織技術相談室		
VHS—300×300		
SA— 500㎥/h	1	
HS— 300×300		
RA— 500㎥/h	1	
HS— 200×200		
PASS— 200㎥/h	1	

繊維化実験室		
VHS-250×250		
SA— 250㎥/h	1	
HS— 250×250		
RA— 250㎥/h	1	

表面処理実験室		
VHS-250×250		
SA— 300㎥/h	2	
HS— 250×250		
RA— 300㎥/h	2	

微細加工クリーンルーム		
VHS—200×200		
SA— 200㎥/h	1	

WWC		
CL#4— 500L	3	
EA— 67㎥/h		

暗室		
HS— 200×200		
EA— 200㎥/h	1	
HS— 200×200		
PASS— 200㎥/h	1	

廊下		
CL#6— 600L	2	
PASS— 300㎥/h		
VHS(F付)—650×650	1	
OA— 2100㎥/h		

断面試料加工室		
VHS—200×200		
SA— 150㎥/h	1	
HS— 200×200		
RA— 150㎥/h	1	

金属分析実験室		
VHS-250×250		
SA— 250㎥/h	1	
HS— 250×250		
RA— 250㎥/h	1	

喫煙コーナー		
HS— 350×350		
EA— 1000㎥/h	2	
VHS—600×600		
PASS—2000㎥/h	1	

ミーティングルームF		
VHS-250×250		
SA— 300㎥/h	1	
HS— 250×250		
RA— 300㎥/h	1	

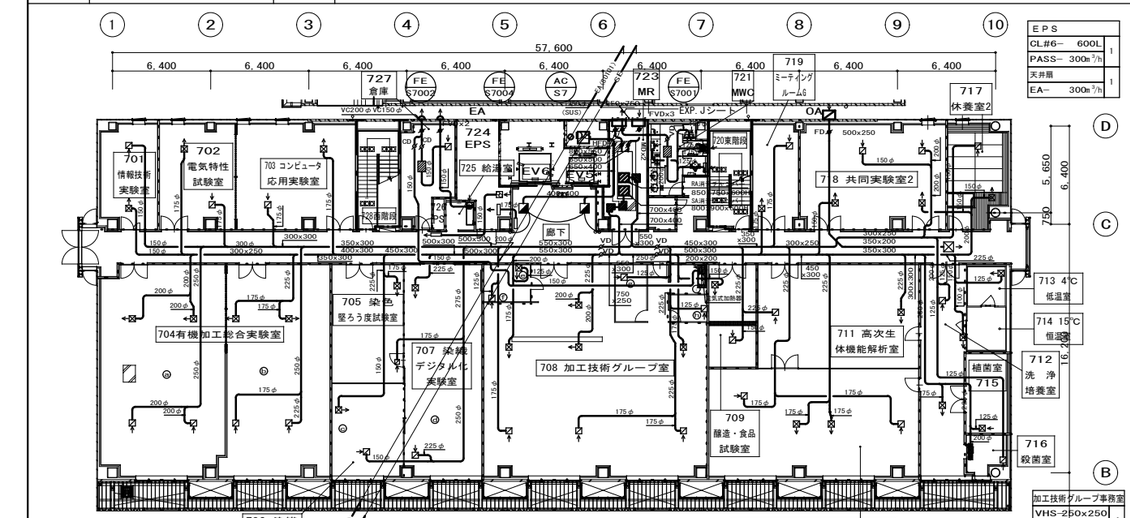
廊下・湯沸		
パネル型排管2 450×450		
SE— 5150㎥/h	2	

色染実用化実験室		
VHS-350×350		
SA— 700㎥/h	2	
HS— 350×350		
RA— 675㎥/h	2	

EPS		
CL#6— 600L	1	
PASS— 300㎥/h		
天井扇	1	
EA— 300㎥/h		

製品化支援グループ室		
VHS-250×250		
SA— 275㎥/h	4	
HS— 250×250		
RA— 235㎥/h	3	
Ⓐ VHS— 100×100	1	
SA— 100㎥/h		
HS— 100×100	1	
RA— 100㎥/h		
Ⓑ HS— 150×150	1	
RA— 100㎥/h		
Ⓒ HS— 150×150	1	
RA— 100㎥/h		
Ⓓ HS— 200×200	1	
EA— 200㎥/h		

02 7階平面図 1/200



情報技術実験室		
VHS—200×200		
SA— 200㎥/h	1	
HS— 200×200		
RA— 200㎥/h	1	

コンピューター応用実験室		
VHS-250×250		
SA— 250㎥/h	1	
HS— 250×250		
RA— 250㎥/h	1	

電気特性試験室		
VHS-250×250		
SA— 275㎥/h	1	
HS— 250×250		
RA— 250㎥/h	1	

染色堅ろう度試験室		
VHS—		
SA— 250㎥/h	1	
HS— 250×200		
RA— 250㎥/h	1	

倉庫		
HS— 200×200		
EA— 200㎥/h	1	

植菌室		
VHS—300×300		
SA— 400㎥/h	1	

有機加工総合実験室		
Ⓐ VHS-250×250		
SA— 350㎥/h	2	
HS— 250×250		
RA— 350㎥/h	2	
Ⓑ VHS-250×250		
SA— 300㎥/h	2	
HS— 250×250		
RA— 300㎥/h	2	

染織デジタル化実験室		
Ⓒ VHS—200×200		
SA— 200㎥/h	1	
HS— 200×200		
RA— 200㎥/h	1	

染織デジタル化実験室		
Ⓓ VHS—300×300		
SA— 450㎥/h	1	
HS— 300×300		
RA— 450㎥/h	1	

4℃低温実験室		
VHS— 150×150		
SA— 100㎥/h	1	

醸造・食品試験室		
VHS—200×200		
SA— 150㎥/h	1	
HS— 200×200		
RA— 150㎥/h	1	

高次生体機能解析室		
VHS—300×300		
SA— 450㎥/h	1	
HS— 300×300		
RA— 450㎥/h	1	

廊下・湯沸		
パネル型排管2 450×450		
SE— 5100㎥/h	2	

洗浄・培養室		
VHS-250×250		
SA— 250㎥/h	1	
VHS— 100×100		
SA— 50㎥/h	1	
HS— 250×200		
RA— 250㎥/h	1	

殺菌室		
VHS— 150×150		
SA— 100㎥/h	1	
HS— 150×150		
RA— 100㎥/h	1	

食品分析・微生物実験室		
VHS-250×250		
SA— 300㎥/h	2	
HS— 250×250		
RA— 300㎥/h	2	

休養室2		
VHS—200×200		
SA— 200㎥/h	1	
HS— 200×200		
RA— 200㎥/h	1	

共同実験室2		
VHS—200×200		
SA— 200㎥/h	2	
HS— 200×200		
RA— 200㎥/h	2	

ミーティングルームG		
VHS-250×250		
SA— 300㎥/h	1	
HS— 250×250		
RA— 300㎥/h	1	

廊下		
CL#6— 600L	2	
PASS— 300㎥/h		
VHS(F付)—650×650	1	
OA— 1080㎥/h		

MWC		
CL#4— 500L	3	
EA— 117㎥/h		
SK		
CL#4— 500L	1	
EA— 50㎥/h		

EPS		
CL#6— 600L	1	
PASS— 300㎥/h		
天井扇	1	
EA— 300㎥/h		

加工技術グループ事務室		
VHS-250×250		
SA— 275㎥/h	4	
HS— 250×250		
RA— 235㎥/h	3	
Ⓔ VHS— 150×150	1	
SA— 100㎥/h		
Ⓕ HS— 150×150	1	
RA— 100㎥/h		
Ⓖ HS— 150×150	1	
RA— 100㎥/h		
Ⓗ HS— 150×150	1	
RA— 100㎥/h		
Ⓘ HS— 200×200	1	
EA— 200㎥/h		

着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図 空 - S16

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

6・7階平面図(ダクト)

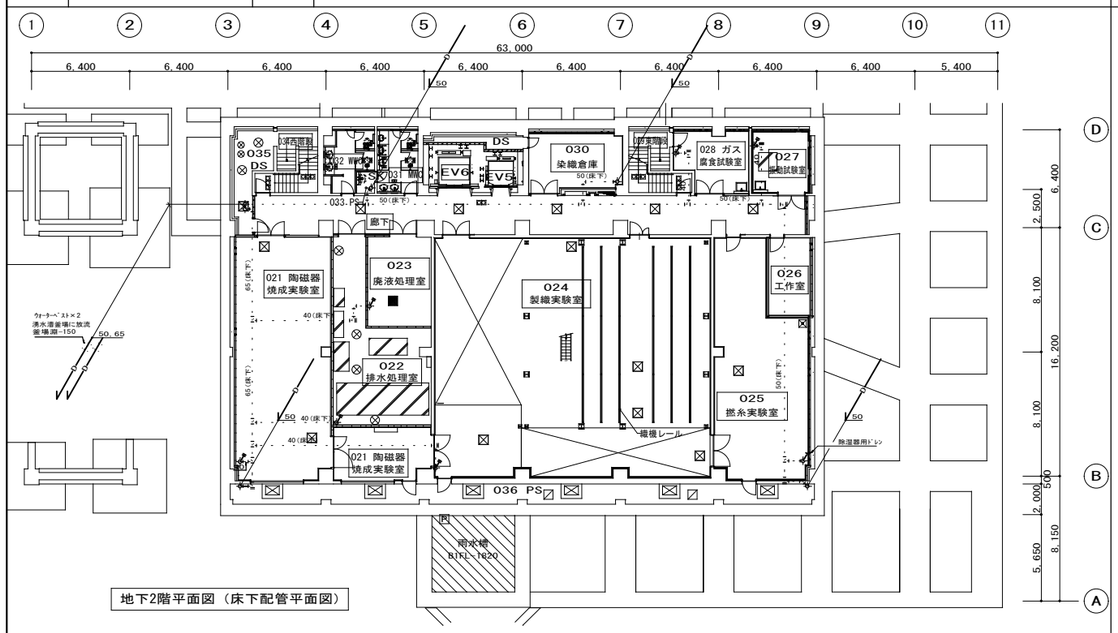
空 41 – 20

NO. 0 – 060186 - D

更新対象は機器リスト及び系統図を参照

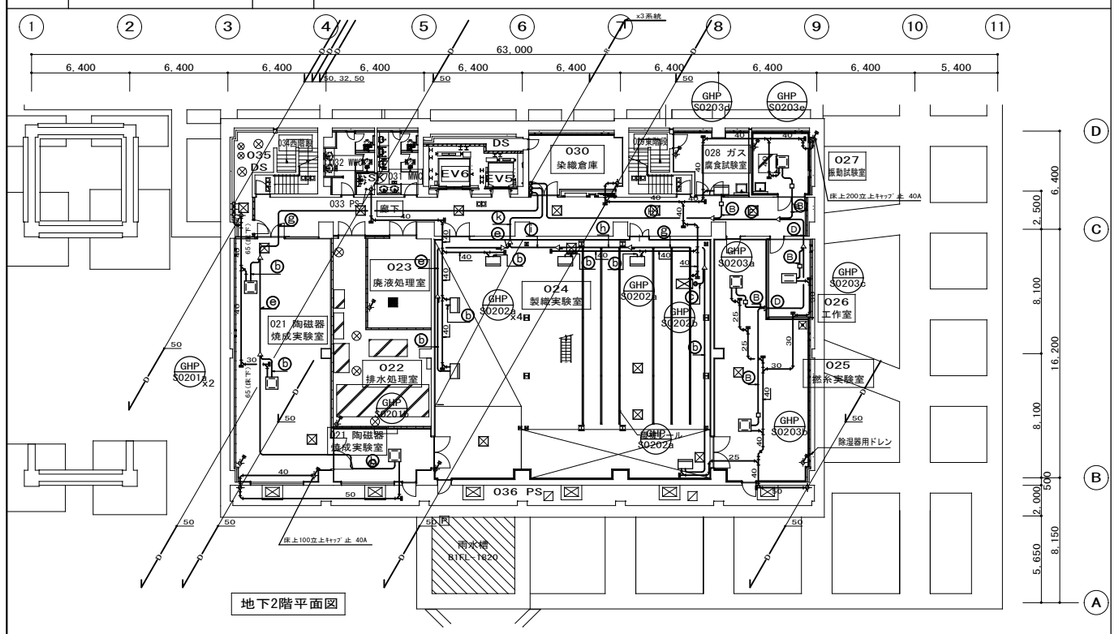
720×500

01 地下2階ピット図 1/200



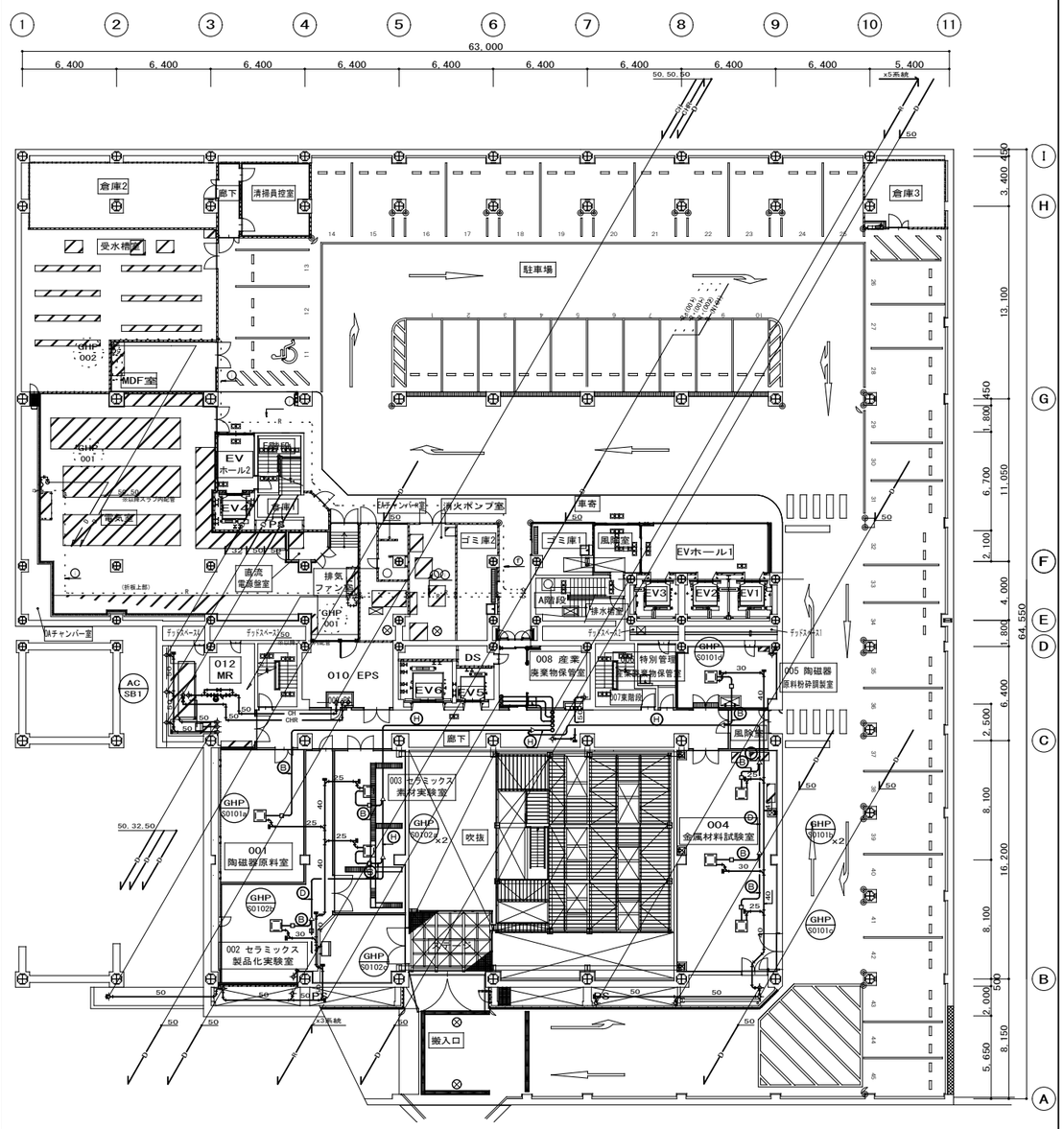
地下2階平面図（床下配管平面図）

01 地下2階平面図 1/200



地下2階平面図

02 地下1階平面図 1/200



室内ユニットの接続サイズ

室内ユニット容量(kW)	ガス管φ	液管φ
2.2、2.8、3.6、4.5、5.6	12.7	6.4
7.1、8.0、9.0、11.2、14.0、16.0	15.9	9.5
22.4	19.1	9.5
28.0	22.2	9.5

空調ドレン管サイズ表 (注:記入無し)

室内機台数	管サイズφ(立管共)
1台	32φ
2～4台迄	40φ
5台以上	50φ

※但し床置型AC, GHP室外機接続サイズは50φとする。

冷媒管サイズ表

記号	吸入ガス管φ	吐出ガス管φ	液管φ
Ⓐ	12.7	9.5	6.4
Ⓑ	15.9	12.7	9.5
Ⓒ	19.1	15.9	9.5
Ⓓ	24.5	19.1	12.7
Ⓔ	28.6	22.2	12.7
Ⓕ	28.6	22.2	15.9
Ⓖ	28.6	25.4	15.9
Ⓗ	31.8	25.4	19.1
Ⓘ	31.8	28.6	19.1
Ⓙ	31.8	31.8	19.1

記号	液管φ	ガス管φ
ⓐ	9.5	12.7
ⓑ	9.5	15.9
ⓒ	9.5	19.1
ⓓ	9.5	22.2
ⓔ	12.7	25.4
ⓕ	12.7	28.6
ⓖ	15.9	28.6
ⓗ	15.9	31.8
ⓘ	19.1	31.8
ⓙ	19.1	38.1
ⓚ	22.2	38.1
ⓛ	12.7	22.2

着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

——— ：共用部分を示す。

完成図 空 - S17

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

空 41 －22

地下2階・地下1階平面図(配管)

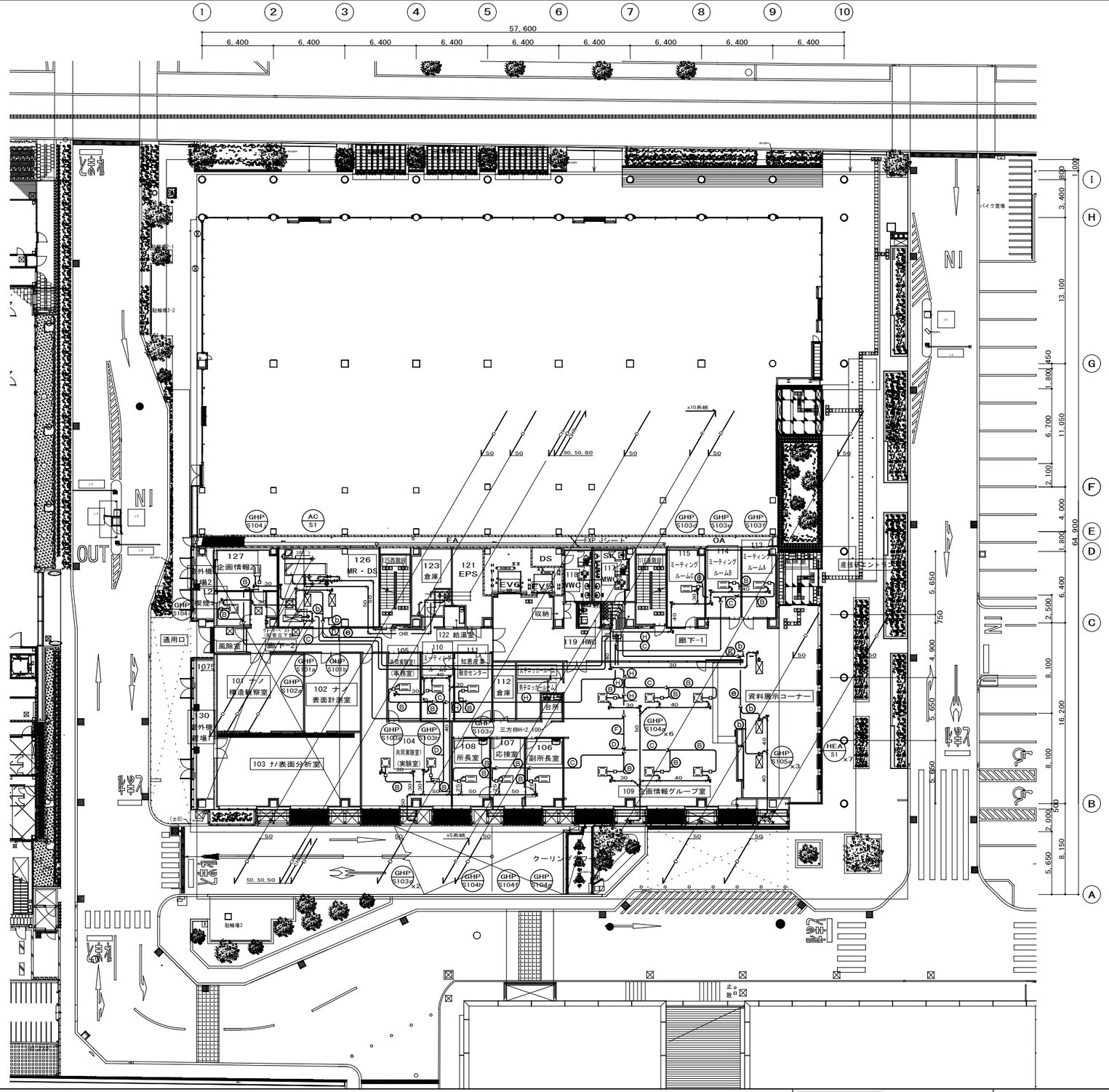
NO. 0－060186－D

(建-081225)
090110 コ 090121 HO 090126 HO

更新対象は機器リスト及び系統図を参照

720×500

01	1階平面図	1/200



室内ユニットの接続サイズ

室内ユニット容量(kW)	ガス管φ	液管φ
2.2、2.8、3.6、4.5、5.6	12.7	6.4
7.1、8.0、9.0、11.2、14.0、16.0	15.9	9.5
22.4	19.1	9.5
28.0	22.2	9.5

空調ドレン管サイズ表 (注:記入無し)

室内機台数	管サイズφ(立管共)
1台	32φ
2～4台迄	40φ
5台以上	50φ

※但し床置型AC, GHP室外機接続サイズは50φとする。

冷媒管サイズ表

記号	吸入ガス管φ	吐出ガス管φ	液管φ
Ⓐ	12.7	9.5	6.4
Ⓑ	15.9	12.7	9.5
Ⓒ	19.1	15.9	9.5
Ⓓ	24.5	19.1	12.7
Ⓔ	28.6	22.2	12.7
Ⓕ	28.6	22.2	15.9
Ⓖ	28.6	25.4	15.9
Ⓗ	31.8	25.4	19.1
Ⓘ	31.8	28.6	19.1
Ⓙ	31.8	31.8	19.1

記号	液管φ	ガス管φ
ⓐ	9.5	12.7
ⓑ	9.5	15.9
ⓒ	9.5	19.1
ⓓ	9.5	22.2
ⓔ	12.7	25.4
ⓕ	12.7	28.6
ⓖ	15.9	28.6
ⓗ	15.9	31.8
ⓘ	19.1	31.8
ⓙ	19.1	38.1
ⓚ	22.2	38.1
ⓛ	12.7	22.2

着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図　空 - S18

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

1階平面図(配管)

(空) 41 - 23

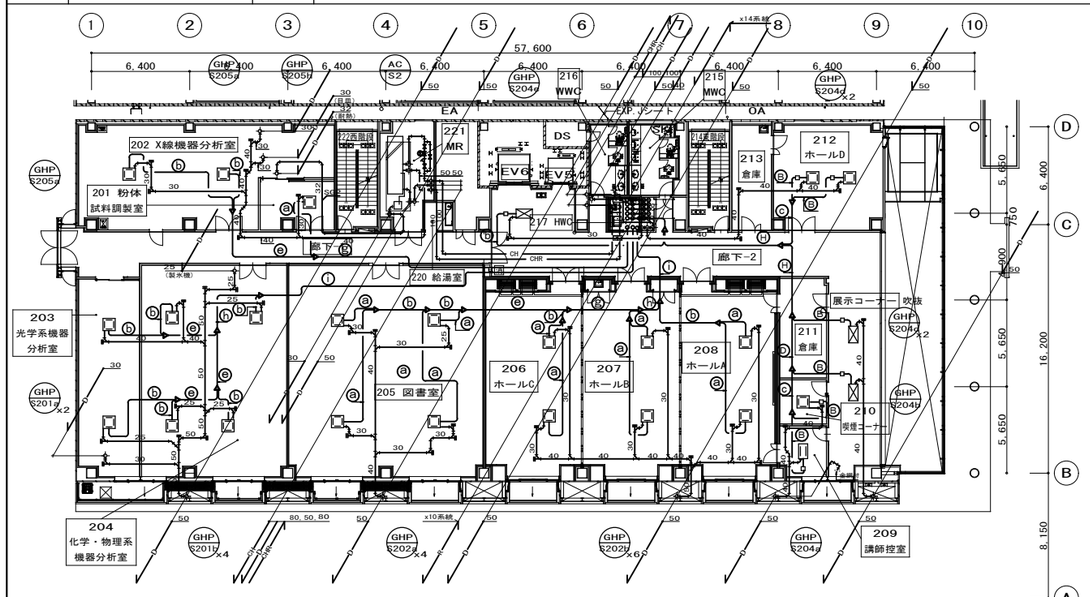
NO. 0 - 060186 - D

(建-081225)
090110 コ 090111 HO

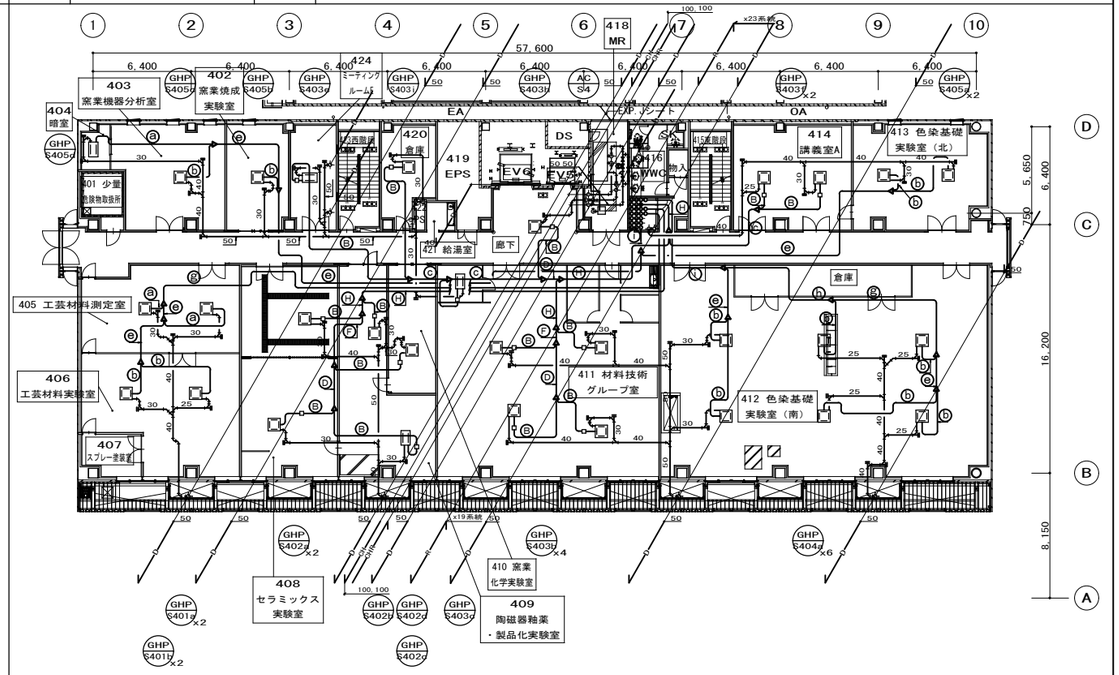
更新対象は機器リスト及び系統図を参照

720 × 500

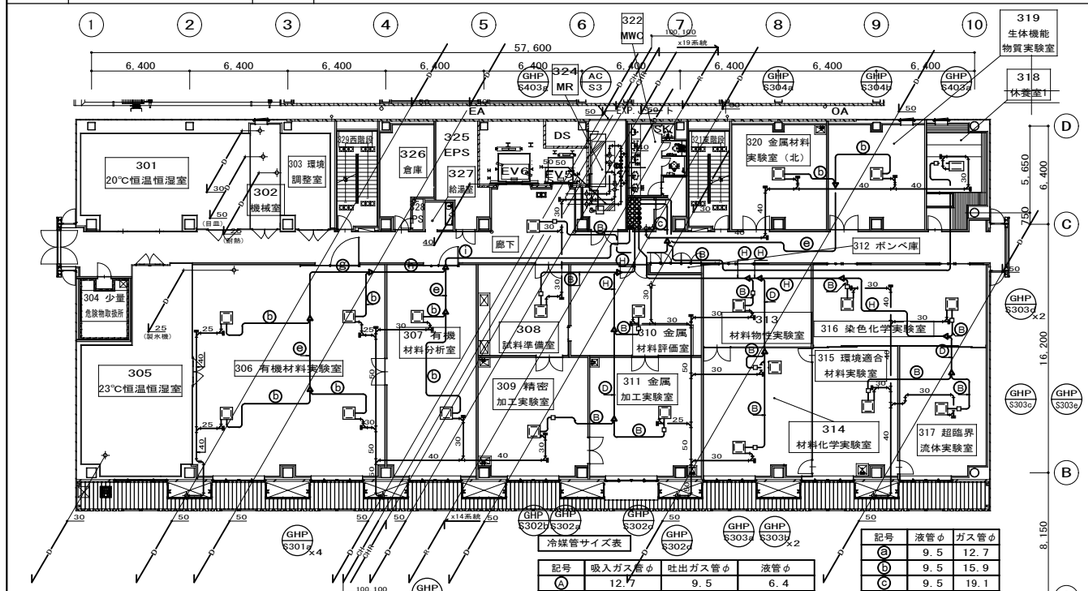
01 2階平面図 1/200



03 4階平面図 1/200



02 3階平面図 1/200



室内ユニットの接続サイズ

室内ユニット容量(kW)	ガス管φ	液管φ
2.2、2.8、3.6、4.5、5.6	12.7	6.4
7.1、8.0、9.0、11.2、14.0、16.0	15.9	9.5
22.4	19.1	9.5
28.0	22.2	9.5

空調ドレン管サイズ表 （注：記入無し）

室内機台数	管サイズφ(立管共)
1台	32φ
2～4台迄	40φ
5台以上	50φ

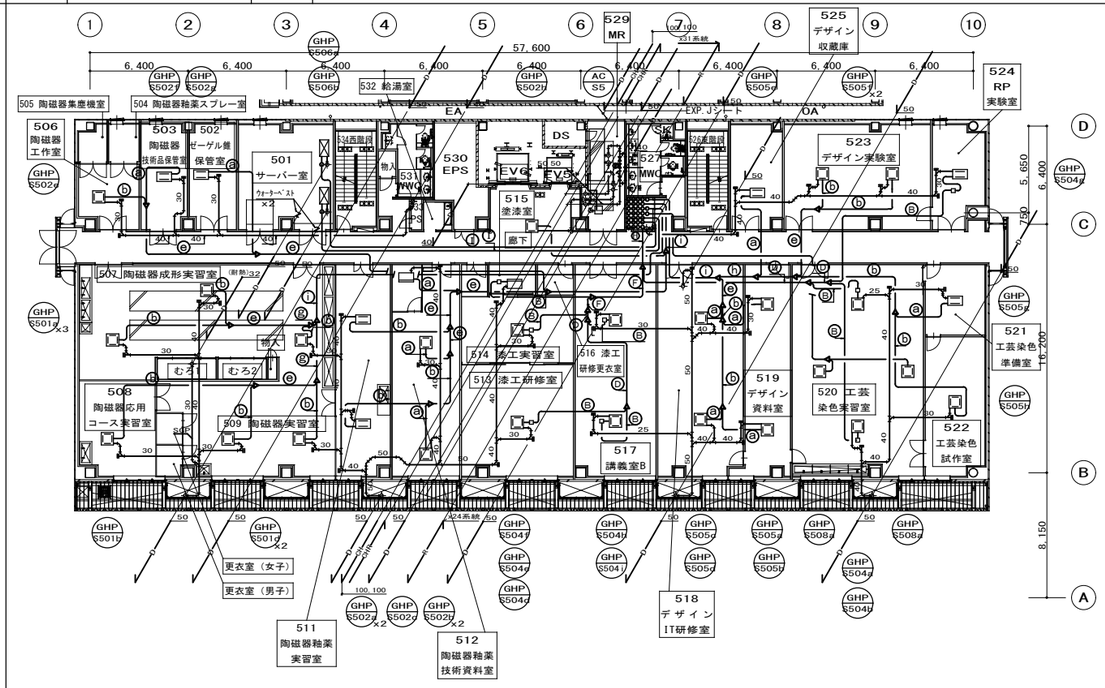
※但し床置型AC, GHP室外機接続サイズは50φとする。

冷媒管サイズ表

記号	吸入ガス管φ	吐出ガス管φ	液管φ
A	12.7	9.5	6.4
B	15.9	12.7	9.5
C	19.1	15.9	9.5
D	24.5	19.1	12.7
E	28.6	22.2	12.7
F	28.6	22.2	15.9
G	28.6	25.4	15.9
H	31.8	25.4	19.1
I	31.8	28.6	19.1
J	31.8	31.8	19.1

記号	液管φ	ガス管φ
a	9.5	12.7
b	9.5	15.9
c	9.5	19.1
d	9.5	22.2
e	12.7	25.4
f	12.7	28.6
g	15.9	28.6
h	15.9	31.8
i	19.1	31.8
j	19.1	38.1
k	22.2	38.1
l	12.7	22.2

04 5階平面図 1/200



着工	2009_06_01	. .	
竣工	2010_08_18	. .	
監理		. .	
施工		[redacted]	

完成図 空 - S19

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

2・3・4・5階平面図（配管）

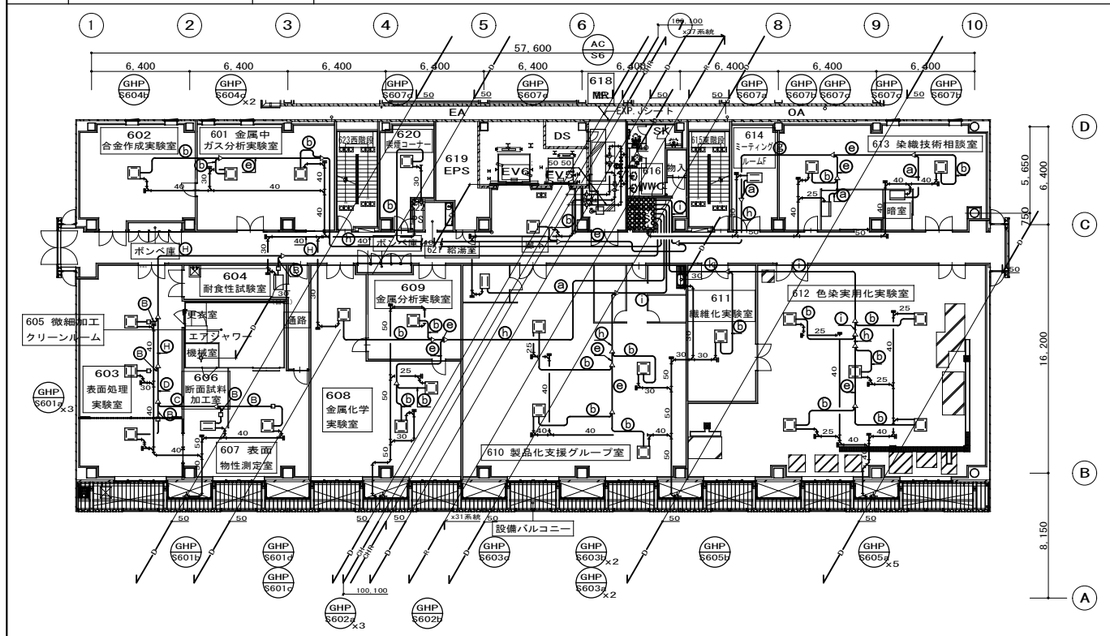
空 41 －24

NO. 0－060186－D

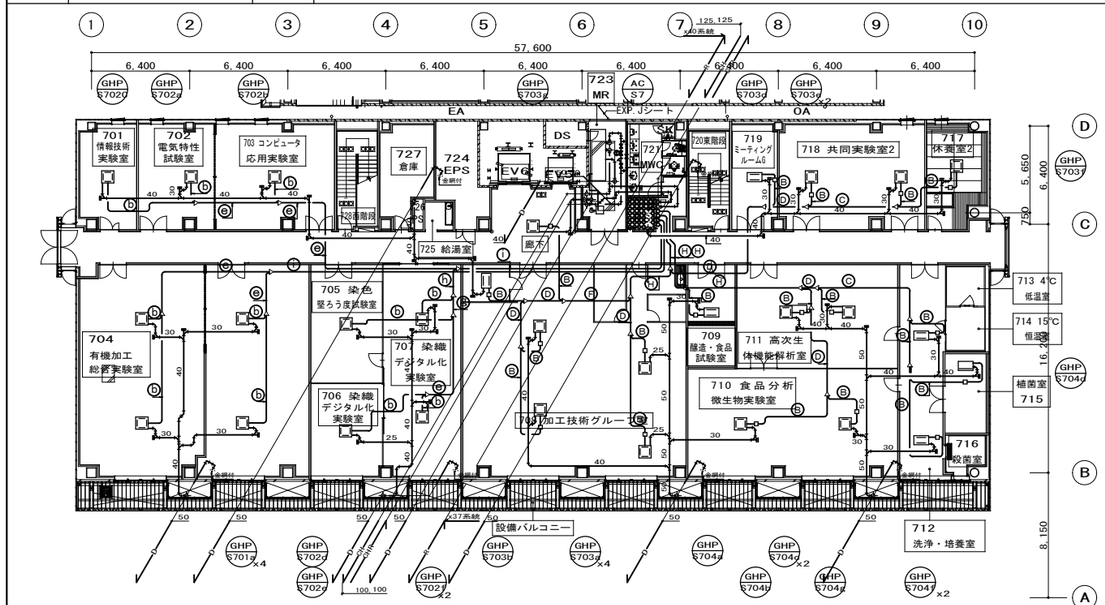
更新対象は機器リスト及び系統図を参照

720×500

01 6階平面図 1/200



02 7階平面図 1/200



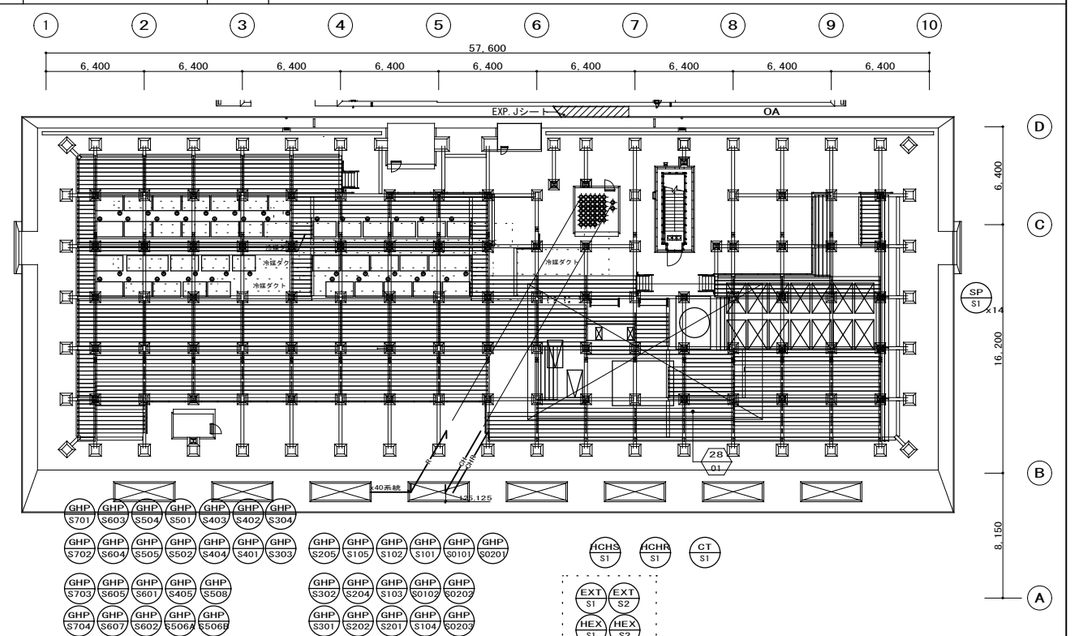
記号	吸入ガス管φ	吐出ガス管φ	液管φ
Ⓐ	12.7	9.5	6.4
Ⓑ	15.9	12.7	9.5
Ⓒ	19.1	15.9	9.5
Ⓓ	24.5	19.1	12.7
Ⓔ	28.6	22.2	12.7
Ⓕ	28.6	22.2	15.9

記号	吸入ガス管φ	吐出ガス管φ	液管φ
Ⓖ	28.6	25.4	15.9
Ⓗ	31.8	25.4	19.1
Ⓘ	31.8	28.6	19.1
Ⓙ	31.8	31.8	19.1

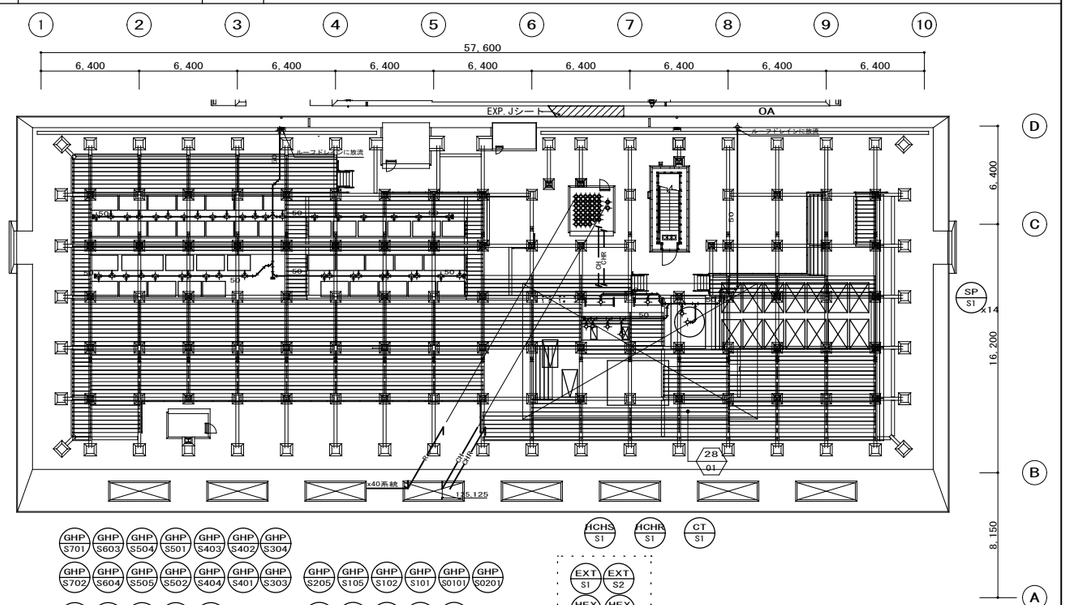
記号	液管φ	ガス管φ
ⓐ	9.5	12.7
ⓑ	9.5	15.9
ⓒ	9.5	19.1
ⓓ	9.5	22.2
ⓔ	12.7	25.4
ⓕ	12.7	28.6

記号	液管φ	ガス管φ
ⓖ	15.9	28.6
ⓗ	15.9	31.8
ⓘ	19.1	31.8
ⓙ	19.1	38.1
ⓚ	22.2	38.1
ⓛ	12.7	22.2

03 P1階冷媒配管平面図 1/200



04 P1階ドレン配管平面図 1/200



着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図 空 - S20

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

6・7階平面図(配管)

空 41 - 26

NO. 0 - 060186 - D

本件の更新対象を示す

720×500

1 熱源廻り詳細図 1/50

2 熱源系統図 —

凡例

SHS, SHR	：	太陽熱温水
HHS, HHR	：	熱源水
CHS, CHR	：	冷温水
CDS, CDR	：	冷却水
HS, HR	：	温水
	：	仕切弁
	：	電動二方弁
	：	電動三方弁
	：	Y型ストレーナ
	：	フレキシブル継手
	：	逆止弁
F	：	流量計
TP	：	温度計

ポンプ及び
流量計(2箇所)

（熱交ユニット詳細）

着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図 空 - S21

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

空調詳細図

空 41 －28

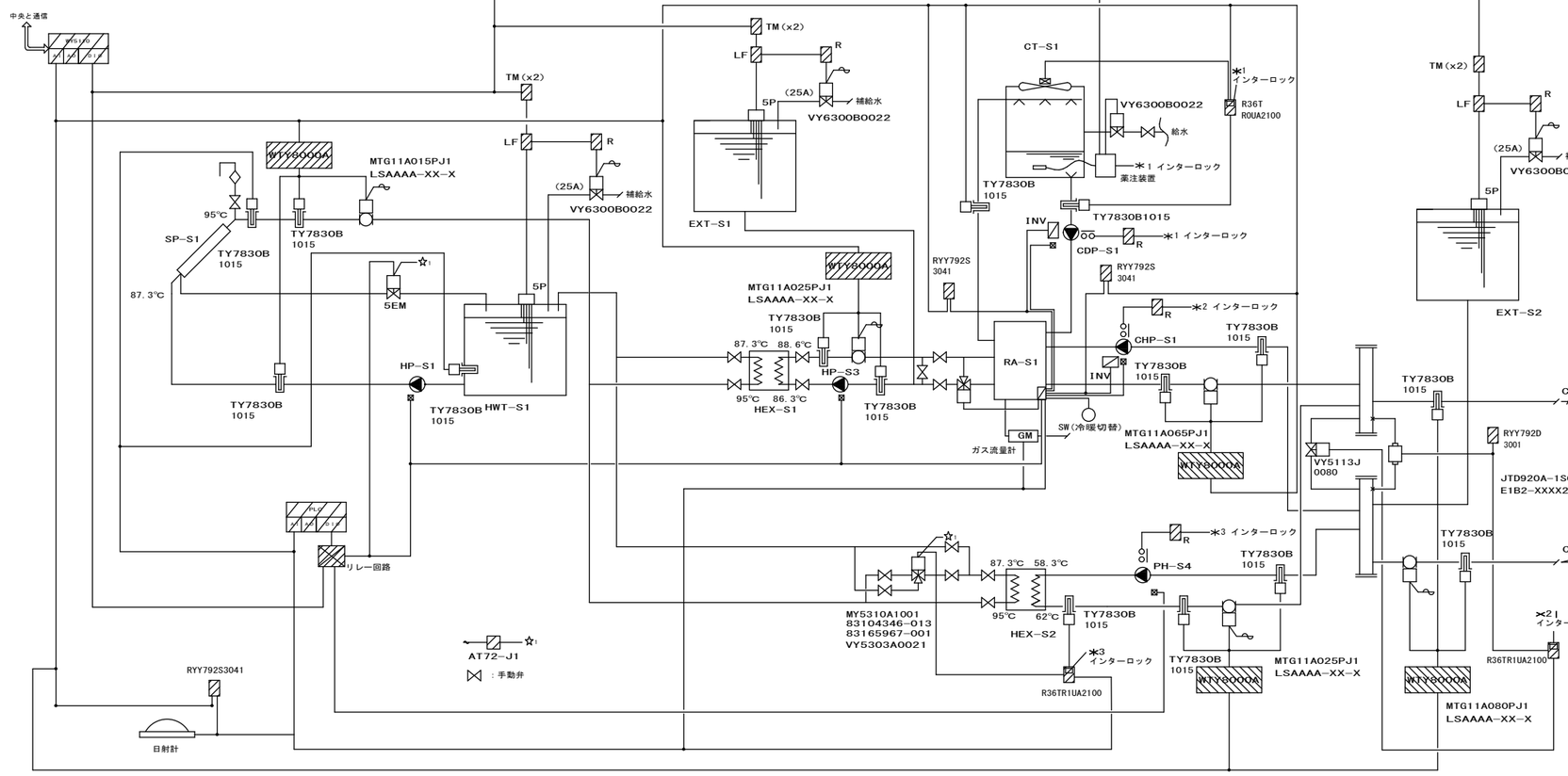
NO. 0－060186－D

【既存設備図】更新対象は機器リスト及び系統図を参照

720×500

1	熱源廻り制御	1組

収納盤	区分
AP−SP1A	S棟



（制御内容）

1．ポンプ発停制御

HP−S１）　吸収式（RA−S１）の運転時かつ日射量が設定以上で落水弁を閉にし運転する。
3分間運転後に温度計測でパネル出口温度＞パネル入口温度の時は運転継続。

HP−S３）　吸収式（RA−S１）の冷房運転時、３分後に熱交換器（HEX−S１）の
１次側往温度＞排熱再生器溶液温度で温度差+10℃の時に運転する。
ただし１次側往温度＜排熱再生器溶液温度で温度差+８℃の時10分間運転継続後
HP−S3を停止する。

HP−S４）　吸収式（RA−S１）の暖房運転時、３分後に熱交換器（HEX−S2）の
１次側往温度＞二次側還温度の時に運転し継続する。
ただし１次側往温度＜60度の時は10分間運転継続後に停止する。

2．沸騰・凍結防止制御

凍結防止制御はパネル入口温度が設定値以下の場合、HP−S１を運転し設定値より＋0.5℃で停止させる。
（但し、吸収式（RA−S１）停止時は常時落水状態）
沸騰防止制御はパネル温度が設定値（95℃）以上の場合、HP−S１を停止し落水弁開とする。
HWT−S1のタンク内温度が９０℃以下で通常運転とする。

3．HEX−S２送水温度制御

HP−S４の運転信号で熱交換器(HEX−S２）出口温度が62度になるようソーラー系統（1次側）三方弁の比例制御を行う。

4．RA−S１三方弁制御

吸収式（RA−S1）本体からの信号により、熱源水の制御を行う。

5．CT−S１ファン発停制御

冷却搭（CT−S１）の冷却水出口温度によりファンの発停を行う。

6．HWT−S１温水タンク水位制御

タンク内レベルスイッチにより、給水用電動弁ＯＮ／ＯＦＦ制御を行う。
又、満水、減水警報を中央へ出力する。

7．膨張タンク水位制御（×２組）

タンク内レベルスイッチにより、給水用電動弁ＯＮ／ＯＦＦ制御を行う。
又、満水、減水警報を中央へ出力する。

8．ＣＴ自動ブロー制御

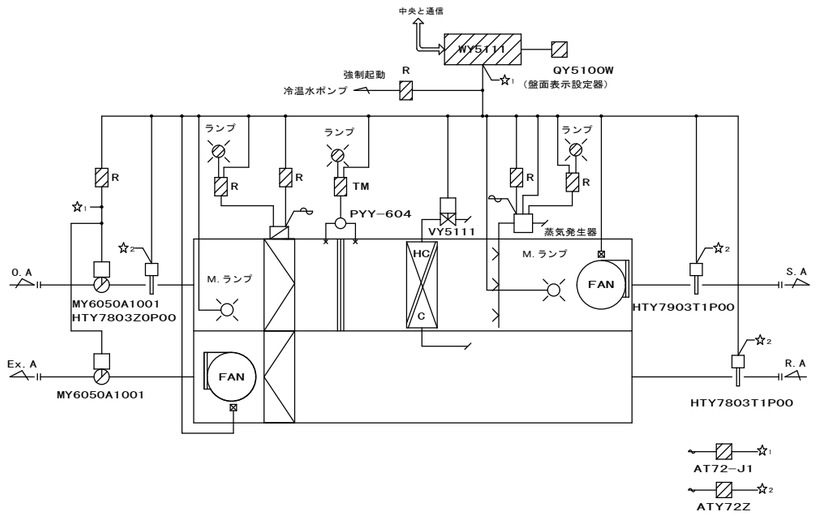
（自動ブロー装置は冷却搭メーカーからの支給品）

9．往還バイパス制御

負荷側にかかる差圧を一定にするため、往還バイパス弁の比例制御を行う。

（注記）１．冷却水ポンプ、冷温水ポンプの変流量制御は、RA-S1本体機能とし、
配線工事を自動制御工事とする。
２．インバータ、及びその調整は電気設備工事とする。
３．連動シーケンス回路は熱源機機側盤内回路及び動力盤内回路とし、
熱源機とポンプ類、冷却塔ファンの連動配線、インターロック渡り配線は
電気設備工事とする
４．冷房時の太陽熱温水利用判断はRA-S1本体機能とする。

2	空調機制御	8組

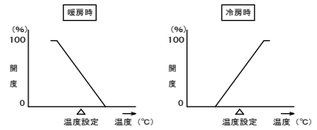


空調機記号	系統名	収納盤	区分
AC−SB1	S棟B1・B2F系統	AP−SB1A	S棟
AC−S1	S棟1F系統	AP−S1AB	S棟
AC−S2	S棟2F実験室系統	AP−S2AB	S棟
AC−S3	S棟3F系統	AP−S3AB	S棟
AC−S4	S棟4F系統	AP−S4AB	S棟
AC−S5	S棟5F系統	AP−S5AB	S棟
AC−S6	S棟6F系統	AP−S6AB	S棟
AC−S7	S棟7F系統	AP−S7AB	S棟

制御項目

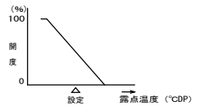
1．給気温度制御

給気温度により冷温水弁の比例制御を行う。



2．給気露点温度制御

給気露点温度により蒸気発生器の比例制御を行う。



3．全熱交換器制御

外気取入有効時、ロータへの間欠運転モード指令の出力を行う。

4．凍結防止制御

外気取入れダクト内温度が設定値以下になった時冷温水弁を設定開度（１００%）に開く。
（冷温水弁ポンプ停止時は強制的に冷温水ポンプを起動する）

5．空調機停止時のインターロック制御

（対象：ダンパ／２方弁／加湿器）

着工	2009_06_01	. .	
竣工	2010_08_18	. .	
監理		. .	
施工		. .	[redacted]

完成図　空 − S22

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

自動制御計装図（1）

㊕ 41 − 29

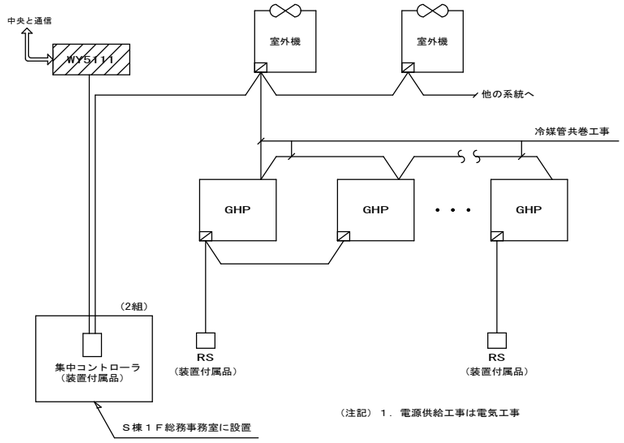
NO. 0 − 060186 − D

【既存設備図】更新対象は機器リスト及び系統図を参照

720×500

3 ＧＨＰ渡り配線工事 －

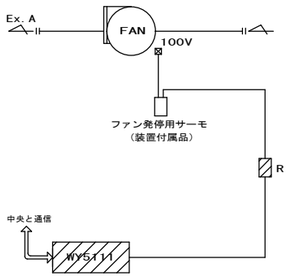
収納盤	区分
AP−S1AB	S棟



（注記）１．電源供給工事は電気工事

4 ファン発停制御 1組

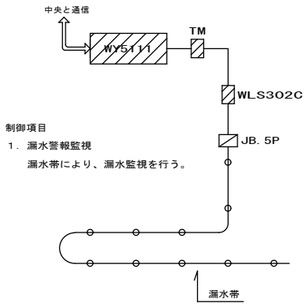
系統	収納盤	排気ファン	区分
1F EPS系統	AP−S1AB	FE−S1009	S棟
2F EPS系統	AP−S2AB	FE−S2004	S棟
3F EPS系統	AP−S3AB	FE−S3006	S棟
4F EPS系統	AP−S4AB	FE−S4008	S棟
5F EPS系統	AP−S5AB	FE−S5006	S棟
6F EPS系統	AP−S6AB	FE−S6006	S棟
7F EPS系統	AP−S7AB	FE−S7004	S棟



制御項目
１．中央監視盤にて状態監視を行う。

5 漏水警報監視 2組

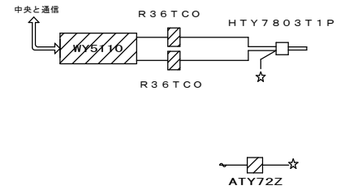
系統名	収納盤	区分
S棟5Fサーバー室 天井	AP−S5AB	S棟
S棟5Fサーバー室 GHP廻り	AP−S5AB	S棟



制御項目
１．漏水警報監視
　漏水帯により、漏水監視を行う。

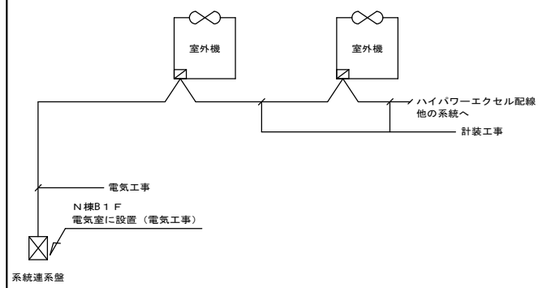
6 外気温湿度計測 1組

収納盤	区分
AP−SP1A	S棟



7 ＧＨＰハイパワーエクセル渡り配線工事 －

区分
S棟



8 リスト一覧

凡例

- ケーブル
- ＡＣ１００Ｖ ｏｒ ２００Ｖ
- ファンインターロック
- 現場盤内取付機器
- 監視盤との信号受渡し

盤寸法表

盤名	形状	寸法 W	寸法 H	寸法 D	備考
AP−SB1A	壁掛	700	1300	350	
AP−S1AB	自立	600	2020	350	
AP−S2AB	自立	600	2020	350	
AP−S3AB	自立	600	2020	350	
AP−S4AB	自立	600	2020	350	
AP−S5AB	自立	600	2020	350	
AP−S6AB	自立	600	2020	350	
AP−S7AB	自立	600	2020	350	
AP−SP1A	自立	2150	2400	400	

自動制御機器表

形番	名称	備考
VY6300B	電動ボール弁	水用
WTY8000A	積算熱量計	温度検出部別途
RYY792D	ＤＣ２４Ｖ電源	
WY5111	デジタル式調節器	
JTD	微差圧発信器	
R36TR1	差圧指示調節器	
PYY−604	差圧スイッチ	
MTG11A	電磁流量計	
HY6000Z	湿度調節器	二位置動作
RYY792S	アイソレータ	
R36TC0	湿度指示計	
WLS261B/5P	液面リレー／電極棒	付属品含む
MY6050A	ダンパ操作器	2位置
VY5111	電動２方弁	水用
VY5113J	電動２方弁	
MY5310A+VY5303A	電動３方弁	水用，40A以下
5EM	電動２方弁	
QY5100W	オペレータパネル(盤表面型)	
R	補助リレー	
TY7043Z	温度検出器	Pt100Ω
TY7803Z0P	温度検出器	Pt100Ω
TY7830B15	温度検出器	Pt100Ω，R3/4
HTY7903T1P	温度・露点温度検出器	Pt100Ω，高分子素子
HTY7803T1P	温湿度発信器	Pt100Ω，高分子素子
R36TC0	温度指示計	
R36TR0	温度指示調節計	電子式 二位置
R36TR0	温度指示調節計	電子式 二位置 二段
R36TR1	温度指示調節計	電子式 比例
－	タイマー	
AT72−J1	トランス	
ATY72Z	絶縁トランス	
WLS302C	漏水検出器	ソケット付

バルブ口径表

系統名	弁型番	流体	流量 (l/s)	Pi (kPa)	ΔP (kPa)	CV	口径(A)	備考
＜熱源廻り制御＞								
〔SP−S1〕								
SP−S1落水弁	5EM2S2B2	H	30				25	
HWT−S1補給水弁	VY6300B0021	W					20	
流量計	MTG11A015PJ1LSBAAA	H	30			1.8	15	
〔HEX−S1〕								
1次側三方弁	VY5303A0021	H	30		27.01	4	20	
2次側流量計	MTG11A025P11LSBAAA	H	100			6	25	
〔HEX−S2〕								
1次側三方弁	VY5303A0021	H	30		27.01	4	20	
2次側流量計	MTG11A025P11LSBAAA	H	140			8.4	25	
〔EXT−S1〕								
EXT−S1補給水弁	VY6300B0021	W					20	
〔EXT−S2〕								
EXT−S2補給水弁	VY6300B0021	W					20	
〔RA−S1〕								
往側流量計	MTG11A065P11LSBAAA	CH	945			56.7	65	
〔CT−S1〕								
CT−S1補給水弁	VY6300B0021	W					20	
〔2次側〕								
ヘッダーバイパス弁	VY5113J0080	CH	1085		62.64	95	80	
還側流量計	MTG11A080P11LSBAAA	CH	1085			65.1	80	
〔空調機制御〕								
AC−SB1	VY5110J0041	CH	128		12.59	25	40	
AC−S1	VY5110J0022	CH	108		21.88	16	25	
AC−S2	VY5110J0041	CH	129		12.79	25	40	
AC−S3	VY5110J0022	CH	106		21.08	16	25	
AC−S4	VY5110J0022	CH	120		27.01	16	25	
AC−S5	VY5110J0022	CH	117		25.68	16	25	
AC−S6	VY5110J0022	CH	121		27.46	16	25	
AC−S7	VY5110J0022	CH	117		25.68	16	25	

着工	2009_06_01	. .	
竣工	2010_08_18	. .	
監理		. .	
施工		[redacted]	

完成図　空 − S23

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

自動制御計装図（２）

空 41 − 30

NO. O − 060186 − D

【既存設備図】更新対象は機器リスト及び系統図を参照

720×500

1	中央管理点入出力一覧表	–	

記号	名称	リモート盤	動力盤 制御盤 他	取合	操作			表示				計測				計量	備考
					設定	切換	発停	状態	COS故障	トリップ故障	警報	温度	湿度	その他			
SP−S1	太陽熱集熱パネル出入口温度	AP−SP1A										2					
	太陽熱集熱パネル出口瞬時流量	AP−SP1A												1			
	太陽熱集熱パネル出口積算流量	AP−SP1A														1	
	太陽熱集熱パネル発生瞬時熱量	AP−SP1A												1			
	太陽熱集熱パネル発生積算熱量	AP−SP1A														1	
	太陽熱集熱パネル出口温度異常	AP−SP1A									1						
CT−S1	冷却塔ファン	AP−SP1A						1		1							
	冷却水往還温度	AP−SP1A										2					
	薬注装置	AP−SP1A									1						
RA−S1	吸収式冷温水機	AP−SP1A	機側盤				1	1			1						
	冷温水供給往還温度	AP−SP1A										2					
	冷温水供給瞬時流量	AP−SP1A												1			
	冷温水供給積算流量	AP−SP1A														1	
	冷温水供給瞬時熱量	AP−SP1A												1			
	冷温水供給積算熱量	AP−SP1A														1	
	ガス積算流量	AP−SP1A														1	
HEX−S1	熱源水供給往還温度	AP−SP1A										2					
	熱源水供給瞬時流量	AP−SP1A												1			
	熱源水供給積算流量	AP−SP1A														1	
	熱源水供給瞬時熱量	AP−SP1A												1			
	熱源水供給積算熱量	AP−SP1A														1	
HEX−S2	熱交換器温水供給往還温度	AP−SP1A										2					
	熱交換器温水供給瞬時流量	AP−SP1A												1			
	熱交換器温水供給積算流量	AP−SP1A														1	
	熱交換器温水供給瞬時熱量	AP−SP1A												1			
	熱交換器温水供給積算熱量	AP−SP1A														1	
二次側	二次側負荷往温度	AP−SP1A										1					
	二次側負荷還温度	AP−SP1A										1					
	二次側負荷瞬時流量	AP−SP1A												1			
	二次側負荷積算流量	AP−SP1A														1	
	二次側負荷瞬時熱量	AP−SP1A												1			
	二次側負荷積算熱量	AP−SP1A														1	
HWT−S1	温水タンク上下限警報	AP−SP1A									2						
EXT−S1	膨張タンク上下限警報	AP−SP1A									2						
EXT−S2	膨張タンク上下限警報	AP−SP1A									2						
CDP−S1	冷却水ポンプ	AP−SP1A						1		1							
	冷却水ポンプ周波数	AP−SP1A												1			INV周波数表示4−20mA
CHP−S1	冷温水ポンプ	AP−SP1A						1		1							
	冷温水ポンプ周波数	AP−SP1A												1			INV周波数表示4−20mA
HP−S1	温水ポンプ	AP−SP1A						1		1							
	凍結防止運転中	AP−SP1A						1									
HP−S3	温水ポンプ	AP−SP1A						1		1							
HP−S4	温水ポンプ	AP−SP1A						1		1							
日射計	日射量	AP−SP1A												1			
	外気温度	AP−SP1A										1					
	外気湿度	AP−SP1A											1				
B−L1−1	蒸気ボイラー	AP−SP1A	機側盤				1	1			1						
B−L1−2	蒸気ボイラー	AP−SP1A	機側盤				1	1			1						
FE−S0102	排気ファン　特別管理産業廃棄物保管庫	AP−SP1A					1	1		1							
FSM−S02	排煙ファン　S棟B1F諸室・廊下	AP−SP1A						1		1							
AC−SB1	空気調和機　S棟B1・B2F系統	AP−SB1A					1	1		1							
	空気調和機　給気温度	AP−SB1A			1							1					
	空気調和機　給気露点温度	AP−SB1A			1									1			
	空気調和機　還気温度	AP−SB1A										1					
	空気調和機　還気湿度	AP−SB1A											1				
	冷暖状態	AP−SB1A						1									
	蒸気加湿器	AP−SB1A						1			1						
	蒸気加湿許可/禁止	AP−SB1A				1											
	フィルター差圧　異常	AP−SB1A									1						
	全熱交換器	AP−SB1A						1			1						
AC−S1	空気調和機　S棟1F系統	AP−S1A					1	1		1							
	空気調和機　給気温度	AP−S1A			1							1					
	空気調和機　給気露点温度	AP−S1A			1									1			
	空気調和機　還気温度	AP−S1A										1					
	空気調和機　還気湿度	AP−S1A											1				
	冷暖状態	AP−S1A						1									
	蒸気加湿器	AP−S1A						1			1						
	蒸気加湿許可/禁止	AP−S1A				1											
	フィルター差圧　異常	AP−S1A									1						
	全熱交換器	AP−S1A						1			1						

記号	名称	リモート盤	動力盤 制御盤 他	取合	操作			表示				計測				計量	備考
					設定	切換	発停	状態	COS故障	トリップ故障	警報	温度	湿度	その他			
GHP	集中ｺﾝﾄﾛｰﾗS棟　警報	AP−S1A									1						
GHP	集中ｺﾝﾄﾛｰﾗS棟　警報	AP−S1A									1						
FE	1F EPS排気ファン	AP−S1A						1									
AC−S2	空気調和機　S棟2F系統	AP−S2A					1	1		1							
	空気調和機　給気温度	AP−S2A			1							1					
	空気調和機　給気露点温度	AP−S2A			1									1			
	空気調和機　還気温度	AP−S2A										1					
	空気調和機　還気湿度	AP−S2A											1				
	冷暖状態	AP−S2A						1									
	蒸気加湿器	AP−S2A						1			1						
	蒸気加湿許可/禁止	AP−S2A				1											
	フィルター差圧　異常	AP−S2A									1						
	全熱交換器	AP−S2A						1			1						
FE	2F EPS排気ファン	AP−S2A						1									
AC−S3	空気調和機　S棟3F系統	AP−S3A					1	1		1							
	空気調和機　給気温度	AP−S3A			1							1					
	空気調和機　給気露点温度	AP−S3A			1									1			
	空気調和機　還気温度	AP−S3A										1					
	空気調和機　還気湿度	AP−S3A											1				
	冷暖状態	AP−S3A						1									
	蒸気加湿器	AP−S3A						1			1						
	蒸気加湿許可/禁止	AP−S3A				1											
	フィルター差圧　異常	AP−S3A									1						
	全熱交換器	AP−S3A						1			1						
FE	3F EPS排気ファン	AP−S3A						1									
AC−S4	空気調和機　S棟4F系統	AP−S4A					1	1		1							
	空気調和機　給気温度	AP−S4A			1							1					
	空気調和機　給気露点温度	AP−S4A			1									1			
	空気調和機　還気温度	AP−S4A										1					
	空気調和機　還気湿度	AP−S4A											1				
	冷暖状態	AP−S4A						1									
	蒸気加湿器	AP−S4A						1			1						
	蒸気加湿許可/禁止	AP−S4A				1											
	フィルター差圧　異常	AP−S4A									1						
	全熱交換器	AP−S4A						1			1						
FE	4F EPS排気ファン	AP−S4A						1									
AC−S5	空気調和機　S棟5F系統	AP−S5A					1	1		1							
	空気調和機　給気温度	AP−S5A			1							1					
	空気調和機　給気露点温度	AP−S5A			1									1			
	空気調和機　還気温度	AP−S5A										1					
	空気調和機　還気湿度	AP−S5A											1				
	冷暖状態	AP−S5A						1									
	蒸気加湿器	AP−S5A						1			1						
	蒸気加湿許可/禁止	AP−S5A				1											
	フィルター差圧　異常	AP−S5A									1						
	全熱交換器	AP−S5A						1			1						
	漏水警報　S棟5Fサーバー室	AP−S5A									2						
FE	5F EPS排気ファン	AP−S5A						1									
AC−S6	空気調和機　S棟6F系統	AP−S6A					1	1		1							
	空気調和機　給気温度	AP−S6A			1							1					
	空気調和機　給気露点温度	AP−S6A			1									1			
	空気調和機　還気温度	AP−S6A										1					
	空気調和機　還気湿度	AP−S6A											1				
	冷暖状態	AP−S6A						1									
	蒸気加湿器	AP−S6A						1			1						
	蒸気加湿許可/禁止	AP−S6A				1											
	フィルター差圧　異常	AP−S6A									1						
	全熱交換器	AP−S6A						1			1						
FE	6F EPS排気ファン	AP−S6A						1									
AC−S7	空気調和機　S棟7F系統	AP−S7A					1	1		1							
	空気調和機　給気温度	AP−S7A			1							1					
	空気調和機　給気露点温度	AP−S7A			1									1			
	空気調和機　還気温度	AP−S7A										1					
	空気調和機　還気湿度	AP−S7A											1				
	冷暖状態	AP−S7A						1									
	蒸気加湿器	AP−S7A						1			1						
	蒸気加湿許可/禁止	AP−S7A				1											
	フィルター差圧　異常	AP−S7A									1						
	全熱交換器	AP−S7A						1			1						
FE	7F EPS排気ファン	AP−S7A						1									

着工	2009_06_01	. .	
竣工	2010_08_18	. .	
監理		. .	
		. .	
施工		[redacted]	

完成図　空 − S24

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

自動制御計装図（3）

㊍ 41 − 31

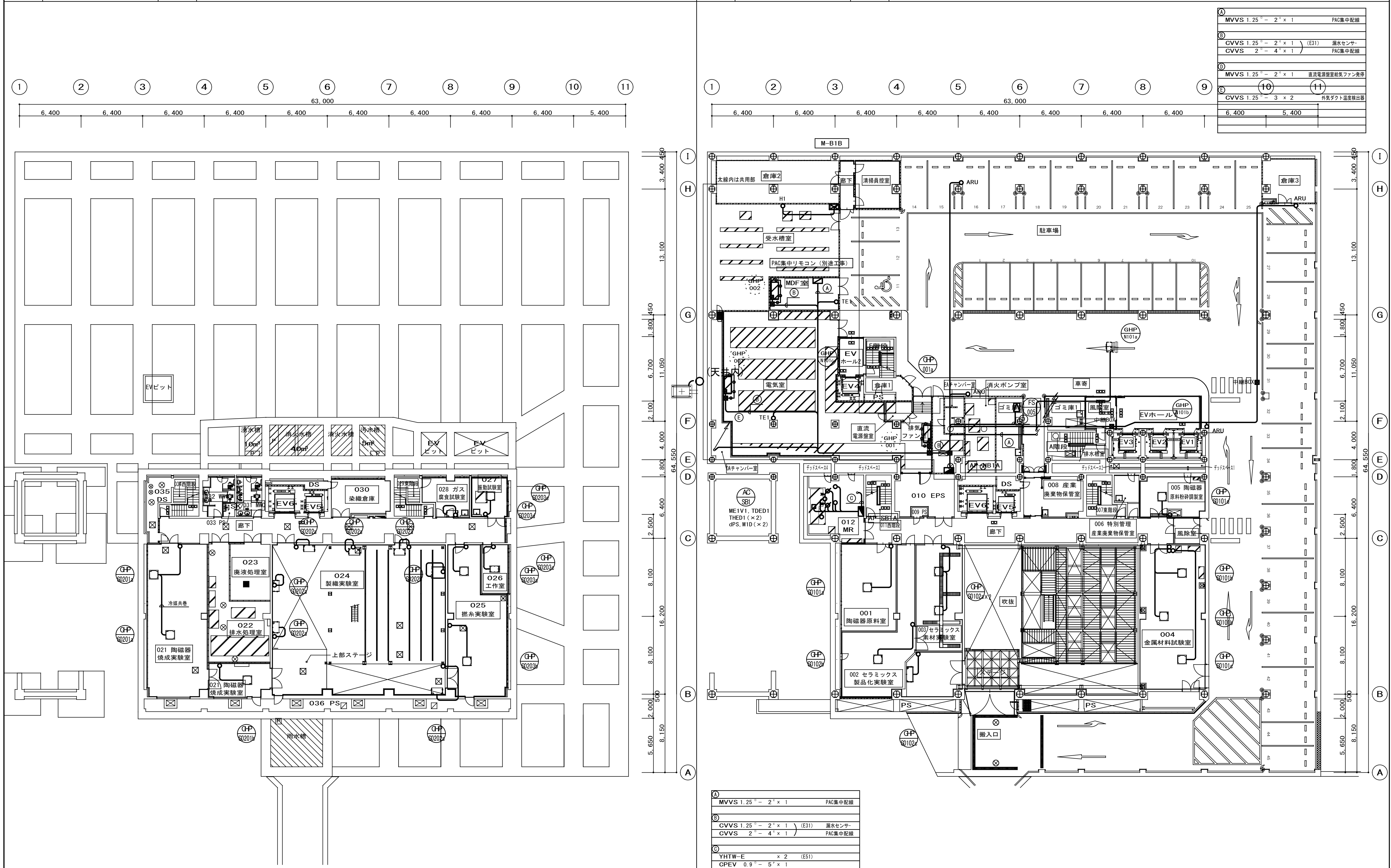
NO. 0 − 060186 − D

【既存設備図】更新対象は機器リスト及び系統図を参照

720×500

01	地下2階平面図	1/200

02	地下1階平面図	1/200



Ⓐ	
MVVS 1.25□-2C×1	PAC集中配線
Ⓑ	
CVVS 1.25□-2C×1 (E31)	漏水センサー
CVVS 2□-4C×1	PAC集中配線
Ⓒ	
YHTW-E ×2 (E51)	
CPEV 0.9□-5P×1	
Ⓓ	
MVVS 1.25□-2C×1	直流電源盤室給気ファン発停
Ⓔ	
CVVS 1.25□-3×2	外気ダクト温度検出器

着工	2009_06_01
竣工	2010_08_18
監理	
施工	[redacted]

完成図 空 - S25

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

空 41 -35

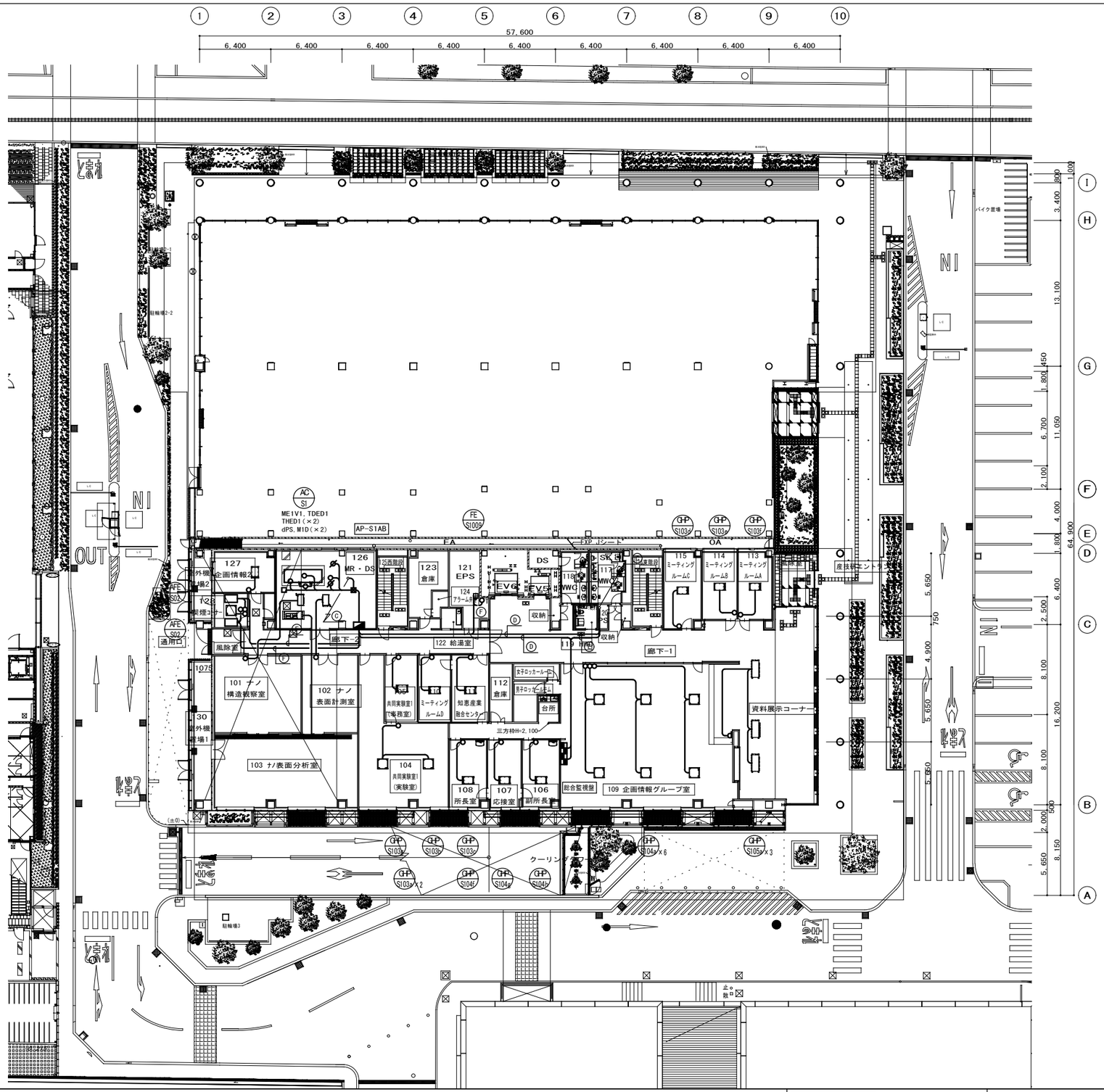
地下2階・地下1階平面図(自動制御)

NO. 0-060186-D

【既存設備図】更新対象は機器リスト及び系統図を参照

720×500

01	1階平面図	1/200



C	YHTW-E	× 2 (E51)
	CPEV 0.9φ- 5P× 1	
D	YHTW-E	(PF22)
	CPEV 0.9φ- 5P× 1	
C	CVVS 1.25φ- 2C× 4	(PF22) PAC集中配線
F	CVVS 2φ- 2C	ファン状態、AFE警報

着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図　空 - S26

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

1階平面図(自動制御)

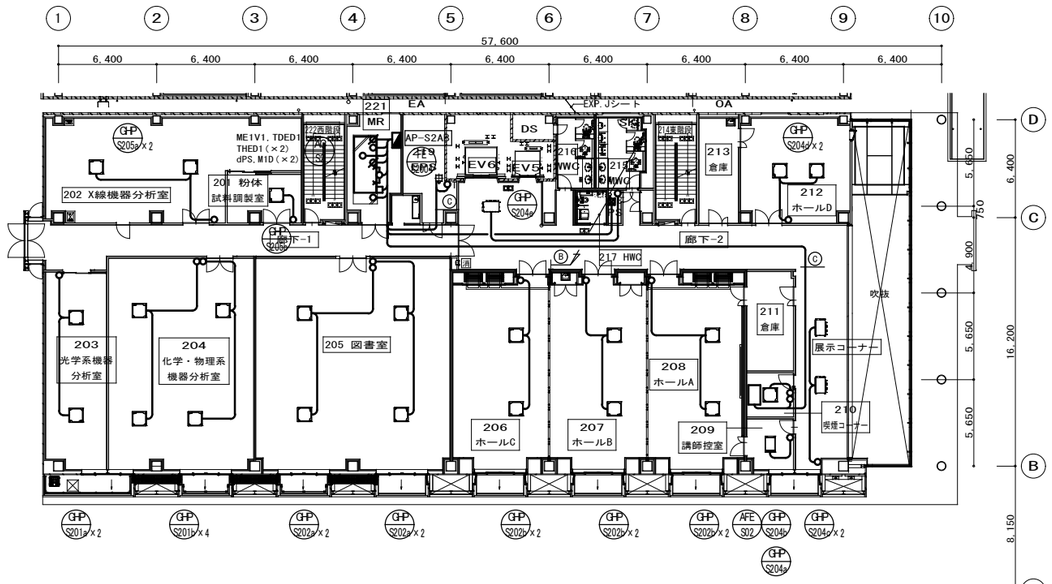
空 41 - 36

NO. 0 - 060186 - D

【既存設備図】更新対象は機器リスト及び系統図を参照

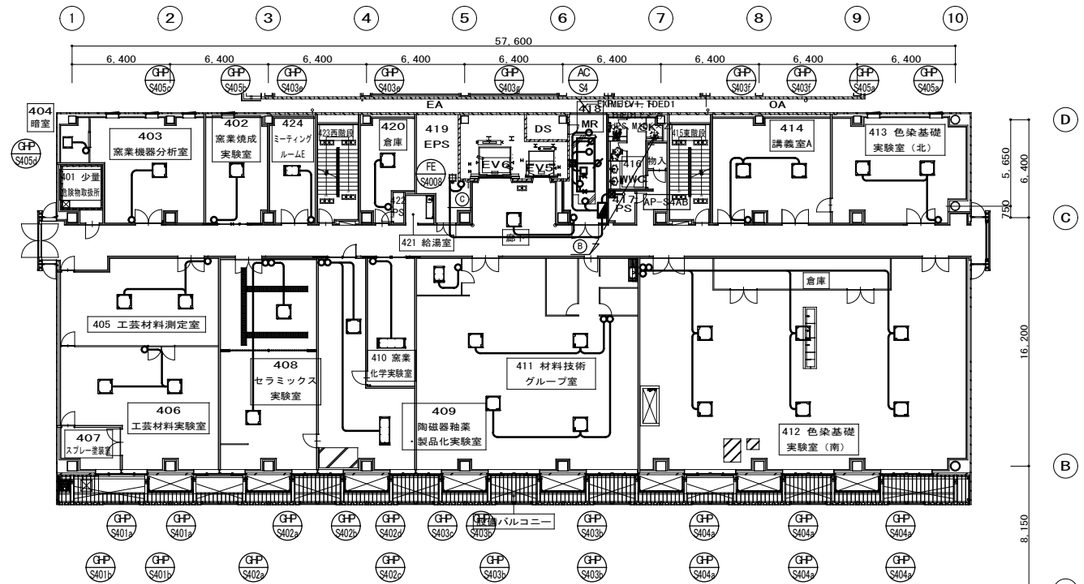
720×500

01 2階平面図 1/200



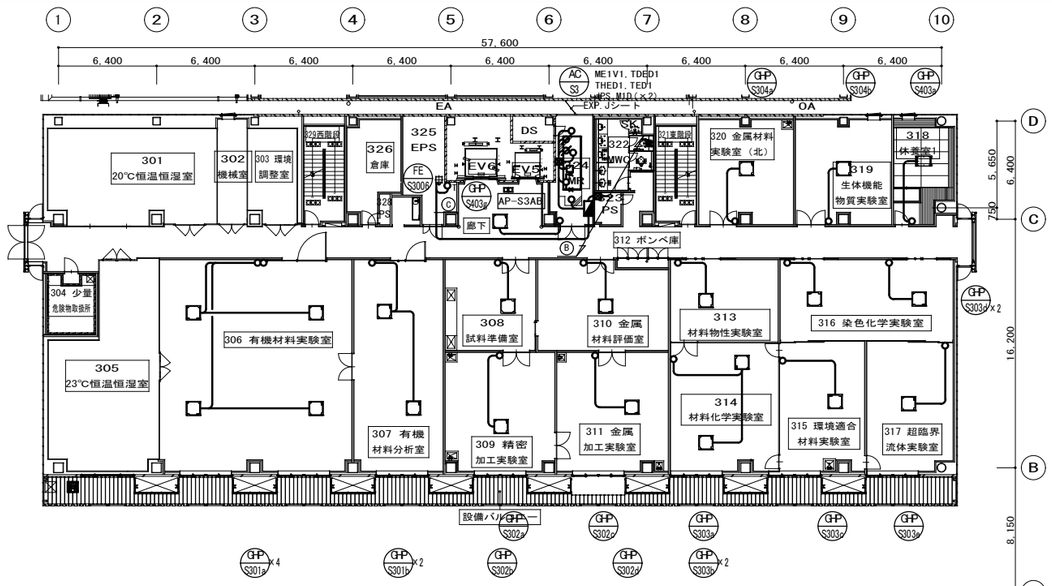
Ⓐ	MVVS 1.25ᵠ- 2ᶜ× 4	PAC集中配線
Ⓑ	YHTW-E	(E51)
	CVVS 1.25ᵠ- 2ᶜ× 4	PAC集中配線
	CPEV 0.9ᵠ- 5ᶜ× 1	
Ⓒ	CVVS 2ᵠ- 2ᶜ	ファン状態、AFE警報

03 4階平面図 1/200



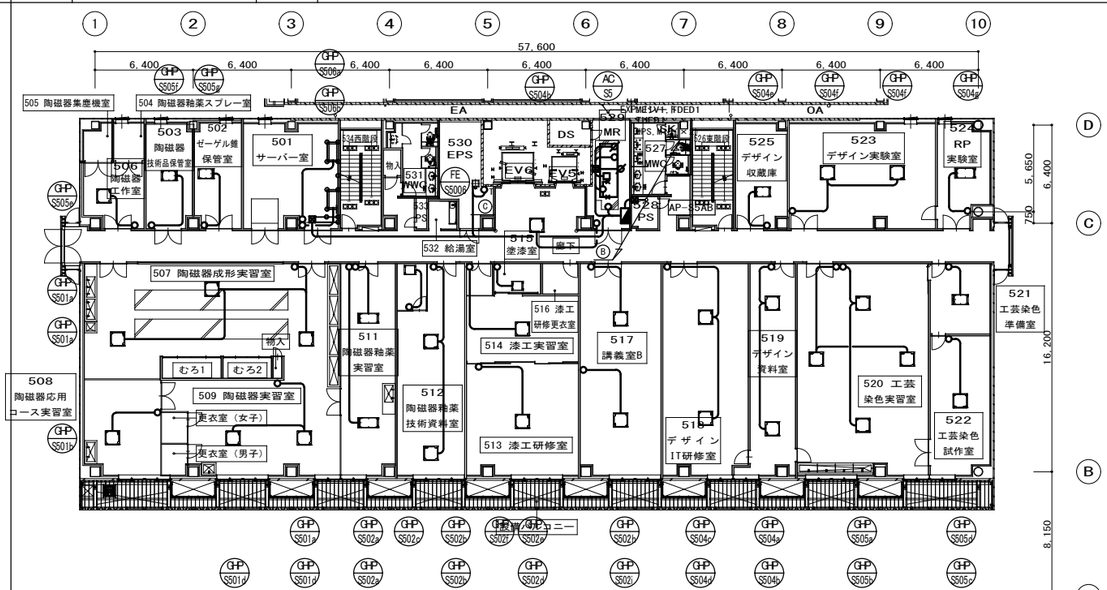
Ⓐ	MVVS 1.25ᵠ- 2ᶜ× 4	PAC集中配線
Ⓑ	YHTW-E	(E51)
	CVVS 1.25ᵠ- 2ᶜ× 4	PAC集中配線
	CPEV 0.9ᵠ- 5ᶜ× 1	
Ⓒ	CVVS 2ᵠ- 2ᶜ	ファン状態、AFE警報

02 3階平面図 1/200



Ⓐ	MVVS 1.25ᵠ- 2ᶜ× 4	PAC集中配線
Ⓑ	YHTW-E	(E51)
	CVVS 1.25ᵠ- 2ᶜ× 4	PAC集中配線
	CPEV 0.9ᵠ- 5ᶜ× 1	
Ⓒ	CVVS 2ᵠ- 2ᶜ	ファン状態、AFE警報

04 5階平面図 1/200



Ⓐ	MVVS 1.25ᵠ- 2ᶜ× 4	PAC集中配線
Ⓑ	YHTW-E	(E51)
	CVVS 1.25ᵠ- 2ᶜ× 4	PAC集中配線
	CPEV 0.9ᵠ- 5ᶜ× 1	
Ⓒ	CVVS 2ᵠ- 2ᶜ	ファン状態、AFE警報

着工	2009_06_01	. .	
竣工	2010_08_18	. .	
監理		. .	
施工		[redacted]	

完成図 空 - S27

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

2・3・4・5階平面図（自動制御）

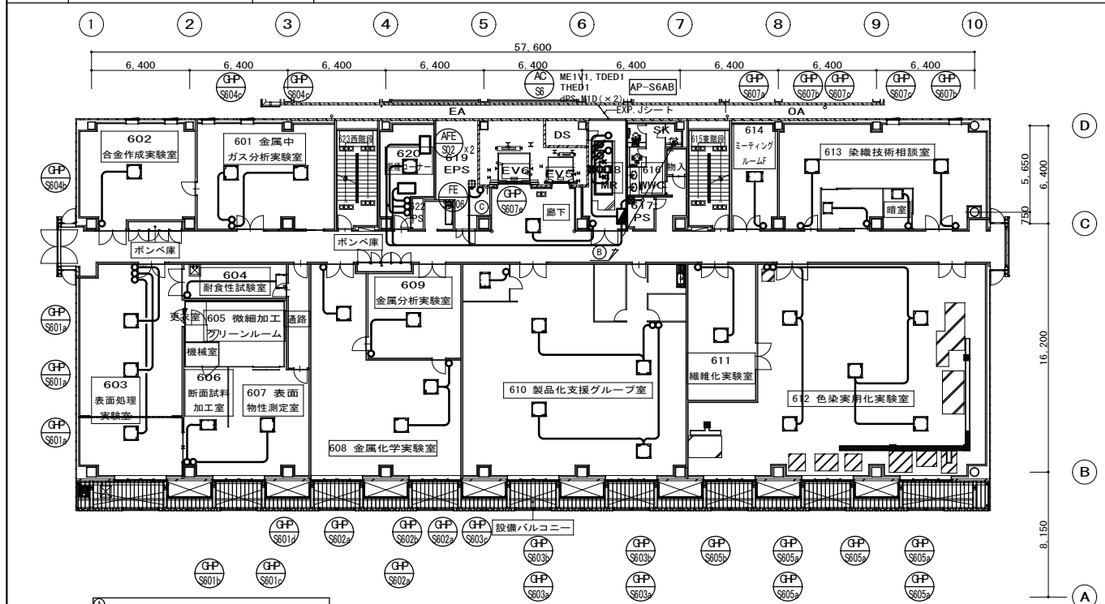
空 41 －37

NO. 0－060186－D

【既存設備図】更新対象は機器リスト及び系統図を参照

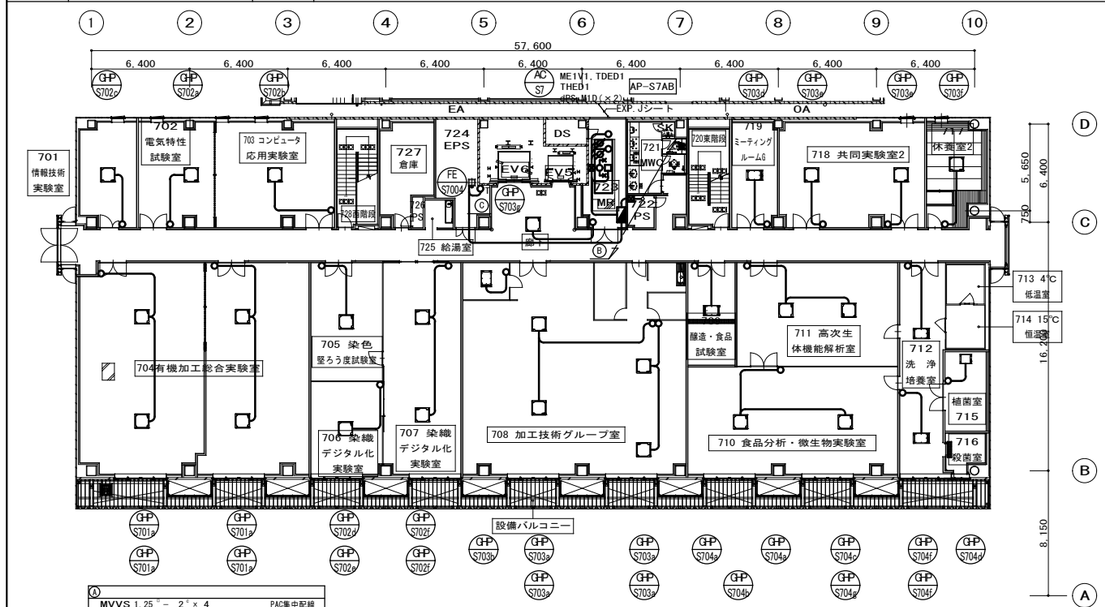
720×500

01 6階平面図 1/200



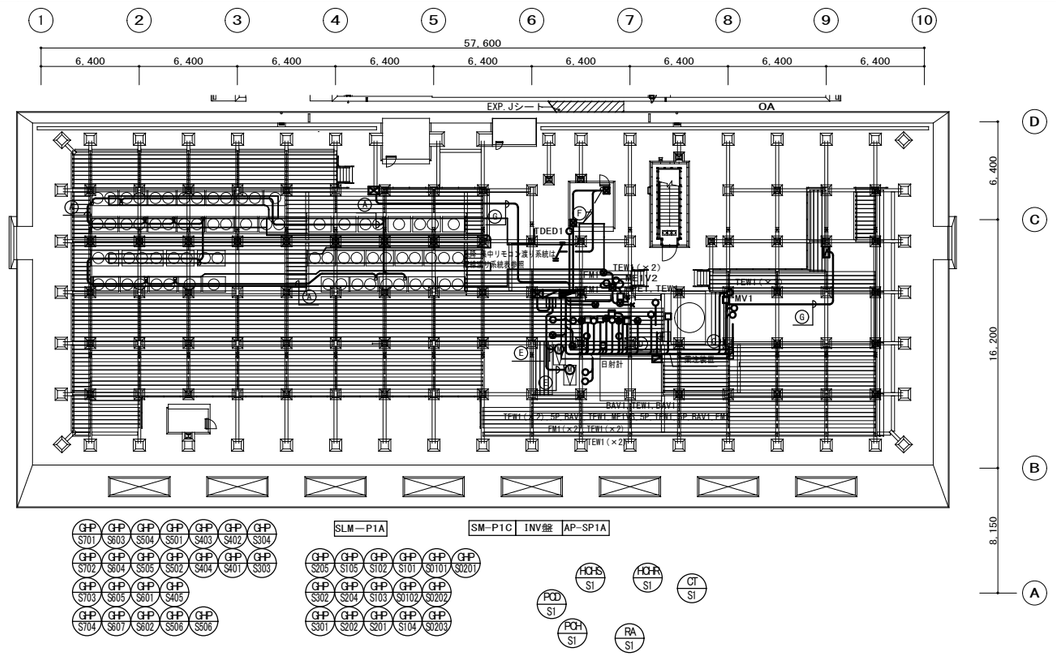
A	MVVS 1.25°－ 2°× 4	PAC集中配線
B	YHTW-E (E51)	
	CVVS 1.25°－ 2°× 4	PAC集中配線
	CPEV 0.9°－ 5°× 1	
C	CVVS 2°－ 2°	ファン状態、AFE警報

02 7階平面図 1/200



A	MVVS 1.25°－ 2°× 4	PAC集中配線
B	YHTW-E (E51)	
	CVVS 1.25°－ 2°× 4	PAC集中配線
	CPEV 0.9°－ 5°× 1	
C	CVVS 2°－ 2°	ファン状態、AFE警報

03 P1階平面図 1/200



A	CVVS 2°－ 4°	ハイパーエクセル渡り
B	MVVS 1.25°－ 2°× 4	PAC集中配線
C	CVV 2°－ 2° (G16)	
D	CVVS 1.25°－ 2°× 2 (G28)	
	CPEV 0.9 － 5P (G16)	
E	CV 22°－ 3°× 2+E (G54)	
F	YHTW-E	
	CVVS 1.25°－ 2°× 4 (E51)	PAC集中配線
	CPEV 0.9°－ 5°× 1	
G	CPEV 0.9°－ 5°× 1	

S棟
集中リモコン配線渡り系統
・1系統
GHP-S402 → GHP-S501 → GHP-S403 → GHP-S504 →
GHP-S603 → GHP-S701 → GHP-S702 → GHP-S604 →
GHP-S505 → GHP-S502 → GHP-S404 → GHP-S401

・2系統
GHP-S304 → GHP-S303 → GHP-S205 → GHP-S105 →
GHP-S102 → GHP-S101 → GHP-S0101 → GHP-S0201

・3系統
GHP-S405 → GHP-S601 → GHP-S605 → GHP-S703 → GHP-S704 →
GHP-S607 → GHP-S602 → GHP-S506 → GHP-S506

・4系統
GHP-S302 → GHP-S204 → GHP-S103 → GHP-S102 → GHP-S202 →
GHP-S203 → GHP-S104 → GHP-S201 → GHP-S202 → GHP-S301

04 凡例 1/200

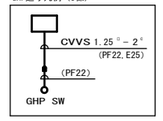
(記号凡例)

記号	種類
	露出配管
	隠ぺい配管
	ラック上配線
	立上げ、立下げ
	プルボックス
	自動制御盤
	動力盤

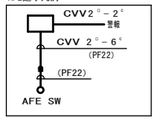
(機器凡例)

シンボル	記号	型番	配線・配管	
○	TE1	TY7043Z	CVVS 1.25°－ 3°	(E25)
○	TEW1	TY7830B	CVV 1.25°－ 3°	(16)
○	TED1	TY7803Z	CVV 1.25°－ 3°	(E19)
○	THED1	HTY7803	CVVS 1.25°－ 7°	(E25)
○	TDED1	HTY7903	CVVS 1.25°－ 7°	(E25)
○	H1	HY6000Z	CVV 2°－ 2°	(E25)
□	ME1V1	VY5111	CVVS 2°－ 6°	(E25)
□	ME1V2	VY5113J	CVV 1.25°－ 6°	(22)
□	ME1V3	MY5310A	CVV 1.25°－ 6°	(22)
□	MV1	5EM	CVV 2°－ 4°	(22)
□	BAV1	VY6300B	CVV 2°－ 4°	(22)
⌀	M1D	MY6050A	CVV 1.25°－ 3°	(E19)
	dPS	PYY-604	CVVS 1.25°－ 2°	(E19)
	dPE1	JTD	CVVS 1.25°－ 2°	(16)
	FM1	MTG11A	CVVS 1.25°－ 2°	(16)
●	5P	電極5P	CPEV 0.9 － 3P	(16)
○	日射計	日射計	CVVS 1.25°－ 3°	(16)
○	ARU	ARUスイッチ	CVV 2°－ 3°	(PF22)

GHP廻り凡例 (S棟)



AFE廻り凡例



着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図 空 - S28

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

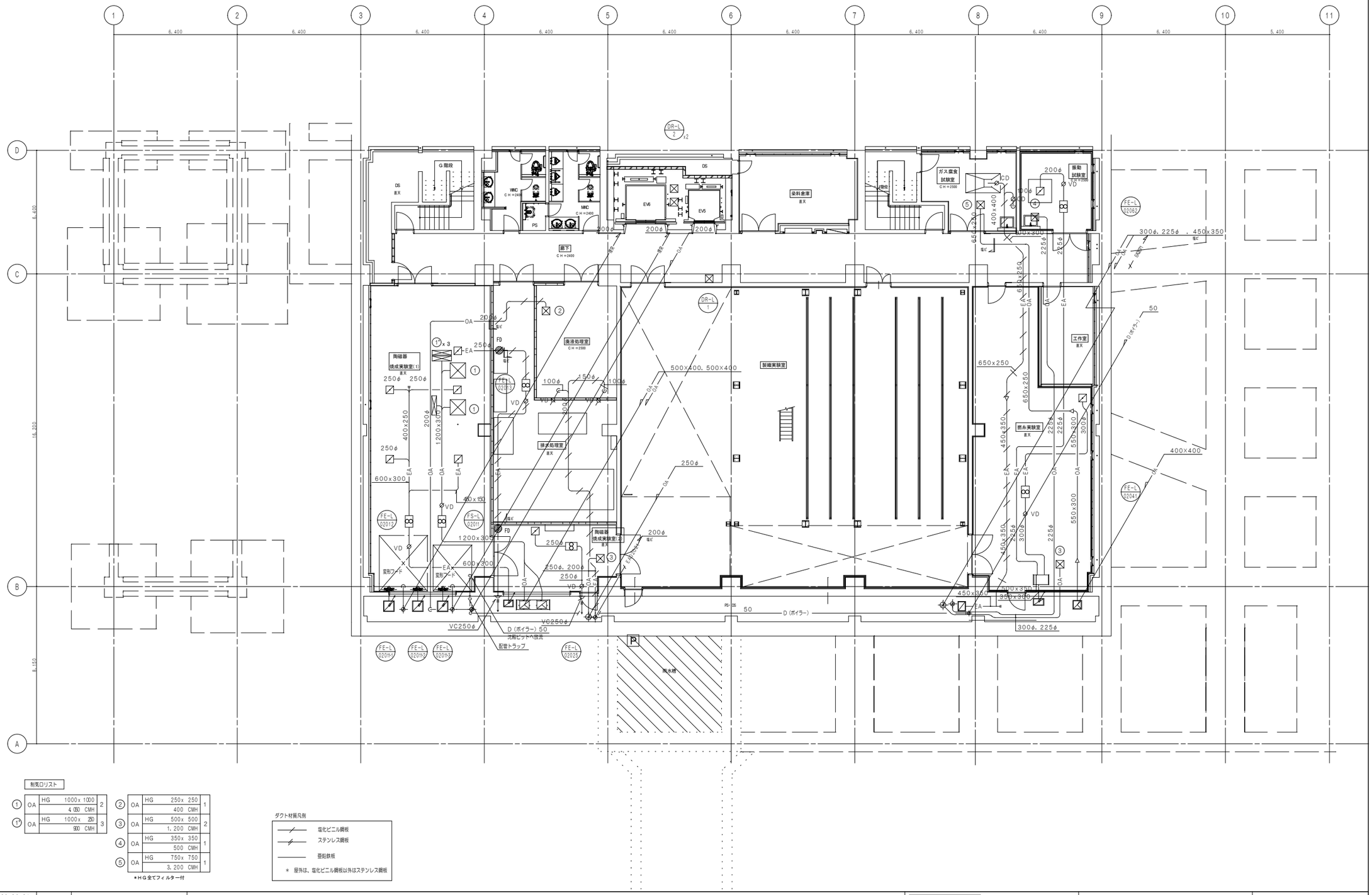
6・7・P1階平面図(自動制御)

空 41 －39

NO. O－060186 - D

【既存ダクト図】更新対象は機器リスト及び系統図を参照

1	B2階平面図	1/100



制気口リスト

①	OA	HG	1000x 1000	2	②	OA	HG	250x 250	1
			4,050 CMH					400 CMH	
①'	OA	HG	1000x 250	3	③	OA	HG	500x 500	2
			900 CMH					1,200 CMH	
					④	OA	HG	350x 350	1
								500 CMH	
					⑤	OA	HG	750x 750	1
								3,200 CMH	

＊HG全てフィルター付

着工	2009,06,01	. .	
竣工	2010,08,18	. .	
監理		. .	
施工		[redacted]	

完成図　空 - S37

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

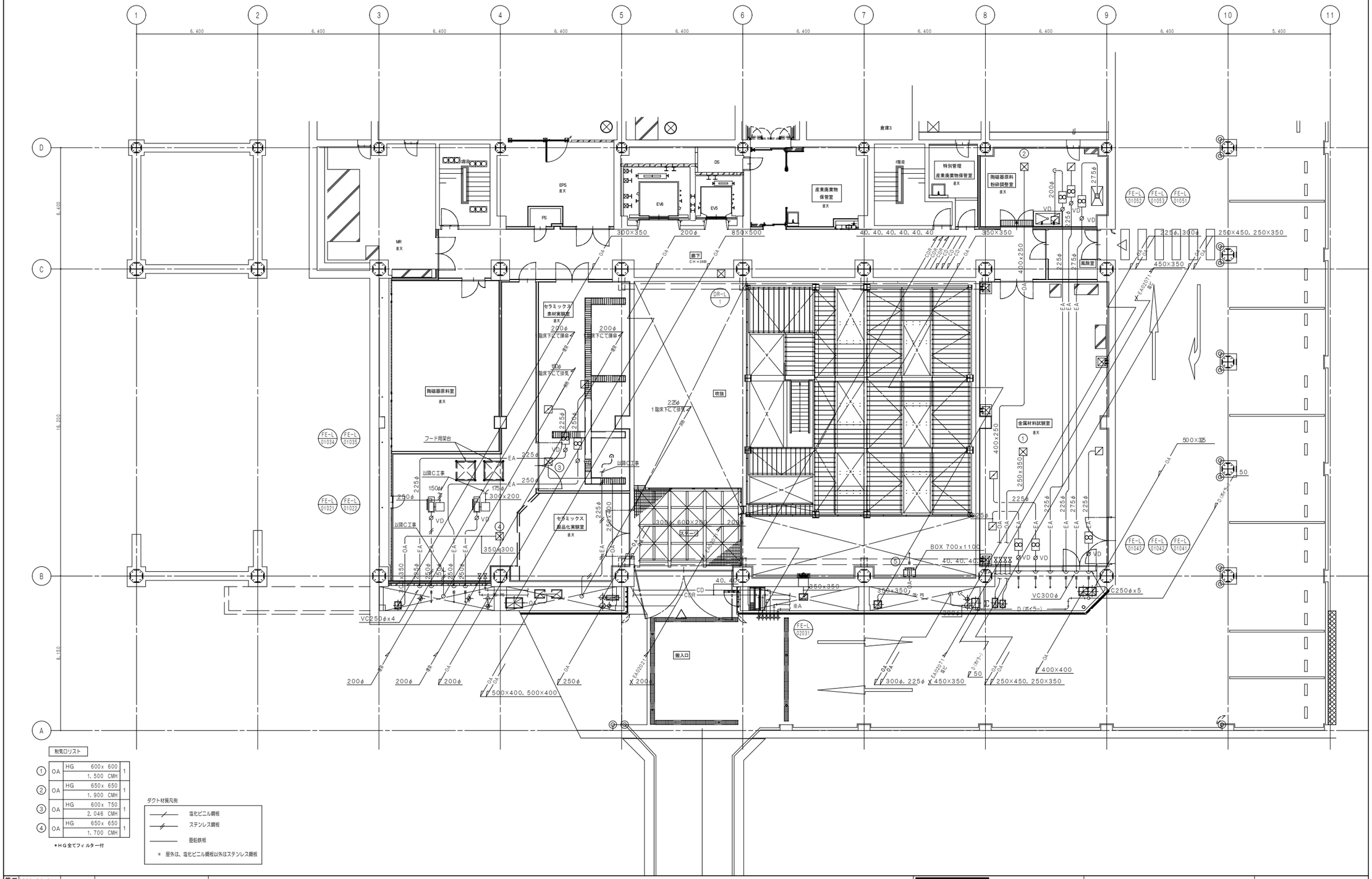
(空) (B工事)
31 － 9

B2階平面図(ダクト・配管)

NO. 0－ 060186 - D

【既存ダクト図】更新対象は機器リスト及び系統図を参照

1	B1階平面図	1/100



着工	2009.06.01	. .	
竣工	2010.08.18	. .	
監理		. .	
施工		[redacted]	

完成図　空 － S38

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

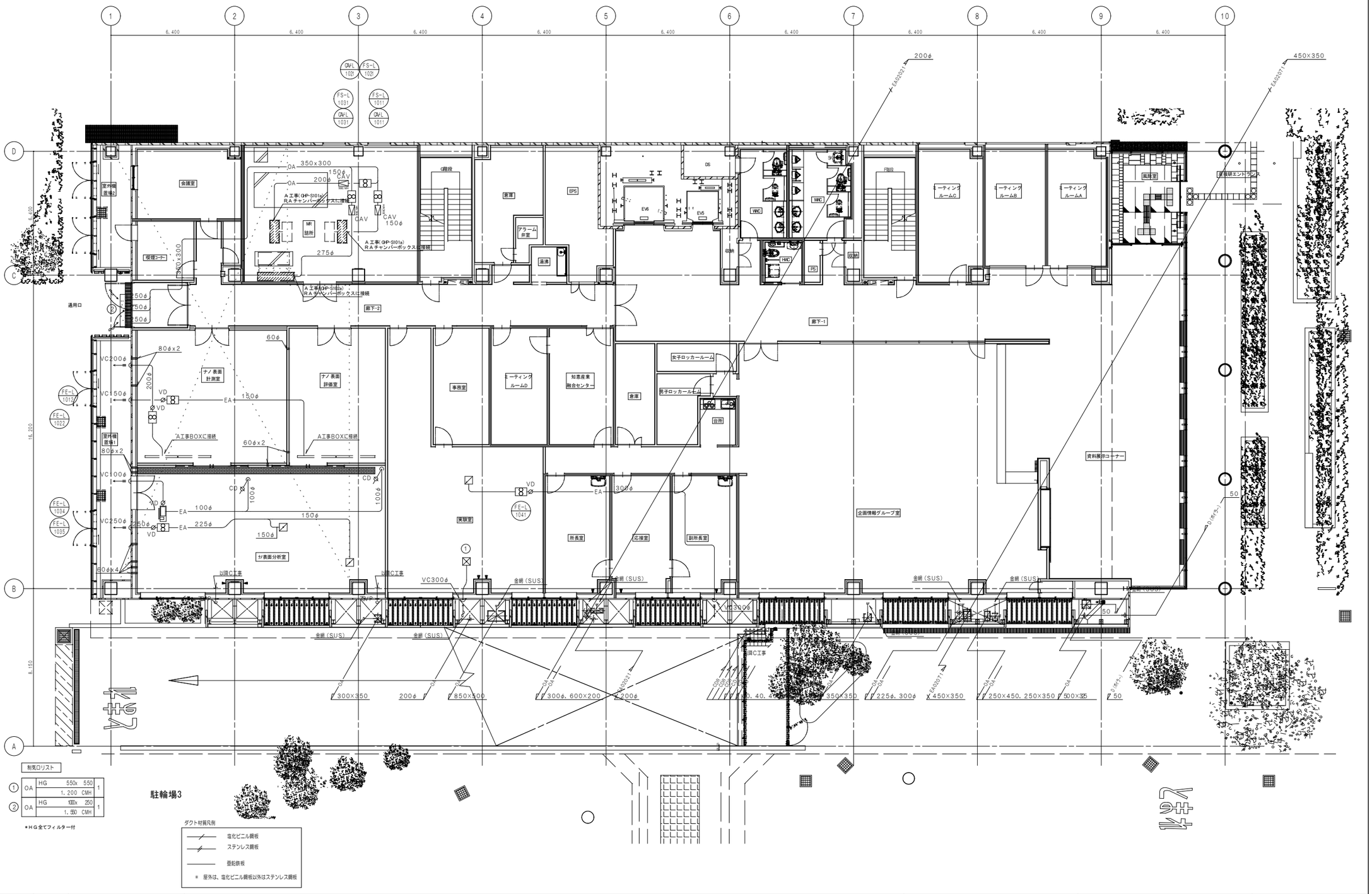
B1階平面図(ダクト・配管)

(空) (B工事)
31 － 10

NO. 0－ 060186 －D

【既存ダクト図】更新対象は機器リスト及び系統図を参照

1	1階平面図	1/100



着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図　空 - S39

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

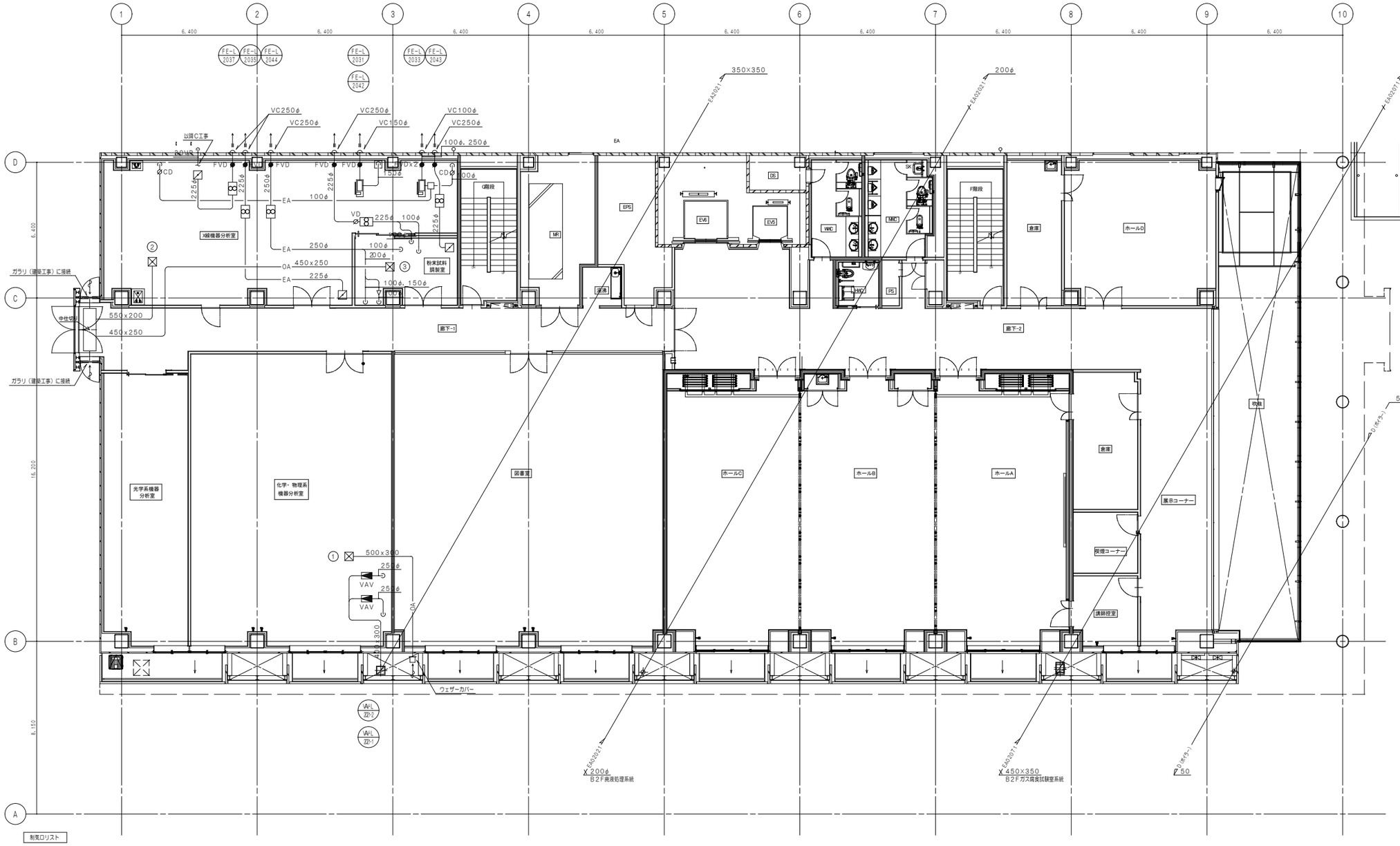
1階平面図(ダクト・配管)

(空) (B工事)
31 － 11

NO. 0－ 060186 －D

【既存ダクト図】更新対象は機器リスト及び系統図を参照

1	2階平面図	1/100



制気リスト

①	OA	HG	750x 750	1
			2,400 CMH	
②	OA	HG	650x 650	1
			1,280 CMH	
③	OA	HG	750x 750	1
			1,750 CMH	

＊HG全てフィルター付

ダクト材質凡例

- 塩化ビニル鋼板
- ステンレス鋼板
- 亜鉛鉄板

＊ 屋外は、塩化ビニル鋼板以外はステンレス鋼板

着工	2009.06.01	. .	
竣工	2010.08.18	. .	
監理		. .	
施工		[redacted]	

完成図　空 - S40

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

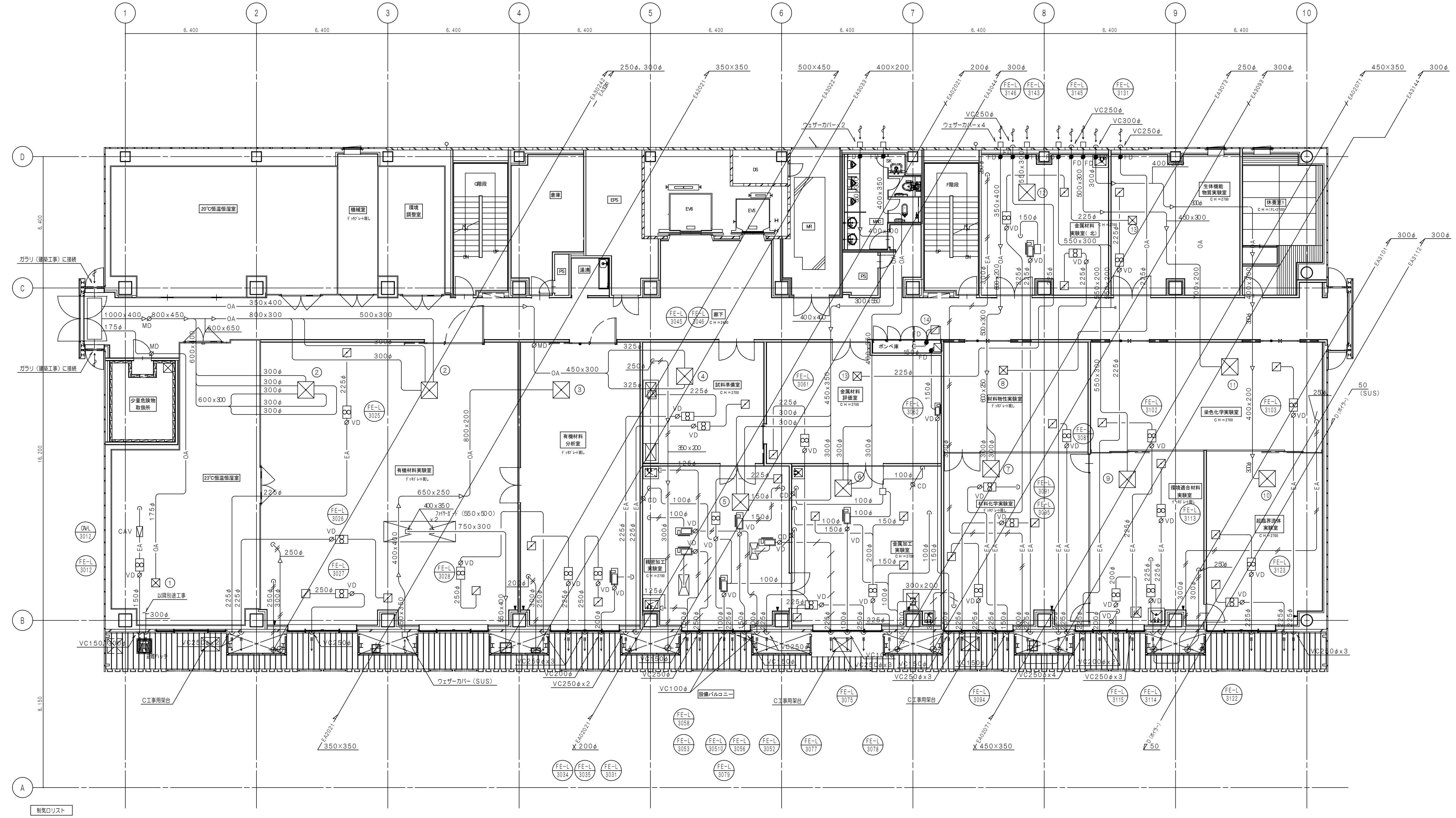
2階平面図（ダクト・配管）

空 （B工事）
31 － 12

NO. 0－ 060186 - D

【既存ダクト図】更新対象は機器リスト及び系統図を参照

1	3階平面図	1/100



制気口リスト

No.	種別	型式	寸法／風量	数
①	OA	HG	300x 300	1
			300 CMH	
②	OA	HG	1000x 1000	2
			4, 660 CMH	
③	OA	HG	800x 800	1
			2, 800 CMH	
④	OA	HG	700x 700	1
			2, 200 CMH	
⑤	OA	HG	800x 800	1
			2, 850 CMH	
⑥	OA	HG	700x 700	1
			2, 150 CMH	
⑦	OA	HG	750x 750	1
			2, 400 CMH	
⑧	OA	HG	350x 350	1
			500 CMH	
⑨	OA	HG	850x 850	1
			2, 900 CMH	
⑩	OA	HG	500x 500	1
			1, 000 CMH	
⑪	OA	HG	700x 700	1
			2, 200 CMH	
⑫	OA	HG	750x 750	1
			2, 500 CMH	
⑬	OA	HG	350x 350	1
			650 CMH	
⑭	パス	HS	200x 200	1
			200 CMH	

＊HG全てフィルター付

ダクト材質凡例

線種	材質
─／─	塩化ビニル鋼板
─//─	ステンレス鋼板
───	亜鉛鉄板

＊ 屋外は、塩化ビニル鋼板以外はステンレス鋼板

着工	2009.06.01	. .
竣工	2010.08.18	. .
監理		. .
		. .
施工		[redacted]

完成図 空 - S41

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

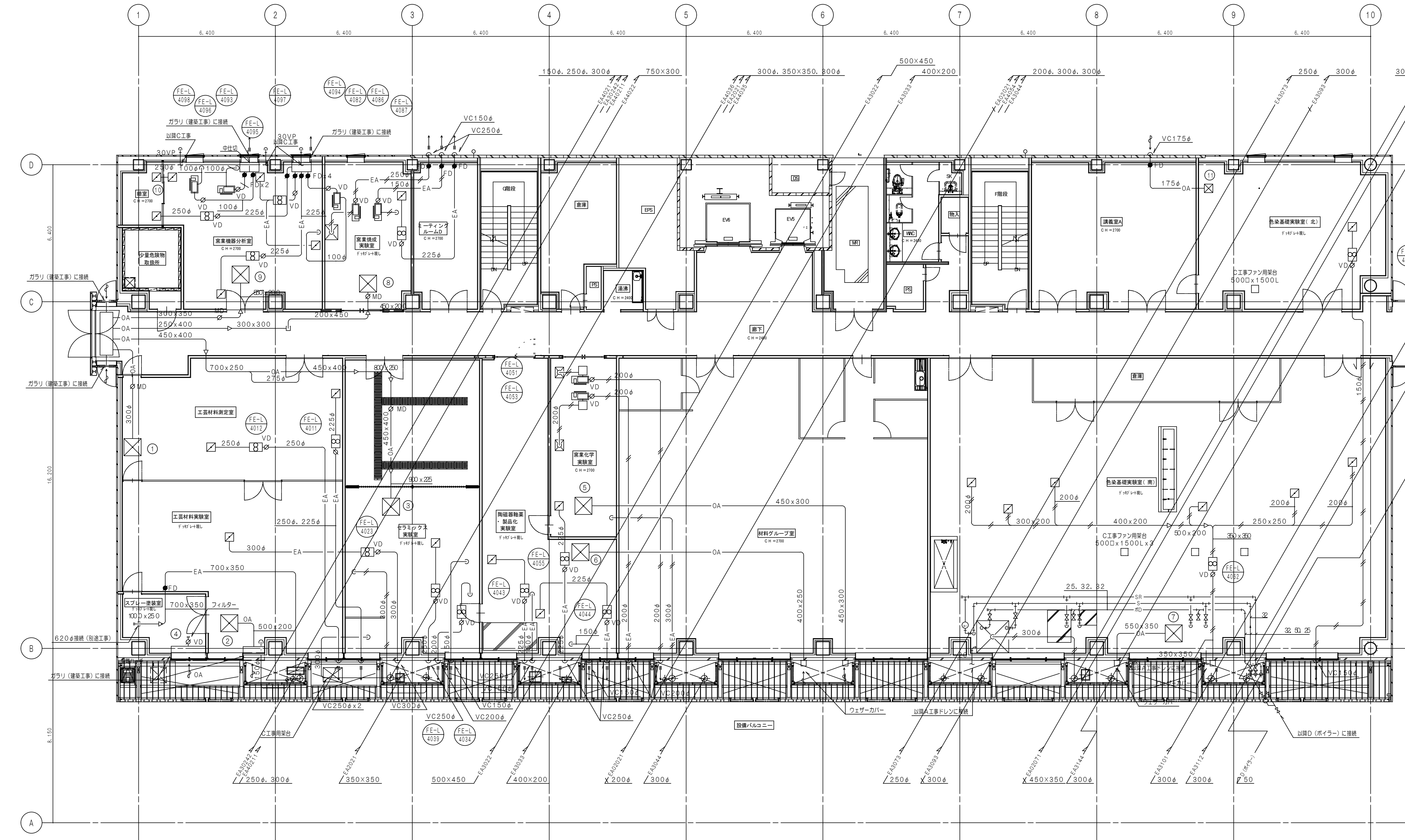
空 (B工事) 31 − 13

3階平面図（ダクト・配管）

No. 0− 060186 −D

【既存ダクト図】更新対象は機器リスト及び系統図を参照

1	4階平面図	1/100



制気口リスト

No.	種別	形式	サイズ / 風量	数量
①	OA	HG	550x 550 1, 200 CMH	1
②	OA	HG	600x 600 1, 400 CMH	1
③	OA	HG	950x 950 3, 700 CMH	1
④	OA	H	650x 650 5, 760 CMH	1
⑤	OA	HG	750x 750 2, 300 CMH	1
⑥	OA	HG	600x 600 1, 550 CMH	1
⑦	OA	HG	900x 900 3, 600 CMH	1
⑧	OA	HG	500x 500 1, 350 CMH	1
⑨	OA	HG	650x 650 1, 560 CMH	1
⑩	パス	HS	300x 300 500 CMH	2
⑪	OA	HG	300x 300 200 CMH	1

＊ＨＧ（Ｈ共）全てフィルター付

ダクト材質凡例

- 塩化ビニル鋼板
- ステンレス鋼板
- 亜鉛鉄板

＊ 屋外は、塩化ビニル鋼板以外はステンレス鋼板

着工	2009.06.01	
竣工	2010.08.18	
監理		
施工		[redacted]

完成図 空 - S42

[redacted]

京都市産業技術研究所・ＫＲＰ９号館複合棟新築工事

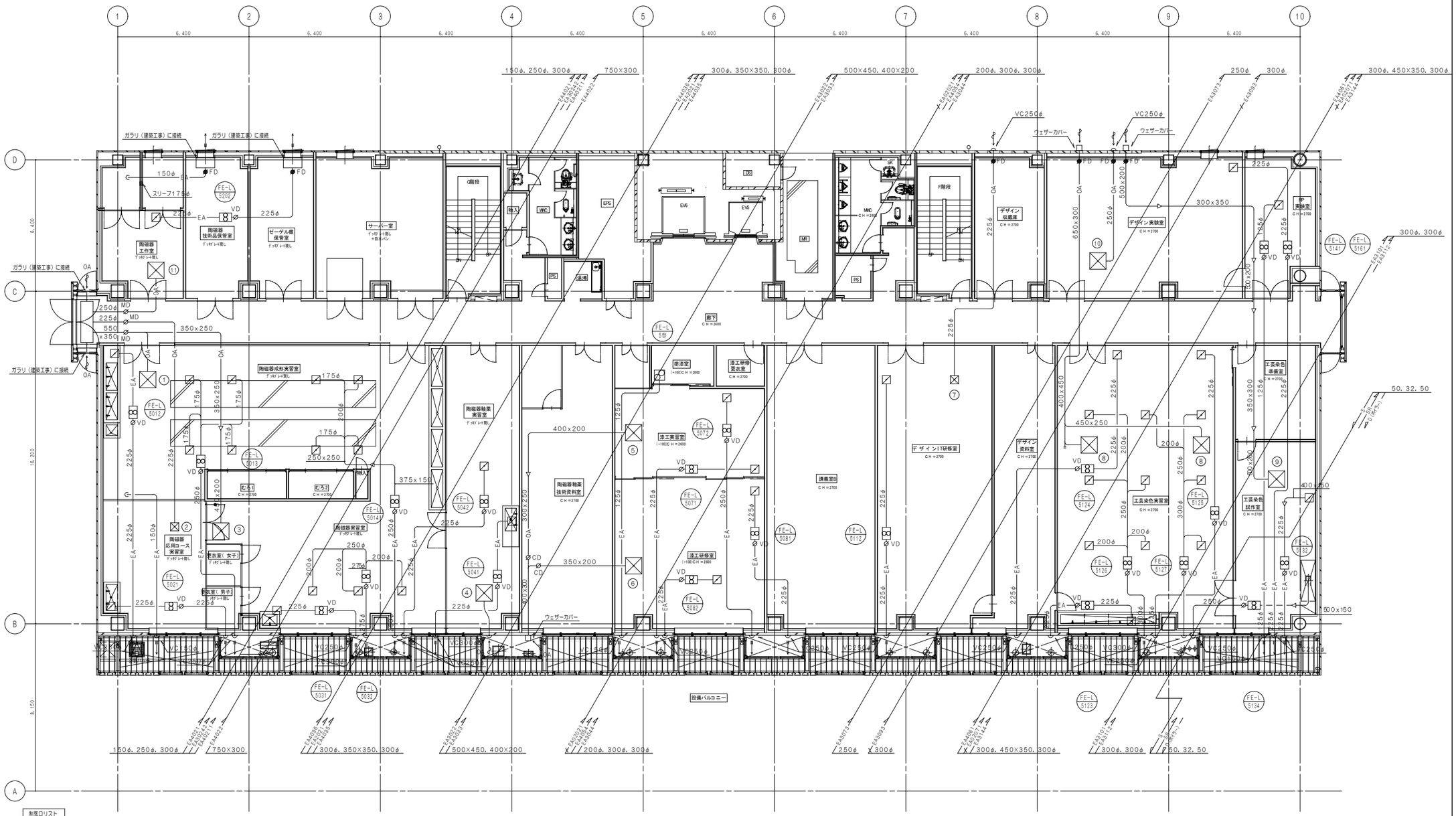
4階平面図（ダクト・配管）

空 （B工事） 31 － 14

NO. 0－ 060186 －D

【既存ダクト図】更新対象は機器リスト及び系統図を参照

1	5階平面図	1/100



制気口リスト

①	OA	HG	750x 750	2,300 CMH	1
②	OA	HG	350x 350	500 CMH	1
③	OA	HG	600x 600	1,400 CMH	1
④	OA	HG	600x 600	1,000 CMH	1
⑤	OA	HG	500x 500	1,100 CMH	1
⑥	OA	HG	500x 500	1,000 CMH	1
⑦	OA	HG	350x 350	500 CMH	1
⑧	OA	HG	700x 700	1,950 CMH	2
⑨	OA	HG	600x 600	1,600 CMH	1
⑩	OA	HG	500x 500	500 CMH	1
⑪	OA	HG	450x 450	700 CMH	1

＊HG全てフィルター付

着工	2009.06.01	
竣工	2010.08.18	
監理		
施工		[redacted]

完成図　空 - S43

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

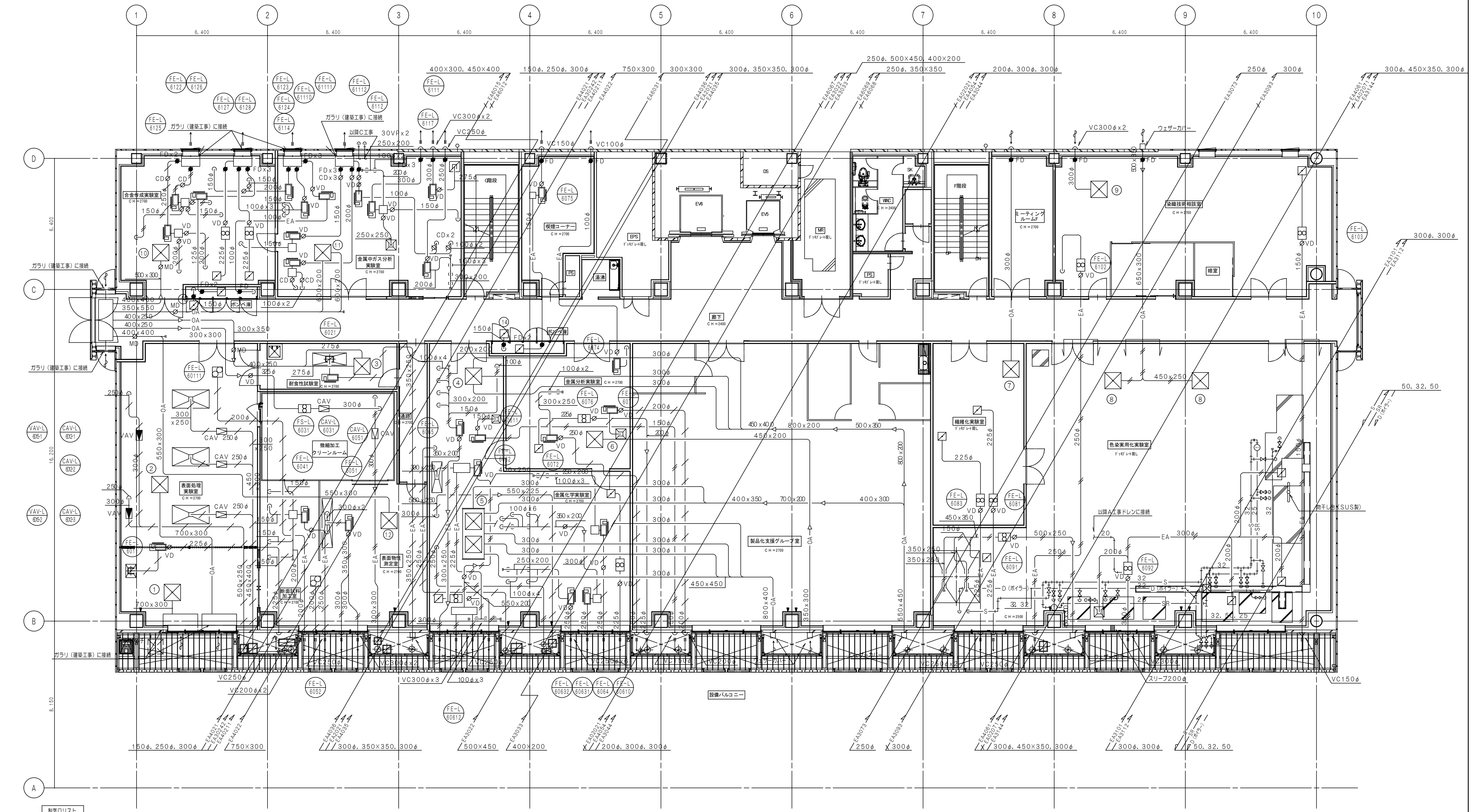
5階平面図（ダクト・配管）

空 （B工事）
31 － 15

NO. 0－ 060186 - D

【既存ダクト図】更新対象は機器リスト及び系統図を参照

1	6階平面図	1/100



制気口リスト

No.	種別	形式	サイズ/風量	数量
①	OA	HG	950x 950 / 3,850 CMH	1
②	OA	HG	800x1100 / 3,850 CMH	1
③	OA	HG 結露防止形	600x 600 / 1,500 CMH	1
④	OA	HG	850x 850 / 3,000 CMH	1
⑤	OA	HG	900x 900 / 3,470 CMH	2
⑥	OA	HG	600x 600 / 1,408 CMH	1
⑦	OA	HG	500x 500 / 1,000 CMH	1
⑧	OA	HG	700x 700 / 1,950 CMH	2
⑨	OA	HG	450x 450 / 920 CMH	1
⑩	OA	HG	800x 800 / 2,800 CMH	1
⑪	OA	HG	900x 900 / 3,640 CMH	1
⑫	OA	HG	800x 800 / 2,850 CMH	1
⑬	パス	HS	200x 200 / 120 CMH	1
⑭	パス	HS	200x 200 / 200 CMH	1

＊HG全てフィルター付

ダクト材質凡例

- 塩化ビニル鋼板
- ステンレス鋼板
- 亜鉛鉄板

＊ 屋外は、塩化ビニル鋼板以外はステンレス鋼板

着工	2009.06.01	
竣工	2010.08.18	
監理		
施工		[redacted]

完成図 空 - S44

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

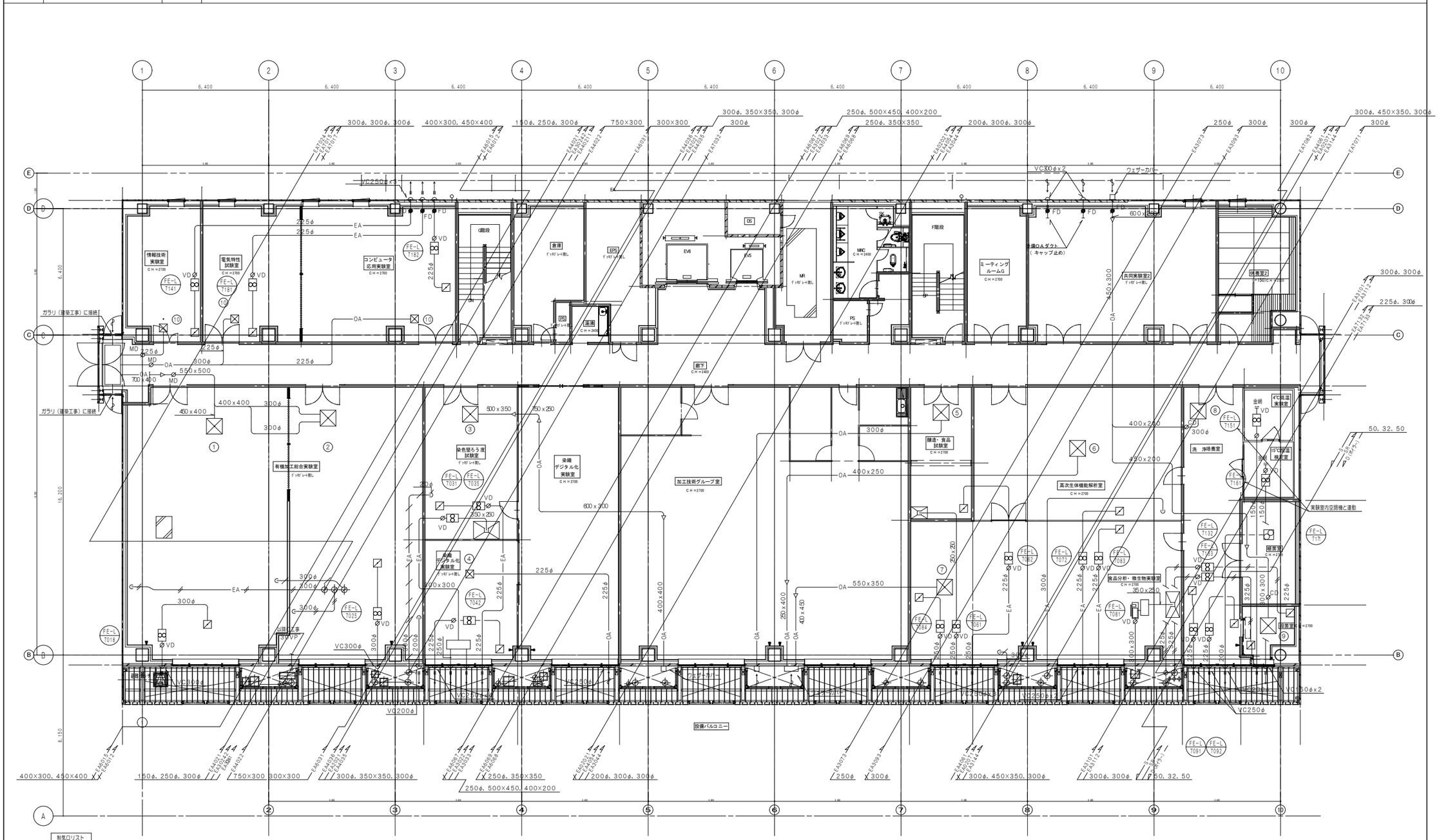
6階平面図(ダクト・配管)

(空) (B工事) 31 － 16

No. 0－ 060186 －D

【既存ダクト図】更新対象は機器リスト及び系統図を参照

1	7階平面図	1/100



制気口リスト

①	OA	HG	800× 800	1	⑥	OA	HG	650× 650	1
			3,600 CMH					1,700 CMH	
②	OA	HG	700× 700	1	⑦	OA	HG	1200× 750	1
			2,400 CMH					3,750 CMH	
③	OA	HG	850× 850	1	⑧	OA	HG	500× 500	1
			3,100 CMH					1,000 CMH	
④	OA	HG	350× 350	1	⑨	OA	HG	550× 550	1
			500 CMH					1,300 CMH	
⑤	OA	HG	500× 500	1	⑩	OA	HG	350× 350	3
			1,250 CMH					500 CMH	

＊HG全てフィルター付

ダクト材質凡例

- 塩化ビニル鋼板
- ステンレス鋼板
- 亜鉛鉄板

＊ 屋外は、塩化ビニル鋼板以外はステンレス鋼板

着工 2009.06.01	. .		
竣工 2010.08.18	. .		
監理	. .		
施工	. .	[redacted]	

完成図　空 - S45

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

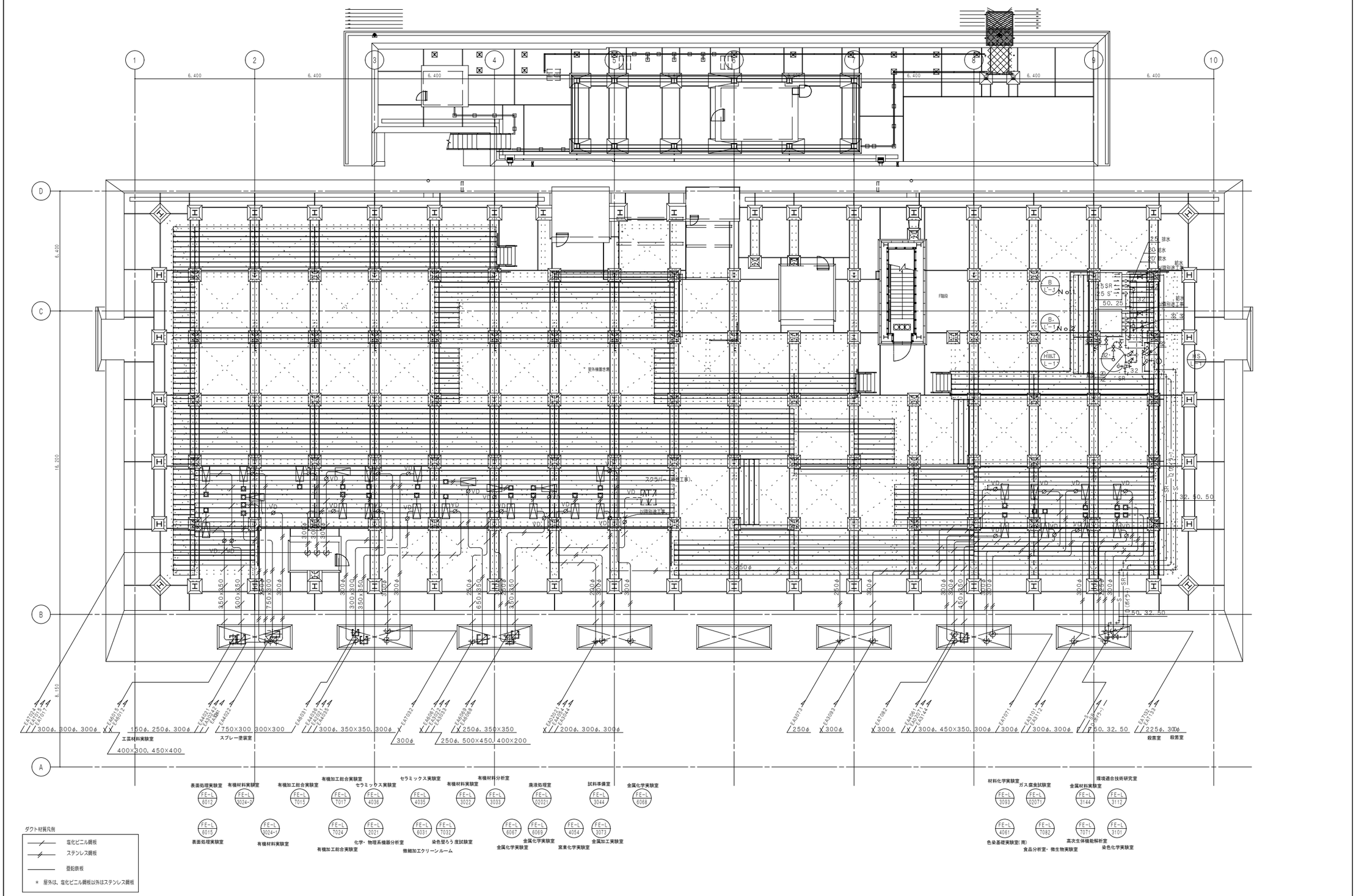
7階平面図（ダクト・配管）

空 (B工事)
31 － 17

NO. 0－ 060186 －D

【既存ダクト図】更新対象は機器リスト及び系統図を参照

1	R階平面図	1/100



ダクト材質凡例

- 塩化ビニル鋼板
- ステンレス鋼板
- 亜鉛鉄板

＊ 屋外は、塩化ビニル鋼板以外はステンレス鋼板

着工	2009_06_01	. .	
竣工	2010_08_18	. .	
監理		. .	
施工		[redacted]	

完成図　空 - S46

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

P1階平面図(ダクト・配管)

空 (B工事)
31 － 18

NO. 0－ 060186 - D

720×500

1	電気設備工事特記仕様書	-

章・節・項	特記内容
1.7.3 保全に関する資料	a.共仕[1.7.3(a)]電気(1)～(5)のほか、保全に関する資料として、次のものを監理者に提出する。 ※保証書(原本) ※保守及び緊急連絡先 ※機器類操作点検など等取扱引継書 ※監理者の指示する機器完成図 ※敷地境界立会記録 ※地中仮設残存物記録 ※設備関係測定報告書 ・⊙保全マニュアル ・⊙長期修繕計画書 ・⊙定期点検基礎資料 b.保全に関する資料の部数などは、「提出書類作成要領」による。 [付加] c.次に該当する建築物部位・設備・部品などについては、建築物の利用・維持管理・保全に関する説明書及び機器取扱い説明書を作成し、監理者に提出のうえ、発注者または発注者の指定する建築物管理者などに対して取扱い説明を行う。取扱い説明が完了した場合は、その記録を添えて監理者に報告する。 1)特殊な操作を必要とするもの 2)特殊な手入れを必要とするもの 3)使用上・保全上特別な注意を必要とするもの 4)専門業者への保全管理委託を必要とするもの 5)定期的に状態や機能を点検する必要があるもの 6)経年劣化などにより更新・取替えなどが必要なもの 7)その他事故、早期の損耗・劣化などを避けるために必要と思われるもの
1.7.4(電気) 竣工写真　追補	a.竣工写真の提出は、「提出書類作成要領」によるほか、次による。（下表） b.フィルムカメラを使用した場合、カラープリントは、リバーサルフィルムダイレクトプリントとする。 c.デジタル画像データなどは、次による。 解像度　キャビネ判フルカラー400dpi(長辺方向2,600pixel)以上 ファイル形式　※TIFF(圧縮　LZW)　・JPG(圧縮　最高画質) カラーモード　RGB 記録媒体　CD-R フォルダ形式及びファイル名は、監理者の指示による 通し番号と標題を記した写真一覧表のExcelなどのデータを添付する d.フィルムカメラを使用した場合、ネガフィルムの提出は、次による。 ※提出しない　・提出する(監理者の指示する写真　　枚)

種類	提出部数	提出カット数 外観	提出カット数 内部	備考
※カラープリント	提出書類作成要領による	—	—	サイズなどは提出書類作成要領による
※デジタル画像データ	カラープリントと同じとする	カラープリントと同じとする		データの解像度・ファイル形式などは下記c号による

章・節・項	特記内容
1.7.5(電気) 鍵合せなど　追補	a.鍵合せ・各種計量器確認などを行う。その日程・方法は監理者と協議のうえ決定する。監理者の立会については、監理者の指示による。 b.鍵の提出に当たっては、鍵に整理札を付け、それに整合した建具配置図及び鍵明細書とともに、鍵箱に整理・収納して発注者に提出する。
1.7.6(電気) 引渡　追補	a.共仕[1.6.1]に定める請求・支払に伴う検査終了後、設計図書に定める各種の図書類・物品またはこれに代わる目録を添えて、発注者に工事目的物を引き渡す。なお引渡は、監理者の立会のもとに行う。 b.工事目的物の引渡に際して提出する予備材料・備品・工具などは、次による。 ・
1.7.7(電気) 部分引渡　追補	a.部分引渡を行う場合は、完成時に適用される諸規定を準用する。その手順の詳細については、監理者と協議のうえ決定する。
1.7.8(電気) 完成引渡後の検査・調査　追補	a.完成引渡後でなければできない請負者の自主検査などで、必要により監理者の指示する事項については、瑕疵期間内の監理者の指示する時期に検査・測定・調査などを行い、その結果を発注者、建築物管理者及び監理者に報告する。 b.工事目的物の完成引渡後、設備機器などについての1年間の運転実績を測定・調査し、その結果を整理・考察のうえ、発注者、建築物管理者及び監理者に報告する。本号の適用は次による。 ※行わない ・⊙次の項目について行う ・⊙年間1次エネルギー消費量 ・⊙年間電力消費量と内訳 ・⊙年間ガス消費量と内訳 ・年間油消費量と内訳 ・⊙年間給水量と内訳 ・新技術導入の効果(　　) ・その他(　　) c.工事目的物の完成引渡後、設備水槽ほか各種水槽の機能確認、及び設備ガラリの機能確認を行い、臭いの状況や空気環境などについての運転実績を調査し、その結果を発注者、建築物管理者及び監理者に報告する。測定方法は、携帯型臭いセンサーによる簡易測定程度とし、測定位置、測定個所数及び判定基準は、次による。 測定位置　※OA取入れ口　※設備マンホール直上　・ 測定個所数　※各所1カ所 判定基準(6段階表示法による臭気強度)　・1.0以下　※2.0以下

電気設備工事特記仕様書

基本要求品質

章・節・項	項目	特記内容
基本要求品質 [付加]		a.電気設備工事は次の基本要求品質を満たしているものとする。 1)設置場所の環境条件に対して、その性能・機能を有すること。 2)運転操作が安全確実にできるとともに、高い信頼性を有すること。 3)設備に異状が発生した際、又は前後に連なる他の設備に起因する異状や事故に際して、これを確実かつ速やかに検出・保護し、安全が図られていること。 4)通常の運転・操作時に、盤表面に充電部が露出しない構造、又は防護措置が講じられていること。 5)地震力、振動に対し、破損や変形が生じない構造、又は転倒・落下及び緩みのおそれのないように取り付けられていること。 6)通常の運転状態において、振動や騒音が少なく、堅固で耐久性のある構造であること。また、振動や騒音源に対して、遮へい措置が講じられていること。 7)外部配線との接続及び内部配線作業が容易に行え、完成後の確認や増締め作業に配慮されていること。 8)各部の点検及び部品の交換が容易にできる構造であること。 9)保守及び緊急時の対処が容易なように、機器類の構造及び配置が考慮されていること。 10)見掛り部分は、所要の仕上り状態であること。 11)測定記録、検査記録、取扱い説明書など必要な「完成時の提出図書」が完備していること。 b.受変電設備工事はa.の基本要求品質に加えて、次の基本要求品質を満たしているものとする。 1)受変電設備は、全停電・復電総合検査において求められる所定の性能を有すること。 c.静止形電源設備工事はa.の基本要求品質に加えて、次の基本要求品質を満たしているものとする。 1)静止形電源設備は、全停電・復電総合検査において求められる所定の性能を有すること。 d.発電設備工事はa.の基本要求品質に加えて、次の基本要求品質を満たしているものとする。 1)発電設備は、全停電・復電総合検査において求められる所定の性能を有すること。 e.通信・情報設備工事はa.の基本要求品質に加えて、次の基本要求品質を満たしているものとする。 1)取り扱う音声/映像データについて伝送容量・速度、音声/画像品質、データエラー発生率など、伝送媒体に応じた規定の仕様を満足すること。 2)他の配線系統や電力・通信機器等からのノイズなどの障害を受けないような対応がなされていること。 3)異常電圧、サージ、ノイズなどの侵入防止措置が確実に施されていること。 4)防災設備は、防災総合検査が完了し、所定の動作・機能が確認されていること。 f.中央監視設備工事はa.の基本要求品質に加えて、次の基本要求品質を満たしているものとする。 1)総合性能機能検査(全停電・復電総合検査、防災総合検査、中央監視盤総合検査等)が完了し、所定の動作・機能が確認されていること。 2)確実な監視・制御・警報・記録機能を果たすために、機器単体ないし総合の速度・容量・信頼性を高く維持すること。また、最繁時やパターンが錯綜した場合にも適切な速度のもとに、確実な監視・制御などの処理機能を維持すること。 3)オペレータが日常的に操作・監視・対処するのに、人間工学的な配慮のもとに、常時及び緊急時に使いやすい機器配置・構造となっていること。 4)高いイミュニティ性能を保持し、伝送ラインや接地線からの電磁障害を防止し、システム全体として正確で確実な信号・情報の伝送性能を有すること。

第1編　一般共通事項

第2章　共通工事

章・節・項	項目	特記内容
第9節　耐震工事	追補	
2.9.1 耐震の基準	a.耐震クラス	※高さが60m以下の建築物に設置される各種の設備は、その設置階と耐震クラスに応じて表2.9.1に示す標準震度の地震力に対し重大な被害が生じない措置を行う。なお、耐震クラスの設定は表2.9.2による。 ※高さが60mを超える建築物及び免震構造の場合は、地震時における建築物の振動特性に応じた力に対し重大な被害が生じない措置を行う。 ※耐震の措置は、原則として日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」2005年版に準拠して行う。 ※機器本体の耐震性能は、製造者により確認されているものとする。 ※受変電設備、発電機設備の耐震クラスは、Sクラスとする。

表2.9.1　建築設備機器の設計用標準震度(Ks)と耐震クラス

機器の設置階	建築設備機器の耐震クラス 耐震クラスS	耐震クラスA	耐震クラスB	適用階の区分
上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.0	最上階
中間階	1.5	1.0	0.6	2
地階及び1階	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)	B1 地階

( )内の値は、地階及び1階(地表)に設置する水槽の場合に適用する。
設計用水平震度 KH=Z・Ksで求める(Z:地域係数、通常は1とする)。
設計用鉛直震度Kv=1/2KH とする。

●上層階の定義
・2～6階建ての建築物では、最上階を上層階とする。
⊙7～9階建ての建築物では、上層の2階を上層階とする。
・10～12階建ての建築物では、上層の3階を上層階とする。
・13階建て以上の建築物では、上層の4階を上層階とする。

●中間階の定義
⊙地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階を中間階とする。

●適用の原則
1.通常の建築一般設備は、クラスB
ただし、防振装置付きの機器は、クラスA
2.重要性が高い用途と指定された建築に設けられる設備は、クラスA
また、通常の建築でも特に指定した設備については、クラスA
この場合、防振装置を設けた機器類は、クラスS
3.特に重要度が高いと指定した設備・機器は、クラスS

表2.9.2　耐震クラス

建築設備機器の耐震クラス		
耐震クラスS	耐震クラスA	耐震クラスB
受変電設備、発電設備	防災設備	左記以外

章・節・項	項目	特記内容
第10節　シックハウス対応　追補		
2.10.1 室内空気質対応に関連する法令・基準の適用	a.法令・基準の適用	※建築基準法 ・住宅の品質確保の促進等に関する法律 ・学校環境衛生の基準 ・その他(　　)
	b.室内濃度	※居室の室内空気質における揮発性有機化合物の室内濃度は厚生労働省の指針値をクリアする。 ・その他(　　)
	c.対応を行う範囲	※適用法令などによる範囲 ・その他(　　)
2.10.2 室内設備関連工事におけるシックハウス対応	a.枯らし運転	※室内における配管類、盤、機器などの塗料及び接着剤は、露出・隠ぺい部分ともにホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含まないものとする。また、接着剤に含まれる可塑剤は、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルなどを含有しない難揮発性のものとする。やむを得ずこれらを含むものを使用する場合は、その使用量が最小限に抑えられたものとし、十分に枯らし期間を設け、換気するなどの措置を講ずる。 ・その他(　　)
2.10.3 施工中の措置	a.VOC低減の措置	※施工中、通風・換気(機械換気などを含む)を行い、ホルムアルデヒド、VOCの放散を促進させる。また、必要によりVOC低減のため適切な改善措置を講ずる。 ・その他(　　)
2.10.4 測定濃度値と引渡条件	a.引渡条件	・測定化学物質濃度がすべて指針値以下であることを、引渡条件とする。測定化学物質濃度のいずれかが指針値を超える場合、低減対策を施した後、再測定して、すべての濃度が指針値以下であることを確認し、引渡を行う。 ※引渡条件としない。
2.10.5 塗料	a.塗料	※屋内に用いる塗料は、水性系でホルムアルデヒドの放散量等級がF☆☆☆☆のものとする。またトルエン、キシレン、エチルベンゼンは放散しないか、放散がきわめて少ないものとする。やむを得ず、これらの物質を含むものを使用する場合は、その使用量が最小限に抑えられたものとし、十分に枯らし期間を設けるなど、改善措置を講ずる。 ・その他(　　)
2.10.6 接着剤	a.接着剤	※各所に用いる接着剤は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含まないものとする。また接着剤に含まれる可塑剤は、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性のものとする。ただし、設計図または特仕の指定によりエポキシ樹脂系接着剤を使用する場合は、これらの物質の使用量が最小限に抑えられたものとし、十分に枯らし期間を設けるなど改善措置を講ずる。 ・その他(　　)
2.10.7 内装施工後の室内空気質測定	a.測定の要否	※行う　・行わない
	b.実施時期	※完成引渡の1カ月前　・ ・別途工事の家具備品などの搬入前 ・別途工事の家具備品などの搬入後
	c.報告書部数	※3部　・　部
	d.測定対象物質	※測定対象物質と測定個所は次による（下表）
	e.採取・測定方法	・拡散型(パッシブ)サンプラーを用いた測定方法による。測定方法の詳細は、設計図に添付する「揮発性有機化合物濃度測定要領」による。 ※採取方法を含め厚生労働省「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」による。
2.10.8 改善措置	a.改善措置	※ホルムアルデヒド、VOCなどの室内濃度測定の結果、建築物の要求品質をクリアできていない物質がある場合は、発注者及び監理者と協議のうえ、指針値クリアを達成するまで24時間換気運転をする。またホルムアルデヒド、VOCなどを吸着または除去する材料を用いるなどの方法により、適切な改善措置を講ずる。
第11節　高調波　追補		
2.11.1 高調波環境レベル	a.高調波流出電流計算書 b.高調波流出電流上限値	※作成する。 ※「高圧又は特別高圧電力で受電する需要家の高調波抑制ガイドライン」(H6年10月資源エネルギー庁)による。 ・その他(　　)
第13節　防爆工事　追補		
2.13.1 防爆工事	a.仕様及び範囲	※関連法規のほか、(独)産業安全研究所技術指針「工場電気設備防爆指針」(ガス蒸気防爆2006)を参照する。 ⊙防爆対応を必要とする部分(　S棟の一部　) ・その他の対応を必要とする場所と対応内容 (　　)

測定物質	測定個所
※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ・エチルベンゼン ・スチレン ・パラジクロロベンゼン ・	計　　カ所 測定室名：

第2編　電力設備工事

第1章　機材

章・節・項	項目	特記内容
第1節　電線類		
1.1.1 電線類	a.電線種別	・EM電線、EMケーブル ⊙一般電線、一般ケーブル
第2節　電線保護物類		
1.2.1 金属管及び附属品	a.使用区分	屋内：※ねじなし電線管　・薄鋼電線管 屋外：⊙厚鋼電線管　・その他
	b.露出部金属管の塗装	露出部　(機械室、EPS、PS、DS、直天井の室) ・指定色　⊙不要
	c.屋外電路の支持材(吊り台、架台)	・鋼材・鋼板製(溶融亜鉛めっき、ガルバリウム鋼板同等品) ⊙成形品(アルミ製、ステンレス製)
	d.屋外電路の固定材(ボルト、ナット類)	・溶融亜鉛めっき　⊙ステンレス製
1.2.2 PF管、CD管及び附属品	a.使用区分	※PF管(隠ぺい部・コンクリート埋設部) ・CD管(コンクリート埋設部)
1.2.6 プルボックス	a.屋内型プルボックスの材質	⊙鋼板製　・ステンレス鋼板製 ・合成樹脂製
	b.屋外型プルボックスの材質	・鋼板製(溶融亜鉛めっき) ⊙ステンレス鋼板製　・合成樹脂製
[付加]	c.露出部金属プルボックスの塗装	露出部(機械室、EPS、PS、DS、直天井の室) ・指定色　⊙不要
[付加]	d.プルボックスのふたの止めねじ	※長辺200mmを超える場合は、蝶ねじまたは脱落防止ねじとする。
1.2.7　[付加] 金属ダクト	a.金属ダクトのふたの止めねじ	※長辺200mmを超える場合は、蝶ねじまたは脱落防止ねじとする。
1.2.8　[付加] 金属トラフ	a.金属トラフのふたの止めねじ	※長辺200mmを超える場合は、蝶ねじまたは脱落防止ねじとする。
1.2.9 ケーブルラック	a.ケーブルラックの種別	屋内：⊙鋼板製　・アルミ製 ：露出部　床上1.8mまでは保護のため鋼製カバーを設ける。 屋外：⊙鋼板製(溶融亜鉛めっき、ガルバリウム鋼板同等品) ・アルミ製　・ステンレス製
[付加]	b.保護カバー	⊙必要(場所　屋外及び設計図による) 材料(・鋼板　・その他(　　))
[付加]	c.電磁シールド	・必要　(カバー範囲　　) 材料　・パーマロイ　・アモルファス　・その他(　　)
第3節　配線器具		
1.3.1　[付加] 配線器具	a.コンセント(フロアコンセント)	・砲金製　⊙アルミニウム製　⊙OA用
	b.プレート	⊙新金属製(耐食アルミ合金製) ・ステンレス鋼板製　⊙合成樹脂製
第4節　照明器具		
1.4.2 構造一般	a.照明器具の色 b.外灯の色	⊙製造者の標準色　・指定色 ・製造者の標準色　⊙指定色
1.4.4 光源	a.蛍光ランプ	・光源色　係員の指示による
[付加]	b.管球の予備品	蛍光灯　総本数の　5% 白熱灯　総本数の　5% 放電灯　総本数の　5% 注記：N棟、共用は管球の予備品無しとする。

着工	2009.06.01
竣工	2010.08.18
監理	
施工	請負者 電気設備工事 [redacted]

080716 090618 HO 090622 FU

完成図　電-共04　[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事　(電) -04

電気設備工事特記仕様書(3)　NO. 0-060186-D

720×500

1　電気設備工事特記仕様書　-

第6節～第9節、第11節、第12節　盤類共通(分電盤、耐熱形分電盤、OA盤、実験盤、制御盤、消防防災用制御盤)

1.6.3～1.9.3、1.11.3、1.12.1 キャビネット	a.屋内キャビネット	⊙鋼板製　・ステンレス鋼板製
	b.鋼板製キャビネットの塗装色	・製造者の標準色　⊙指定色塗装
	c.ハンドルの材質	⊙非鉄金属　・ステンレス
	d.ハンドル	※表面に突出ない構造とし、すべて鍵付きとする。
	[付加] e.接地端子	⊙回路数と同数の接地端子を設ける。
1.6.4～1.9.4、1.10.3、1.11.4 導電部	[付加] a.母線接続部	⊙盤の母線(接続部)には、不可逆性示温材(70℃など)を設ける。

第6節　分電盤

1.6.1 一般事項	a.分電盤形式	⊙盤形式　設計図による
1.6.3 キャビネット	a.屋外キャビネット	・ステンレス鋼板製 ・鋼板製(溶融亜鉛めっき)　⊙鋼板製(塗装)

第8節　OA盤

1.8.1 一般事項	a.OA盤形式	⊙盤形式　設計図による

第9節　実験盤

1.9.1 一般事項	a.実験盤形式	⊙盤形式　設計図による
1.9.3 [付加] キャビネット	a.キャビネットの種類	⊙鋼製　・樹脂製　・ステンレス製

第10節　開閉器箱

1.10.2 キャビネット	a.鋼板製キャビネットの塗装色	・製造者の標準色　⊙指定色

第11節　制御盤

1.11.1 一般事項	a.形式など	⊙キャビネット形式　設計図による ⊙主幹器具　⊙配線用遮断器　⊙漏電遮断器
1.11.3 キャビネット	a.屋外キャビネット	・ステンレス鋼板製 ・鋼板製(溶融亜鉛めっき)　⊙鋼板製(塗装)
	e.サージキラー	⊙設ける　・設けない
	f.高調波流出対策	⊙リアクトル(ACまたはDC)を設ける ・設けない

第2章　施工

章・節・項	項目	特記内容
第1節　共通事項		
2.1.14 耐震施工	a.横引き配管などの支持方法	⊙A種　・B種
	b.耐震安全性の分類	・特定の施設　⊙一般の施設

第2節～第4節　金属管配線・合成樹脂管配線(PF管、CD管、硬質ビニル管)

2.2.3～2.4.3 [付加] 隠ぺい配管のふさぎ	a.配管	⊙最上階の上部スラブ及び地下の外壁には配管を埋設してはならない。
[付加]	b.金属管の使用	⊙インバータ制御機器など、電磁障害を発生させる機器への配管は、金属管を使用する。

第12節　地中配線

2.12.4 管路等のふさぎ	a.標識シート	⊙高圧または特別高圧の地中配線以外のものにも標識シートが必要。

第3編　受変電設備工事

第1章　機材

章・節・項	項目	特記内容
第1節　キュービクル式配電盤		
1.1.1 [付加] 一般事項	a.キュービクルの形態	⊙屋内キュービクル(薄型) ・屋外キュービクル(一般型) ⊙非常用電源専用受電設備適合キュービクル(・必要　・不要)
1.1.3 キャビネット	a.材質	⊙鋼板製(塗装) ・鋼板製(溶融亜鉛めっき) ・ステンレス鋼板製 ・耐塩塗装(・耐塩型　・重耐塩型)
	b.配電盤内の許容温度対策	・通気孔　⊙換気装置(フィルタ付) ・スペースヒータ
	c.盤の塗装色	・製造者の標準色　⊙指定色
1.1.5 [付加] 盤内器具類	a.電流計、電力計	※定格赤指針付き(電子式は表示式)とする。
	b.指示計器	・機械式　⊙電子式
	c.最大需要電流計	・機械式　⊙電子式
	d.積算計器	⊙検定付き　・検定なし
	e.自動力率制御装置	※静止型　・メーターリレー形
	f.制御回路など	
	(1)受電回線切替	※自動　・手動(2回線受電の場合)
	(2)停復電切替	※全自動　・半自動(復電は手動)　・手動
	(3)切替装置	・プログラマブルコントローラ ⊙シーケンサ　・リレー回路

1.10.1 [付加] 交流遮断器	a.遮断器の種別	※真空式(VCB)　・ガス絶縁式(GCB)
	b.操作方式	⊙電動ばね式　・電磁式　・手動ばね式
1.10.2 変圧器	a.変圧器の仕様	・油入変圧器　⊙モールド変圧器
	b.変圧器の種別	※特定機器対応　・その他(　　)
	c.高圧・低圧間の絶縁	混触防止板(・有　⊙無)
	[付加] d.防振装置	⊙防振ゴム ・防振スプリング
	[付加] e.タップ切換器	⊙必要(無電圧時)　・不要
	[付加] f.ダイヤル温度計(最大値指針付)	※必要(油入500kVA以上、モールド150kVA以上) ・油入　kVA以上　モールド　kVA以上
1.10.3 高圧進相コンデンサ	a.種別	・油入　⊙モールド　・ガス入(SF6)　・ガス入(N2)
	b.保護装置	⊙圧力スイッチ　・保安装置　・保護検出器
	c.放電装置	⊙付属形　・内蔵形 ・放電抵抗　⊙放電コイル
1.10.4 直列リアクトル	a.種別	・油入　⊙モールド
	b.許容電流種別	⊙Ⅱ種　・Ⅰ種
1.10.5 断路器	a.避雷器用	・単極(フック棒操作方式) ⊙三極(フック棒操作方式)
1.10.6 避雷器	a.種別	⊙キュービクル式高圧受変電設備に用いるもの ・キュービクル式高圧受変電設備以外に用いるもの (・直列ギャップを使用する　・直列ギャップを使用しない)
1.10.7 [付加] 限流ヒューズ	a.予備	※現用数の20%とし、種別ごとに1組以上を具備する。
1.10.8 高圧負荷開閉器	a.種別	・真空開閉器　⊙気中開閉器(相間バリア付) ・ガス開閉器
1.10.9 [付加] 高圧電磁接触器	a.高圧コンデンサ回路	⊙力率制御の高圧コンデンサ回路に使用する高圧電磁接触器には動作度数計を付属する。

第11節　特別高圧機器

1.11.1 [付加] 交流遮断器	a.遮断器の種別	・真空式(VCB)　⊙ガス絶縁式(GCB)

第2章　施工

章・節・項	項目	特記内容
第1節　据付け		
2.1.1 [付加] キュービクル式配電盤など	a.屋外または水気のある場所に設置する据付用アンカーボルト、ナット類	⊙ステンレス　・溶融亜鉛めっき

第4編　静止形電源設備工事

第2章　機材

章・節・項	項目	特記内容
第1節　直流電源装置		
2.1.1 [付加] 一般事項	a.使用区分	⊙制御用　・防災用
2.1.2 構造一般	a.蓄電池の収納	⊙盤収納型、キュービクル　・架台式
2.1.3 [付加] キャビネット	a.種別	⊙屋内キュービクル ・一般型　⊙薄型 ・屋外キュービクル ・一般型　・耐塩型　・重耐塩型 ・受変電屋外キュービクル内収納 ⊙鋼板製 塗装 ・鋼板製 溶融亜鉛めっき ・ステンレス鋼板製
	b.盤の塗装色	・製造者の標準色　⊙指定色
2.1.5 盤内器具類	a.指示計器	・機械式　⊙電子式

第5編　発電設備工事

第1章　機材

章・節・項	項目	特記内容
第1節　ディーゼル発電装置		
1.1.1 一般事項	a.種別	非常用、常用の別　・非常用電源　・常用電源
[付加]	b.キュービクル形の防音性能	防災用電源としての扱い　・専用　・兼用　・無 ・普通形 約105dB ⊙低騒音形 85dB以下 ・超低騒音形 75dB以下
	d.運転時間定格	⊙2時間形　・長時間形 10時間 ・連続定格形　時間以上
	e.系統連系	・有　⊙無
1.1.2 構造一般	a.形式	⊙配電盤搭載形キュービクル形 ・配電盤搭載形オープン形 ・配電盤別置式
	c.盤の塗装色	⊙製造者の標準色　・指定色
1.1.3 発電機		
1.1.3.1 一般事項	a.保護形式	⊙保護形 IP20　・保護防滴形 IP22S
1.1.4.6 始動装置及び停止装置	a.始動方式	⊙電気始動方式　・空気始動方式
1.1.4.7 共通台板	a.防振装置	・防振ゴム　・金属コイルスプリング ⊙金属コイルスプリングと防振ゴムの併用 ・空気ばね　・その他
1.1.4.8[付加] 予備品等	a.燃料	※満油引渡し すべてのタンク容量分
1.1.5 配電盤		
1.1.5.3 保安装置	a.過電流故障	・原動機停止
	b.警故障の追加項目	・発電機軸受け温度上昇　・発電機内部故障 ・制御電源電圧低下　・逆電力　・地絡 ・制御空気圧低下
	c.軽故障の追加項目	・補機故障
	d.外部用端子	⊙一括表示　・個別表示
1.1.7 燃料等		
1.1.7.1 燃料油等	a.燃料油	・特A重油　・A重油　⊙軽油 ・ディーゼル軽油　・灯油

第2章　施工

章・節・項	項目	特記内容
第1節　ディーゼル発電装置、ガスエンジン発電装置、ガスタービン発電設備及びマイクロガスタービン発電設備の据付け		
2.1.1 耐震処置	a.地震力	⊙耐震クラスA ・耐震クラスB

第6編　通信・情報設備工事

第1章　機材

章・節・項	項目	特記内容
第1節　電線類		
1.1.1 電線類	a.電線種別	・EM電線、EMケーブル ⊙一般電線、一般ケーブル

第4節　端子盤・機器収納ラックなど

1.4.2 端子盤など	a.屋内キャビネット	※鋼板製(塗装)　・ステンレス鋼板製 ・鋼板製(溶融亜鉛めっき)
	b.キャビネットの色	※製造者の標準色　⊙指定色　・設計図による
	c.屋外キャビネット	※鋼板製(塗装)　・ステンレス鋼板製 ・鋼板製(溶融亜鉛めっき)
	d.キャビネットの色	※製造者の標準色　・指定色　・設計図による

第11節　テレビ共同受信設備

1.11.1 一般事項	a.通信用SPDの設置	※6編 1.4.5の特記による。
1.11.2 [付加] 機器	a.テレビ端子及び直列ユニット	⊙1端子形　・2端子形
1.11.3 [付加] アンテナ及びアンテナマスト	a.アンテナ素子、アーム	素子　(・アルミ　※ステンレス)　(N横) アーム　(・アルミ　※ステンレス) ⊙BS、CS　(　65φ) ⊙壁付　・自立(　　m)
	b.アンテナマスト	・一般構造用炭素鋼管　・圧力配管用炭素鋼鋼管　⊙配管用ステンレス鋼管
	c.マスト支持金具等	・溶融亜鉛めっき鋼材　⊙ステンレス鋼
1.11.4 機器収容箱	a.キャビネットの色	※製造者の標準色　⊙指定色 ・設計図による

第9節　拡声装置

1.9.1 [付加] 一般事項	a.用途	・一般専用　⊙一般非常兼用
	b.外箱の色	※製造者の標準色　⊙指定色 ・設計図による
	c.通信用SPDの設置	※6編 1.4.5の特記による。

第13節　監視カメラ装置

1.13.1 [付加] 一般事項 [付加]	a.主装置部分の形状	⊙ラック形　・自立盤形　・その他
	b.外箱の色	・製造者の標準色　⊙指定色
	c.伝送方式	⊙アナログ伝送　・ネットワーク伝送
	d.アナログ伝送の映像信号	※NTSC方式　・EIA方式
	f.通信用SPDの設置	※6編 1.4.5の特記による。
1.13.2 カメラ	a.カメラの性能	・白黒方式　⊙カラー方式
	b.カメラレンズ	⊙交換形　・一体形
	c.カメラレンズの区別・機能	⊙標準レンズ　・広角レンズ ・望遠レンズ　機能など
	d.カメラの給電方式	・ACアダプタ方式　⊙電源重畳方式 ・PoE方式
1.13.3 モニタ装置	a.監視操作部	⊙専用ソフトウェア方式 ・インターネット閲覧ソフトウェア方式
1.13.5 その他の機器	a.ハウジングの材質	※金属製　・合成樹脂製
	b.耐候形ハウジングの付属品	⊙ワイパー　・デフロスタ　・ヒーター ・ファン

第14節　駐車場管制装置

1.14.2 [付加] 管制盤	a.外箱の塗装色	※製造者の標準色　・指定色 ・設計図による
	b.表示部	※発光ダイオード　・電球
1.14.3 検知器	a. 検知器の種類	⊙光線式　⊙ループコイル式
	b.光線式検知部の外箱	※ステンレス製　・鋼板製
	c.ループコイル検知部の外箱	※ステンレス製　・鋼板製
1.14.5 発券機	a.発券方式	※自動式　・手動式
	b.発行券	⊙磁気式　・ICカード式　・パンチカード式
1.14.6 カーゲート	a.バー	⊙グラスファイバ製　・アルミ製　・鋼製

第15節　防犯・入退室管理装置

1.15.1 [付加] 一般事項	a.外箱の塗装色	※製造者の標準色　⊙指定色 ・設計図による
1.15.2 制御装置	a.制御装置の機能(基本性能以外)	⊙遠隔施解錠制御　⊙スケジュール設定・制御 ⊙配線機能　・照明・空調制御 ⊙防災・防犯などインテグレーション機能
1.15.3 認識部	a.認識方法	・磁気カードリーダ　・暗証番号入力装置 ⊙ICカードリーダ ・バイオメトリックス照合装置

第16節　自動火災報知装置

1.16.1 一般事項	a.キャビネットの塗装色	※製造者の標準色　⊙指定色 ・設計図による
	b.通信用SPDの設置	※6編 1.4.5の特記による。
1.16.8 その他の機器	a.消火栓表示灯	※発光ダイオード式　・電球式

第2章　施工

章・節・項	項目	特記内容
第19節　テレビ電共同受信設備		
2.19.3 電界強度測定	a.測定するチャンネル数	⊙10
第28節　施工の立会い及び試験		
2.28.2 施工の試験	a.光ファイバの伝送損失測定	⊙機器の許容伝送損失値
	b.接地抵抗値	⊙10Ω以下を確認
	d.テレビ共同受信設備	・CATVの測定チャンネル ⊙CSの測定チャンネル
[付加]	f.機能試験	・ ・ ・

第7編　中央監視制御設備工事

第1章　機材

章・節・項	項目	特記内容
第2節　警報盤		
1.2.1 一般事項	a.信号の伝送方式	・1対1直接方式 ⊙直列伝送方式 ・その他(　　)

第2章　施工

章・節・項	項目	特記内容
第3節　施工の試験		
2.3.2 施工の試験 [付加]	a.光ファイバケーブルの伝送損失	⊙機器の許容伝送損失値
	b.機能試験・総合動作	

その他

⊙ケーブル及び電線には全て符を付け、内容及び接続先が分かるようにすること。

着工	2009.05.01		
竣工	2010.08.18		
監理			
施工		現場責任者	[redacted]
		電気設備工事	

完成図　電- 共05

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

電気設備工事特記仕様書(4)

電　- 05

NO. 0－060186－D

【既存電気図凡例】

720×500

1 凡例 -

記号	名称
	蛍光灯（天井付・壁付）
	▨：発電回路
	蛍光灯（天井付・壁付） 電池内蔵型
	白熱灯非常用照明 電池内臓型
	白熱灯・コンパクト蛍光灯 非常用照明兼用型 電池内臓型
	白熱灯・コンパクト蛍光灯 （天井付・壁付）
	投光器
	HID灯
	庭園灯
	避難口誘導灯（天井・壁付） B型
	室内通路誘導灯 B型
	（傍記）s:音声誘導音付・点滅形、b:防爆型
Yu	誘導灯信号装置 誘導音+点滅用(25回線)
	配線ダクト（埋込型） 2P20A 接地極付
	配線ダクト（直付型） 2P20A 接地極付
●	タンブラスイッチ 1P 15A
●2 ●3 ●4	タンブラスイッチ 2P 15A, 3W 15W, 4W 15A
	タンブラスイッチ 1P 15A 動作表示灯付
	タンブラスイッチにて傍記WPは防水型 を示す。
●R	リモコンスイッチ
nL	リモコンスイッチ
	（傍記 n.Lはスイッチ回路数FLは調光スイッチを示す）
	人感センサー（親機）
	人感センサー（子機）
	照度センサー
E	壁付コンセント 2P 15Ax2口 接地極付
ET	壁付コンセント 2P 15Ax2口 接地極・接地端子付
K	壁付コンセント 2P 15Ax1口 接地極・キー付きガードプレート
2K	壁付コンセント 2P 15Ax2口 接地極・キー付きガードプレート
WP	壁付コンセント 2P 15Ax2口 接地極・防水型
3φ20A 床	床置コンセント 3φ200V20Ax1口 WF2420BK
3φ30A 床	床置コンセント 3φ200V30Ax1口 WF2430B
1φ20A 床	床置コンセント 1φ200V20Ax1口 WF2320WK
1φ30A 床	床置コンセント 1φ100V30Ax1口
	アップコンセント
E	アップコンセント
	ハーネスジョイントボックス（フリーアクセスフロア用）
	+取付台+保護カバー+ハーネスOAタップ
	（2P1E15Ax4口抜け止め用 ケーブル長さ3M）
	FAN用操作スイッチ
20A	壁付コンセント 1φ100V 2P 20Ax1口 接地極付
30A	壁付コンセント 1φ100V 2P 30Ax1口 接地極付
4	壁付コンセント 1φ100V 2P 15Ax4口 接地極付
G	ガス湯沸器-排気ファン連動用コンセント（連動SWは設備工事）
	壁付コンセント 2P 15Ax1口 接地極付（1φ200V）
20A	壁付コンセント 2P 20Ax1口 接地極付（1φ200V）
30A	壁付コンセント 2P 30Ax1口 接地極付（1φ200V）
LK	天井付コンセント 3P 15Ax1口 接地極付 引掛式(3φ200V)
LK20A	天井付コンセント 3P 20Ax1口 接地極付 引掛式(3φ200V)
LK30A	天井付コンセント 3P 30Ax1口 接地極付 引掛式(3φ200V)
	床コンセント(スマートコンセントⅡ型)
	※ ハーネス用OAタップは予備品とする。（N棟）

記号	名称
AMP	防災アンプ
	天井付スピーカ 傍記'O'は、露出型
	天井付スピーカ（アッテネータ 付）
	壁埋込型スピーカ（アッテネータ 付）
	壁掛け型スピーカ（アッテネータ 付）
	傍記'ハ'は、壁埋込型
	トランペットスピーカ
	アッテネータ
RM	非常リモコン（非常放送・業務放送兼用）
C	カットリレー
	テレビアンテナ(VHF,UHF)
	テレビアンテナ(BS,CS)
	テレビ受口
R	テレビ受口（端末）
	電話受口(端末)
	床付電話受口
PH	PHSアンテナ （機器別途工事）
L1	壁付コンピューターモジュラジャック モジュラジャック（8極8芯：Cat.6）
L2	壁付コンピューターモジュラジャック モジュラジャック（8極8芯：Cat.6）
L3	壁付コンピューターモジュラジャック モジュラジャック（8極8芯：Cat.6）
	ドアホン親機
	ドアホン子機
	インターホン親機
D	集合玄関機
WP	屋外カメラ
	屋内カメラ
	ドーム型カメラ
	トイレ呼出廊下表示灯
	トイレ呼出ボタン
	復旧ボタン
入退出	入退出装置
CR	カードリーダー
E	電気錠
K	キーボックス
S nA	手元開閉器 MCCB nA
SSS	開閉器ボックス
	空調室内機（空調設備工事）
	全熱交換機ユニット（空調設備工事）
ARU	空調スイッチ（空調設備工事）
	非常用コンセント盤(埋込型)2P15A接地極付x2
	消防法適合品
Wh	電力量計 パルス発信器・検定付
Wh	電力量計 パルス発信器
nF	フロートスイッチ nP
nLF	フロートレススイッチ nP
D/C	ドラフトチャンバー（別途工事）

記号	名称
	電灯分電盤 (L-nN)
	電灯・動力分電盤 (LM-nN)
	動力盤 (M-nN)
	監視モニター盤
RS	リモートステーション盤 (RS-nN)
	弱電端子盤 (S-nN)
TV	テレビ共聴盤 (TV-nN)
HUB	情報機器収納盤
AMP	防災アンプ
MDF	MDF盤
火災	火災副受信機
防犯 K	防犯警備盤
P	パッシブセンサー
TD	駐車券発券機
AP	全自動料金精算機
CG	カーゲート
EL	出庫注意灯
S	車室センサー
火災	火災副受信機
	プールボックス
	アウトレットボックス
	一般設備にて傍記記号は下記による
	□AD ：自動ドアー用
	□US,UB ：ユニットシャワー，ユニットバス用
	□HD ：ハンドドライ用
	□S ：小便器センサー用
	□HS ：手洗いセンサー用
	配管配線 天井
	配管配線 床
	配管配線 地中埋設（埋設表示テープ2重敷き）
	レースウェイ
	フィッチング 防爆エリアは、G管にて施工のこと。
	群配管或は配線立上り、立下り、素通し
	ケーブルラック
	防火区画貫通部
En	AC1φ100V 非常用照明回路
Yn	AC1φ100V 誘導灯回路
1On	AC1φ100V 電灯回路
2On	AC1φ200V 電灯回路
3On	AC1φ100V コンセント回路
35n	AC1φ100V コンセント(バックアップ)回路
4On	AC1φ200V コンセント回路
S30n	保安回路1φ100V コンセント回路
1On	GAC1φ100V 電灯回路
2On	GAC1φ200V 電灯回路
3On	GAC1φ100V コンセント回路
	傍記記号は下記による。
	R： リモコン操作 W： 計量回路 E： ELCB回路
WP	防水型
B	S棟 B工事
	注）照明器具表に'O'表示付きは、直天井を表す。

2 注記 -

1. 特記なき配管・配線は下記による。 尚 二重天井内は、ケーブルころがし配線とする。

(1) 電灯・コンセント

1-1) 分電盤より第一負荷 （二重天井内ケーブルころがし配線とする）
—//— IV 2.0 x2 . E1.6 (PF16) 又は VVF 2.0-3C
VVF 2.0-3C (OAフロア内)
—///— IV 2.0 x4 . E1.6 (PF22) 又は VVF 2.0-3C + 2.0-2C

1-2) 電灯 第一負荷以降 （二重天井内ケーブルころがし配線とする）
—//— ～ —///— IV 1.6x2～3 E1.6 (PF16) 又は VVF 1.6-3C
—///— ～ —//////— IV 1.6x4～8 E1.6 (PF22) 又は VVF 1.6-3C + 1.6-2C

1-3) コンセント第一負荷以降 （二重天井内ケーブルころがし配線とする）
—//— ～ —///— IV 2.0x2～3 E1.6 (PF16) 又は VVF 2.0-3C
—///— ～ —//////— IV 2.0x4～8 E1.6 (PF22) 又は VVF 2.0-3C + 2.0-2C

1-4) 地中埋設回路
・分電盤より第一負荷
—— CV 5.5° -2C E5.5° (FEP30)
—///— CV 5.5° -2Cx2 E5.5° (FEP50)
・第一負荷以降 （二重天井内ケーブルころがし配線とする）
—— CV 3.5° -2C E2.0 (FEP30)
—///— CV 3.5° -2Cx2 E2.0 (FEP30)

1-5) 防爆工事は、全て厚鋼電線管(GP)とする。

2) 蛍光灯調光回路
—//\— 電源は、1-1).1-2)による。 調光制御線 — AE 1.2-2C (PF16)

3) 灯具昇降用配線
—//\— 電源は、1-1).1-2)による。 昇降制御線 — IV 2.0x3 (PF16)
又は VVF 2.0-3c

4) 誘導灯回路
—//\— 電源は、1-1).1-2)による。 音声回路 — HP 1.2-4C (PF16)

5) スイッチ回路 本数は、スイッチ内容による。
—— ～ —////— IV 1.6x2～6 (PF16) 又は VVF 1.6-3C + 1.6-2C
—////— ～ —////////— IV 1.6x7～11 (PF22) 又は VVF 1.6-3C + 1.6-3C

6) リモコンスイッチ・TUユニット （二重天井内ケーブルころがし配線とする）
—/— CPEV 1.2-2Pr (PF22)
又はHP-S 1.2-2Pr

(2) 幹線は、下記による。
幹線系統図及び幹線リストによる。

(3) 弱電設備 （端子盤以降の配線は、二重天井内ケーブルころがし配線とする。但し 電話・情報・機械警備・入退出設備は、除く）
・幹線は、弱電系統図・弱電幹線リストによる。

1) 電話・情報用は、各受口への配管は、 —e—(PF22)とする。
尚 端子盤以降、各受口への配管はB工事とする。

2) 放送設備(スピーカ)への配線は、HP1.2-3C(PF16)とする。

3) テレビ共聴設備(テレビ受口)への配線は、S-5C-FB(PF16)とする。

4) ITV設備及び呼出設備は、系統システム図による。

5) 機械警備及び入退出設備の配管は、 —e—(PF22)とする。

6) 駐車管制設備は、系統システム図による。

着工	2009.06.01	
竣工	2010.08.18	
監理		
施工	請負者 電気設備工事	[redacted]

0060186_電気_凡例、特記事項
080826 090618 HO 090622 FU

完成図 電- 共06

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

凡例・注記

(電) - 06

NO. 0-060186 -D

【既存電気図】更新対象は機械設備図機器リスト を参照

添付図E-04

1	高圧受変電設備 単線結線図	——	

凡　例

記号	名称	備考
VCB	真空遮断器	
VCS	真空開閉器	
LBS	負荷開閉器	欠相保護付　相間バリア付
PF	限流ヒューズ	外部接点付　相間バリア付
TR	変圧器	モールド式
SC	進相コンデンサー	モールド式
SR	直列リアクトル	モールド式L=6%, L5=55%
DCC	放電コイル	
VT	計器用変圧器	
CT	計器用変流器	
V	電圧計	
A	電流計	最大指針付
DA	最大需要電流計	警報接点付
W	電力計	
COSφ	力率計	
Var	無効電力計	
Hz	周波数計	
VS	電圧計切換スイッチ	
AS	電流計切換スイッチ	
ZCT	零相変流器	
ZPD	零相基電圧	
APFC	自動力率調整器	
WH	電力量計（パルス発信付）	検定付

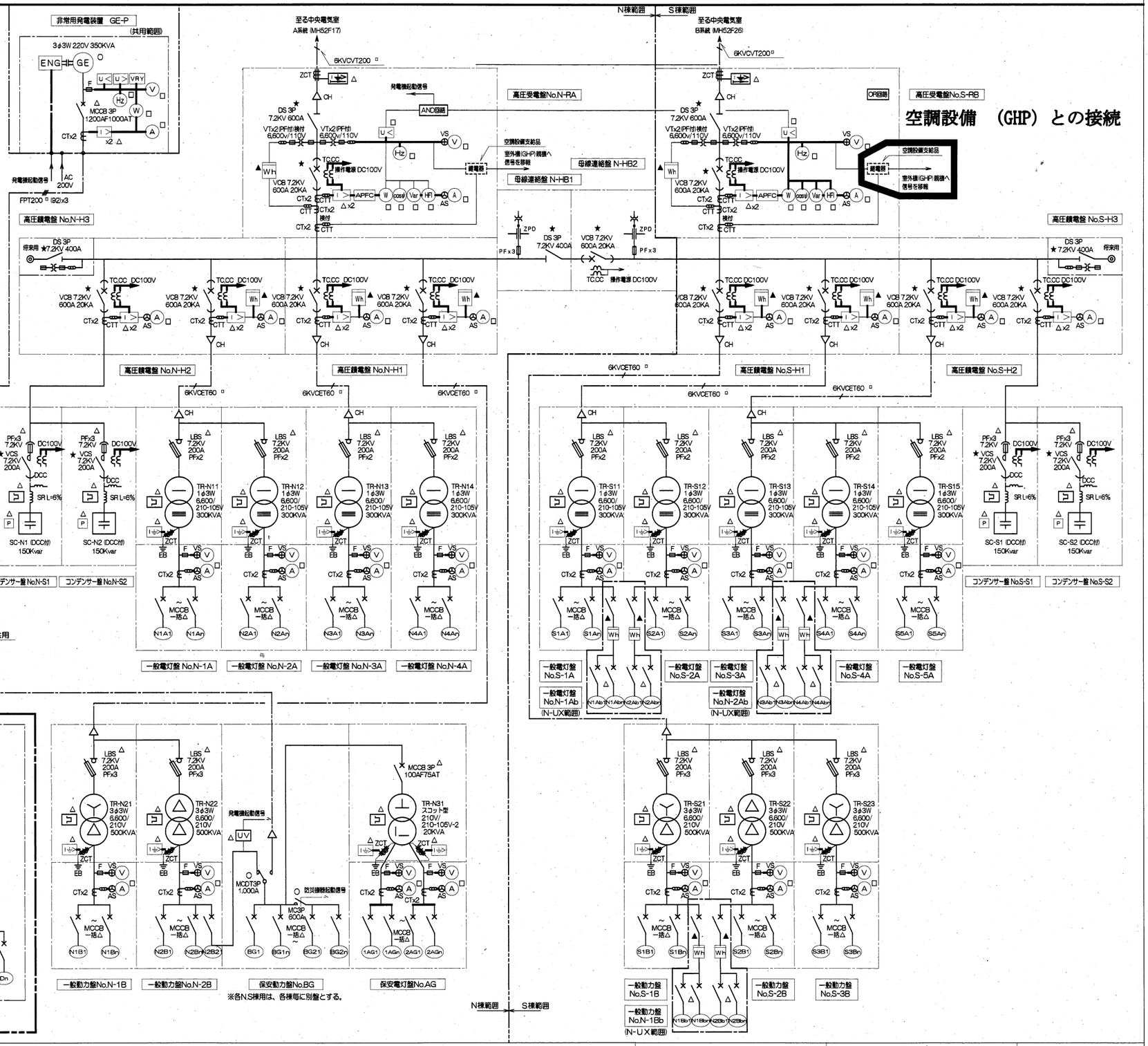
記号	名称	備考
I>	過電流継電器	瞬時要素付
地絡過電流継電器		
方向性地絡継電器		
地絡過電圧継電器		
U<	不足電圧継電器	
U>	過電圧継電器	
OVR	過電圧接地継電器	
熱動継電器		
P	圧力スイッチ	
★	状態・操作　中央監視盤表示　変換機付	
○	状　態　中央監視盤表示　変換器付	
△	故　障　中央監視盤表示　変換器付	
□	計　測　中央監視盤表示　変換機付	
▲	計　量　中央監視盤表示　変換機付	

特　記　事　項

1. 盤は、前面点検型の薄型キュービクルとする。
2. 高圧断路・開閉器及び高圧充電部前面には、透明アクリル板（6mm以上危険表示付）を設ける。
3. 変圧器は、モールド式　トップランナーとし、端子保護カバー・防振ゴム付とする。
   変圧器は、タップ切替え可能型とする。
   変圧器は、ダイヤル温度計付（警報接点付）とし、盤前面（小窓付）より確認できること。
4. 変圧器二次側には、可とう導体を取付けのこと。
5. 配線用遮断器（MCCB）の二次側は、端子台付とする。
   尚、端子台充電部前面には、保護カバーを取付けのこと。
6. 防災用負荷回路（※1）は、耐熱ブレーカーとし耐火区画し建築基準法・消防法に準拠すること。
7. 配電盤リスト中　電力量計・WH（パルス発信器付、口表示付）設置は、中央監視盤計量表示とする。
8. 各盤内には、点検用照明（扉の開閉により自動点滅）を取付けこと。
   又、保守用コンセントを取付けること。
9. 各盤の警報は、各盤にLEDにて警報表示する。
10. キュービクルは、屋内型　鋼板メラミン仕上げとする。

    尚、記入寸法は、参考とする。
11. キュービクル搬送路床には、絶縁ゴムマット（20kv耐圧）を敷くこと。
    ・平面図参照
12. その他　ＪＩＳ、JEMに準拠すること。

13. 書　品　下記内容を収納箱と共に納入のこと。
    ・断路器用フック棒　（大・小）　各 1本
    ・ＰＦヒューズ　他各ヒューズ　　現用数 +20%
    ・表示灯（蛍光灯共）　　現用数
    ・系統図　アクリル板（エッチング配入）　1枚
    ・VCB取外し用リフター　　1台
14. 財産区分は、下記による。
    P: 共用財産　　N: N棟財産　　S: S棟財産
15. 変圧器のR・S・Tの負荷接続は、既設1φ変圧器を含めて不平衡にならないように接続すること。
16. 直流盤の蓄電池は、長寿命型とする。
17. 一般電灯盤 No.N-nAb、N-nBbのWHは、CT 別型とする。
18. MCCBの600AF以上は、電動操作式ブレーカーとする。



注記）　N棟用、S棟用の各接地端子を取外し可能な銅バーで接続し、N棟,S棟別々にメンテナンス可能なこと。

設工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		請負者 電気設備工事	[redacted]

完成図　電－共08

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

高圧受変電設備　単線結線図

電 － 08

NO. 0－060186－D

KV9-LI
20090622-標本

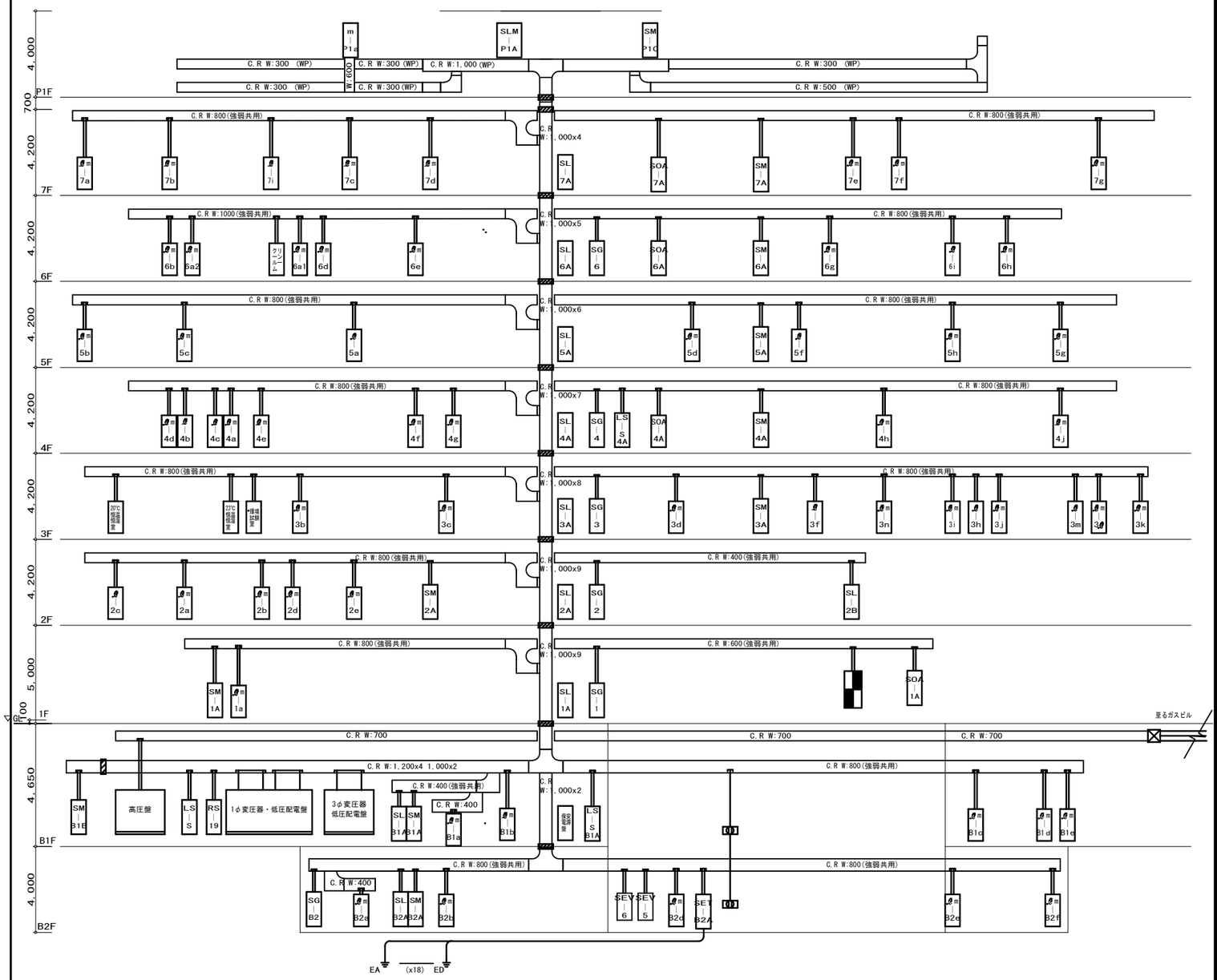
【既存電気系統図】

720×500+30

1　S棟 幹線系統図　——

（注 記）

1. 本図は幹線経路を示し、実装は幹線リストによる。
2. 接地線として各階接地端子盤(ET-nA)より、下記の配線を行うこと。
   主幹線経路にＥＤ、ＥＥＬＢ用として各１００㎟x2を、ＥＣ用として３８㎟を配線し、各電源盤に各々３８㎟x2及び１４㎟を分岐配線すること。
3. ケーブルラック部の ▨ は、縦穴防火区画貫通処理を示し、平面区画は、平面図参照。
   1) ケーブルラックはＺＭ-Ｂ形(セパレート付)とし、特記なきは寸法W＝600
   （セパレータ付）とする。
   尚、屋上階は、Ｚ35-Ｂ形カバー付とする。
   2) ハト小屋等貫通部は止水プレートを取付のこと。
4. 予備配管として、ケーブルラックまでの主幹線経路に
   ——●—— (63) x2 を配管すること。
5. 実験用接地として、EA(38㎟)x10本・ED(E38㎟)を×8本設置すること。
   ・接地端子盤(SET-B2A:23P)を設置する。
   ・実験盤への接地として、各盤(1m-nn)へ接地端子盤(SET-B2A)より、単独接地線(EA)E22㎟ x1,(ED,ELB)E38㎟ x2(ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ)を配線のこと。
   ・1m-1aへ接地端子盤(SET-B2A)より、単独専用接地線(EA)E14㎟ x5(ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ)を配線のこと。
   ・1m-2aへ接地端子盤(SET-B2A)より、単独専用接地線(ED)E14㎟ x1(ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ)を配線のこと。



1　S棟 配電盤リスト　——

（注記）1. 予備MCCBは、AT可変型とする。　3. MCCBの600AF以上は、電動操作式ブレーカーとする。
2. (非)印回路は、消防法適合 耐火仕様とする。

幹線記号	MCCB P	MCCB AF	MCCB AT	WH	容量 (KVA)	負荷名称	備考
一般電灯盤 No.S1A							
S1A1	3	225	200		41.6	SL-B2A, SL-B1A	
S1A2	3	400	350		69.4	SL-1A, SL-3A	
S1A3	3	400	250		43.4	SL-2A	
S1A4	3	400	350		70.5	SL-4A, SL-5A	
S1A5	3	400	350		66.3	SL-6A, SL-7A	
S1A6	3	400	250		61.4	SOA-1A, SOA-4A	
S1A7	3	400	250		45.8	SOA-6A, SOA-7A	
S1A8	3	225	125		15.0	ℓ-5a	
S1A9	3	400	250		40.4	SL-2B	
S1A10	3	225	225		予備		
				○	34.0	N1Ab	N棟ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ
小 計					503.6		
一般電灯盤 No.S2A							
S2A1	3	400	250		12.6	ℓm-B2a	
S2A2	3	225	200		37.5	ℓm-B2a	
S2A3	3	225	175		32.1	ℓm-B2b, ℓm-B2d～B2f	
S2A4	3	225	175		34.9	ℓm-B1a～B1e	
S2A5	3	400	350		73.6	ℓm-1a	
S2A6	3	400	350		59.1	ℓm-4a	
S2A7	3	400	250		61.7	ℓ-4b, 4c, ℓ m-4d	
S2A8	3	400	250		69.3	ℓm-4e, 4h	
S2A9	3	225	200		44.5	ℓm-4f, 4g, 4j	
S2A10	3	225	225		40.5	ℓm-1a	
S2A11	3	225	225		予備		
S2A12	3	225	225		予備		
				○	27.7	N2Ab	N棟ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ
小 計					514.0		
一般電灯盤 No.S3A							
S3A1	3	400	300		70.0	20℃恒温恒湿室分電盤, 23℃恒温恒湿室分電盤	
						環境調整室分電盤 , ℓ m-3n	
S3A2	3	400	250		61.3	ℓm-3b, 3c	
S3A3	3	400	250		56.5	ℓm-3d, 3i	
S3A4	3	400	350		59.1	ℓm-3f	
S3A5	3	400	300		46.3	ℓm-3l, ℓ -3h, 3m	
S3A6	3	400	300		70.8	ℓm-3j, 3k	
S3A7	3	225	150		31.5	ℓm-5b, 5d, ℓ -5f	
S3A8	3	400	300		64.9	ℓm-5c, 5h	
S3A9	3	400	400		66.4	ℓ-5g	
S3A10	3	225	225		予備		
S3A11	3	225	225		予備		
				○	19.7	N3Ab	N棟ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ
小 計					539.0		
一般電灯盤 No.S4A							
S4A1	3	225	225		44.8	ℓm-2a, 2e	
S4A2	3	400	300		54.7	ℓm-2b, 2d, ℓ -2c	
S4A3	3	400	300		42.6	ℓm-7a, 7g	
S4A4	3	400	300		66.2	ℓm-7b, 7e	
S4A5	3	400	250		58.2	ℓm-7c, 7f	
S4A6	3	400	350		24.9	ℓm-7d	
S4A7	3	225	225		43.8	ℓm-7d	
S4A8	3	225	200		37.5	ℓ-7i	
S4A9	3	400	350		60.8	SLM-P1A	ﾊｲﾊﾟﾜｰﾕﾆｯﾄ
S4A10	3	225	225		予備		
				○	9.2	N4Ab	N棟ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ
小 計					486.2		
一般電灯盤 No.S5A							
S5A1	3	400	350		60.6	ℓm-6a2	
S5A2	3	400	250		40.0	ℓ-6a1	
S5A3	3	400	250		48.0	ℓm-6a2, クリーンルーム分電盤	
S5A4	3	400	300		48.9	ℓm-6b	
S5A5	3	225	225		46.1	ℓm-6d, 6g	
S5A6	3	225	225		31.5	ℓm-6e	
S5A7	3	400	250		64.5	ℓm-6e, 6i	
S5A8	3	225	225		42.0	ℓm-6e	
S5A9	3	225	125		8.1	ℓm-6h	
S5A10	3	400	350		61.4	ℓm-6e	
S5A11	3	225	225		予備		
S5A12	3	225	225		予備		
小 計					485.7		

幹線記号	MCCB P	MCCB AF	MCCB AT	WH	容量 (KVA)	負荷名称	備考
一般動力盤 No.S1B							
S1B1	3	400	300		109.8	SM-B1A～2A	
S1B2	3	400	300		103.5	SM-3A～5A	
S1B3	3	225	200		63.8	SM-P1C	
S1B4	3	100	75		9.0	SEV-5	
S1B5	3	100	100		15.0	SEV-6	
S1B6	3	400	300		85.8	ℓm-B2a	
S1B7	3	400	350		82.4	ℓm-B2a	
S1B8	3	225	225		80.1	ℓm-B2b, B2d, B2e, B2f	
S1B9	3	400	300		81.7	ℓm-B1a	
S1B10	3	400	300		78.9	ℓm-B1a	
S1B11	3	400	250		77.8	ℓm-B1b	
S1B12	3	400	250		72.0	ℓm-B1c, B1d, B1e	
S1B13	3	400	400		予備		
S1B14	3	400	400		予備		
一般動力盤 No.S2A							
S2A1	3	400	250		12.6	ℓm-B2a	
S2A2	3	225	200		37.5	ℓm-B2a	
S2A3	3	225	175		32.1	ℓ-B2b, ℓm-B2d～B2f	
S2A4	3	225	175		34.9	ℓm-B1a～B1e	
S2A5	3	400	350		73.6	ℓm-1a	
S2A6	3	400	350		59.1	ℓm-4a	
S2A7	3	400	250		61.7	ℓ-4b, 4c, ℓ m-4d	
S2A8	3	400	250		69.3	ℓm-4e, 4h	
S2A9	3	225	200		44.5	ℓm-4f, 4g, 4j	
S2A10	3	225	225		40.5	ℓm-1a	
S2A11	3	225	225		予備		
S2A12	3	225	225		予備		
				○	27.7	N2Ab	N棟ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ
小 計					514.0		
一般電灯盤 No.S3A							
S3A1	3	400	300		70.0	20℃恒温恒湿室分電盤, 23℃恒温恒湿室分電盤	
						環境調整室分電盤 , ℓ m-3n	
S3A2	3	400	250		61.3	ℓm-3b, 3c	
S3A3	3	400	250		56.5	ℓm-3d, 3i	
S3A4	3	400	350		59.1	ℓm-3f	
S3A5	3	400	300		46.3	ℓm-3l, ℓ -3h, 3m	
S3A6	3	400	300		70.8	ℓm-3j, 3k	
S3A7	3	225	150		31.5	ℓm-5b, 5d, ℓ -5f	
S3A8	3	400	300		64.9	ℓm-5c, 5h	
S3A9	3	400	400		66.4	ℓ-5g	
S3A10	3	225	225		予備		
S3A11	3	225	225		予備		
				○	19.7	N3Ab	N棟ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ
小 計					539.0		
一般電灯盤 No.S4A							
S4A1	3	225	225		44.8	ℓm-2a, 2e	
S4A2	3	400	300		54.7	ℓm-2b, 2d, ℓ -2c	
S4A3	3	400	300		42.6	ℓm-7a, 7g	
S4A4	3	400	300		66.2	ℓm-7b, 7e	
S4A5	3	400	250		58.2	ℓm-7c, 7f	
S4A6	3	400	350		24.9	ℓm-7d	
S4A7	3	225	225		43.8	ℓm-7d	
S4A8	3	225	200		37.5	ℓ-7i	
S4A9	3	400	350		60.8	SLM-P1A	ﾊｲﾊﾟﾜｰﾕﾆｯﾄ
S4A10	3	225	225		予備		
				○	9.2	N4Ab	N棟ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ
小 計					486.2		
一般電灯盤 No.S5A							
S5A1	3	400	350		60.6	ℓm-6a2	
S5A2	3	400	250		40.0	ℓ-6a1	
S5A3	3	400	250		48.0	ℓm-6a2, クリーンルーム分電盤	
S5A4	3	400	300		48.9	ℓm-6b	
S5A5	3	225	225		46.1	ℓm-6d, 6g	
S5A6	3	225	225		31.5	ℓm-6e	
S5A7	3	400	250		64.5	ℓm-6e, 6i	
S5A8	3	225	225		42.0	ℓm-6e	
S5A9	3	225	125		8.1	ℓm-6h	
S5A10	3	400	350		61.4	ℓm-6e	
S5A11	3	225	225		予備		
S5A12	3	225	225		予備		
小 計					485.7		

幹線記号	MCCB P	MCCB AF	MCCB AT	WH	容量 (KVA)	負荷名称	備考
一般動力盤 No.S1B							
S1B1	3	400	300		109.8	SM-B1A～2A	
S1B2	3	400	300		103.5	SM-3A～5A	
S1B3	3	225	200		63.8	SM-P1C	
S1B4	3	100	75		9.0	SEV-5	
S1B5	3	100	100		15.0	SEV-6	
S1B6	3	400	300		85.8	ℓm-B2a	
S1B7	3	400	350		82.4	ℓm-B2a	
S1B8	3	225	225		80.1	ℓm-B2b, B2d, B2e, B2f	
S1B9	3	400	300		81.7	ℓm-B1a	
S1B10	3	400	300		78.9	ℓm-B1a	
S1B11	3	400	250		77.8	ℓm-B1b	
S1B12	3	400	250		72.0	ℓm-B1c, B1d, B1e	
S1B13	3	400	400		予備		
S1B14	3	400	400		予備		
				○	予備	N1Bb	N棟ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ
小 計					800.1		
一般動力盤 No.S2B							
S2B1	3	225	150		20.0	ℓm-1a	
S2B2	3	400	300		86.4	ℓm-2a	
S2B3	3	225	200		30.1	ℓm-2b, 2d, 2e	
S2B4	3	400	350		114.4	20℃恒温恒湿室操作盤, 環境調整室分電盤・操作盤	
S2B5	3	400	400		88.0	ℓm-3b	
S2B6	3	400	400		109.9	ℓm-3b	
S2B7	3	225	225		58.3	ℓm-3d	
S2B8	3	225	225		82.9	ℓm-3f	
S2B9	3	400	350		95.6	ℓm-3c, 3i, 3j, 3k, 3l, 3n	
S2B10	3	400	250		102.4	ℓm-7a, 7b, 7c, 7d	
S2B11	3	225	175		45.9	ℓm-7e, 7f, 7g	
S2B12	3	400	250		69.0	SM-6A, SM-7A	
S2B13	3	400	250		72.6	23℃恒温恒湿室分電盤・操作盤	
S2B14	3	400	400		予備		
				○		N2Bb	N棟ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ
小 計					964.7		
一般動力盤 No.S3B							
S3B1	3	225	200		44.0	ℓm-4a, 4e	
S3B2	3	400	250		89.4	ℓm-4d, 4f, 4g, 4j	
S3B3	3	225	125		29.2	ℓm-4h	
S3B4	3	400	300		75.5	ℓm-4h	
S3B5	3	400	250		60.8	ℓm-4h	
S3B6	3	225	125		36.3	ℓm-5b, 5c, 5d, 5h	
S3B7	3	400	250		62.7	ℓm-6a2, 6d, 6e	
S3B8	3	400	300		78.3	ℓm-6a2	
S3B9	3	225	200		39.4	ℓm-6b, 6g	
S3B10	3	225	225		54.5	クリーンルーム操作盤	
S3B11	3	400	250		60.6	ℓm-6h	
S3B12	3	225	175		51.2	SLM-P1A	
S3B13	3	400	400		予備		
S3B14	3	400	400		予備		
小 計					824.4		
保安動力盤 No.BG							
SBG11	3	225	150		21.0	SM-P1B(排煙ファン)	耐熱MCCB 耐火区画
SBG12	3	100	100		18.6	SM-B2A	
(防災機器起動時カット回路)							
SBG21	3	225	150	○	15.5	SM-B1B	
SBG22	3	225	125		30.0	S棟保安電源盤	
					124.9	BG	N棟
					173.7	NBG	N棟
小 計					385.6		
保安電灯盤 No.AG							
2AG2	3	50	30		3.0	S棟 非常コンセント	耐熱MCCB 耐火区画
2AG4	3	50	20		1.2	SL-B1A（S棟自火報）	耐熱MCCB 耐火区画
					14.2	1AG	N棟
					5.0	2AG1	N棟
小 計					23.4		

着工	2009_06_01	. .	
竣工	2010_08_18	. .	
監理		. .	
施工		. .	[redacted]

完成図　電- S01

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

S棟 幹線系統図・配電盤リスト

電 - 01

NO. 0-060186-D

0060186_電気_S棟幹線系統図・配電盤リスト
080713- 080827 080918 MO 090127

【既存電気設備図】

720 × 500

1	S棟 幹線リスト	——

（特 記）
1. 配管表示は、ケーブルラック部分は除く。

高圧幹線
6KV CET200° (104) — (104)
ガスビル 中央電気室
高圧線電盤(B) — 受電盤(B)
（既設改修） MH52F26 (B系統)

一般電灯 S1A 1Φ3W
S1A1 41.6 kVA: 100° → S1A1-1 60° (SL-B1A 20.9), S1A1-2 60° (SL-B2A 20.7)
S1A2 69.4 kVA: 250° → S1A2-1 100° (SL-1A 40.9), S1A2-2 100° (SL-3A 28.5)
S1A3 43.4 kVA: 150° → SL-2A
S1A4 70.5 kVA: 250° → S1A4-1 100° (SL-4A 31.3), S1A4-2 100° (SL-5A 39.2)
S1A5 66.3 kVA: 250° → S1A5-1 100° (SL-6A 28.4), S1A5-2 100° (SL-7A 37.9)
S1A6 61.4 kVA: 150° → S1A6-1 60°, S1A6-2 60° (150°) (SOA-1A 38.2), (SOA-4A 23.2)
S1A7 45.8 kVA: 150° → S1A7-1 60° (SOA-6A 22.9), S1A7-2 60° (SOA-7A 22.9)
S1A8 15.0 kVA: 60° → l-5a
S1A9 40.4 kVA: 150° → SL-2B

一般電灯 S2A 1Φ3W
S2A1 12.6 kVA: 150° → lm-B2a
S2A2 37.5 kVA: 100° → lm-B2a
S2A3 32.1 kVA: 100° → S2A3-1 38°, S2A3-2 60°, S2A3-3 38° (100°), S2A3-4 38° (100°) (lm-B2b 4.9), (lm-B2d 19.5), (lm-B2e 4.5), (lm-B2f 3.2)

一般電灯 S2A 1Φ3W
S2A4 32.1 kVA: 100° → S2A4-1 38°, S2A4-2 38° (100°), S2A4-3 38° (100°), S2A4-4 38°, S2A4-5 38° (lm-B1a 0.8), (lm-B1b 1.6), (lm-B1c 12.7), (lm-B1d 17.0), (lm-B1e 2.8)
S2A5 73.6 kVA: 250° → lm-1a
S2A6 59.1 kVA: 250° → lm-4a
S2A7 61.7 kVA: 150° → S2A7-1 100°, S2A7-2 60° (150°), S2A7-3 60° (l-4b 41.7), (l-4c 8.7), (l-4d 11.3)
S2A8 69.3 kVA: 150° → S2A8-1 60°, S2A8-2 100° (lm-4e 21.0), (lm-4h 48.3)
S2A9 44.5 kVA: 100° → S2A9-1 60°, S2A9-2 60° (100°), S2A9-3 60° (lm-4f 23.5), (lm-4g 17.4), (lm-4j 3.6)
S2A10 40.5 kVA: 150° → lm-1a

一般電灯 S3A 1Φ3W
S3A1 70.0 kVA: 200° → S3A1-1 38° (200°) (20℃恒温恒湿室分電盤 20.0), S2A1-2 38° (23℃恒温恒湿室分電盤 20.0), S2A1-3 38° (環境調整室分電盤 12.0), S2A1-4 100° (lm-3n 18.0)
S3A2 61.3 kVA: 150° → S3A2-1 100°, S3A2-2 100° (lm-3c 37.9), (lm-3b 23.3)

一般電灯 S3A 1Φ3W
S3A3 56.5 kVA: 150° → S3A3-1 100°, S3A3-2 100° (lm-3d 31.1), (lm-3i 25.4)
S3A4 59.1 kVA: 250° → lm-3f
S3A5 46.3 kVA: 200° → S3A5-1 100° (200°), S3A5-2 100°, S3A5-3 100° (lm-3l 17.7), (l-3h 6.1), (l-3m 22.5)
S3A6 70.8 kVA: 200° → S3A6-1 100°, S3A6-2 100° (lm-3j 44.1), (lm-3k 26.7)
S3A7 31.5 kVA: 100° → S3A7-1 60°, S3A7-2 38°, S3A7-3 38° (lm-5b 12.7), (lm-5d 5.3), (l-5f 13.5)
S3A8 64.9kVA: 200° → S3A8-1 100°, S3A8-2 100° (lm-5c 47.9), (lm-5h 17.0)
S3A9 66.4kVA: 150°x2 → l-5g

一般電灯 S4A 1Φ3W
S4A1 44.8kVA: 150° → S4A1-1 60°, S4A1-2 60° (lm-2e 14.2), (lm-2a 30.6)
S4A2 54.7kVA: 200° → S4A2-1 100°, S4A2-2 100°, S4A2-3 100° (l-2c 8.3), (lm-2b 15.2), (lm-2d 31.2)
S4A3 42.6kVA: 200° → S4A3-1 100°, S4A3-2 150° (lm-7a 21.2), (lm-7g 21.5)
S4A4 66.2kVA: 200° → S4A4-1 100°, S4A4-2 150° (lm-7b 27.3), (lm-7e 38.9)

一般電灯 S4A 1Φ3W
S4A5 58.2 kVA: 150° → S4A5-1 100°, S4A5-2 100° (lm-7c 28.4), (lm-7f 29.8)
S4A6 24.9 kVA: 250° → lm-7d
S4A7 43.8 kVA: 150° → lm-7d
S4A8 37.5 kVA: 150° → l-7i
S4A9 60.8 kVA: 250° → SLM-P1A

一般電灯 S5A 1Φ3W
S5A1 60.6 kVA: 250° → lm-6a2
S5A2 40.0 kVA: 150° → l-6a1
S5A3 48.0kVA: 200° → S5A3-1 100°, S5A3-2 60° (クリーンルーム分電盤 (20.0)) (lm-6a2 28.0)
S5A4 48.9kVA: 200° → lm-6b
S5A5 46.1kVA: 150° → S5A5-1 100°, S5A5-2 60° (lm-6d 40.5), (lm-6g 5.6)
S5A6 31.5kVA: 150° → lm-6e
S5A7 64.5kVA: 150° → S5A7-1 100°, S5A7-2 60° (lm-6e 44.3), (l-6i 20.2)
S5A8 42.0kVA: 150° → lm-6e

一般電灯 S5A 1Φ3W
S5A9 8.1 kVA: 60° → lm-6h
S5A10 61.4 kVA: 250° → lm-6e

保安電灯 AG 1Φ2W
2AG2 3.0 kVA: FP8°-2C — 2AG2-1 FP8°-2C (1.5) B1F非常コンセント（消火栓ボックス組込）; 2AG2-2 FP8°-2C (1.5) B2F非常コンセント（消火栓ボックス組込）
2AG4 1.2 kVA: FP8°-2C → SL-B1A

一般動力 S1B 3Φ3W
S1B1 109.8 kVA: 200° → S1B1-1 100°, S1B1-2 100°, S1B1-3 100° (200°) (SM-B1A 33.5), (SM-1A 41.8), (SM-2A 34.5)
S1B2 103.5 kVA: 200° → S1B2-1 100°, S1B2-2 100°, S1B2-3 100° (200°) (SM-3A 34.5), (SM-4A 34.5), (SM-5A 34.5)
S1B3 63.8 kVA: 100° → SM-P1C
S1B4 9.0 kVA: 22° → SEV-5
S1B5 15.0 kVA: 38° → SEV-6
S1B6 85.8 kVA: 200° → lm-B2a
S1B7 82.4 kVA: 250° → lm-B2a
S1B8 80.1 kVA: 150° → S1B8-1 60°, S1B8-2 60° (150°), S1B8-3 60°, S1B8-4 60° (lm-B2b 15.6), (lm-B2d 35.6), (lm-B2e 22.4), (lm-B2f 6.5)
S1B9 86.7 kVA: 200° → lm-B1a
S1B10 78.9 kVA: 200° → lm-B1a
S1B11 77.8 kVA: 150° → lm-B1b

一般動力 S1B 3Φ3W
S1B12 72.0 kVA: 150° → S1B12-1 150°, S1B12-2 60° (150°), S1B12-3 60° (lm-B1c 56.0), (lm-B1d 10.0), (lm-B1e 6.0)

一般動力 S2B 3Φ3W
S2B1 20.0 kVA: 100° → lm-1a
S2B2 86.4 kVA: 200° → lm-2a
S2B3 30.1 kVA: 100° → S2B3-1 60°, S2B3-2 60° (100°), S2B3-3 60° (lm-2b 18.0), (lm-2d 0.9), (lm-2e 11.2)
S2B4 114.4 kVA: 250° → S2B4-1 60°, S2B4-2 100°, S2B4-3 14° (20℃恒温湿室操作盤 (45.4)) (環境調整室操作盤 (54.5)) (環境調整室分電盤 (14.5))
S2B5 88.0 kVA: 150°x2 → lm-3b
S2B6 109.9 kVA: 150°x2 → lm-3b
S2B7 58.3 kVA: 100° → lm-3d
S2B8 82.9 kVA: 150° → lm-3f
S2B9 96.6 kVA: 250° → S2B9-1 100°, S2B9-2 100° (250°), S2B9-3 100° (250°), S2B9-4 100°, S2B9-5 100° (250°), S2B9-6 100° (lm-3i 2.5), (lm-3j 31.0), (lm-3k 5.5), (lm-3l 5.5), (lm-3n 39.0), (lm-3c 12.1)

一般動力 S2B 3Φ3W
S2B10 102.4 kVA: 150° → S2B10-1 60°, S2B10-2 60° (150°), S2B10-3 60°, S2B10-4 100° (150°) (lm-7a 14.3), (lm-7b 16.0), (lm-7c 5.1), (lm-7d 67.0)
S2B11 45.9 kVA: 100° → S2B11-1 38°, S2B11-2 38°, S2B11-3 100° (lm-7e 1.6), (lm-7f 1.2), (lm-7g 43.1)
S2B12 69.0 kVA: 150° → S2B12-1 60°, S2B12-2 60° (SM-6A 34.5), (SM-7A 34.5)
S2B13 72.6 kVA: 150° → S2B13-1 60°, S2B13-2 38° (23℃恒温恒湿室操作盤 (45.4)) (23℃恒温恒湿室分電盤 (27.2))

一般動力 S3B 3Φ3W
S3B1 44.0 kVA: 100° → S3B1-1 60°, S3B1-2 60° (lm-4a 18.5), (lm-4e 25.5)
S3B2 89.4 kVA: 150° → S3B2-1 60°, S3B2-2 60° (150°), S3B2-3 60°, S3B2-4 60° (lm-4d 38.3), (lm-4f 7.6), (lm-4g 3.5), (lm-4j 40.0)
S3B3 29.2 kVA: 60° → lm-4h
S3B4 75.5 kVA: 200° → lm-4h
S3B5 60.8 kVA: 150° → lm-4h
S3B6 36.3 kVA: 60° → S3B6-1 22°, S3B6-2 22° (60°), S3B6-3 22°, S3B6-4 22° (60°) (lm-5b 15.0), (lm-5c 15.3), (lm-5d 0.5), (lm-5h 5.5)

一般動力 S3B 3Φ3W
S3B7 62.7 kVA: 150° → S3B7-1 60°, S3B7-2 60° (150°), S3B7-3 60° (lm-6a2 32.8), (lm-6d 1.4), (lm-6e 25.5)
S3B8 78.3 kVA: 200° → lm-6a2
S3B9 39.4 kVA: 100° → S3B9-1 60°, S3B9-2 60° (lm-6b 18.4), (lm-6g 21.0)
S3B10 54.5 kVA: 150° → クリーンルーム操作盤
S3B11 60.6 kVA: 150° → lm-6h
S3B12 51.2 kVA: 100° → SLM-P1A

保安動力 SGB 3Φ3W
SBG11 21.0 kVA: FPT100° → SM-P1B
SBG12 18.6 kVA: 38° → SM-B2A
SBG21 15.5 kVA: 60° → SBG21 → SM-B1B
SBG22 30.0 kVA: 60° → SBG22 → S棟保安電源盤

S棟保安電灯 1Φ3W
SBG22-L1 0.3 kVA: 5.5°-3C → S棟保安電源盤 → SG-B2
SBG22-L2 3.6 kVA: 14° → S棟保安電源盤 → SG-1
SBG22-L3 0.6 kVA: 14° → S棟保安電源盤 → SG-2
SBG22-L4 1.6 kVA: 14° → S棟保安電源盤 → SG-3
SBG22-L5 1.0 kVA: 14° → S棟保安電源盤 → SG-4
SBG22-L6 1.6 kVA: 14° → S棟保安電源盤 → SG-6

S棟保安動力 3Φ3W
SBG22-M1 1.1 kVA: 5.5°-3C → S棟保安電源盤 → SG-B2
SBG22-M2 0.1 kVA: 5.5°-3C → S棟保安電源盤 → SG-3
SBG22-M3 0.1 kVA: 5.5°-3C → S棟保安電源盤 → SG-4

※注記実験盤に接地線、ＥＡ・ＥＤ・ＥＬＢ幹線はE38°x2、分岐をＥＡ E14°・ＥＤ E38°・ＥＬＢ E22°を各盤に見込む事。

着工	2009_06_01	
竣工	2010_08_18	
監理		
施工	[redacted]	

完成図 電- S02

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

S棟 幹線リスト

電 - 02

NO. O-060186 -D

0060186_電気_S棟 幹線リスト
080825 090127 090618 HO

添付図E-07

720×500

【既存電気設備図】

1 | S棟 動力リスト(1) | ———

(注記) ○容量(KVA)表示は、下記による。 2) 30.0KW以下 = x 1.4(KVA) 4) 圧縮機負荷(KW) = x 2.0(KVA)
1)負荷(KVA)表示は、その容量 3) 30.0KW以上 = x 1.25(KVA) 5) 単相負荷(KW) = x 1.7(KVA)

盤名称	幹線名称	機器番号	機器名称		容量		電圧	設置階	結線記号			配線サイズ		RS盤			監視盤		発電ﾚﾍﾞﾙ	手元開閉器	計量区分	備考
			機器名称	系統名	[kW]	[kVA]	[V]		始動	方式	ｽｲｯﾁ	主回路	制御	所属	取合		操作	表示		MCB3P		
SM-B2A	(SBG12) 18.62KVA	PSL-S1	汚水排水ポンプユニット	S棟系統(3.7x2)	7.4	10.36	200	B2F	ELCB	別途機械設備工事		14°	–	LS-SB1A	b+i			○	GA		F	
		TSL-S1	汚水槽	4LF				B2F		別途機械設備工事		–	4c	LS-SB1A	c			○	GA			満水警報
		PS-1	雨水排水ポンプユニット	S棟系統(2.2x2)	4.4	6.16	200	B2F	ELCB	別途機械設備工事		5.5°	–	LS-SB1A	b			○	GA			
		TS-1	雨水排水槽	4LF				B2F		別途機械設備工事		–	4c	LS-SB1A	c			○	GA			満水警報
		PY-S1a	湧水ポンプ№1	S棟系統	0.75	1.05	200	B2F	Le			3.5°	–	LS-SB1A	b			○	GA			
		PY-S1b	湧水ポンプ№2	S棟系統	0.75	1.05	200	B2F	Le	10AB	G3	3.5°	–	LS-SB1A	b			○	GA			
		TY-S1	湧水槽	4LF				B2F				–	4c	LS-SB1A	c			○	GA			満水警報
			制御電源				1φ200		MCCB													
SM-B1A	(S1B1-1) 33.52KVA	AC-SB1S	空気調和機 (SAﾌｧﾝ)	B2F.B1F 系統	3.7	5.18	200	B1F	L	2-1aAB	B	5.5°	–	LS-SB1A	a	○		○				
		AC-SB1R	空気調和機 (RAﾌｧﾝ)	B2F.B1F 系統	1.5	2.10	200	B1F	L	3-AB	I	5.5°	–	LS-SB1A	b			○				AC-SB1Sと連動
		AC-SB1H	空気調和機 (全熱交換機)	B2F.B1F 系統	0.1	0.14	200	B1F	L	2-1aAB	I	3.5°	–									
		HM-SB1	電熱式蒸気加湿器			26.1	200	B1F	Le	2-1aAB	B	38°	–	LS-SB1A	a			○				
			制御電源				1φ200		MCCB													
		AP-SB1	空調(A)自動盤				1φ200	B1F	MCCB			2.0										
SM-B1B (受水槽室)	(SBG21) 15.48KVA	PCW-S1	上水加圧給水ポンプユニット	S棟系統 (5.5x2)	11.0	15.4	200	B1F	ELCB	別途機械設備工事		22°	5P	LS-SB1A	b+i			○	GC		F	
			受水槽	(S棟系統)5LFx2						別途機械設備工事		–	5cx2	LS-SB1A	cx2			○x2				満減水警報
		2-PD-2	緊急遮断弁操作盤	S棟系統 受水槽		0.08	1φ200	B1F	ELCB	別途機械設備工事		2.0		LS-SB1A				○				
SM-1A	(S1B1-2) 41.77KVA	AC-S1S	空気調和機 (SAﾌｧﾝ)	1F 実験室系統	3.7	5.18	200	1F	L	2-1aAB	B	14°	–	LS-SB1A	a	○		○				
		AC-S1R	空気調和機 (RAﾌｧﾝ)	1F 実験室系統	3.7	5.18	200	1F	L	3-AB	I	5.5°	–	LS-SB1A	b			○				AC-S1Sと連動
		AC-S1H	空気調和機 (全熱交換機)	1F 実験室系統	0.1	0.14	200	1F	L	2-1aAB	I	3.5°	–									
		HM-S1	電熱式蒸気加湿器			26.1	200	1F	Le	2-1aAB	B	60°	–	LS-SB1A	a	○		○				
		GHP-S101a	エアコン室内機電源	1F 実験室系統	0.67	1.14	1φ200	1F	MCCB													
		GHP-S101b	エアコン室内機電源	1F 実験室系統	0.67	1.14	1φ200	1F	MCCB													
		GHP-S102a	エアコン室内機電源	1F 実験室系統	1.70	2.89	1φ200	1F	MCCB													
			制御電源				1φ200		MCCB													
		AP-S1A	空調(A)自動盤				1φ200	1F	MCCB			2.0										
SM-2A	(S1B1-3) 34.5KVA	AC-S2S	空気調和機 (SAﾌｧﾝ)	2F 実験室系統	3.7	5.18	200	2F	L	2-1aAB	B	14°	–	LS-SB1A	a	○		○				
		AC-S2R	空気調和機 (RAﾌｧﾝ)	2F 実験室系統	2.2	3.08	200	2F	L	3-AB	I	5.5°	–	LS-SB1A	b			○				AC-S2Sと連動
		AC-S2H	空気調和機 (全熱交換機)	2F 実験室系統	0.1	0.14	200	2F	L	2-1aAB	I	3.5°	–									
		HM-S2	電熱式蒸気加湿器			26.1	200	2F	Le	2-1aAB	B	38°	–	LS-SB1A	a	○		○				
			制御電源				1φ200		MCCB													
		AP-S2A	空調(A)自動盤				1φ200	2F	MCCB			2.0										
			予 備				1φ200		MCCB													
SM-3A	(S1B2-1) 34.5KVA	AC-S3S	空気調和機 (SAﾌｧﾝ)	3F 実験室系統	3.7	5.18	200	3F	L	2-1aAB	B	5.5°	–	LS-SB1A	a	○		○				
		AC-S3R	空気調和機 (RAﾌｧﾝ)	3F 実験室系統	2.2	3.08	200	3F	L	3-AB	I	3.5°	–	LS-SB1A	b			○				AC-S3Sと連動
		AC-S3H	空気調和機 (全熱交換機)	3F 実験室系統	0.1	0.14	200	3F	L	2-1aAB	I	3.5°	–									
		HM-S3	電熱式蒸気加湿器			26.1	200	3F	Le	2-1aAB	B	38°	–	LS-SB1A	a	○		○				
			制御電源				1φ200		MCCB													
		AP-S3A	空調(A)自動盤				1φ200	3F	MCCB			2.0										

盤名称	幹線名称	機器番号	機器名称		容量		電圧	設置階	結線記号			配線サイズ		RS盤			監視盤		発電ﾚﾍﾞﾙ	手元開閉器	計量区分	備考
			機器名称	系統名	[kW]	[kVA]	[V]		始動	方式	ｽｲｯﾁ	主回路	制御	所属	取合		操作	表示		MCB3P		
SM-4A	(S1B2-2) 34.5KVA	AC-S4S	空気調和機 (SAﾌｧﾝ)	4F 実験室系統	3.7	5.18	200	4F	L	2-1aAB	B	5.5°	–	LS-S4A	a	○		○				
		AC-S4R	空気調和機 (RAﾌｧﾝ)	4F 実験室系統	2.2	3.08	200	4F	L	3-AB	I	3.5°	–	LS-S4A	b			○				AC-S4Sと連動
		AC-S4H	空気調和機 (全熱交換機)	4F 実験室系統	0.1	0.14	200	4F	L	2-1aAB	I	3.5°	–									
		HM-S4	電熱式蒸気加湿器			26.1	200	4F	Le	2-1aAB	B	38°	–	LS-S4A	a	○		○				
			制御電源				1φ200		MCCB													
		AP-S4A	空調(A)自動盤				1φ200	4F	MCCB			2.0										
SM-5A	(S1B2-3) 34.5KVA	AC-S5S	空気調和機 (SAﾌｧﾝ)	5F 実験室系統	3.7	5.18	200	5F	L	2-1aAB	B	5.5°	–	LS-S4A	a	○		○				
		AC-S5R	空気調和機 (RAﾌｧﾝ)	5F 実験室系統	2.2	3.08	200	5F	L	3-AB	I	3.5°	–	LS-S4A	b			○				AC-S5Sと連動
		AC-S5H	空気調和機 (全熱交換機)	5F 実験室系統	0.1	0.14	200	5F	L	2-1aAB	I	3.5°	–									
		HM-S5	電熱式蒸気加湿器		26.1	36.54	200	5F	Le	2-1aAB	B	38°	–	LS-S4A	a	○		○				
			制御電源				1φ200		MCCB													
		AP-S5A	空調(A)自動盤				1φ200	5F	MCCB			2.0										
SM-6A	(S2B12-1) 34.5KVA	AC-S6S	空気調和機 (SAﾌｧﾝ)	6F 実験室系統	3.7	5.18	200	6F	L	2-1aAB	B	5.5°	–	LS-S4A	a	○		○				
		AC-S6R	空気調和機 (RAﾌｧﾝ)	6F 実験室系統	2.2	3.08	200	6F	L	3-AB	I	3.5°	–	LS-S4A	b			○				AC-S6Sと連動
		AC-S6H	空気調和機 (全熱交換機)	6F 実験室系統	0.1	0.14	200	6F	L	2-1aAB	I	3.5°	–									
		HM-S6	電熱式蒸気加湿器			26.1	200	6F	Le	2-1aAB	B	38°	–	LS-S4A	a	○		○				
			制御電源				1φ200		MCCB													
		AP-S6A	空調(A)自動盤				1φ200	6F	MCCB			2.0										
			予 備				1φ200		MCCB													
SM-7A	(S2B12-2) 34.5KVA	AC-S7S	空気調和機 (SAﾌｧﾝ)	7F 実験室系統	3.7	5.18	200	7F	L	2-1aAB	B	5.5°	–	LS-S4A	a	○		○				
		AC-S7R	空気調和機 (RAﾌｧﾝ)	7F 実験室系統	2.2	3.08	200	7F	L	3-AB	I	3.5°	–	LS-S4A	b			○				AC-S7Sと連動
		AC-S5H	空気調和機 (全熱交換機)	7F 実験室系統	0.1	0.14	200	7F	L	2-1aAB	I	3.5°	–									
		HM-S5	電熱式蒸気加湿器			26.1	200	7F	Le	2-1aAB	B	38°	–	LS-S4A	a	○		○				
			制御電源				1φ200		MCCB													
		AP-S5A	空調(A)自動盤				1φ200	7F	MCCB			2.0										

着工	2009_06_01	. .	
竣工	2010_08_18	. .	
監理		. .	
施工		. .	[redacted]

(注記)1. 電気計量器は、下記による。
□M : 検定付 (パルス発信機付)
○M : 検定無し (パルス発信機付)

完成図 電- S06

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

S棟 動力リスト(1)

(電) - 06

NO. O-060186 -D

0060186_電気_S棟動力リスト(1)
080713 xx 081218 090114 090127

添付図E-08

720 × 500

【既存電気設備図】

1　S棟 動力リスト(2)

(注記) ○容量(KVA)表示は、下記による。 2) 30.0KW以下 = x 1.4(KVA) 4) 圧縮機負荷(KW) = x 2.0(KVA)
1)負荷(KVA)表示は、その容量 3) 30.0KW以上 = x 1.25(KVA) 5) 単相負荷(KW) = x 1.7(KVA)

盤名称	幹線名称	機器番号	機器名称		容量 [kW]	容量 [kVA]	電圧 [V]	設置階	結線記号 始動	結線記号 方式	結線記号 ｽｲｯﾁ	配線サイズ 主回路	配線サイズ 制御	RS盤 所属	RS盤 取合	監視盤 操作	監視盤 表示	発電ﾚﾍﾞﾙ	手元開閉器 MCB3P	計量区分	備考
			機器名称	系統名																	
SM-P1C (屋外型)	63.81KVA (S1B3)	RA-S1	吸収式冷温水機			12.40	200	P1F	ELCB			38°		LS-S4A	a+i	○	○			A	
		CT-S1	冷却塔		5.50	7.70	200	P1F	Le	3aAB	I	14°		LS-S4A	b+i		○			A	サーモによる自動運転
		PCD-S1	冷却水ポンプ		15.00	21.00	200	P1F	Le	2-1aAB	B	38°		LS-S4A	a+i	○	○			A	
		PCH-S1	冷温水ポンプ		11.00	15.40	200	P1F	Le	2-1aAB	B	38°		LS-S4A	a+i	○	○			B-1	
		PH-S1	温水ポンプ	SP-HWT間系統	0.75	1.05	200	P1F	Le	2-1aAB	B	3.5°		LS-S4A	a+i	○	○			A	
		PH-S3	温水ポンプ	RA-HEX1間系統	1.50	2.10	200	P1F	Le	2-1aAB	B	3.5°		LS-S4A	a+i	○	○			A	
		PH-S4	温水ポンプ	HEX1-HWT2間系統	2.20	3.08	200	P1F	Le	2-1aAB	B	3.5°		LS-S4A	a+i	○	○			A	
		FE-S0102	排気ファン	B1F 特別管理産業廃棄物保管室系統	0.40	1.05	200	P1F	L	2-1aAB	B	3.5°		LS-S4A	a	○	○				
			制御電源				1φ200		MCCB												
			薬注ポンプ		0.02	0.03	1φ200	P1F	ELCB			2.0									
		AP-SP1A	空調(A)自動盤				1φ200	P1F	MCCB			2.0									
		AP-SP1B	空調(B)自動盤				1φ200	P1F	MCCB			2.0									
SLM-P1A (屋外型)	51.15KVA (S3B12)	GHP-S0201	ビル用マルチエアコン	B2F 実験室系統	0.70	0.98	200	P1F	ELCB			3.5°		LS-S4A	i					D	
		GHP-S0202	ビル用マルチエアコン	B2F 実験室系統	1.91	2.67	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S0203	ビル用マルチエアコン	B2F 実験室系統	1.36	1.90	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S0101	ビル用マルチエアコン	B1F 実験室系統	1.36	1.90	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S0102	ビル用マルチエアコン	B1F 実験室系統	1.36	1.90	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S101	ビル用マルチエアコン	1F 実験室系統	0.70	0.98	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S103	ビル用マルチエアコン	1F 実験室系統	1.36	1.90	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S104	ビル用マルチエアコン	1F 一般系統	1.58	2.21	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S105	ビル用マルチエアコン	1F 一般系統	0.70	0.98	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S204	ビル用マルチエアコン	2F 一般系統	1.36	1.90	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S205	ビル用マルチエアコン	2F 実験室系統	0.70	0.98	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S301	ビル用マルチエアコン	3F 実験室系統	1.58	2.21	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S302	ビル用マルチエアコン	3F 実験室系統	1.36	1.90	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S303	ビル用マルチエアコン	3F 実験室系統	1.58	2.21	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S304	ビル用マルチエアコン	3F 実験室系統	0.70	0.98	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S401	ビル用マルチエアコン	4F 実験室系統	0.70	0.98	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S402	ビル用マルチエアコン	4F 実験室系統	1.36	1.90	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S403	ビル用マルチエアコン	4F 一般系統	1.58	2.21	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S404	ビル用マルチエアコン	4F 実験室系統	1.58	2.21	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S501	ビル用マルチエアコン	5F 実験室系統	1.58	2.21	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S504	ビル用マルチエアコン	5F 実験室系統	1.36	1.90	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S506A	ビル用マルチエアコン	5F 実験室系統	0.70	0.98	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S506B	ビル用マルチエアコン	5F 実験室系統	0.70	0.98	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S508	ビル用マルチエアコン	5F 一般系統	0.70	0.98	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S601	ビル用マルチエアコン	6F 実験室系統	1.36	1.90	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S605	ビル用マルチエアコン	6F 実験室系統	1.91	2.67	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S702	ビル用マルチエアコン	7F 実験室系統	1.58	2.21	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S703	ビル用マルチエアコン	7F 実験室系統	1.58	2.21	200	P1F	ELCB			3.5°									
		GHP-S704	ビル用マルチエアコン	7F 実験室系統	1.58	2.21	200	P1F	ELCB			3.5°									
	60.83KVA (S4A9)	GHP-S102	ビル用マルチエアコン	1F 実験室系統	3.95	5.53	1φ3W	P1F	ELCB			5.5°		LS-S4A	i					D	ハイパワーエクセル
		GHP-S201	ビル用マルチエアコン	2F 実験室系統	3.95	5.53	1φ3W	P1F	ELCB			5.5°									ハイパワーエクセル
		GHP-S202	ビル用マルチエアコン	2F 一般系統	3.95	5.53	1φ3W	P1F	ELCB			5.5°									ハイパワーエクセル
		GHP-S405	ビル用マルチエアコン	4F 実験室系統	3.95	5.53	1φ3W	P1F	ELCB			5.5°									ハイパワーエクセル
		GHP-S502	ビル用マルチエアコン	5F 実験室系統	3.95	5.53	1φ3W	P1F	ELCB			5.5°									ハイパワーエクセル
		GHP-S505	ビル用マルチエアコン	5F 実験室系統	3.95	5.53	1φ3W	P1F	ELCB			5.5°									ハイパワーエクセル
		GHP-S602	ビル用マルチエアコン	6F 実験室系統	3.95	5.53	1φ3W	P1F	ELCB			5.5°									ハイパワーエクセル
		GHP-S603	ビル用マルチエアコン	6F 一般系統	3.95	5.53	1φ3W	P1F	ELCB			5.5°									ハイパワーエクセル
		GHP-S604	ビル用マルチエアコン	6F 実験室系統	3.95	5.53	1φ3W	P1F	ELCB			5.5°									ハイパワーエクセル
		GHP-S607	ビル用マルチエアコン	6F 一般系統	3.95	5.53	1φ3W	P1F	ELCB			5.5°									ハイパワーエクセル
		GHP-S701	ビル用マルチエアコン	7F 実験室系統	3.95	5.53	1φ3W	P1F	ELCB			5.5°									ハイパワーエクセル
			予 備				1φ3W		ELCB												
	(SBG11) 21.0KVA	FSM-S02	排煙ファン	地階諸室・廊下系統	15.0	21.00	200	P1F	Y	8-3aAB	B	f38°	-	LS-S4A	a	○	○	GA			二種耐火構造
																					防災信号による運転
			制御電源				1φ200		MCCB												

盤名称	幹線名称	機器番号	機器名称		容量 [kW]	容量 [kVA]	電圧 [V]	設置階	結線記号 始動	結線記号 方式	結線記号 ｽｲｯﾁ	配線サイズ 主回路	配線サイズ 制御	RS盤 所属	RS盤 取合	監視盤 操作	監視盤 表示	発電ﾚﾍﾞﾙ	手元開閉器 MCB3P	計量区分	備考
			機器名称	系統名																	
SEV-5	(S1B4) 9.0KVA	SEV-5	エレベーター(乗用)	S棟 5号機	10.00	14.00	200	B2F													
			照明電源			1.00	1φ100														SL-B2A 308
SEV-6	(S1B5) 15.0KVA	SEV-6	エレベーター(人荷用)	S棟 6号機	13.00	18.20	200	B2F													
			照明電源			1.00	1φ100														SL-B2A 310
Sm-B2b	(S2B8-1) 2.1KVA	FS-S0203	給気ファン	排水処理室系統	0.75	1.050	200	B2F	L	1B	B	1	-	LS-S	a+i	○	○				
		FE-S0203	排気ファン	排水処理室系統	0.75	1.050	200	B2F	L	3B	B	1	-	LS-S	b		○				FS-S0203に連動
			制御電源				1φ200		MCCB												

着工	2009_06_01	. .	
竣工	2010_08_18	. .	
監理		. .	
施工		. .	[redacted]

(注記)1. 電気計量器は、下記による。
□ : 検定付 (パルス発信機付)
○ : 検定無し (パルス発信機付)
2. 結線記号(始動)の傍記eは、遮断器ELCBを示す。

完成図 電- S07

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

S棟 動力リスト(2)

電 - 07

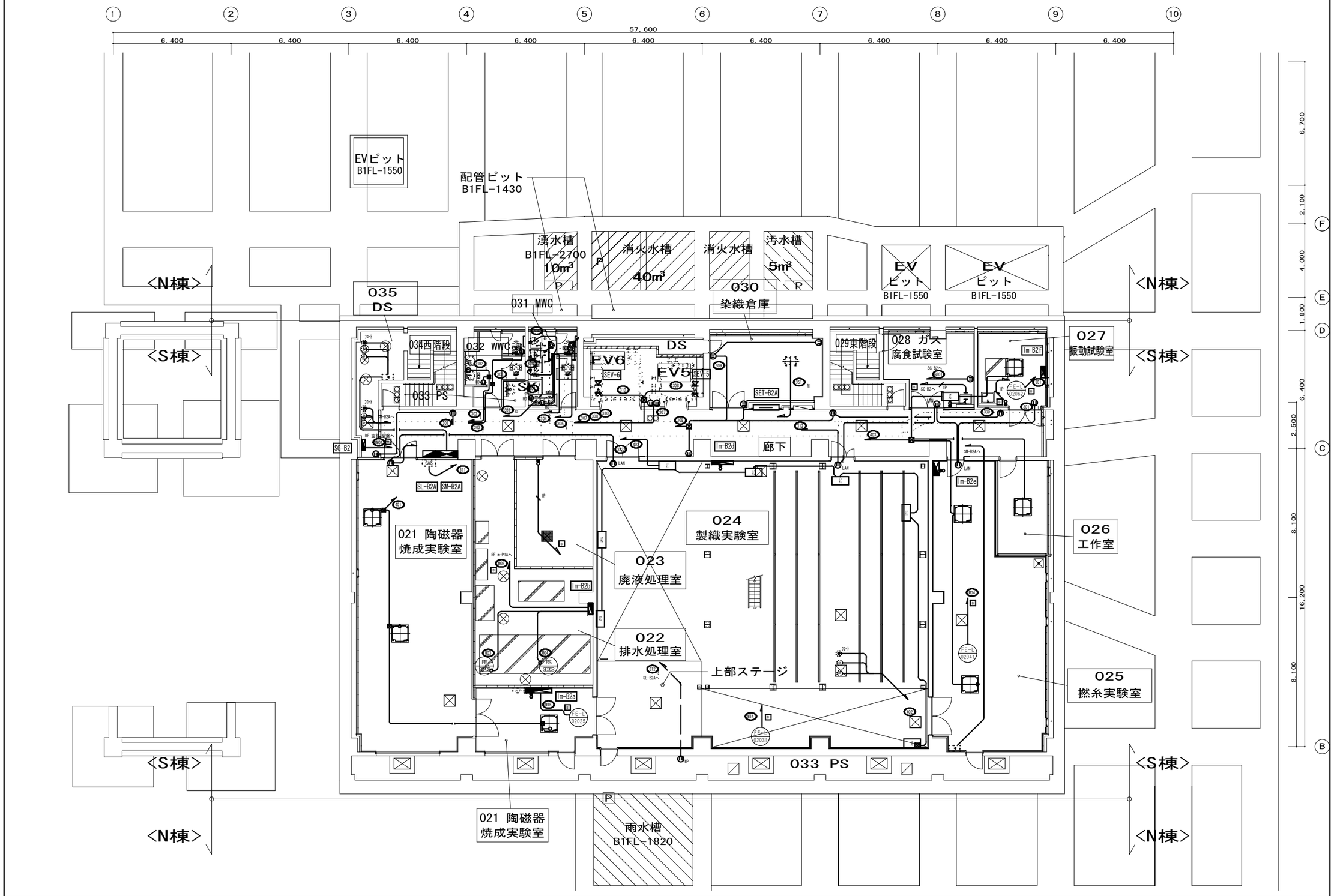
NO. O-060186 -D

0060186_電気_S棟動力リスト(2)
080822 xx 081218 090115 090127

【既存電気平面図】

720×500

01	地下2階平面図	1/100



着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図　電- S09

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

S棟幹線・動力・コンセント 地下2階平面図

電 - 09

NO. O－060186－D

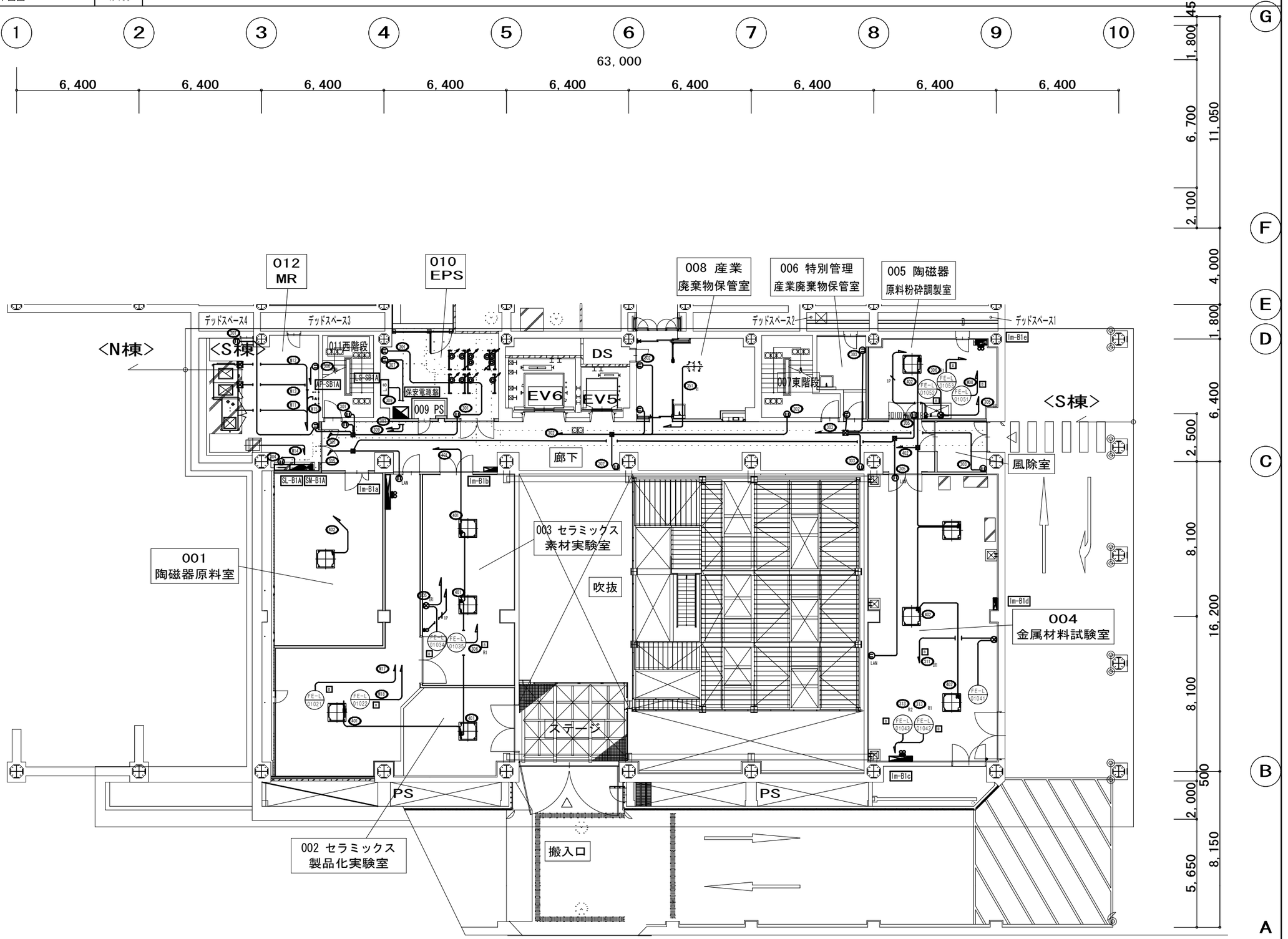
（建-081204）

081104 MO 081210 xx 090107 090127

【既存電気平面図】

720×500

01 | 地下1階平面図 | 1/100



着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図　電- S10

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

S棟幹線・動力・コンセント 地下1階平面図

電 - 10

NO. O－060186－D

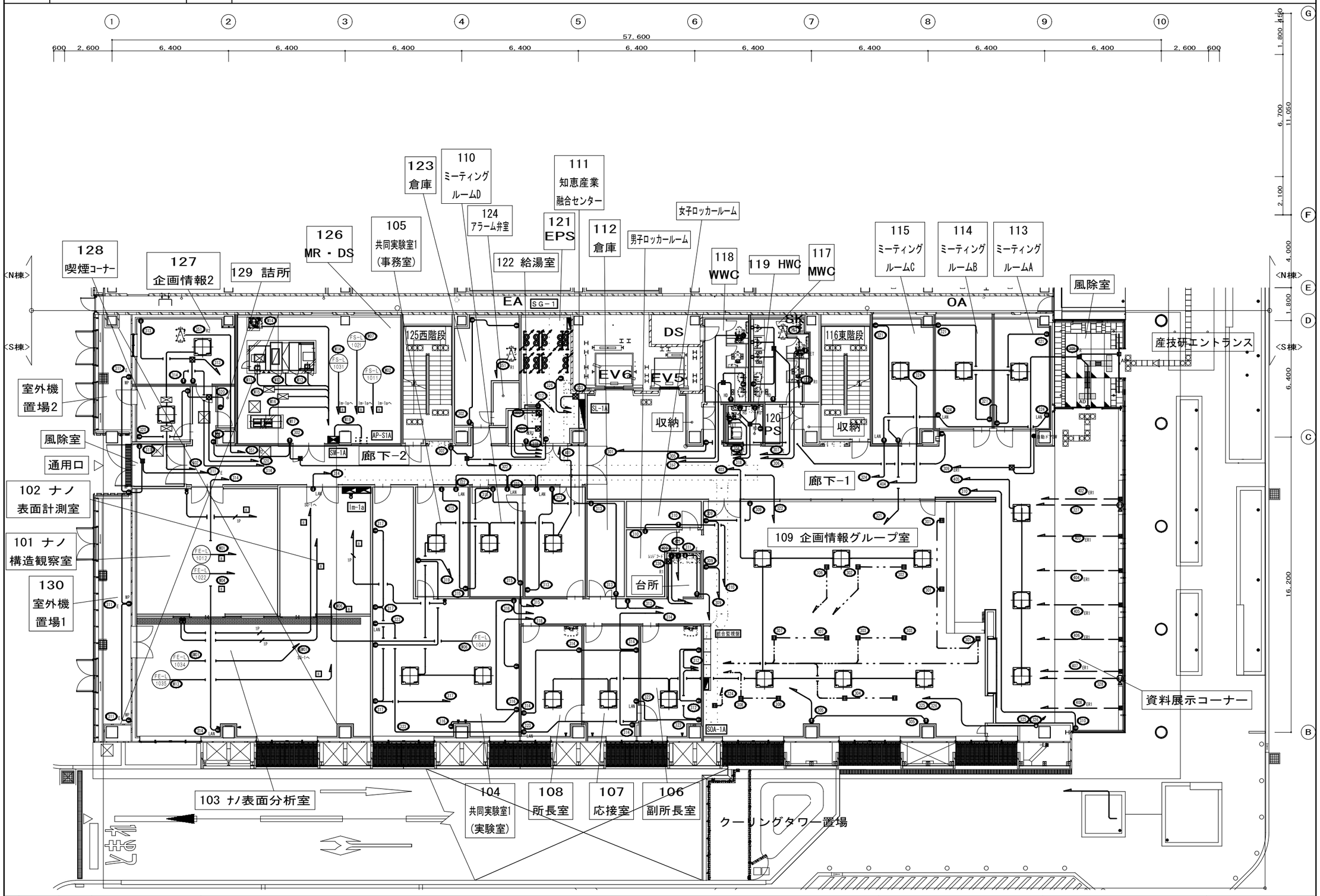
(建-081204)

081104 MO 081210 xx 090107 090127

【既存電気平面図】

01	1階平面図	1/100

720×500



着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工			

完成図　電- S11

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

S棟幹線・動力・コンセント 1階平面図

電 - 11

NO. O－060186－D

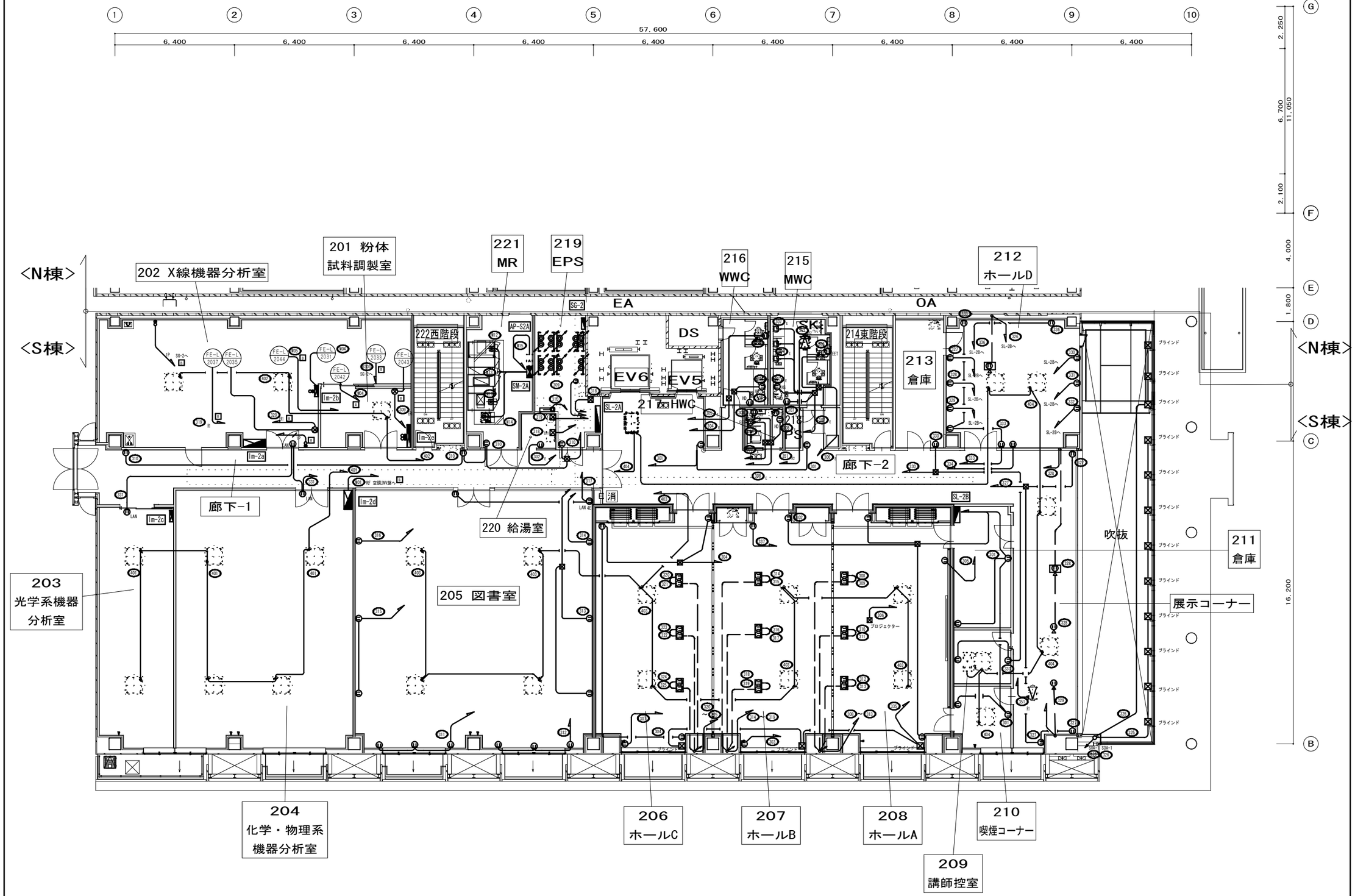
(建-081204)

081104 MO 081210 ×× 090107 090127

【既存電気平面図】

01	2階平面図	1/100

720×500



着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図　電- S12

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

S棟幹線・動力・コンセント 2階平面図

電 - 12

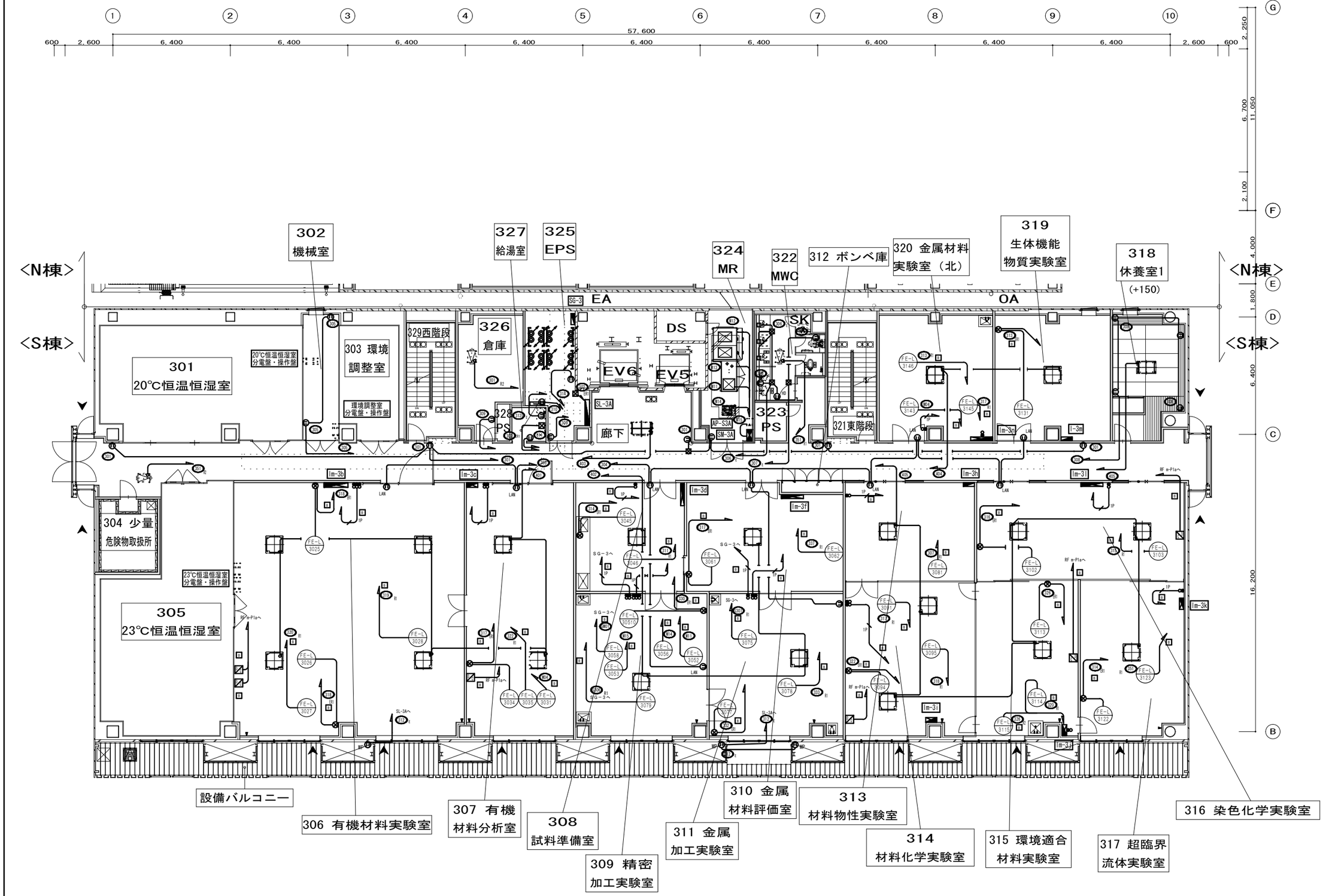
NO. 0－060186－D

(建-081204)
081104 MO 081210 xx 090107 090127

【既存電気平面図】

01	3階平面図	1/100

720×500



着工	2009_06_01	. .	
竣工	2010_08_18	. .	
監理		. .	
施工		. .	[redacted]

完成図　電- S13

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

S棟幹線・動力・コンセント 3階平面図

電 － 13

NO. O－060186－D

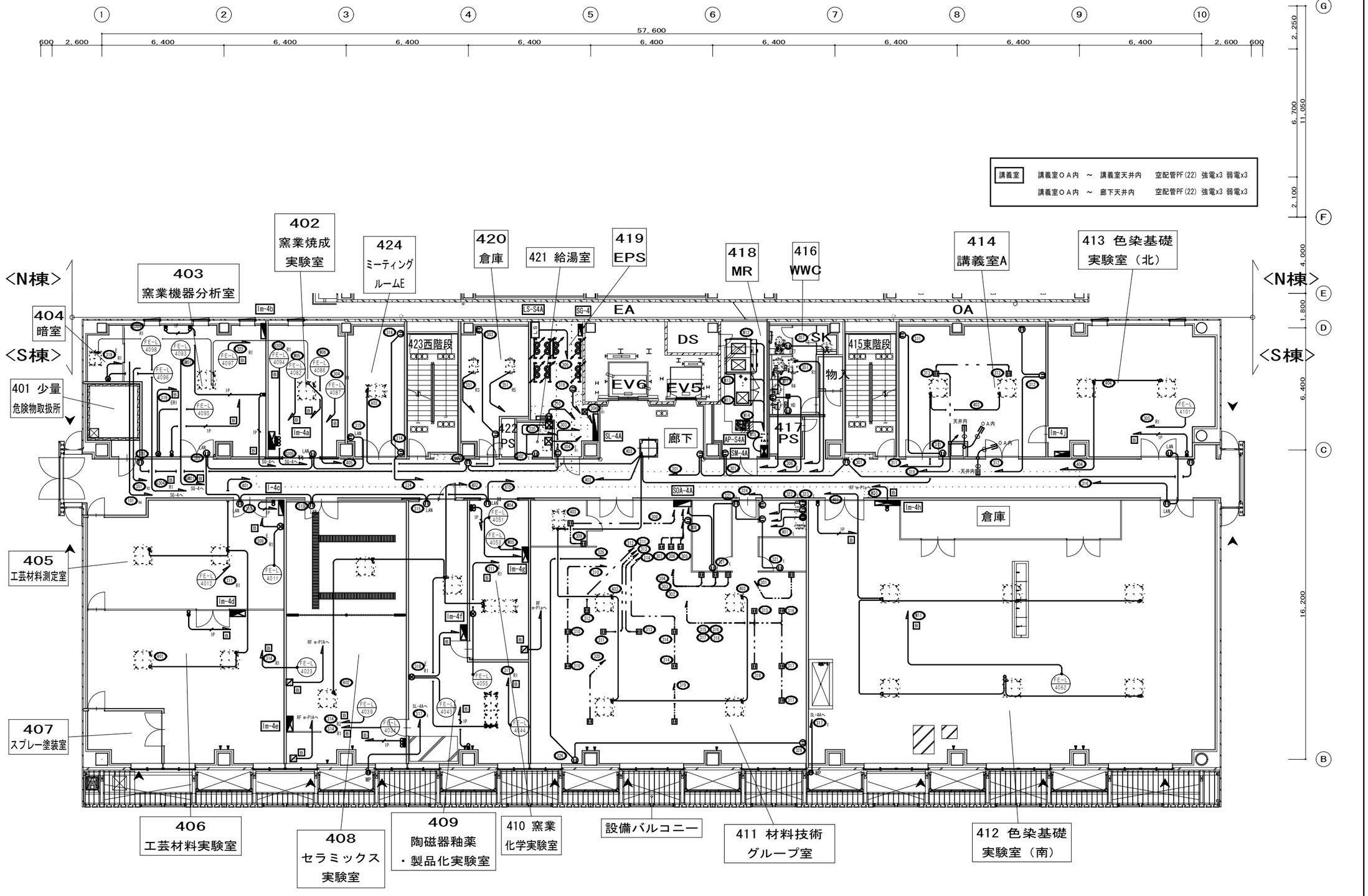
(建-081204)

081104 MO 081210 xx 090107 090127

【既存電気平面図】

720×500

01 | 4階平面図 | 1/100



着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図　電- S14

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

S棟幹線・動力・コンセント 4階平面図

電 － 14

NO. O－060186－D

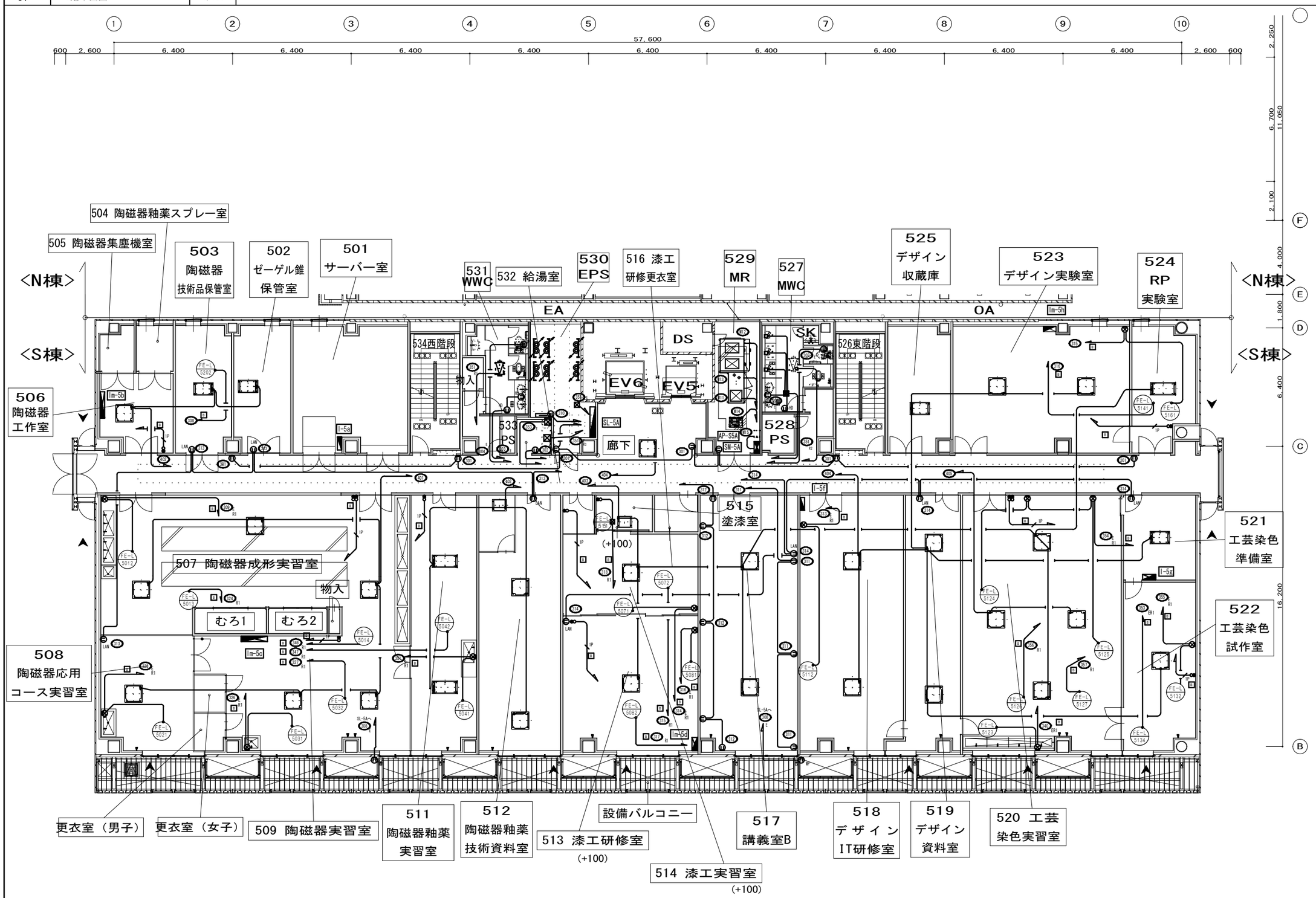
（建−081204）

081104 MO 081210 ×× 090107 090127

【既存電気平面図】

01	5階平面図	1/100

720×500



着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図　電- S15

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

S棟幹線・動力・コンセント 5階平面図

(電) - 15

NO. O－060186－D

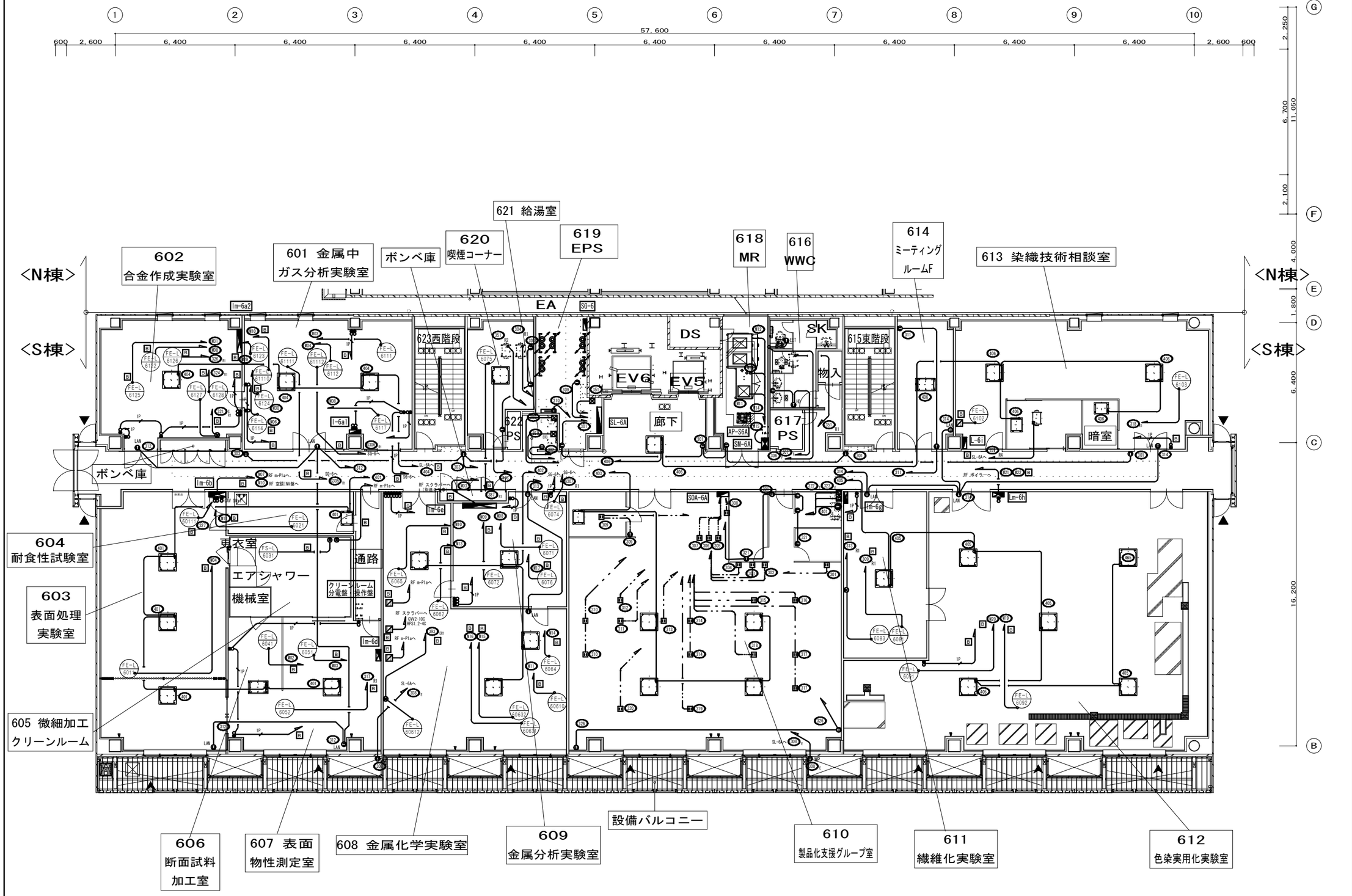
(建−081204)

081104 MO 081210 ×× 090107 090127

【既存電気平面図】

720×500

01	6階平面図	1/100



着工	2009_06_01	. .	
竣工	2010_08_18	. .	
監理		. .	
施工		. .	[redacted]

完成図　電- S16

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

S棟幹線・動力・コンセント 6階平面図

電 - 16

NO. O－060186－D

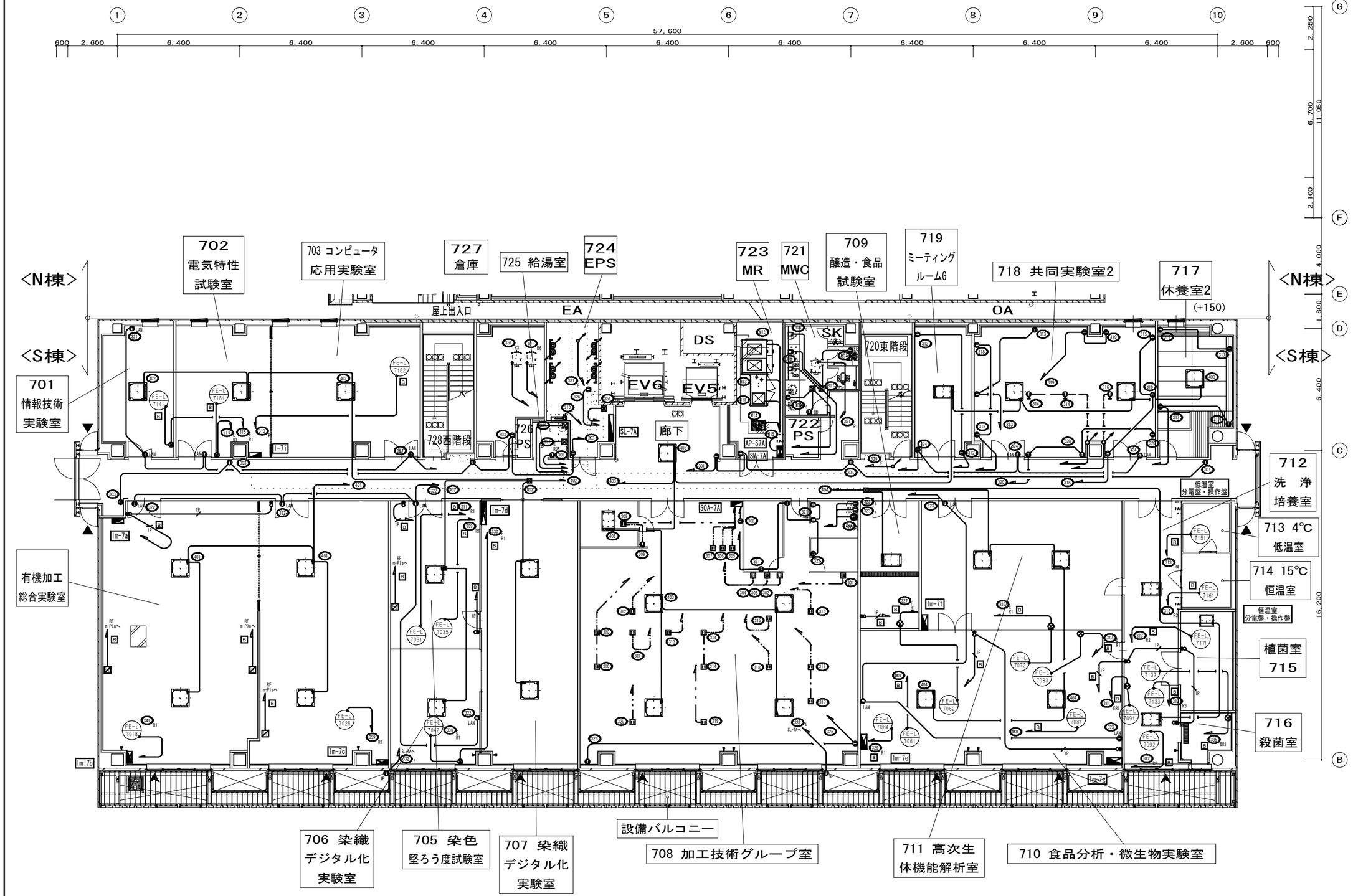
（建-081204）

081104 MO 081210 ×× 090107 090127

【既存電気平面図】

720×500

01	7階平面図	1/100



着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図　電- S17

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

S棟幹線・動力・コンセント 7階平面図

(電) - 17

NO. O－060186－D

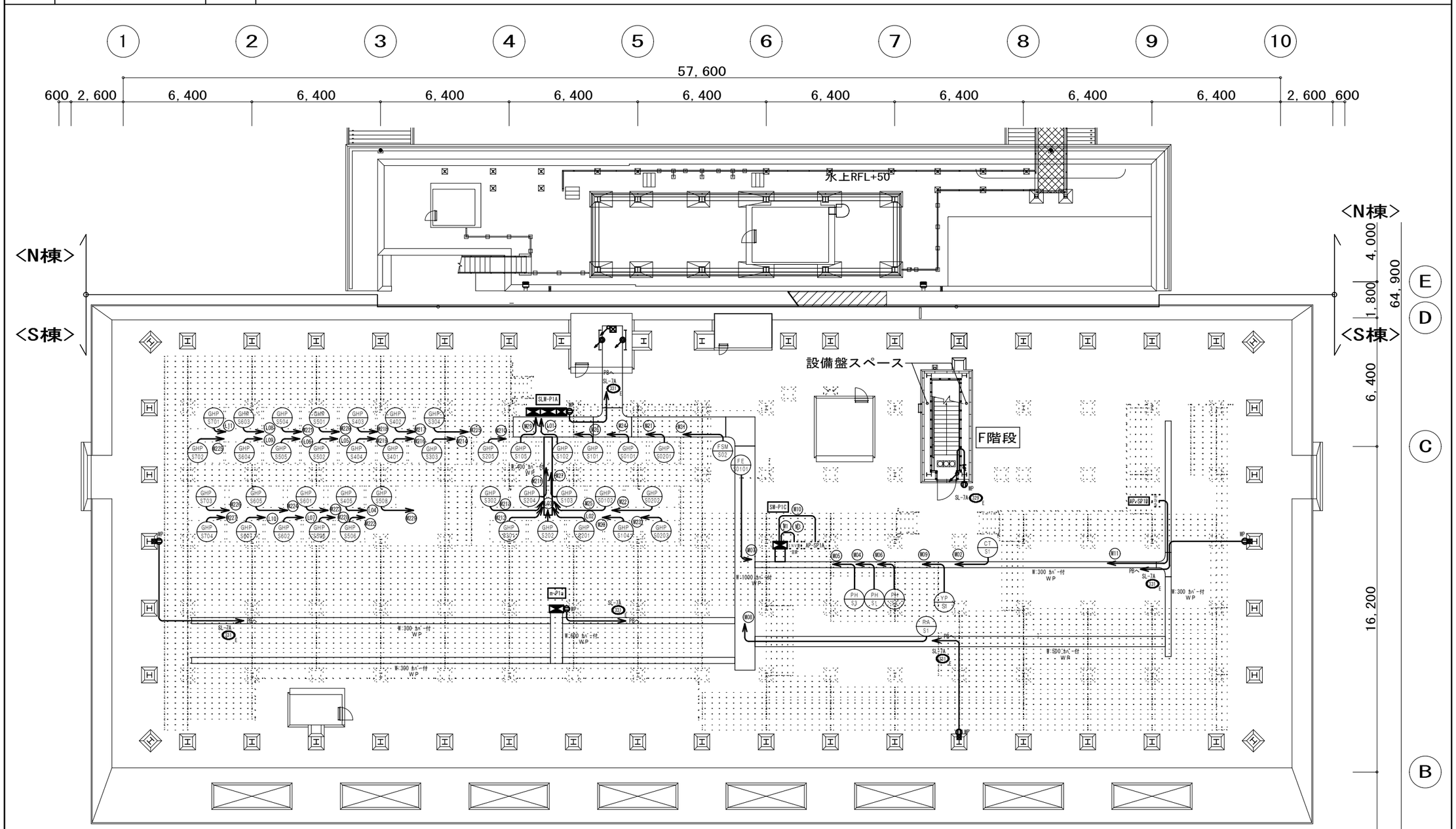
(建−081204)

081104 MO 081210 ×× 090107 090127

【既存電気平面図】

720×500

01	P1階平面図	1/100



着工	2009_06_01		
竣工	2010_08_18		
監理			
施工		[redacted]	

完成図　電- S18

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

S棟幹線・動力・コンセント P1階平面図

電 － 18

NO. O－060186－D

（建−081204）

081104 MO 081210 xx 090107 090127

添付図A-01

【既存建築図】更新対象は機械設備図機器リストを参照

720×500

共通事項

・本表は本工事に用いる内外装仕上げを一括して表す。各一覧表・材料表に記載の符号等は、本表以外の設計図にも適用する。
・コンクリートとコンクリートブロックまたはALCパネル及び軽鉄下地との壁取合部には化粧目地を設ける。
　目地材は※塩ビ製　・　　、目地幅は※10mm　・　　mmとする。
・天井下地は軽量鉄骨下地とする。
・床仕上げがビニルタイル・ビニルシートや塗り床等の場合の下地は、コンクリート金ごて仕上げとする。
・特記なき限り、室内の壁・天井は仕上下地共不燃とする。
・「電着」は着色電着塗装 植田アルマイト工業 UAｶﾗｰG740程度とする。

塗装一覧表

符号	名称	符号	名称
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	2-UE-H	重防食ウレタン樹脂エナメル塗り
CL	クリヤラッカー塗り	2-FUE-H	重防食ふっ素樹脂エナメル塗り
FE	フタル酸樹脂エナメル塗り	2-FUC	ふっ素樹脂クリヤ塗り(ステンレス面)
2-UE	2液形ポリウレタンエナメル塗り	FUC	ふっ素樹脂クリヤ塗り(コンクリート面)
2-FUE	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り	WP	コンクリート面撥水剤塗り
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	U-BE	1液形ウレタン樹脂焼付け塗り
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	F-BE	ふっ素樹脂焼付け塗り
EP-M	多彩模様塗料塗り(屋内用)	A-BE	アクリル樹脂焼付け塗り
EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り	ZP	溶融亜鉛めっきの上、りん酸処理
	(屋内用)	RE-T	複層塗材E
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り		

仕上材符号一覧表

	符号	名称		符号	名称
床・壁・天井	RC直	コンクリート直均し(金ごて)	床・壁・天井	GB-P	吸音用穴あきせっこうボード
	RC-A	コンクリート打放し A種		GB-D	化粧せっこうボード
		(化粧打放し,塗装仕上に適用)		GB-S	シージングせっこうボード
	RC-B	コンクリート打放し B種		GB-F	強化せっこうボード
		(仕上塗材に適用)		GB-L	せっこうラスボード
	RC-C	コンクリート打放しのまま C種		GB-NC	不燃積層せっこうボード
				FK	繊維強化セメント板(けい酸カルシウム板)タイプ2
	CB	コンクリートブロック			
	ALC	ＡＬＣパネル	幅木	V	ビニル幅木
	ECP	押出成形セメント板		W	木製幅木
	PC	プレキャストコンクリート		VS	ビニル床シート立上げ幅木
	LGS	軽量鉄骨下地			
	RW吹付け	吹付けロックウール	見切	AL	アルミ見切縁
	GW	グラスウールガラスクロス付ボタン押え		V	ビニル製見切縁
	DR	ロックウール化粧吸音板		W	木製廻り縁
	清DR	清付ロックウール化粧吸音板		SUS	ステンレス見切縁
	GB-R	せっこうボード			

防火材料一覧表

区分	材料の名称・規格	認定番号	区分	材料の名称・規格	認定番号
不燃材料	繊維強化セメント板 (スレートボード・フレキシブル板 パーライト板)	NM-8576	不燃材料	紙製壁紙 繊維製壁紙 無機質製壁紙 (下地・法定不燃材料、金属せっこうボードを除く。直張り)	NM-0457 NM-0680 NM-0846
	繊維強化セメント板(けい酸カルシウム板) タイプ2 t5mm以上	NM-8578			
	化粧繊維強化セメント板	NM-8577			
	せっこうボード t12.5、15mm	NM-8619			
	不燃積層せっこうボード t9.5mm	NM-8613	準不燃材料	せっこうボード t9.5mm	QM-9828
	化粧せっこうボード t12.5mm	NM-8614 NM-0127		化粧せっこうボード t9.5mm	QM-9824
				シージングせっこうボードt9.5mm	QM-9826
	強化せっこうボード t12.5、15、18、21、25mm	NM-8615		木片セメント板	
				木毛セメント板	
	ロックウール化粧吸音板	NM-8599		紙製壁紙 繊維製壁紙 プラスチック製(塩化ビニル)壁紙 無機質製壁紙(不燃材料) (下地・法定不燃材料、金属せっこうボードを除く。直張り)	*無機質壁紙は金属下地を含む
	吹付けロックウール	FP060BM-9409他			
	グラスウール保温板	NM-8605			
	グラスウール化粧保温板	NM-8606			
	ALCパネル				
	押出成形セメント板	WN-1029			
	塗料塗装/不燃材料 (下地・法定不燃材)				
	仕上塗材/不燃材料 (下地・法定不燃材)				

材料表　　注)製造者・品番は、同等品以上とする。

名称 (符号・呼び名)	品種・規格・寸法・仕上げの形状など	備考 (製造者・品番など)
A防水-1	アスファルト防水保護コンクリート(外断熱)	標準仕様書) B1-1 (断熱材-1)
A防水-2	アスファルト防水保護コンクリート(屋外)	標準仕様書) A-1
A防水-3	アスファルト防水保護コンクリート(屋内)	標準仕様書) E-1
A防水-4	ゴムアスファルト系塗膜防水(地中外壁先やり工法)	
P防水-1	ポリマーセメント系塗膜防水材(補強材入)+保護con	宇部興産) アクアシャッタークロス入り EVB-1
P防水-2	ポリマーセメント系塗膜防水材	宇部興産) アクアシャッター EVN-3
P防水-3	ポリマーセメント系塗膜防水材+保護con	宇部興産) アクアシャッター EVN-1
P防水-4	無溶剤型VEエポキシ樹脂ノンクロスタイプ	茶谷産業) ビルピットガード(床・壁・天井)
P防水-5		茶谷産業) ビルピットガード(床・壁)
P防水-6	ポリマーセメント系塗膜防水材(アクリル樹脂系)	宇部興産) アクアシャッター EVN-1
C防水	ケイ酸質系塗布防水(浸透性塗布防水)	
Vシート	ＥＶＡ湿式植毛防水シート	ケイエス防水工業)Ｖシート
断熱材-1	押出法ポリスチレンフォーム保温板 GB	
断熱材-2	吹付硬質ウレタンフォーム断熱材 GB(難燃)	
断熱材-3	断熱材-2の上に不燃コート材吹付	エスケー化研)ダンセラボン#25 t5mm
断熱材-4	不燃断熱材吹付	エスケー化研)セラミライトエコG
耐火塗料-1	加熱発泡型耐火塗料(2時間耐火)	エスケー化研)SKタイカコート
耐火塗料-2	加熱発泡型耐火塗料(1時間耐火)	エスケー化研)SKタイカコート

床	0Aフロア	鋼板軽量無機質材充填H=100~150	オーエム機器)OP2-5
	消火器ボックス	全埋込式表示板扉付	ユニオン)
	結露防止剤	t5.0mm(外部パネル部吹付)	グライト工業) グライト
	汚垂石	花こう岩本磨き(G654/G332)	
	視線制御フィルム		住友3M) 剣
	床点字	(石,タイル面)ステンレス製鋲埋込	
		(タイルカーペット面)プラスチック製	
		(ビニルタイル・シート面)プラスチック製	
	止水板	壁張り式鉄板芯入り非加硫ブチルゴム成型品W200	
	木製床パネル	アマゾンジャラ	
	緑化パネル	壁面緑化パネル	東邦レオ)
	湯水マット	湯水フォーム ＋ コンクリート t100	
	飛散防止フィルム		住友3M) 飛散防止フィルム
	花崗岩	ベルファスト他	
	金属折板		松下電工)屋根コイルE、JFE) オアシス
	アルミスパンドレル	アルミ押出型材 U-BE 2色	理研金属工業) RA-24
	ルーバー1	スチール 口-100x50x2.3	フロント)コルテン鋼New Rusty仕上
	ルーバー2	アルミ押出型材ルーバー(室外機目隠し)F-BE	
	ルーバー3	アルミ押出型材ルーバー (軒天井)電着	
	ルーバー4	スチール 口-100x50x2.3	フロント)コルテン鋼New Rusty仕上
	グレーチング-1	80型W-250溶融亜鉛めっき仕上	日鐵建材工業) ファインフロア GD0
	グレーチング-2	60型W-250溶融亜鉛めっき仕上	日鐵建材工業) ファインフロア GD0
	壁面緑化ユニット	壁面緑化早期ユニット工法	東邦レオ) グリーンファサード「ユニット型」
	木ルーバー	アマゾンジャラ	
	ECP-1	押出成型セメント板 (フラット)	ノザワ) アスロック W450,600,900,1200,t 60 G
	ECP-2	押出成型セメント板 (小リブ付)	ノザワ) アスロック ストライプライン
	ECP-4	押出成型セメント板 (大リブ付)	ノザワ) アスロック ゴシロック
	ECP-5	押出成型セメント板 (ストライプ)	ノザワ) アスロック Vカットストライプワイド
	巻き付け耐火被覆材		ニチアス) マキベエ
	ユニットシャワー	800×1,200×H2,030	TOTO)JSV0812
	人工大理石	メタクリ樹脂強化無機材	クラレ) ノーブルライト
	靴拭きマット1		ミヅシマエ業) Clic-19
	靴拭きマット2		ミヅシマエ業) エントラップマット
	避難用伸縮はしご	ステンレス製 目隠しボックスタイプ	ナカエ業) タスカールSPC
	メールボックス	前入前出 ステンレス製郵便箱	田島メタルワーク)MX-12 MX-13
	ＴＣ-1	G7.0 500x500	東リ)ＧＡ8100
	ＴＣ-2	G6.5 500x500	カワシマセルコン)インターフェイス ASANA
	ＴＣ-3	G6.5 500x500	カワシマセルコン)P1845
	ＴＣ-4	G6.5 250x1,000	東リ)コレンテＶ
	ＴＣ-5	G4.0 500x500	東リ)テキスタイルフロア
	ＴＣ-6	G6.5 500x500	住商インテリア)LX-1000
	ＴＣ-7	G6.5 500x500	住商インテリア)LX1000EC0
	ＴＣ-8	G7.3 500x500	カワシマセルコン)KD4604
	ＴＣ-9	G7.5 500x500	東リ)ノティス
	ＶＴ-1	コンポジションビニル床タイル G	東リ)マチコＶ
	ＶＴ-2	ビニル床タイル G	カワシマセルコン)リファインバックエグザ
	ＶＴ-3	耐シガレットタイル G	サンゲツ)タバックウッド
	ＶＳ-1	G2.5	東リ)ＮＳフラッティネオ
	ＶＳ-2	不織布積層印刷発泡ビニル床シート G 8	東リ)ＳＦフロア 縞柄
	ＶＳ-3	不織布積層ビニル床シート G	東リ)スーパーＫシート
	ＶＳ-4	不織布積層ビニル床シート G	東リ)スーパーＫシート モア
	ＦＬＰ－１	ケイ酸塩系表面強化材	ABC商会)セラミキュア
	ＦＬＰ－２	硬質床用着色メンテナンス材	ABC商会)カラーコート
	ＦＬＰ－３	水性エポキシ樹脂系床材	ABC商会)ケミクリートＥＰ
	ＦＬＰ－４	合金骨材配合強靭床仕上材(硬化ｺﾝｸﾘｰﾄ塗付工法)	ABC商会)フェロコンハードＳ 特注色
	ＦＬＰ－５	無溶剤型エポキシ樹脂系床材	ABC商会)ｹﾐｸﾘｰﾄEペースト防滑工法
	ＦＬＰ－６	無溶剤型エポキシ樹脂系床材	ABC商会)ｹﾐｸﾘｰﾄE流延ペースト工法
	ＦＬＰ－７	水性硬質ウレタン系塗床材 (G)	ABC商会)タフクリートＭＨ
	ＦＬＰ－８	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材	ABC商会)シリケートハードナーＪＰ
	ＦＬＰ－９	鉱物骨材配合散布型美装床材	ABC商会)カラクリート
	ＲＴ	ゴムタイル G2.5	ニチマン)アストロフェースシード
	木製デッキ	アマゾンジャラ	
	RC平板		太陽セメント工業)イグザスケンマ
	ブラインド	アルミ手動ブラインドスラット巾25mm	ニチベイ) セラーノ
	ブラインド	アルミ手動ブラインドスラット巾35mm	ニチベイ) ユニコンモア35
	ブラインド	電動ロールスクリーン	ニチベイ) ソフィー大型電動タイプ
	ブラインド	木製縦型ブラインド	タチカワ) ラインドレーブ木製タイプ

壁	ＥＰ		
	壁紙		カワシマセルコン) ＫＣ1043
	不燃クロス1	不燃認定クロス	サンゲツ) ＳＧ6176
	不燃クロス2		リリカラ) 織物調不燃クロス
	不燃クロス3		サンゲツ) リアテック
	特殊垣ビシート1		シーアイ化成)ベルピアン
	特殊垣ビシート2	粘着材付塩ビシート	住友３Ｍ)ダイノックシート
	Ｔ－１	モザイクタイル	INAX)インテリアモザイク
	Ｔ－２	せっ器質タイル	INAX)塩焼風タイル
	耐候性鋼板	スチール G3.2 リン酸被膜処理特殊表面処理(フロント)C.F.C仕上	
	耐水せっこうボード	シージングせっこうボード t12.5(不燃)	
見切	Ｖ		
	ＡＬ	アルミ見切 A-BE	
	見切A	人工木材 EP	
天井	DR	ロックウール化粧吸音板 t12(捨張せっこうボード t G)	日東紡) ソーラートン
	DR(リブ付)	リブ付き岩綿吸音板t15(捨張せっこうボード t G)	ダイケン) ダイロートンリブ
	ＧＢ－Ｒ		
	ＧＢ－Ｄ	化粧せっこうボード(不燃) GB	吉野石膏) ジプトーン
	ルーバー天井	アルミ押出型材ルーバー A-BE	
巾木	Ｖ	ビニル幅木 H=60	
	Ｗ	木製幅木(シナ合板)	

＊特記なき見切縁はＶとする。
＊特記なき巾木Hは60mmとする。

設工	2009.06.01		
設工	2010.08.18		
監理			
施工		[redacted]	

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

仕上共通事項

意 3 － 1

NO. 0 － 060186 － D

完成図　意-19

KV9-S11
20090622-椋本

1132313　1=1　1121212　1=2

添付図A-02

【既存建築図】更新対象は機械設備図機器リストを参照

720×500

内装仕上表

位置	室名	床	基準FLからのレベル mm	幅木	(Hmm)	壁	(塗装)	見切縁	天井	(塗装)	天井高(mm)	備考
共通(S棟)	B2階 3～7階 MWC,WWC	VS-1		V		GB-R	EP	V	GB-D		2,400	
	東階段・西階段	VS-1		ササラ桁SOP		GB-R	EP	V	GB-R GB-D (最上階)	EP	—	
	PS・DS・EPS	FLP-3 FLP-8		FLP-3立上 FLP-8立上	60	FK			デッキプレート現し		—	
	給湯室	VS-1		V		GB-R	EP-G	V	GB-D (1,2階はDR)		2,400	
	廊下	VS-1		V		GB-R	EP	V	GB-D		2,400	
	MR	FLP-3		FLP-3立上	60	GB-R			デッキプレート現し		—	
地下2階(S棟)	030 染織倉庫	VS-3		V		GB-R	EP-G		RC-B		—	
	028 ガス腐食試験室	FLP-6 (A防水 保護コンクリート)		FLP-6立上	60	GB-R	EP-G	底目	FK	EP	2,500	
	027 振動試験室	FLP-6		V		吸音壁	EP-G	V	DR		2,500	吸音壁：GWGCの上、 穴あきケイ酸カルシウム板貼
	026 工作室	FLP-6		V		GB-R	EP-G		RC-B		—	
	024 製織実験室	FLP-6		V		GB-Rの上 GWGC貼			デッキプレート現し		—	天井ホイストクレーン(3.5t)
	023 廃液処理室	FLP-6		FLP-6立上	150	RC-B		底目	FK	EP	2,500	
	022 排水処理室	FLP-3		RC		RC-B			RC-B		—	
	021 陶磁器焼成実験室	FLP-5		FLP-5立上 ビニル	110 100	GB-R	EP-G		RC-B		—	
	025 撚糸実験室	FLP-6		V		GB-Rの上 GWGC貼			RC-B		—	
地下1階(S棟)	005 陶磁器原料粉砕調製室	FLP-6 (A防水 保護コンクリート)		FLP-6立上	60	GB-R	EP-G		RC-B		—	
	006 特別管理 産業廃棄物保管室	FLP-6		FLP-6立上	110	GB-R	EP		RC-B		—	
	004 金属材料試験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G		RC-B		—	
	001 陶磁器原料室	FLP-6		FLP-6立上 ビニル	90 100	GB-R	EP-G		RC-B		—	
	003 セラミックス 素材実験室	FLP-6 (A防水 保護コンクリート)		FLP-6立上	60	GB-R	EP-G		RC-B		—	
	002 セラミックス 製品化実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G		RC-B		—	天井ホイストクレーン(300kg)
	008 産業廃棄物保管室	FLP-6		V		GB-R	EP		RC-B		—	
	風除室	VS-1		V		GB-R	EP	V	GB-D		2,400	
1階(S棟)	117 MWC 118 WWC 119 HWC	VS-1		ステンレス	60	FK 不燃クロス3		V	GB-R	EP	2,400	
	風除室	靴拭きマット1 (P防水 保護コンクリート)				ステール-ZP			アルミスパンドレル	A-BE	2,300	
	資料展示コーナー	RC平板				木製ルーバー 吹付けタイル		V	GB-R 吹抜部 DR(リブ付)	リシン吹付 EP	2,700 7,700	壁面ショーケース
	廊下－1	RC平板		W		FKの上マヂックコート		V	GB-R	リシン吹付	2,700	
	廊下－2	RT		V		GB-R	EP	V	DR		2,700	
	109 企画情報グループ室	TC-7(OA100)		V		GB-R	EP	V	DR		2,700	
	台所	VS-1		V		GB-R	EP	V	GB-D		2,400	

内装仕上表

位置	室名	床	基準FLからのレベル mm	幅木	(Hmm)	壁	(塗装)	見切縁	天井	(塗装)	天井高(mm)	備考
1階(S棟)	108 所長室,106 副所長室	TC-6		W		不燃クロス2		V	DR		2,700	
	107 応接室	TC-9				壁紙						
	112 倉庫	VS-1		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	男子ロッカールーム 女子ロッカールーム	VS-1		V		GB-R	EP	V	GB-D		2,400	
	113~115,110 ミーティングルームA~D	TC-7		V		不燃クロス2		V	DR		2,700	
	111 知恵産業融合センター	TC-7		V		不燃クロス2		V	DR		2,700	
	104 共同実験室1(実験室) 105 共同実験室1(事務室)	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	103 ナノ表面分析室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	101 ナノ構造観察室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	102 ナノ表面計測室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	127 企画情報2	TC-7		V		GB-R	EP	V	DR		2,700	
	128 喫煙コーナー	VT-3		V		GB-R	EP-G	V	GB-R	EP-G	2,400	
	129 詰所	VT-1		V		GB-R	EP	V	GB-D		2,715	
	124 ｱﾗｰﾑ弁室	FLP-3				GB-R			デッキプレート現し		—	
	123 倉庫	VS-1		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		—	
	130 室外機置場1,2	RC直		RC		ECP-1 ALC エキスパンドメタル	2-UE		デッキプレート現し		—	
2階(S棟)	215 MWC,216 WWC 217 HWC	VS-1		ステンレス	60	FK 不燃クロス3	EP	V	GB-R	EP	2,400 2,475	
	212 ホールD	VS-4		V		GB-R	EP	V	DR		3,500	
	213 倉庫	VS-1		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		3,500	
	展示コーナー	TC-1,TC-8		W		マヂックコート		V	DR		3,500	
	209 講師控室	TC-7		V		GB-R	EP	V	DR		3,300	
	210 喫煙コーナー	VT-3		V		GB-R	EP-G	V	GB-R	EP-G	3,300	
	206 ホールA 207 ホールB 208 ホールC	VS-4		V		FK 特殊塩ビシート2	EP	V	DR		3,500	移動間仕切 防振吊天井 天井内GWGC 100 敷込
	211 倉庫	VS-1		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	202 X線機器分析室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		3,500	
	201 粉体試料調整室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		3,500	
	205 図書室	FLP-6		V		GB-R	EP	V	DR		3,500	
	204 化学・物理系 機器分析室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		3,500	
	203 光学系機器分析室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		3,500	
	廊下-1	VS-1		V		GB-R	EP	V	DR		2,600	
	廊下-2	TC-1,TC-8		W		マヂックコート					3,500	

完成図 意-21

着工	2009.06.01	. .
竣工	2010.08.18	. .
監理		. .
施工	[redacted]	

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

仕上表 (2)[S棟]

意 3 － 3

NO. 0 － 060186 － D

KT9-S13

20090323-柿本

1132313 1=1 1121212 1=2

【既存建築図】更新対象は機械設備図機器リストを参照

720×500

内装仕上表

位置	室名	床	基準FLからのレベル mm	幅木	(Hmm)	壁	(塗装)	見切縁	天井	(塗装)	天井高(mm)	備考
3階(S棟)	318 休養室1	畳	+150	畳寄せ		不燃クロス1		V	DR		2,550	
		踏込部VS-1		V							2,700	
	326 倉庫	VS-1		V		GB-R	EP		デッキプレート現し		–	
	319 生体機能物質実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	320 金属材料実験室(北)	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	316 染色化学実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	317 超臨界流体実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	315 環境適合材料実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	313 材料物性実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	314 材料化学実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	312 ボンベ庫	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	310 金属材料評価室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	311 金属加工実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	308 試料準備室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	309 精密加工実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	306 有機材料実験室	FLP-7		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	307 有機材料分析室	FLP-6		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	303 環境調整室	RC直	+108			GB-R(垂壁)			デッキプレート現し		–	ユニットルーム(B工事)
	301 20℃恒温恒湿室	RC直	+58			GB-R(垂壁)			デッキプレート現し		–	ユニットルーム(B工事)
	305 23℃恒温恒湿室	RC直	+58			GB-R(垂壁)			デッキプレート現し		–	ユニットルーム(B工事)
	304 少量危険物取扱所	FLP-3 (P防水 保護コンクリート)	+120~+150			GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	302 機械室	FLP-3		FLP-3立上	60	GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
4階(S棟)	412 色染基礎実験室(南)	FLP-6 (A防水 保護コンクリート)		FLP-6立上	60	GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	倉庫	FLP-6 (A防水 保護コンクリート)		FLP-6立上	60	GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	413 色染基礎実験室(北)	FLP-6 (A防水 保護コンクリート)		FLP-6立上	60	GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	414 講義室A	TC-7(OA100)		V		GB-R	EP	V	GB-D		2,700	
	424 ミーティングルームE	VS-1		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	411 材料グループ技術室	TC-7(OA100)		V		GB-R	EP	V	GB-D		2,700	
	410 窯業化学実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	底目	FK	EP	2,700	
	409 陶磁器釉薬・製品化実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	420 倉庫	VS-1		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	408 セラミックス実験室	FLP-6 (A防水 保護コンクリート)		FLP-6立上	60	GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	402 窯業焼成実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	

内装仕上表

位置	室名	床	基準FLからのレベル mm	幅木	(Hmm)	壁	(塗装)	見切縁	天井	(塗装)	天井高(mm)	備考
4階(S棟)	403 窯業機器分析室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	404 暗室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	405 工芸材料測定室	FLP-6		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	406 工芸材料実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	407 スプレー塗装室	FLP-6		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	401 少量危険物取扱所	FLP-6 (P防水 保護コンクリート)	+120~+150			GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
5階(S棟)	522 工芸染色試作室	FLP-6		FLP-6立上	60	GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	520 工芸染色実習室	FLP-6		FLP-6立上	60	GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	521 工芸染色準備室	FLP-6		FLP-6立上	60	GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	518 デザイン・IT研修室	TC-7(OA100)		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	519 デザイン資料室	VS-1		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	525 デザイン収蔵庫	VS-1		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	523 デザイン実験室	TC-7(OA100)		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	524 RP実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	517 講義室B	TC-7(OA100)		V		GB-R	EP-G	V	DR		2,700	
	516 漆工研修更衣室	VS-1		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	513 漆工研修室	フローリングブロック	+100	V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	514 漆工実習室	フローリングブロック	+100	V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	515 塗漆室	フローリングブロック	+100	V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	512 陶磁器釉薬技術資料室	VS-1		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	511 陶磁器釉薬実習室	FLP-5 (A防水 保護コンクリート)		FLP-5立上	60	GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	むろ-1, 2 物入	FLP-6 (A防水 保護コンクリート)		FLP-6立上	60	GB-R	EP-G	V	FK	EP-G	2,700	
	507 陶磁器成形実習室	FLP-5 (A防水 保護コンクリート)		FLP-5立上	60	GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	509 陶磁器実習室	FLP-5 (A防水 保護コンクリート)		FLP-5立上	60	GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	508 陶磁器応用コース実習室	FLP-5 (A防水 保護コンクリート)		FLP-5立上	60	GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	更衣室(男子) 更衣室(女子)	VS-1 (A防水 保護コンクリート)		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	サーバー室	TC-7(OA300)		V		GB-R	EP-G		防水パン		2,650~2,710	OAフロアスロープ付
	502 ゼーゲル錐保管室	VS-1		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	503 陶磁器技術品保管室	VS-1		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	504 陶磁器釉薬スプレー室	FLP-6		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	505 陶磁器集塵機室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	506 陶磁器工作室	FLP-6		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	

完成図　意-22

着工	2009.06.01	. .
竣工	2010.08.18	. .
監理		. .
施工	[redacted]	

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

仕上表(3)[S棟]

意 3 - 4

NO. 0-060186-D

KP9-S14

20081225-阿野, 後藤, 本村, 澤野, 山本奈, 柿本, 松本 1132313=1　1121212=2

【既存建築図】更新対象は機械設備図機器リストを参照

720×500

内装仕上表

位置	室名	床	基準FLからのレベル(mm)	幅木	(Hmm)	壁	(塗装)	見切縁	天井	(塗装)	天井高(mm)	備考
6階(S棟)	613 染織技術相談室	VS-3		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	暗室	VS-3		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	614 ミーティングルームF	VS-1		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	612 色染実用化実験室	FLP-6 (A防水 保護コンクリート)		FLP-6立上	60	GB-R FK	EP-G EP	底目	デッキプレート現し FK	EP	– 2,500	
	611 繊維化実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	610 製品化支援グループ室	TC-7(OA100)		V		GB-R	EP	V	GB-D		2,700	
	609 金属分析実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	底目	FK	EP	2,700	
	608 金属化学実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	底目	FK	EP	2,700	
	ボンベ庫	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,500	
	通路	FLP-6		V		GB-R	EP-G	底目	FK	EP	2,700	
	601 金属中ガス分析実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	602 合金作成実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	603 表面処理実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	底目	FK	EP	2,700	
	605 微細加工 クリーンルーム	RC直 FLP-6				GB-R			デッキプレート現し		–	ユニットルーム(B工事)
	604 耐食性試験室	FLP-6 (A防水保護コンクリート)		FLP-6立上	60	GB-R	EP-G	底目	FK	EP	2,700	
	607 表面物性測定室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	底目	FK	EP	2,700	
	606 断面試料加工室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	底目	FK	EP	2,700	
	620 喫煙コーナー	VT-3		V		FK	EP-G	V	GB-R	EP-G	2,700	
7階(S棟)	718 共同実験室2	FLP-6		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	719 ミーティングルーム6	VS-1		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	727 倉庫	VS-1		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	708 加工技術グループ室	TC-7(OA100)		V		GB-R	EP	V	GB-D		2,700	
	706、707 染織デジタル化実験室	TC-7(OA100) FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	709 醸造・食品試験室	FLP-6 (A防水 保護コンクリート)		FLP-6立上	60	GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	710 食品分析 ・微生物実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	711 高次生体機能解析室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	712 洗浄・培養室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	713 4℃低温室	RC直 (P防水 保護コンクリート)	+115			GB-R			デッキプレート現し		–	ユニットルーム(B工事)
	714 15℃恒温室	RC直 (P防水 保護コンクリート)	+115			GB-R			デッキプレート現し		–	ユニットルーム(B工事)
	715 植菌室	FLP-6		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	716 殺菌室	FLP-7 (A防水 保護コンクリート)		FLP-7立上	60	FK	EP	底目	FK	EP	2,700	

内装仕上表

位置	室名	床	基準FLからのレベル(mm)	幅木	(Hmm)	壁	(塗装)	見切縁	天井	(塗装)	天井高(mm)	備考
7階(S棟)	717 休養室2	畳 踏込み部VS-1	+150	畳寄せ V		不燃クロス1		V	DR		2,550 2,700	
	704 有機加工総合実験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	705 染色堅ろう度試験室	FLP-6		V		GB-R	EP-G		デッキプレート現し		–	
	702 電気特性試験室	TC-7(OA100)		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	703 コンピューター 応用実験室	TC-7(OA100)		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	
	701 情報技術実験室	TC-7(OA100)		V		GB-R	EP-G	V	GB-D		2,700	

完成図　意-23

着工	2009.06.01	. .	
竣工	2010.08.18	. .	
監理		. .	
施工		. .	[redacted]

[redacted]

京都市産業技術研究所・KRP9号館複合棟新築工事

仕上表(4)[S棟]

意 3 - 5

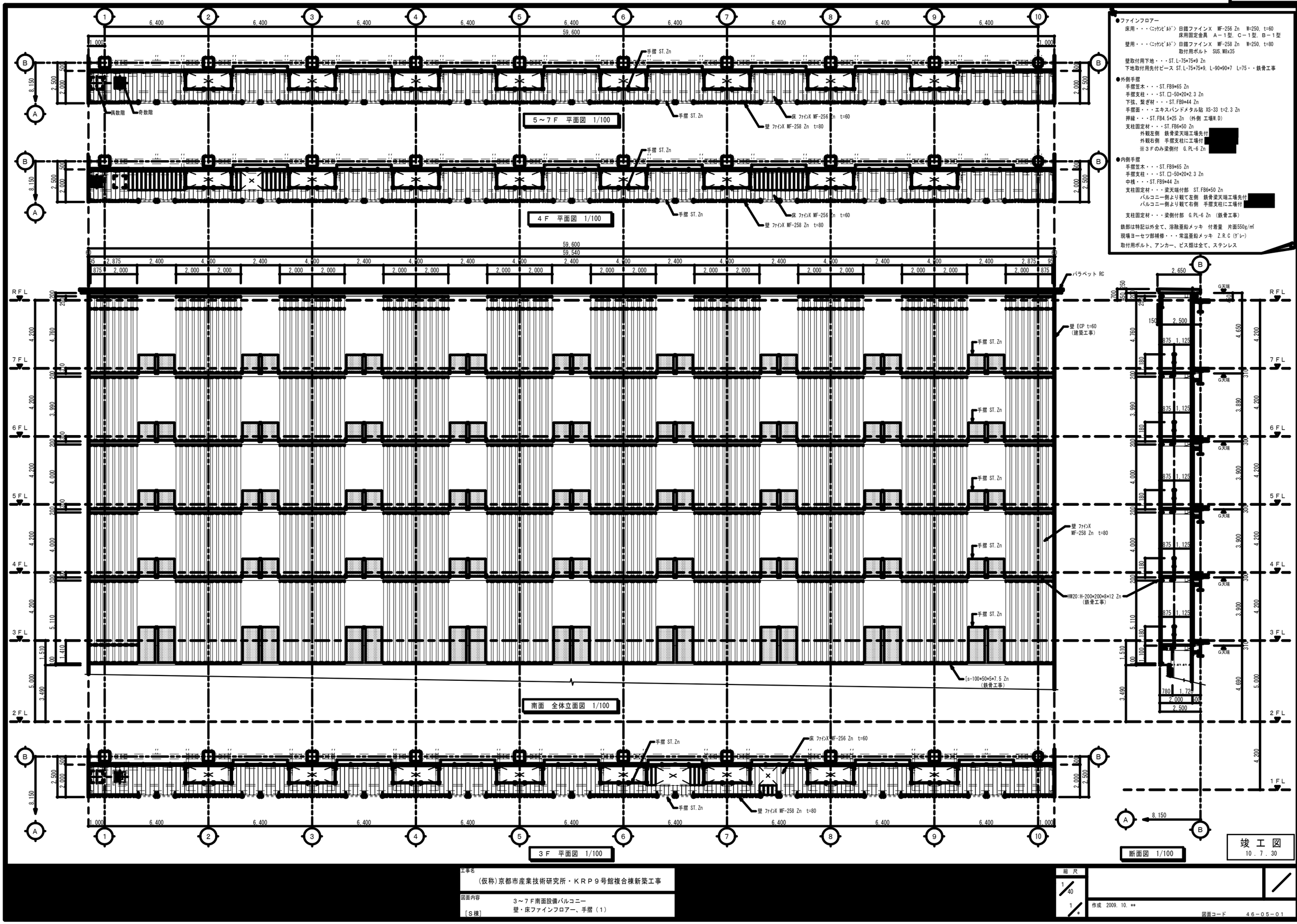
NO. O-060186-D

KP9-S15

20081225-阿野, 後藤, 本村, 山本奈, 柿本, 松本, 岡本

【既存建築図】南面バルコニー一部

添付図A-05



●ファインフロアー
床用・・・(ﾆｯｹﾝﾋﾞﾙﾄﾞ) 日鐵ファインX　MF-256 Zn　W=250, t=60
床用固定金具　A－1型, C－1型, B－1型
壁用・・・(ﾆｯｹﾝﾋﾞﾙﾄﾞ) 日鐵ファインX　MF-258 Zn　W=250, t=80
取付用ボルト　SUS.M8x35
壁取付用下地・・・ST.L-75*75*9 Zn
下地取付用先付ピース ST.L-75*75*9, L-90*90*7　L=75・・鉄骨工事

●外側手摺
手摺笠木・・・ST.FB9*65 Zn
手摺支柱・・・ST.□-50*20*2.3 Zn
下弦、繋ぎ材・・・ST.FB9*44 Zn
手摺面・・・エキスパンドメタル貼 XS-33 t=2.3 Zn
押縁・・・ST.FB4.5*25 Zn (外側 工場W.D)
支柱固定材・・・ST.FB6*50 Zn
外観左側　鉄骨梁天端工場先付
外観右側　手摺支柱に工場付
※３Ｆのみ梁側付　G.PL-6 Zn

●内側手摺
手摺笠木・・・ST.FB9*65 Zn
手摺支柱・・・ST.□-50*20*2.3 Zn
中桟・・・ST.FB9*44 Zn
支柱固定材・・・梁天端付部　ST.FB6*50 Zn
バルコニー側より観て左側　鉄骨梁天端工場先付
バルコニー側より観て右側　手摺支柱に工場付
支柱固定材・・・梁側付部　G.PL-6 Zn　(鉄骨工事)

鉄部は特記以外全て、溶融亜鉛メッキ　付着量　片面550g/㎡
現場ヨーセツ部補修・・・常温亜鉛メッキ　Z.R.C (ｸﾞﾚｰ)
取付用ボルト、アンカー、ビス類は全て、ステンレス

竣工図
10．7．30

工事名	(仮称)京都市産業技術研究所・ＫＲＰ９号館複合棟新築工事
図面内容	３～７Ｆ南面設備バルコニー 壁・床ファインフロアー、手摺（１）
［S棟］	

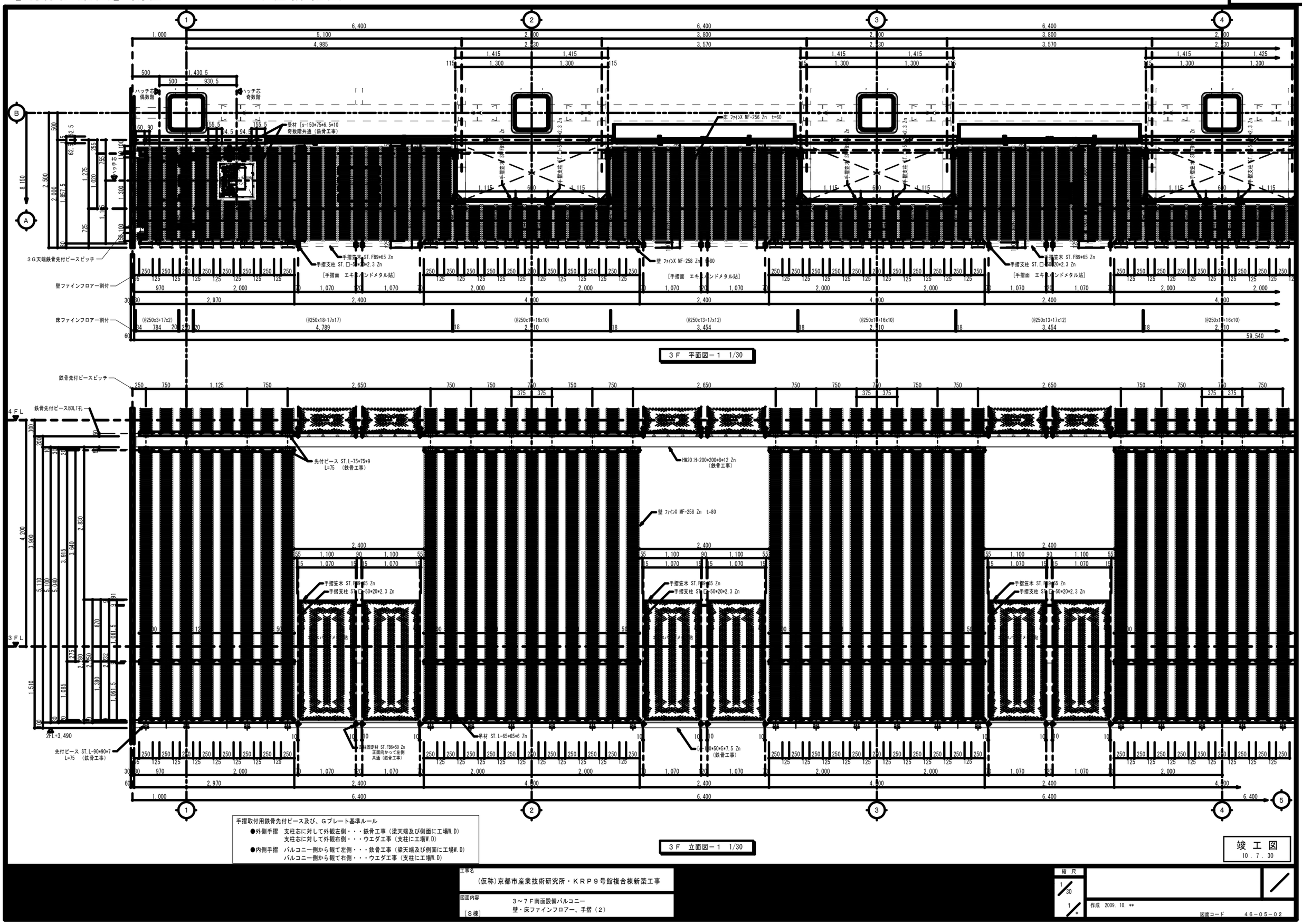
縮尺　1/40　1/*

作成　2009. 10. **

図面コード　46－05－01

【既存建築図】南面バルコニー平面詳細図

添付図A-06



手摺取付用鉄骨先付ピース及び、Ｇプレート基準ルール

- ●外側手摺　支柱芯に対して外観左側・・・鉄骨工事（梁天端及び側面に工場W.D）
  支柱芯に対して外観右側・・・ウエダ工事（支柱に工場W.D）
- ●内側手摺　バルコニー側から観て左側・・・鉄骨工事（梁天端及び側面に工場W.D）
  バルコニー側から観て右側・・・ウエダ工事（支柱に工場W.D）

竣 工 図
10．7．30

工事名	（仮称）京都市産業技術研究所・ＫＲＰ９号館複合棟新築工事
図面内容	３～７Ｆ南面設備バルコニー 壁・床ファインフロアー、手摺（２）
［Ｓ棟］	

縮尺 1/30 1/*

作成　2009．10．**

図面コード　４６－０５－０２